

平成17年度経済産業省委託事業

流通サプライチェーン全体最適化促進事業

マスタデータ同期化システム 実証実験調査報告書

平成18年3月

株式会社 野村総合研究所

マスタデータ同期化システム実証実験調査報告書

目次

1. はじめに	… 1-1
1-1 実証実験の背景と目的	… 1-1
1-2 実証実験の参加企業と実施体制	… 1-3
1-3 実証実験概要スケジュール	… 1-5
2. 実証実験内容と実施方法	… 2-1
2-1 本実証実験の対象業務	… 2-1
2-2 本実証実験の対象とする商品情報	… 2-1
2-3 実証実験時の業務プロセス概要	… 2-3
2-4 実証実験における検証内容と検証方法	… 2-4
2-4-1 マスタ項目に関する検証	… 2-5
2-4-2 業務プロセスに関する検証	… 2-6
2-4-3 技術に関する検証	… 2-21
2-5 実証実験システム概要	… 2-31
3. 実証実験結果	… 3-1
3-1 実証実験における登録件数	… 3-1
3-2 マスタ項目に関する検証結果	… 3-4
3-2-1 マスタ項目決定の経緯	… 3-4
3-2-2 マスタ項目に関する検証結果	… 3-23
3-2-3 データ充足性に関する検証結果	… 3-24
3-2-4 データ品質に関する検証結果	… 3-32
3-3 業務プロセスに関する検証結果	… 3-41
3-3-1 タイミングに関する検証結果	… 3-41
3-3-2 作業時間に関する検証結果	… 3-48
3-3-3 経済効果に関する検証結果	… 3-54
3-3-4 同期化プロセスの適合性に関する検証結果	… 3-62

3-4 技術に関する検証結果	… 3-77
3-4-1 技術に関する設計およびシステムテスト時の検証結果	… 3-77
3-4-2 技術に関する実証実験時の検証結果	… 3-80
3-4-3 ユーザーインターフェースに関する検証結果	… 3-82
3-5 実証実験結果のまとめ	… 3-87
4. まとめ	… 4-1
4-1 実験参加者アンケート結果	… 4-1
4-1-1 マスタデータ同期化がもたらす効果に 関するアンケート調査結果	… 4-2
4-1-2 マスタデータ同期化に対する取り組み状況と 今後の取り組み意向に関するアンケート調査結果	… 4-14
4-2 マスタデータ同期化のロードマップ	… 4-21

< 付属資料 >

- 付属資料1. 実験実施マニュアル
- 付属資料2. 実験用マスタ項目一覧表
- 付属資料3. 実験用コード一覧
- 付属資料4. 実験参加者アンケート票
- 付属資料5. 商品マスタ項目充足性検証結果

1. はじめに

1-1 実証実験の背景と目的

加工食品、日用品をはじめとする一般消費財の流通では、消費者ニーズの多様化や品質に対する要求の高度化を受けて、より安く、新鮮な商品を効率よく消費者に届けることが求められている。

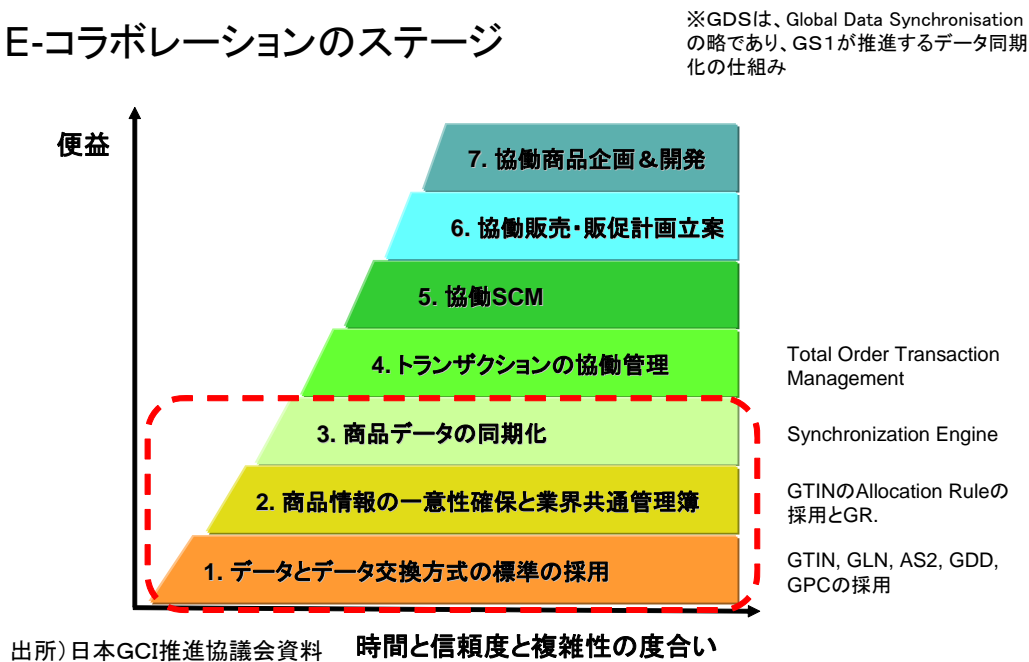
一方、グローバル化、情報化が進展する中で、流通業といえども、ロジスティクスとITを武器に国境を越えた活動を展開する海外企業との競争にさらされるようになり、競争力向上のために、我が国の流通業各社でも企業間電子商取引を活用したサプライチェーンの高度化・効率化への取り組みが行われている。しかし、現在の企業間電子商取引の進展状況を放っておくと、企業間でありながら個別企業のしくみが展開されてしまい、業界全体として余計なコストをかけるばかりでなく、普及面においても遅れることが懸念される状況である。

こうした中、激しい競争を繰り広げている企業同士でも、誰もが活用する情報システムなどのインフラについては共通で構築し、データを活用する企業オペレーション領域で競争するという取り組みが、海外を中心に盛んになっている。

企業間協働活動の全体像として欧米で利用されている参照モデルを図表1-1に示す。この図において、下位3階層は共通で構築するインフラ領域、上位4階層は企業間が競争する領域である。本実証実験のマスタデータ同期化は、この下位3層に位置づけられる。

図表 1-1 企業間協働活動におけるマスタデータ同期化の位置づけ

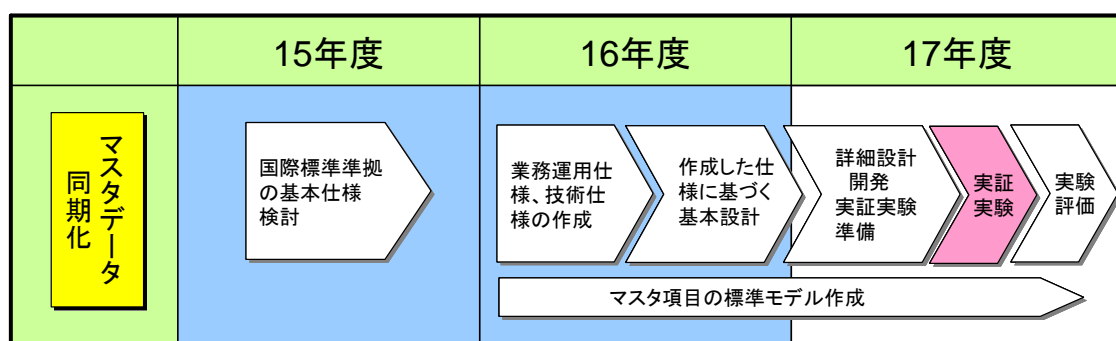
E-コラボレーションのステージ



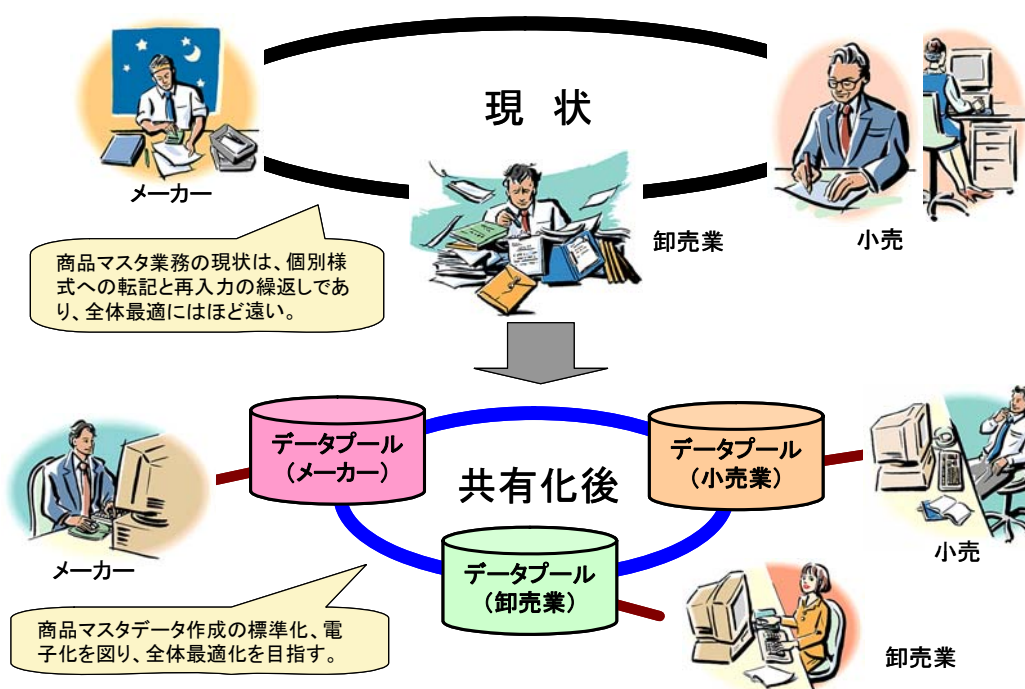
経済産業省 S C M 事業（マスタデータ同期化システムの仕様作成・設計および実証実験）は、我が国の流通における、共通インフラ構築の取り組みを推進するために平成 1 5 年度より 3 ヶ年事業で進められてきた。

本年度は、3 ヶ年目にあたり、これまで検討されてきた基本設計に基づき、商品マスタデータ同期化システムの本格運用に向けて、マスタデータ同期化システムの実証実験（及び実験評価）を行うステップとなっている。

図表 1 - 2 経済産業省 S C M 事業マスタデータ同期化に関する検討の流れ



図表 1 - 3 S C M 事業における商品マスタデータ同期化の目標



本年度、マスタデータ同期化実証実験を行うにあたり、以下を目的とした。

【実証実験の目的】

本実証実験は、我が国における商品マスタデータ同期化システム（GDS）の本格運用を目指し、製・配・販が協働で策定した、マスタデータ項目と、同期化プロセスの仮説を基本的に用いて、製・配・販一気通貫でデータ同期化を行うことによって、

「実業務として採用できるのか？」

「実業務として採用した場合、どのような効果が得られるのか？」

をできる限り本番に近い業務環境で検証し、その検証成果を広く公開すること

1-2 実証実験の参加企業と実施体制

本実証実験は、酒類・加工食品、日用品・化粧品分野における以下の商品カテゴリを対象として実証実験を行うこととした。

<酒類・加工食品>

- ・調味料
- ・食用油
- ・調理品
- ・アルコール飲料

※ 参加企業間の調整により、スープ、冷凍食品、粉類、ホームメイキング材料、麺類も実験実施可能とした

<日用品・化粧品>

- ・洗剤
- ・芳香剤
- ・ヘアケア
- ・口中衛生用品

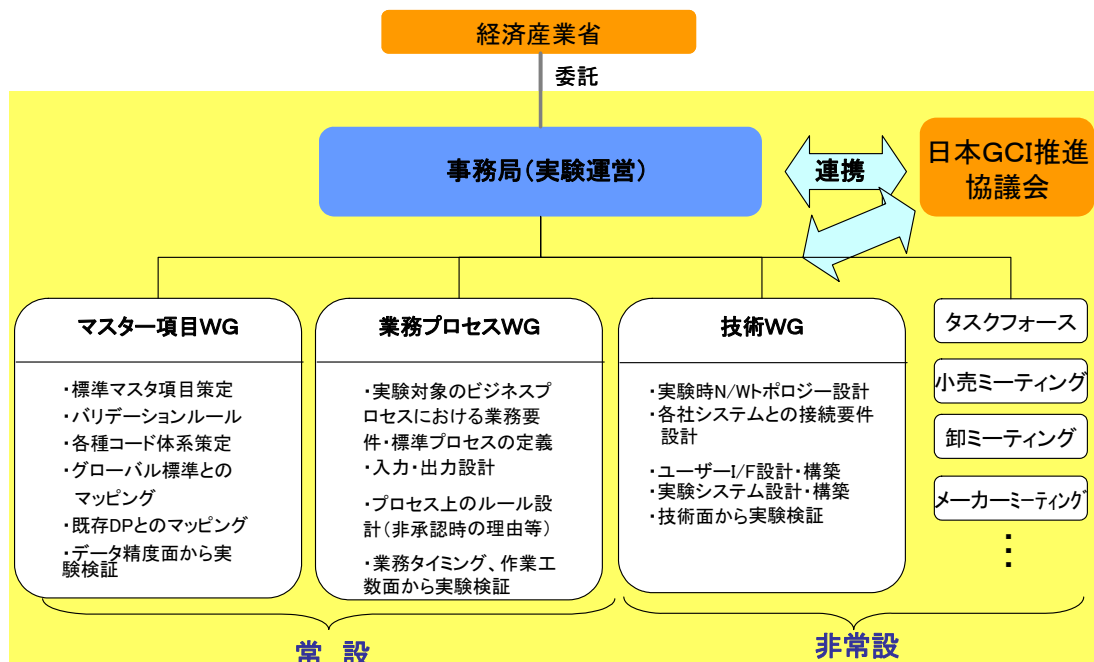
実験参加企業は、以下の62企業・団体となった。

図表 1-4 平成17年度実証実験の参加企業・団体（62社団体）

小売業		イオン(株)、イズミヤ(株)、(株)イトーヨーカ堂、(株)シジシージャパン、(株)西友、(株)東急ストア、紅屋商事(株)、ユニー(株)
卸売業	酒類・加工食品	伊藤忠食品(株)、加藤産業(株)、国分(株)、(株)デリーフーズ、(株)トーカン、(株)日本アクセス、日本酒類販売(株)、三井食品(株)、明治屋商事(株)、(株)菱食
	日用品	(株)アオキコーポレーション、(株)あらた、花王販売(株)、中央物産(株)、(株)ときわ商会、(株)パルタック
製造業	酒類・加工食品	アサヒビール(株)、味の素(株)、カゴメ(株)、(株)加ト吉、キッコーマン(株)、キューピー(株)、麒麟ビール(株)、(株)工藤パン、月桂冠(株)、サッポロビール(株)、サントリー(株)、宝酒造(株)、(株)ニチレイフーズ、日清オイリオグループ(株)、日清フーズ(株)、(株)ミツカンドライ
	日用品	エステー化学(株)、花王(株)、(株)カネボウ化粧品、小林製薬(株)、サンスター(株)、(株)資生堂、プロクター・アンド・ギャンブル・ファーマー・イースト・インク、ユニリーバ・ジャパン(株)、ライオン(株)
データ・IT		(株)ジェフネット、(株)野村総合研究所（ビズマート）、(株)ファイネット、(株)プラネット、(財)流通システム開発センター、アジェントリックス（旧ワールドワイド・リテイル・エクステンジ）
運営・技術支援企業		(株)インテック、(株)サイバーリンクス、日本アイ・ビー・エム(株)、日本オラクル(株)、日本ベリサイン(株)、富士通(株)、マイクロソフト(株)

また、本実証実験は以下の体制で推進した。実験参加企業は、WG（ワーキング・グループ）や非常設のミーティングに参画された。また、日本GCI推進協議会（GCI ジャパン）と連携して実証実験を推進した。

図表 1-5 実証実験の実施体制



1-3 実証実験概要スケジュール

本実証実験は7月末より開始され、12月から2月まで実証実験を実施し、3月末までに実証実験評価、及び取りまとめを行った。

図表 1-6 平成17年度実証実験マスタスケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実験計画策定									
実験参加者募集									
実験システム設計・開発・テスト／実験準備									
実証実験実施									
実証実験評価、とりまとめ、報告									

★キックオフ・ミーティング

食品メーカー登録

食品卸登録

日雑メーカー登録

日雑卸登録

小売受領・検証

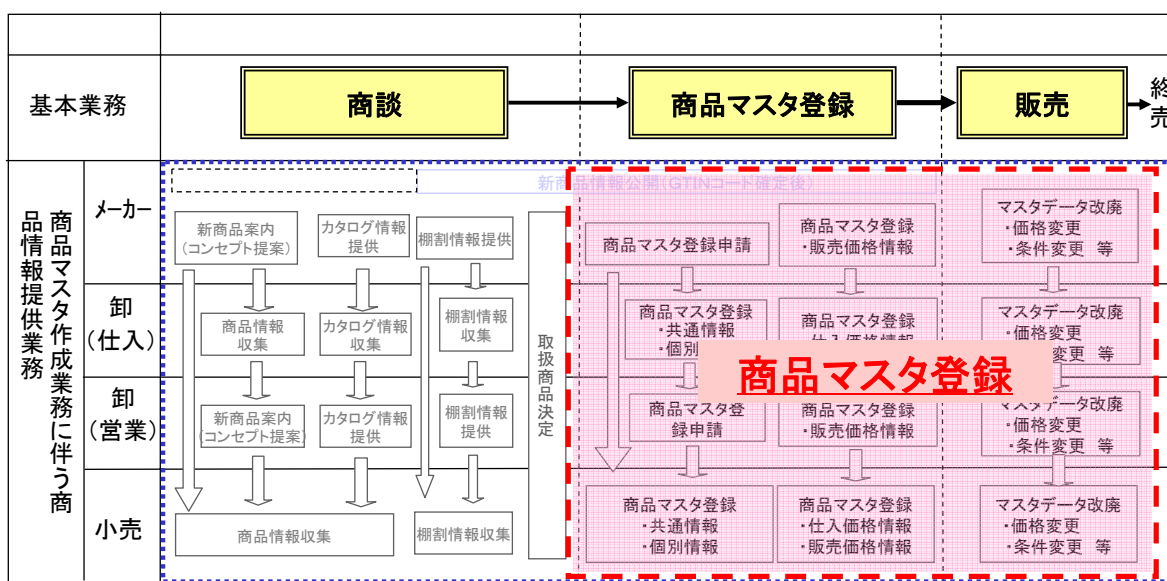
★最終報告

2. 実証実験内容と実施方法

2-1 本実証実験の対象業務

本実証実験では、小売業に対する“商品マスタ登録”業務を対象とする。その際、メーカーから卸売業へ商品マスタデータを提供し、次に卸売業から小売業へ商品マスタデータを提供する業務を対象とする。

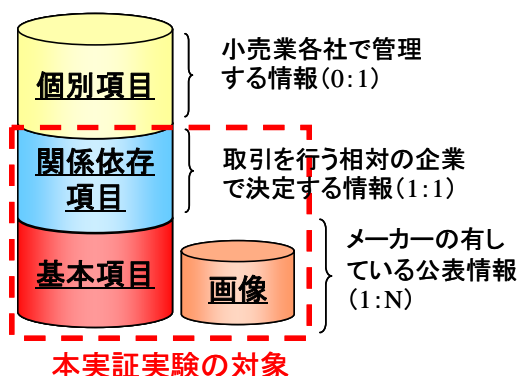
図表 2-1 実証実験の対象業務



2-2 本実証実験で対象とする商品情報

本実証実験で対象となる情報項目は、「基本項目」「関係依存項目」「画像情報」の3つとする。また、「個別項目」は本実証実験の対象外とする。

図表 2-2 小売業における商品マスタ項目と実験対象



＜基本項目について＞

- 広く公表される商品の基本情報
- メーカーと小売・卸の関係は、1 対 N である
- 原則として、メーカーの入力した情報を、卸、小売はそのまま利用する（卸の書き換えは原則として発生しない）

＜関係依存項目について＞

- 商談等を経て、取扱商品決定後に相対で決められる取引内容・条件等の情報
- データ項目定義が複数企業間で標準化されている情報
- メーカー・卸と小売の関係は、1 対 1 である
- どの項目をデータ同期化するか、どちらが入力するかは取引先間のビジネス条件として設定する

＜画像情報について＞

- 商品の画像情報（棚割商品単品画像）
 - 広く公表される商品情報
 - メーカーと小売・卸の関係は、1 対 N である
- ※棚割画像以外の画像情報は本実証実験の対象外とする

＜個別項目について＞ ※本実証実験では対象外

- 本事象実験では対象外とする
- 小売業各社が、事業戦略上必要となる情報。固有の業務運用や分析のために使用する情報
- データ項目定義が企業ごとに異なる情報

本実証実験で対象とする商品情報の範囲は、来春用に 2005 年 12 月以降、新たに商品マスタに登録する商品情報のみとする。具体的には、新商品、リニューアル品、終売品が対象とする。

＜加工食品の場合の実験対象商品＞

- メーカー発表日が、1 月 1 日～1 月 31 日までの新商品
- ファイネット FDB 登録日が、1 月 1 日～1 月 31 日までのリニューアル品・終売品

＜日用雑貨品の場合の実験対象商品＞

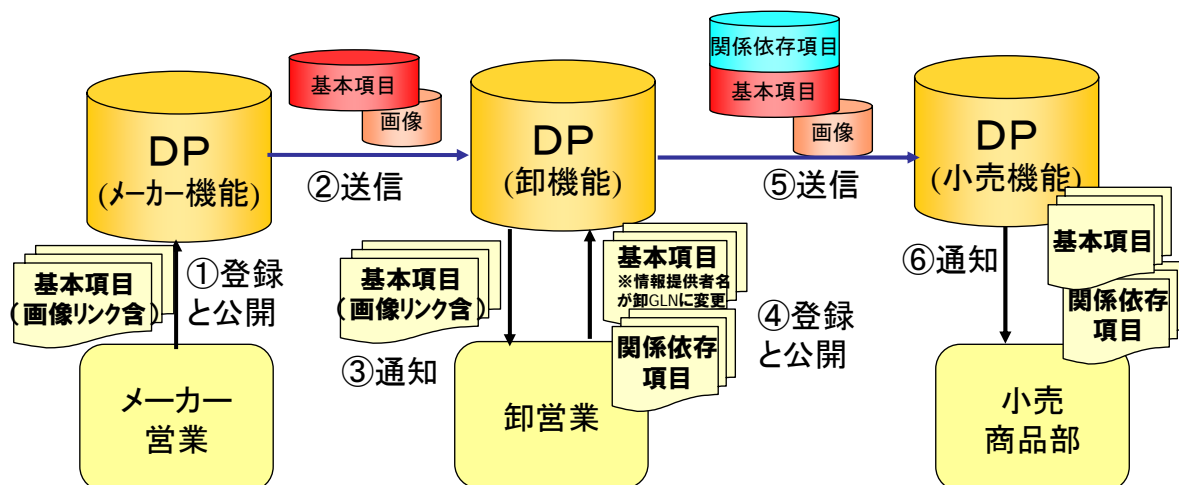
- メーカー発表日が、12 月 1 日～1 月 31 日までの新商品
- プラネット登録日が、1 月 1 日～1 月 31 日までのリニューアル品・終売品

また、これらの商品情報は、実業務で登録されるデータと、実験システムに登録されるデータを比較検証するために、原則、本番データを登録する。

2-3 実証実験時の業務プロセス概要

本実証実験では、メーカーから卸へ、実験用に規定した基本項目が送信される業務プロセスおよび、卸から小売への基本項目・関係依存項目が送信される業務プロセスの2つのプロセスがある。これら2つの業務プロセスによって、小売へマスタデータが送信される。

図表 2-3 マスタデータ同期化のイメージ図



メーカー卸間では、小売業の「商品マスタ登録」に伴う「基本項目」「画像情報（画像リンク情報のみ）」のデータ同期化を対象とする。ただし、メーカー卸間での関係依存項目の同期化は、卸同士でのデータ項目整理が進んでいない現状を踏まえ、本実証実験では対象外とする。また、メーカー小売間についても、本実証実験では対象外とする。

卸小売間では、「基本項目」「関係依存項目」「画像情報（画像リンク情報のみ）」のデータ同期化を対象とする。

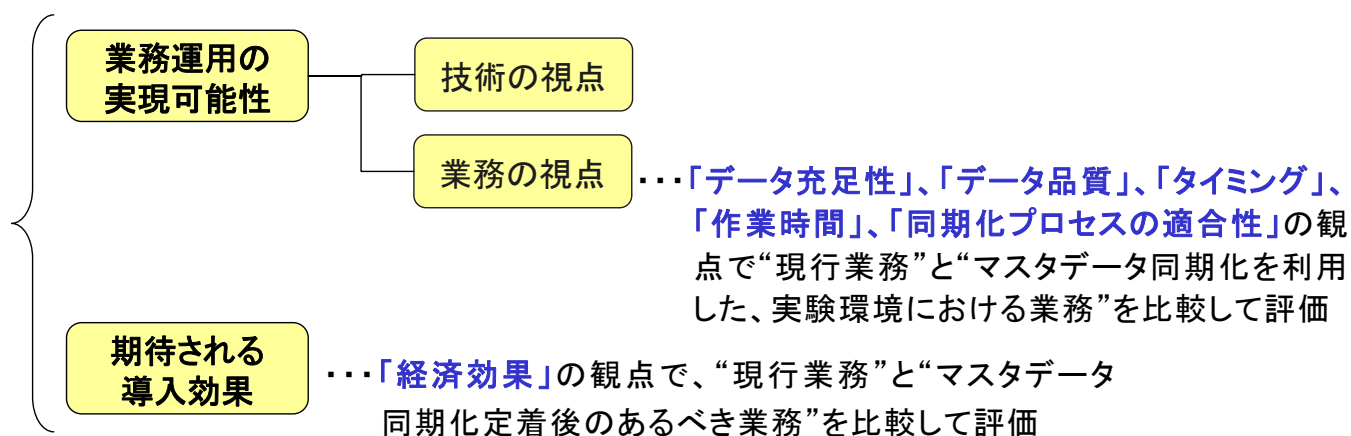
マスタデータは階層ごとに整理して、データの送り出し側も、受け取り側もデータを階層別に発信、あるいは階層別に受信することとする。階層は4階層（単品、パック、ケース、パレット）を想定する。

本実証実験ではマスタ登録のうち、以下の業務イベントを対象とする。なお、実証実験の実施期間中に自然発生したものだけを対象として検証を行う。

- 新規取扱商品マスタ登録
- 既存取扱商品のマスタ変更
- メーカー製造中止になった場合の商品マスタの削除（メーカー・卸間のみで検証）

2-4 実証実験における検証内容と検証方法

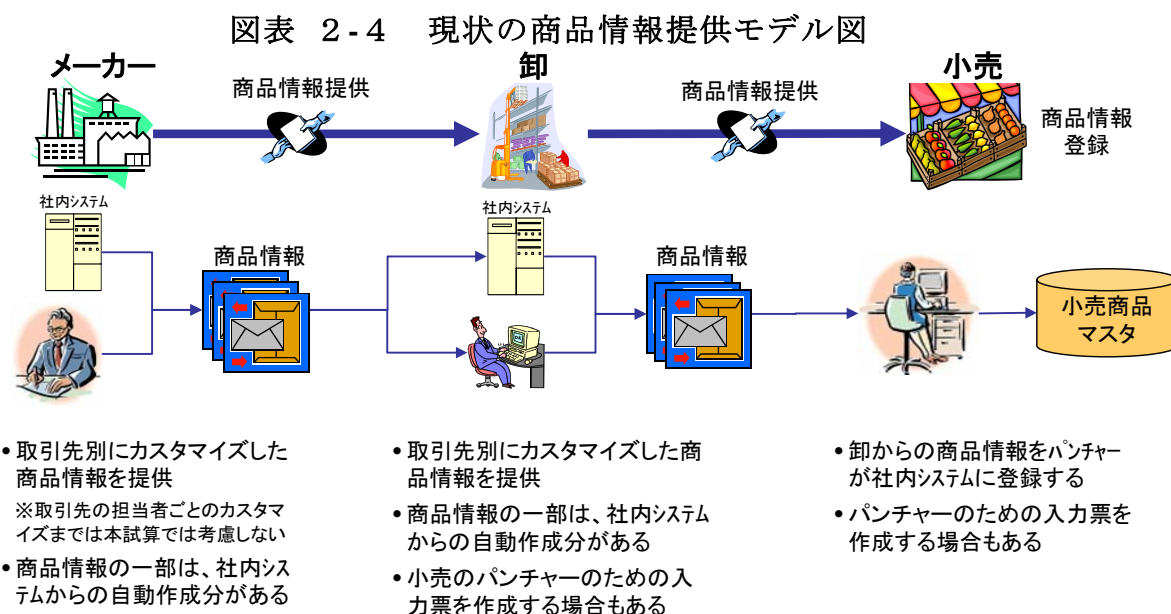
本実証実験では、「業務運用の実現可能性」および「期待される導入効果」について、検証する。「業務運用の実現可能性」は、「技術の視点」と「業務の視点」の2つの視点から検証を行う。具体的な検証項目としては、「データ充足性」、「データ品質」、「タイミング」、「作業時間」、「同期化プロセスの適合性」、「経済効果」の6項目となる。



なお、本実証実験では、現状およびマスタデータ同期化実現後の商品情報の提供が、以下のようなモデルで行われていると想定する。

＜現状の商品情報提供モデル＞

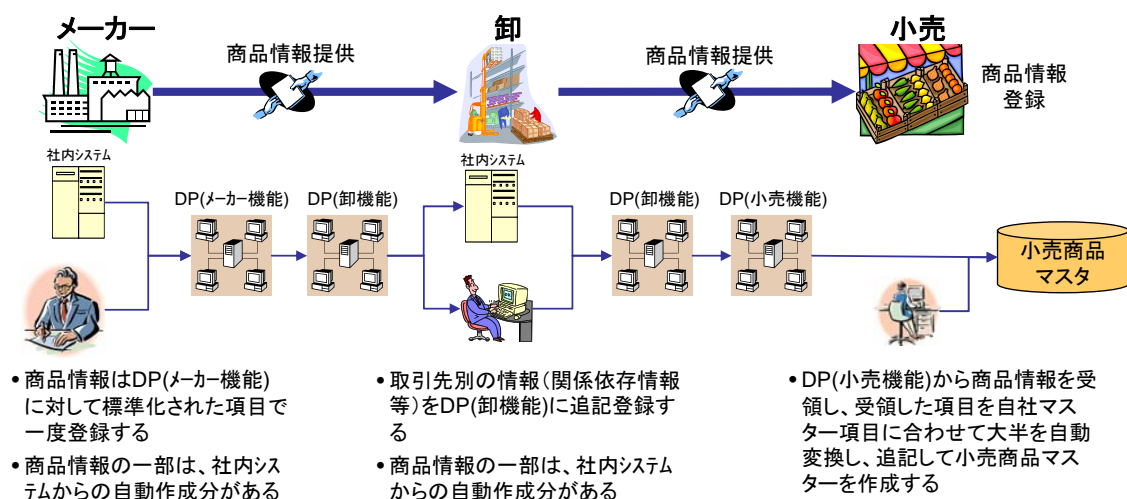
現状において、小売の商品マスタを作成するまでの製配販の商品情報作成・提供は、下記のようなプロセスで行われていると想定する。



＜マスターデータ同期化実現後の商品情報提供モデル＞

マスターデータ同期化実現後、小売の商品マスタを作成するまでの製配販の商品情報作成・提供は、下記のようなモデルで行われると想定する。

図表 2-5 マスターデータ同期化実現後の商品情報提供モデル図



2-4-1 マスタ項目に関する検証

(1) データ充足性の検証方法

＜検証の目的＞

実験時に設定したマスタ項目に対して、実際に使用した商品マスタ項目の過不足を明らかにし、本実験で設定したマスタ項目で、マスターデータ同期化本番時の業務運用が、実現可能かどうかを測ることを目的とする。

＜検証の概要＞

実証実験商品マスタ項目のうち、どの項目が実際に実験で使用されているのか。また、どの項目が現状の自社マスタ保有項目と一致するのかを検証する。

- 検証者**
 メーカー・卸・小売の各実務担当者（マスターデータ同期化実証実験参加申し込み時にご登録頂いた、各社窓口ご担当者）が検証を行う。
- 検証対象**
 メーカーの場合の検証項目は、「自社で記入した基本項目」とする。
 卸の場合の検証項目は、「メーカーからの基本情報・関係依存情報＋ α で記入した項目」とする。
 小売の場合の検証項目は、「全項目」とする。
- 検証タイミング**
 各社が実証実験期間内に検証を行う。

- 検証方法

製配販3層間で同期化された実データ（CIN（CatalogueItemNotification）メッセージ）をベースに、検証を行う。

「商品マスタ項目充足性チェックシート」を使って検証を行う。

具体的には、「実証実験商品マスタ項目」と「実験使用項目」「自社マスタ保有項目」の比較を行う。

（２） データ品質の検証方法

＜検証の目的＞

実験時に設定した各マスタ項目に対して、本番業務で利用できるデータ内容であるか、本番利用できなければ、どのような点が問題かを抽出することを目的とする。

＜検証の概要＞

実証実験中に発生した課題から、マスタ項目に関連する課題を抽出する。

- 検証者

マスタデータ同期化実証実験課題シートの必須項目については、メーカー・卸・小売の各現場担当者が検証を行う。

マスタデータ同期化実証実験課題シートのオプション項目については、現場担当者が記入した必須項目を確認し、各社の実務担当者が検証を行う。

- 検証対象

本実証実験で検証したアイテムを検証の対象とする。

- 検証タイミング

実証実験期間中、随時検証を行う。

- 検証方法

「マスタデータ同期化実証実験課題シート」を使って、検証を行う。

2-4-2 業務プロセスに関する検証

（１） 同期化プロセスの適合性の検証

＜検証の目的＞

実験時に設定したマスタデータ同期化プロセスに対して、本番のマスタ登録業務として利用できるか、本番利用できなければ、どのような点が問題かを抽出することを目的とする。

＜検証の概要＞

実証実験中に発生した課題から、同期化プロセスに関連する課題を抽出する。

- 検証者
メーカー・卸・小売の各実務担当者が、検証を行う。
検証シートの必須・オプション共に実務担当者が検証を行う。
- 検証対象
検証対象は、本実証実験で検証したアイテムとする。
- 検証タイミング
実証実験中に発生した現象・問題について、随時書き込む。
- 検証方法
「マスタデータ同期化実証実験課題シート」を使って、検証を行う。
実験時に新たに導入したプロセスに対して、検証を行う。

（２） タイミングの検証

＜検証の目的＞

メーカーがデータプール（メーカー機能）に対して、メーカー発表日に基本情報を登録するタイミングでも、小売業のマスタ登録締切日までにデータ提供が間に合うか、を検証することを目的とする。

これが検証できることにより、メーカーが１対多通知で公開登録できることが確認できることとなる。

＜検証の概要＞

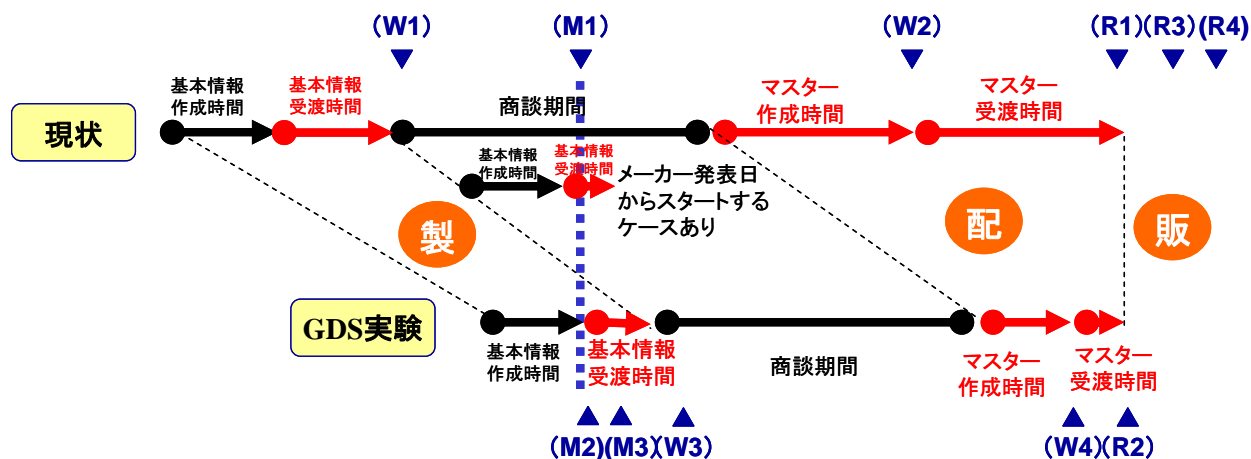
メーカー、卸、小売でタイミング検証の調査ポイントを設定する。メーカー・卸・小売は、メーカーが設定した商品について、各調査ポイントを通った日付を記録する。

- 検証者
メーカー・卸・小売の各現場担当者が検証を行う。
- 検証対象
検証対象は、本実証実験で検証したアイテムとする。具体的なアイテムおよびアイテム数は、メーカーが決定する。（変更・終売を考慮したうえで、アイテムの決定を行う。アイテム数は、５アイテム以上を推奨。）
検証は、新規・変更・終売の商品について行う。ただし、変更・終売は自然発生したものについて検証する。（作為的に変更・終売を行わない。）
- 検証タイミング
検証対象とするアイテムのメーカー発表日以降、本番業務と並行して検証を行う。

- 検証方法

「タイミング検証シート」を使って、検証を行う。タイミング検証シートは、メーカー用、卸用、小売用が用意されているので、それぞれの立場に応じて利用する。

図表 2-6 タイミング検証の調査ポイント図



- (M1) : メーカー発表日
- (M2) : 業界DP登録・公開タイミング(実験時)
- (M3) : 実験システム登録・公開タイミング(実験時)
- (W1) : メーカーから情報が届いたタイミング(現状業務)
- (W2) : 小売に送付する情報が揃ったタイミング(現状業務)
- (W3) : メーカーからの情報を最初に通知確認したタイミング(実験時)
- (W4) : 小売に送付する情報が揃ったタイミング(実験時)
- (R1) : 最初にマスタ登録用の紙・データが渡ってきたタイミング(現状業務)
- (R2) : 最初にマスターデータの通知確認したタイミング(実験時)
- (R3) : データ登録締切日(現状業務)
- (R4) : 店頭販売開始日(現状業務)

(3) 作業時間の検証方法

＜検証の目的＞

商品情報の新規登録・変更登録・終売登録の3つのパターンについて、現状業務、マスタデータ同期化本番想定時業務を比較し、マスタデータ同期化実現後にどの程度作業時間が減少（もしくは増加）するのか、検証することを目的とする。

なお、マスタデータ同期化本番想定時の作業時間は、各社の情報インフラが本番時にどの程度整っているかにより、大きく変わると考えられる。そこで現状の社内システムをベースとした「本番時作業時間（現状社内システム想定）」と、マスタデータ同期化への対応を今後進めていったと想

定したときの「本番時作業時間（２００８年社内システム想定）」の２種類を実験参加者に聞くことにする。

（※２００８年は将来を具体的にイメージするための目安である。）

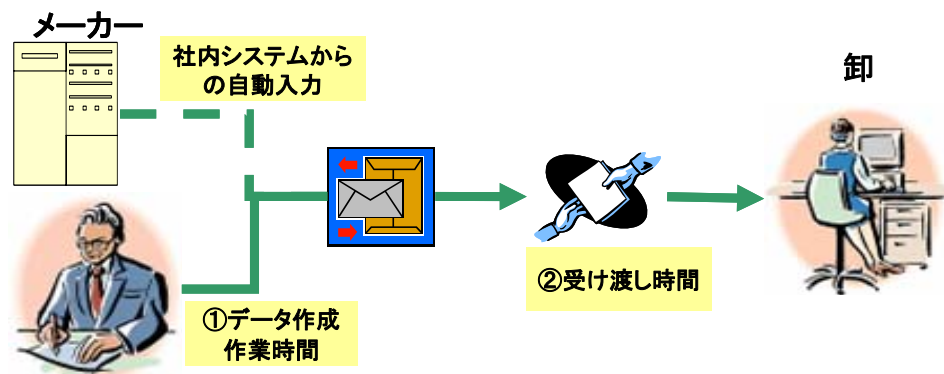
< 検証の概要 >

- 検証者
メーカー・卸・小売の各現場担当者が検証を行う。
- 検証対象
検証対象は、本実証実験で検証したアイテムとする。
定番商品のマスタメンテナンスを対象とする。なお、特売情報や販促系のマスタメンテナンスは対象外とする。
メーカー・卸は取引先別、小売は食品・日雑別に検証を行う。
- 検証タイミング
検証タイミングは、各社で検討し決定する。
- 検証方法
「作業時間検証シート」を使って、検証を行う。
作業時間検証シートは、メーカー用（取引先卸別）、卸用（取引先小売別）、小売用（食品・日雑）が用意されているので、それぞれの立場に応じて利用する。

< メーカーの作業時間検証の定義 >

- 現状の作業時間について
現状作業時間は、１登録先・１アイテム※あたりのデータ作成作業時間＋受け渡し時間を記入する。
※１アイテムとは、全商品階層をまとめたものとする。
データ作成作業時間は、卸に渡すためのデータを作成する時間とする。ただし、社内システムとの連携で、入力作業が発生しない（社内システムからの自動入力）ものについては、データ作成作業時間の対象外とする。
なお、作業時間の参考として、登録項目数についても記入する。登録項目数は、卸に渡すデータを作成するときの１アイテムあたりの登録項目数とする。（社内システムからの自動入力分も含める。）

図表 2-7 現状の商品情報提供モデル図（メーカー）



$$\text{現状作業時間} = \text{①データ作成作業時間} + \text{②受け渡し時間}$$

- なお、メーカーが卸に商品情報を受け渡すときは、1 回につき複数アイテム分、受け渡す場合があると考えられる。そのため、1 回の受け渡しで平均何アイテム渡しているかを念頭に置いた上で、1 アイテム・1 登録先あたりの受け渡し時間を算出する。

（例）平均受け渡し時間が 30 分、1 回の受け渡しで平均 3 アイテム分のデータを渡している場合の「②受け渡し時間」

図表 2-8 商品情報の受け渡し時間（メーカー⇒卸）

$$\text{②受け渡し時間} = 30\text{分} \div 3\text{アイテム} = 10\text{分/アイテム}$$



- 実験時作業時間について

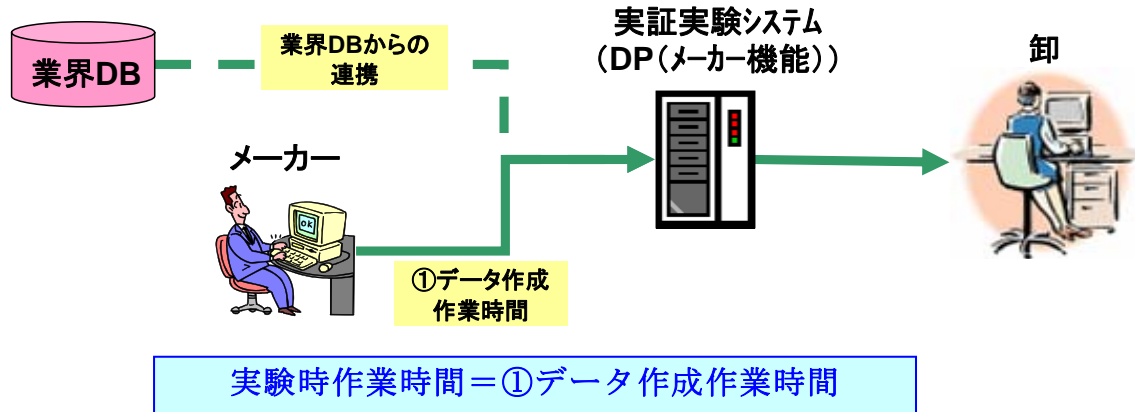
実験時作業時間は、1 登録先・1 アイテムあたりのデータ作成作業時間を記入する。

データ作成作業時間は、卸に渡すためのデータを作成する時間とする。ただし、入力作業が発生しない業界 DB からの連携項目等については、データ作成作業時間の対象外とする。

なお、作業時間の参考として、登録項目数についても記入する。登

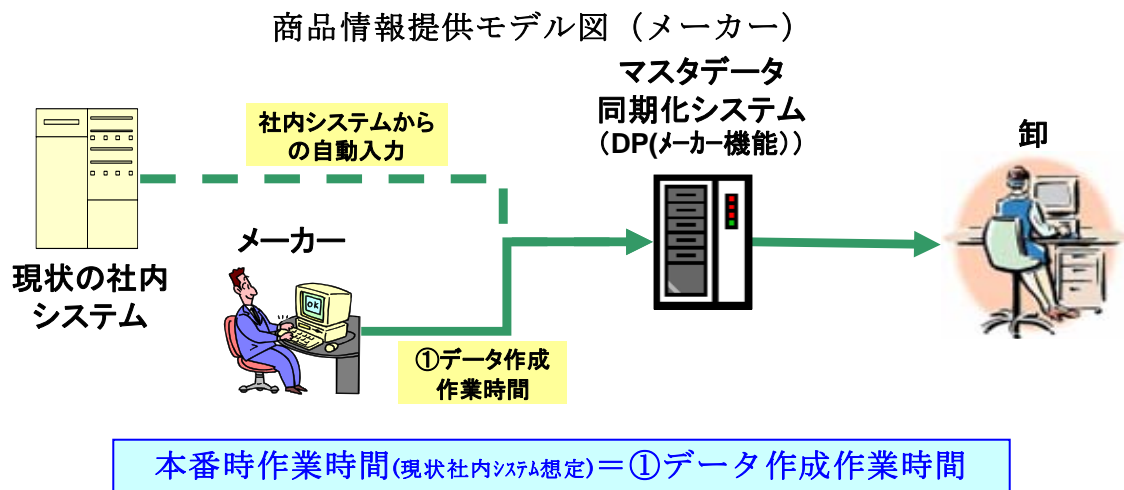
録項目数は、卸に渡すデータを作成するときの 1 アイテムあたりの登録項目数とする。(業界 DB からの連携による自動入力分も含める。)

図表 2-9 実証実験時の商品情報提供モデル図 (メーカー)



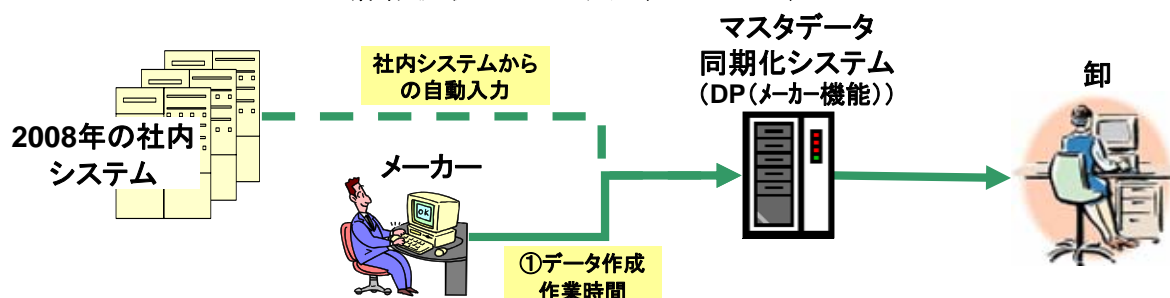
- 本番時作業時間 (現状の社内システムを想定) について
 マスタデータ同期化本番時の作業時間 (現状の社内システムを想定) は、ユーザーインターフェースの悪さや操作の不慣れの問題が解消されたと仮定した時の、1 登録先・1 アイテムあたりのデータ作成作業時間を記入する。また、社内システムは、現状の社内システムの状態を想定する。
 データ作成作業時間は、卸に渡すためのデータを作成する時間とする。ただし、社内システムとの連携で、入力作業が発生しないもの (社内システムからの自動入力など) については、データ作成作業時間の対象外とする。
 情報提供先の卸は、全てマスタデータ同期化に対応していると仮定する。

図表 2-10 マスタデータ同期化本番時 (現状社内システム想定) の



- 本番時作業時間（2008年の社内システムを想定）について
 マスタデータ同期化本番時の作業時間（2008年の社内システムを想定）は、ユーザーインターフェースの悪さや操作の不慣れの問題が解消されたと仮定した時の、1登録先・1アイテム※あたりのデータ作成作業時間を記入する。また、社内システムは、各社の2008年における社内システムを想定する。
 データ作成作業時間は、卸に渡すためのデータを作成する時間とする。ただし、社内システムとの連携で、入力作業が発生しないもの（社内システムからの自動入力など）については、データ作成作業時間の対象外とする。
 情報提供先の卸は、全てマスタデータ同期化に対応していると仮定する。

図表 2-1 1 マスタデータ同期化本番時（2008年の社内システム想定）の商品情報提供モデル図（メーカー）

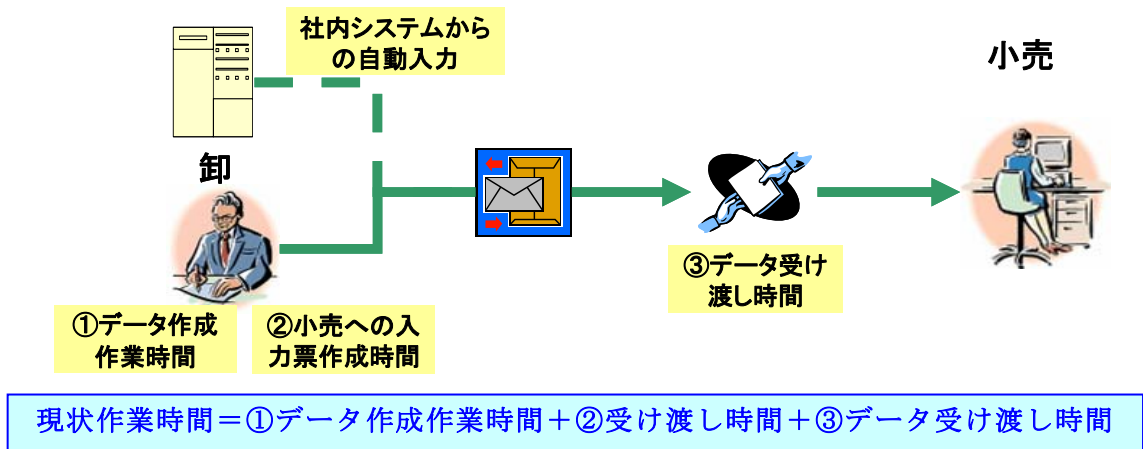


本番時作業時間(2008年社内システム想定)＝①データ作成作業時間

<卸の作業時間検証の定義>

- 現状の作業時間について
 現状作業時間は、1登録先・1アイテム※あたりの“データ作成作業時間＋小売への入力票の作成時間＋受け渡し時間”を記入する。
 ※1アイテムとは、全商品階層をまとめたものとする。
 データ作成作業時間は、小売のパンチャーに渡す入力票の作成時間を除いた、小売に渡すためのデータを作成する時間である。ただし、社内システムとの連携で、入力作業が発生しない（社内システムからの自動入力）ものについては、データ作成作業時間の対象外とする。
 なお、作業時間の参考として、登録項目数についても記入する。登録項目数は、小売に渡すデータを作成するときの1アイテムあたりの登録項目数とする。（社内システムからの自動入力分も含める。）

図表 2-1 2 現状の商品情報提供モデル図（卸）



- なお、卸が小売に商品情報を受け渡すときは、1 回につき複数アイテム分、受け渡す場合があると考えられる。そのため、1 回の受け渡しで平均何アイテム渡しているかを念頭に置いた上で、1 アイテム・1 登録先あたりの受け渡し時間を算出する。
(例) 平均受け渡し時間が 30 分、1 回の受け渡しで平均 3 アイテム分のデータを渡している場合の「③受け渡し時間」

図表 2-1 3 商品情報の受け渡し時間（卸⇒小売）

$$\text{③受け渡し時間} = 30\text{分} \div 3\text{アイテム} = 10\text{分/アイテム}$$

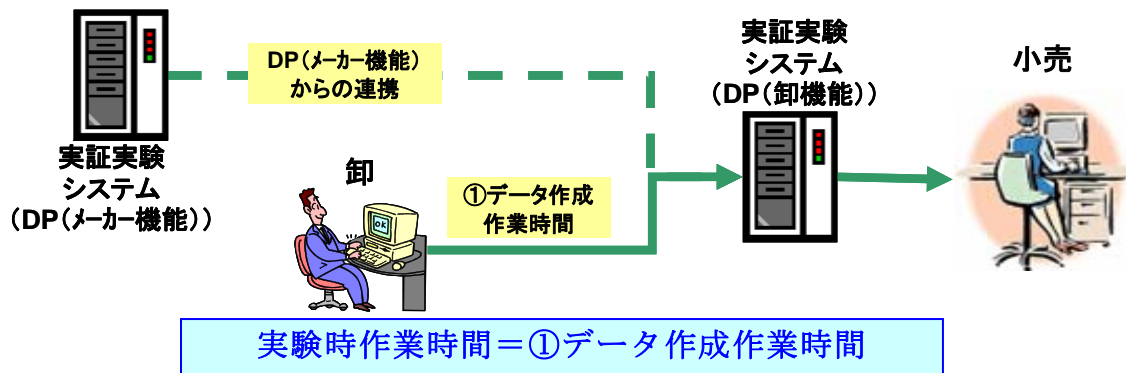


- 実験時作業時間について
実験時作業時間は、1 登録先・1 アイテムあたりのデータ作成作業時間を記入する。
データ作成作業時間は、小売に渡すためのデータを作成する時間とする。ただし、入力作業が発生しない DP（卸機能）からの連携項目については、データ作成作業時間の対象外とする。
また、小売のパンチャーに渡す入力票は、マスターデータ同期化実現

後には存在しないと思われるので、この作業についてもデータ作成作業時間の対象外とする。

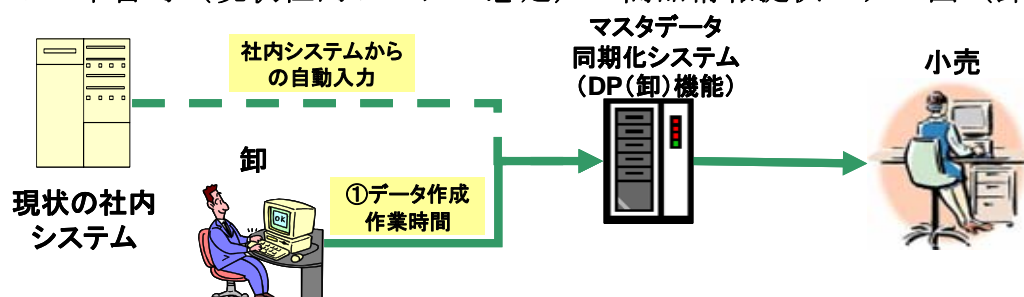
なお、作業時間の参考として、登録項目数についても記入する。登録項目数は、小売に渡すデータを作成するときの 1 アイテムあたりの登録項目数とする。（関係依存項目等の入力した項目数）

図表 2-1 4 実証実験時の商品情報提供モデル図（卸）



- 本番時作業時間（現状の社内システムを想定）について
マスタデータ同期化本番時の作業時間（現状の社内システムを想定）は、ユーザーインターフェースの悪さや操作の不慣れの問題が解消されたと仮定した時の、1 登録先・1 アイテムあたりのデータ作成作業時間を記入する。また、社内システムは、現状の社内システムの状態を想定する。
データ作成作業時間は、小売に渡すためのデータを作成する時間とする。ただし、社内システムとの連携で、入力作業が発生しないもの（社内システムからの自動入力など）については、データ作成作業時間の対象外とする。
また、小売のパンチャーに渡す入力票は、マスタデータ同期化実現後には存在しないと思われるので、この作業についてもデータ作成作業時間の対象外とする。
情報提供先の小売は、全てマスタデータ同期化に対応していると仮定する。

図表 2-15 本番時（現状社内システム想定）の商品情報提供モデル図（卸）



本番時作業時間(現状社内システム想定)＝①データ作成作業時間

- 本番時作業時間（2008年の社内システムを想定）について

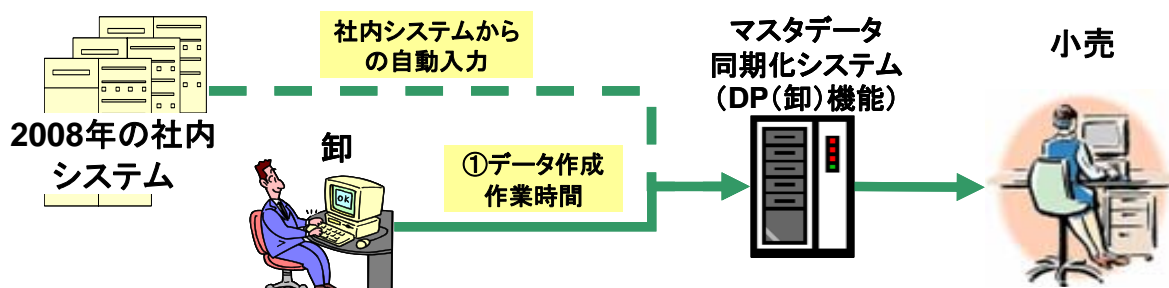
マスターデータ同期化本番時の作業時間（2008年の社内システムを想定）は、ユーザーインターフェースの悪さや操作の不慣れの問題が解消されたと仮定した時の、1登録先・1アイテム※あたりのデータ作成作業時間を記入する。また、社内システムは、各社の2008年における社内システムを想定する。

データ作成作業時間は、小売に渡すためのデータを作成する時間とする。ただし、社内システムとの連携で、入力作業が発生しないもの（社内システムからの自動入力など）については、データ作成作業時間の対象外とする。

また、小売のパンチャーに渡す入力票は、マスターデータ同期化実現後には存在しないと思われるので、この作業についてもデータ作成作業時間の対象外とする。

情報提供先の小売は、全てマスターデータ同期化に対応していると仮定する。

図表 2-16 マスターデータ同期化本番時（2008年の社内システム想定）の商品情報提供モデル図（卸）



本番時作業時間(2008年の社内システム想定)＝①データ作成作業時間

＜小売の作業時間検証の定義＞

- 現状の作業時間について

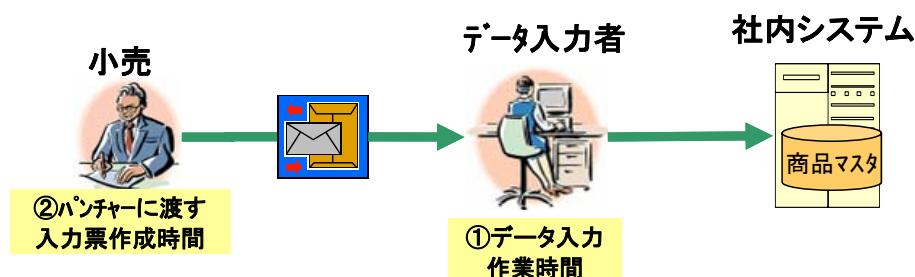
現状作業時間は、1 アイテム※あたりの“パンチャーのデータ入力作業時間＋パンチャーに渡す入力票作成時間”を記入する。

※1 アイテムとは、全商品階層をまとめたものとする。

パンチャーのデータ入力作業時間とは、入力票を基に小売の社内商品マスタにデータを作成する時間。ただし、社内システムとの連携で、入力作業が発生しない（社内システムからの自動入力）ものについては、データ作成作業時間の対象外とする。

なお、作業時間の参考として、登録項目数についても記入する。登録項目数は、1 アイテムあたりの登録項目数とする。（社内システムからの自動入力分も含める。）

図表 2-17 現状の商品情報受領モデル図（小売）



現状作業時間＝①データ入力作業時間＋②パンチャーに渡す入力票作成時間

- 実験時作業時間について

実験時作業時間は、1 アイテムあたりの“データ取得作業時間＋パンチャーのデータ入力作業時間”を記入する。

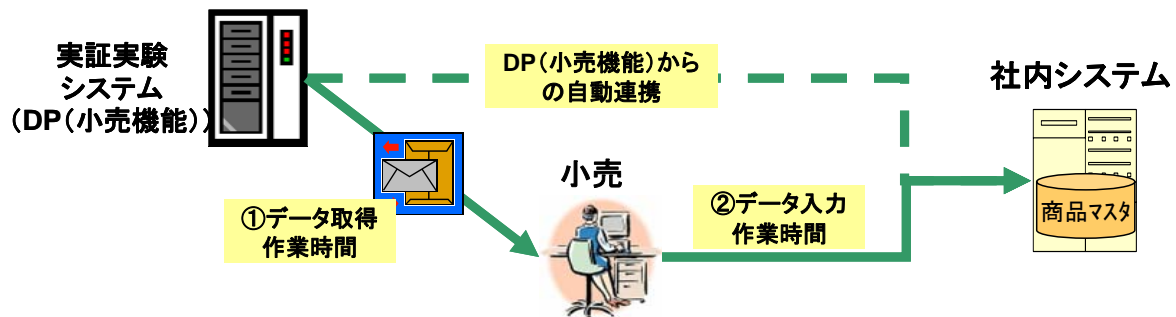
DP（小売機能）から取得するデータは、複数アイテムのデータになると考えられる。従って、『1 回あたりのデータ取得時間÷データに含まれる平均アイテム数』で、1 アイテムあたりのデータ取得時間を算出する。

DP（小売機能）との自動連携がある場合、自動連携分はデータ入力作業時間の対象外とする。

また、小売様のパンチャーに渡す入力票は、マスタデータ同期化実現後には存在しないと思われるので、データ作成作業時間に含めない。

なお、作業時間の参考として、登録項目数についても記入する。登録項目数は、1 アイテムあたりの登録項目数とする。（社内システムからの自動入力分も含める。）

図表 2-18 実証実験時の商品情報受領モデル図（小売）



$$\text{実験時作業時間} = \text{①データ取得作業時間} + \text{②データ入力作業時間}$$

- 本番時作業時間（現状の社内システムを想定）について

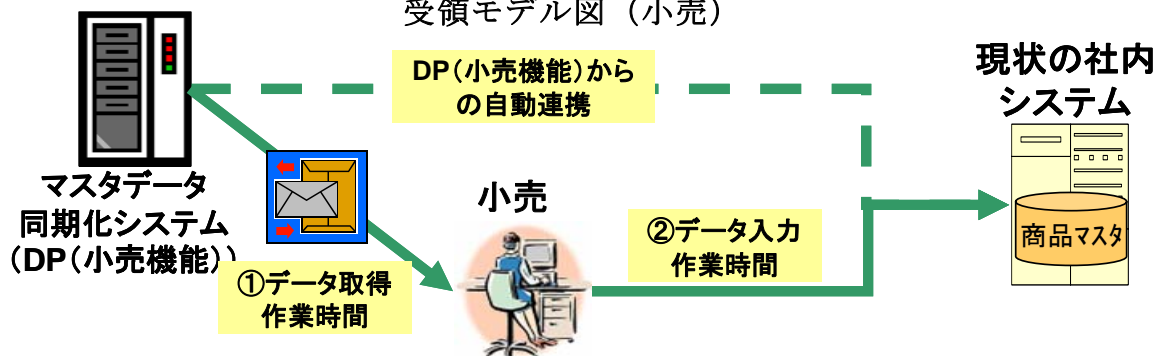
マスタデータ同期化本番時の作業時間（現状の社内システムを想定）は、ユーザーインターフェースの悪さや操作の不慣れの問題が解消されたと仮定した時の、1アイテムあたりの“データ取得作業時間＋データ入力作業時間”を記入する。また、社内システムは、現状の社内システムの状態を想定する。

DP（小売機能）からデータを取得するとき、複数アイテムのデータになると考えられる。従って、『1回あたりのデータ取得時間÷データに含まれる平均アイテム数』で、1アイテムあたりのデータ取得時間を算出する。

DP（小売機能）との自動連携がある場合、自動連携分はデータ入力作業時間の対象外とする。

また、小売のパンチャーに渡す入力票は、マスタデータ同期化実現後には存在しないと思われるので、データ入力作業時間の対象外とする。

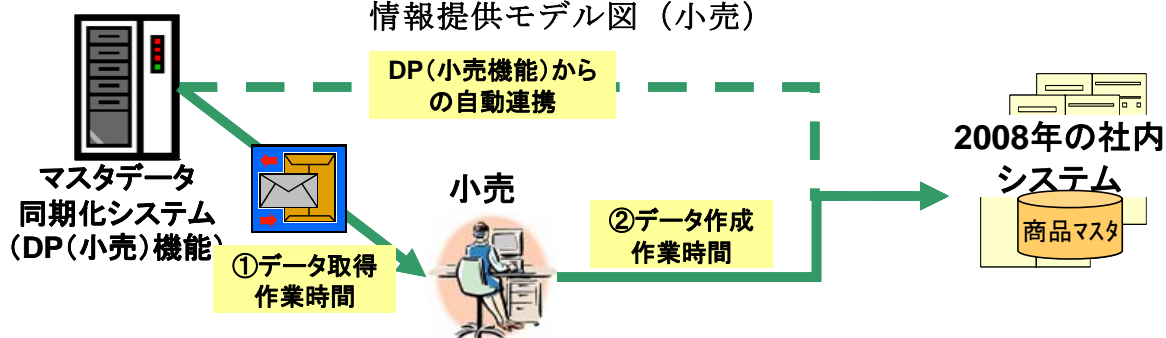
図表 2-19 マスタデータ同期化本番時（現状社内システム想定）の商品情報受領モデル図（小売）



$$\text{本番時作業時間(現状社内システム想定)} = \text{①データ作成作業時間} + \text{②データ入力作業時間}$$

- 本番時作業時間（2008年の社内システムを想定）について
 マスタデータ同期化本番時の作業時間（2008年の社内システムを想定）は、ユーザーインターフェースの悪さや操作の不慣れの問題が解消されたと仮定した時の、1アイテムあたりの“データ取得作業時間＋データ入力作業時間”を記入する。また、社内システムは、現状の社内システムの状態を想定する。
 DP（小売機能）からデータを取得するとき、複数アイテムのデータになると考えられる。従って、『1回あたりのデータ取得時間÷データに含まれる平均アイテム数』で、1アイテムあたりのデータ取得時間を算出する。
 DP（小売機能）との自動連携がある場合、自動連携分はデータ入力作業時間の対象外とする。
 また、小売のパンチャーに渡す入力票は、マスタデータ同期化実現後には存在しないと思われるので、データ入力作業時間の対象外とする。

図表 2-20 マスタデータ同期化本番時（2008年の社内システム想定）の商品情報提供モデル図（小売）



本番時作業時間(2008年の社内システム想定)＝①データ作成作業時間＋②データ入力作業時間

（４） 経済効果の検証方法

＜検証の目的＞

本検証では、商品情報の新規登録・変更登録・終売登録の3つのパターンについて、現状業務の作業時間とマスタデータ同期化実現時のマスタデータのメンテナンスに関わる作業時間の差分を算出し、単位時間あたりの人件費を掛けることによって、マスタデータ同期化実現時の経済効果を試算することを目的とする。

< 検証の概要 >

- 経済効果の試算方法

日雑・食品業界における経済効果は、メーカーの経済効果・卸の経済効果・小売の経済効果の合算によって算出する。

図表 2-2 1 経済効果の試算方法



- メーカー（日雑・食品）全体の経済効果

メーカー（日雑・食品）全体の経済効果は、下記の計算式を基に算出する。

図表 2-2 2 メーカーの経済効果計算式

$$\left(\underbrace{\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{②17アイテムあたりの登録先数} \\ \hline \end{array} \right)}_{\text{17アイテムあたりの現状の作業時間}} - \underbrace{\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{③17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)の作業時間} \\ \hline \end{array} \times 1 \right)}_{\text{17アイテムあたりの本番時の作業時間}} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{④日雑・食品の新規・変更・終売アイテム数(年間)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{⑤データ入力者時給} \\ \hline \end{array}$$

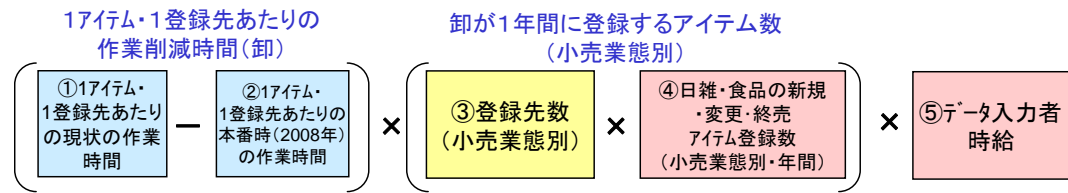
- 卸（日雑・食品）全体の経済効果

卸（日雑・食品）全体の経済効果は、下記の計算式を基に算出する。

なお、小売業態としては、GMS、SM、CVS、DgS、HC、ディスカウント、生協の7業態を想定する。

また、マスタデータ同期化利用対象となる小売企業は、年商50億円以上の小売に限定して試算した。これは、マスタデータ同期化導入による直接的な効果が見込める小売は、取扱商品数が多く、それなりの売上げ規模がある企業としたためである。

図表 2-23 卸の経済効果計算式



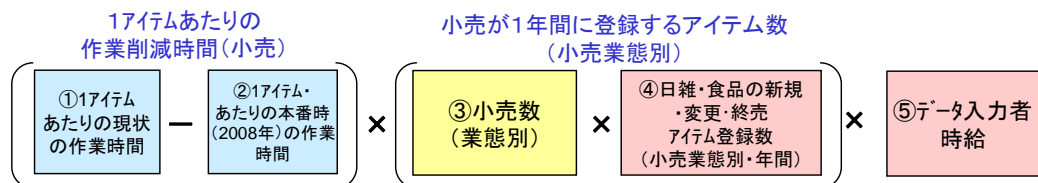
- 小売（日雑・食品の商品）全体の経済効果

小売（日雑・食品）全体の経済効果は、下記の計算式を基に算出する。

なお、小売業態としては、GMS、SM、CVS、DgS、HC、ディスカウント、生協の7業態を想定する。

また、マスタデータ同期化利用対象となる小売企業は、年商50億円以上の小売に限定して試算した。これは、マスタデータ同期化導入による直接的な効果が見込める小売は、取扱商品数が多く、それなりの売上げ規模がある企業としたためである。

図表 2-24 小売の経済効果計算式



2-4-3 技術に関する検証

技術的な観点での、検証項目一覧を以下に示す。

ID	タイトル
TEC-001	グローバルに準拠した商品マスタ同期化プロセス機能の検証
TEC-002	日本独自拡張項目を同期化マスタに追加し、同期化が行えることの検証
TEC-003	棚割商品単品画像データ同期化の検証
TEC-004	同期化データの公開制御が行えることの検証
TEC-005	商品階層データ同期化の検証
TEC-006	同期化マスタデータの更新差分管理機能の検証
TEC-007	Validationによる同期化データのクレンジング機能の検証
TEC-008	EDIINT AS2プロトコルを使用したデータプール間でデータ交換機能の検証

以降、それぞれの検証項目について、説明する。

(1) TEC-001 グローバルに準拠した商品マスタ同期化プロセス機能の検証

<検証・評価内容>

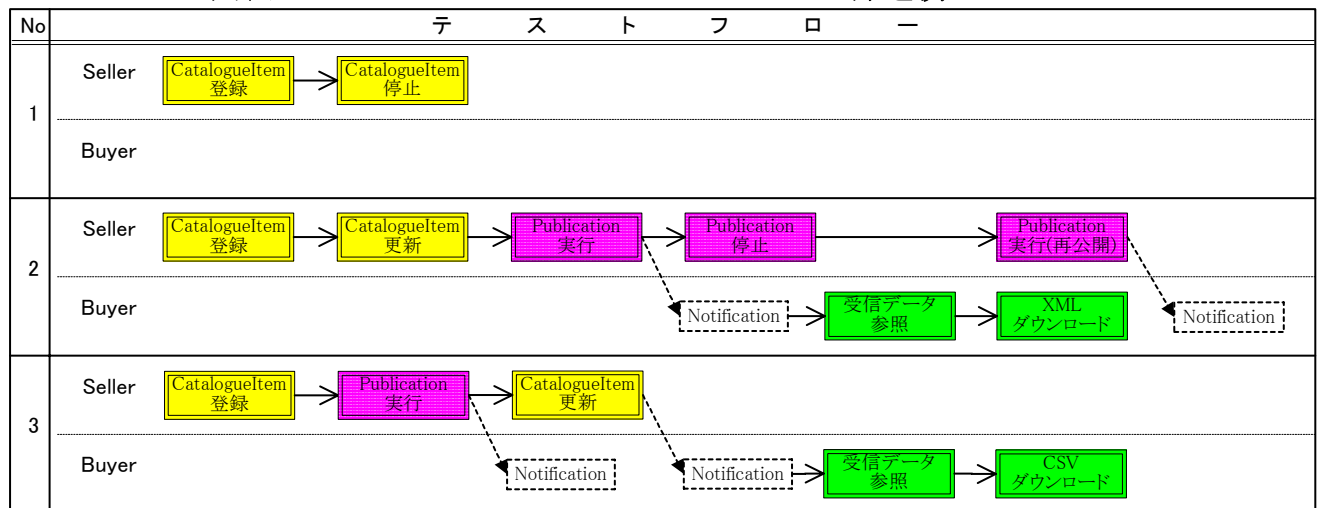
- テストシナリオに沿った同期化プロセスが正常に実行できること
- マッチング処理により商品マスタ情報が同期化されること

<検証・評価方法>

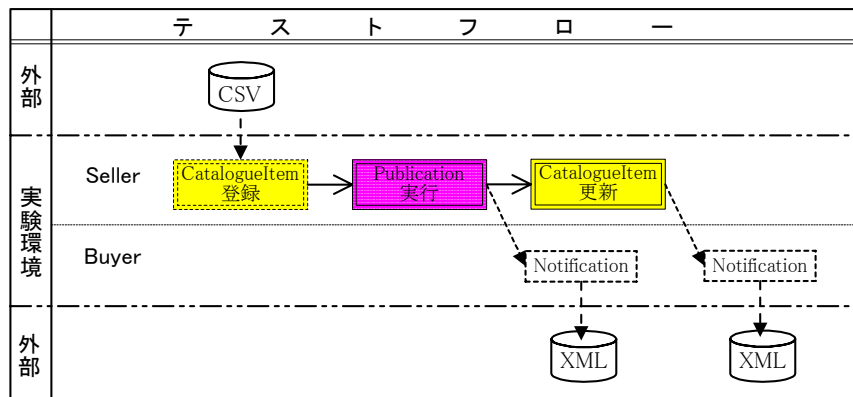
実証実験システム環境にて、想定した業務シナリオに沿って、GSMP 仕様にて定義されている以下のビジネスプロセスの動作検証を行った。

- Catalogue Item 登録
- Catalogue Item 更新
- Catalogue Item 停止
- Publication 実行
- Publication 停止
- Notification 受信

図表 2-25 WEBインターフェース内部連携



図表 2-26 ファイルインターフェース外部連携



(2) TEC-002 日本独自拡張項目を同期化マスタに追加し、同期化が行えることの検証

<検証・評価内容>

- 日本独自拡張項目を追加した商品マスタ情報が同期化できること
- テストシナリオに沿った同期化プロセスが正常に実行できること

<検証・評価方法>

実証実験システム環境にて、日本独自拡張項目を追加した商品マスタの登録が行えることを確認する。

TEC-001 の想定した業務シナリオに沿って、GSMP 仕様にて定義されているビジネスプロセスの動作検証を行う。

図表 2-27 日本独自拡張項目を追加した商品マススキーマ

SBDH	<sh:StandardBusinessDocumentHeader>
MSG	</sh:StandardBusinessDocumentHeader> <eanucc:message>
COMMAND	<command> <documentCommandOperand>
商品情報	<catalogueItem> <tradeItem>
	<tradeItemUnitDescriptor> BASE UNIT OR EACH </tradeItemUnitDescriptor>
	<tradeItemIdentification><gtin> 9999999999991 </gtin></tradeItemIdentification>
拡張項目 FMCGエクステンション	<tradeItemInformation> <tradingPartnerNeutralTradeItemInformation> </tradingPartnerNeutralTradeItemInformation>
	</tradeItemInformation> <extension> <fmcg:fMCGTradeItemExtension> </fmcg:fMCGTradeItemExtension>
棚割商品画像ファイル情報	<gdsn:multimediaTradeItemInformation> </gdsn:multimediaTradeItemInformation>
日本独自拡張項目	<jpnExtension:japanTradeItemExtension> <modifiedInformation> <itemManagerInformation>
	</jpnExtension:japanTradeItemExtension>
	</extension> </tradeItem> </catalogueItem> </documentCommandOperand> </command> </eanucc:message>

変更内容
アイテム管理者情報

(3) TEC-003 棚割商品単品画像データ同期化の検証

<検証・評価内容>

棚割商品単品画像データについて、同期化が出来ること。現段階ではグローバルでも画像に関する標準化されておらず実証実験ではフランスから Change Request を参考に、画像情報は Catalog Item の基本項目 (エクステンション:multimediaTradeItemInformation) を定義し、商品画像のリンク情報(URL)を同期化する。

図表 2-28 Trade Itemスキーマ階層の抜粋

スキーマ階層/項目名	日本語名
TradeItem	
tradeItemUnitDescriptor	アイテムユニット識別子
nextLowerLevelTradeItemInformation	次階層トレードアイテム情報
replacedTradeItemIdentification	変更トレードアイテム識別子(旧識別子)
TradeItemIdentification	トレードアイテム情報
extension	エクステンション
fmcg:fMCGTradeItemExtension	FMCGEkステンション
multimediaTradeItemInformation	棚割商品画像ファイル情報
fileDescription	棚割商品画像ファイル説明
fileTransmitterSystemDescription	棚割商品画像ファイル格納先情報 商品画像取り込みURL
jpnExtension:japanTradeItemExtension	日本エクステンション

- ・ メーカーで登録した商品画像データ情報について、卸・小売で参照可能なこと。

<検証・評価方法>

画像ファイル自体は、GDS 同期化対象外の画像管理サイトで管理する。

リンク情報はメーカー基本項目であり、卸は/小売は同期化されたリンク情報を元に、画像管理サイトにインターネットアクセスし参照するものとする。

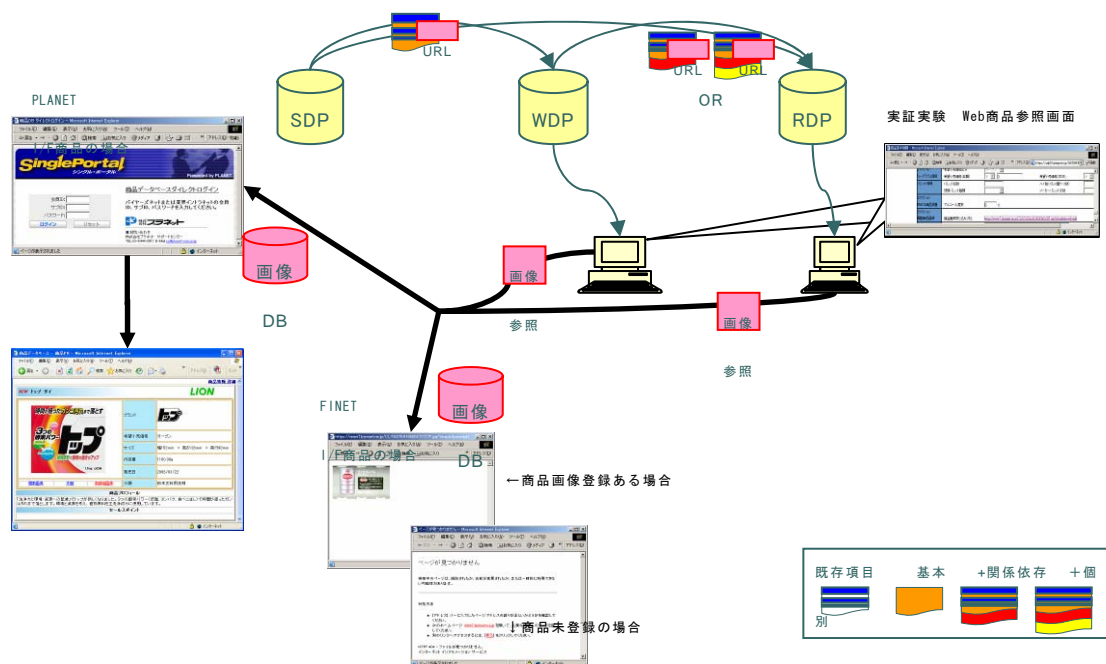
図表 2-29 各SourceDataPool (SDP) での画像リンク情報の設定

SDP	PLANET	FINET
画像管理 サイト	PLANET殿商品DBで保有する商品画像について、 参照機能を提供	Bizmart画像サイト(サイバークリンクMDBよりI/F) FINETでも現状商品画像は保有しているが今回は実証実験開始に間に合わせるため(期間・工数的な判断で)、コンソーシアムを組むサイバークリンクから実証実験期間・実証実験参加企業に限定し提供することの承諾を得て実現。
リンク情報 セット方式	・ リンク情報も既存項目のGDS対応に併せて機能拡張 ・ 商品DBに商品画像が存在する場合には 画像情報のURL生成した後、SDPにI/F	・ FINET既存DB側での項目拡張はなし。 ・ SDPにI/Fする際、商品JANを元にBizmart画像保存名ルールに則り変換し期間限定認証付のURL生成
認証	商品データベースダイレクトログイン後ユーザ認証	実証実験期間限定の認証：独自URL・ID/PWD
リンク例	https://www.planet*****.jp/syohin/s_pr?***** ****	https://www.*****.ne.jp/CL/84371A46547K69412F.jpg?id=***&pwd=***

※ 画像ファイル自体ではなく、リンク情報のみを同期化した理由
画像ファイル自体を同期化対象とした場合には、公開後の撮直し/パッケー

ジ変更等により差替が必要となりファイル自体の同期化プロセスが新たに必要になることや今後動画を含めたマルチメディアファイルとなると大容量の課題もあるため、ファイルの実態は画像管理サイトに配置し、テキストベースのリンク情報の同期化とする。

図表 2-30 商品画像の参照例



(4) TEC-004 同期化データの公開制御が行えることの検証

<検証・評価内容>

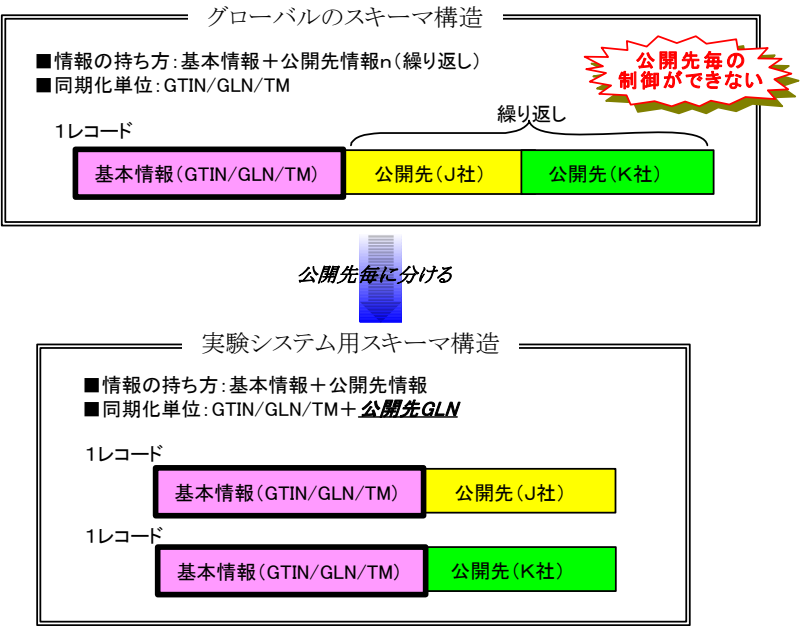
- ・ 同一商品に対して公開先別に公開日、関係依存項目等が設定できること
- ・ 公開先別に公開登録、停止が行えること
- ・ 公開先別にテストシナリオに沿った同期化プロセスが正常に実行できること

<検証・評価方法>

グローバルのスキーマ構造では、1レコードに基本情報+公開先関係依存情報n（繰返し）といった構造であり、公開制御の仕組みが検討されていない。

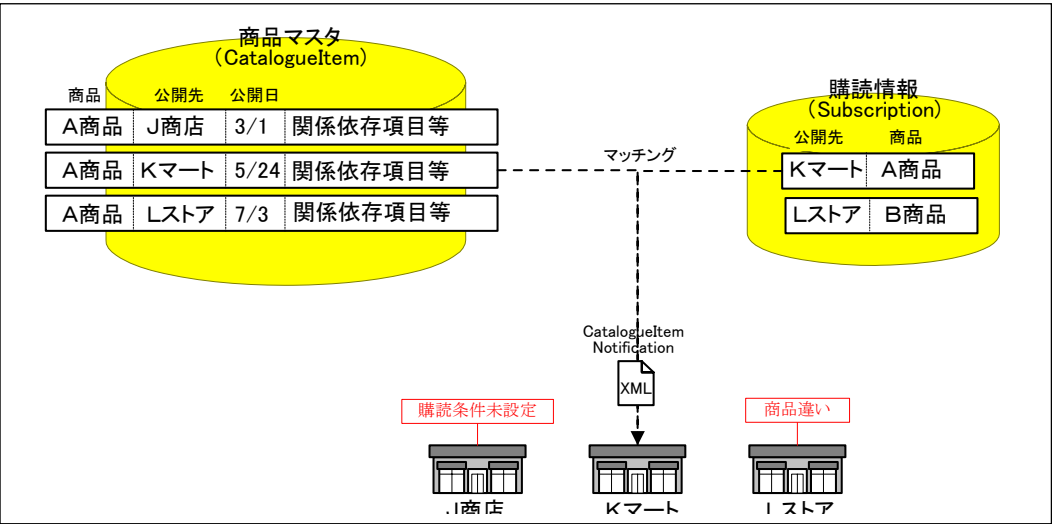
今回の実証実験では、Catalogue Item 情報を公開先単位に分けることによって、公開日や関係依存項目を公開先別に制御できるようにする。

図表 2-3 1 グローバルのスキーマ構造と実験システム用スキーマ構造



実験システム用スキーマ構造を使用して、公開制御が行えることを検証する。公開先別に想定した業務シナリオに沿って、GSMP 仕様にて定義されているビジネスプロセスの動作検証を行う。

図表 2-3 2 テストパターンイメージ



(5) TEC-005 商品階層データ同期化の検証

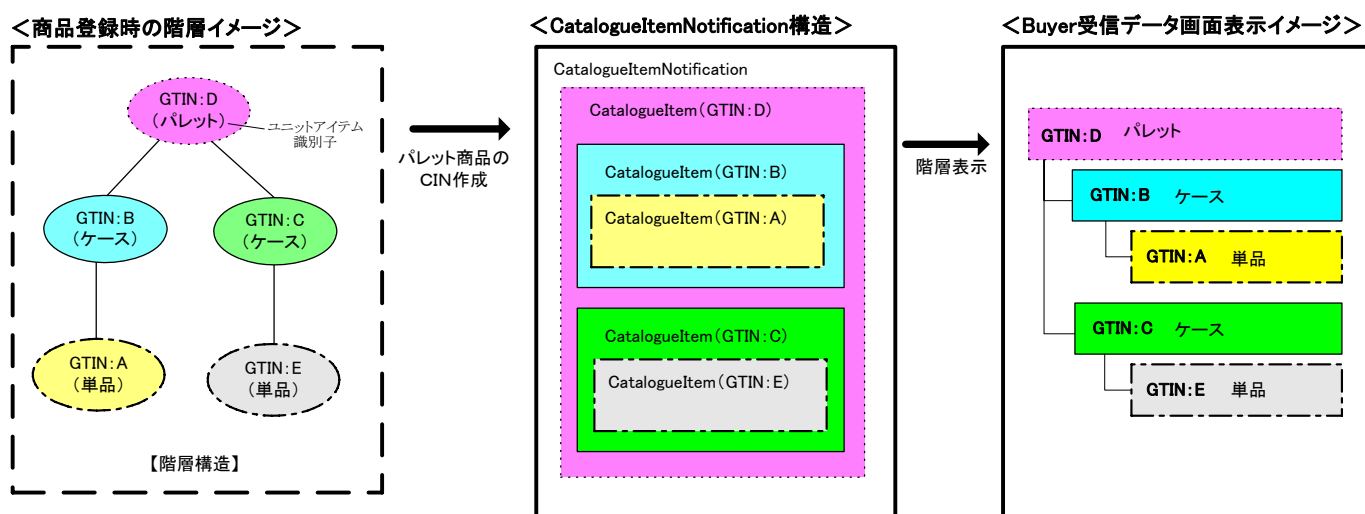
<検証・評価内容>

階層登録されている上位層の商品が PUB/SUB マッチングした際、すべての下位商品の階層構造情報を保持した CatalogueItemNotificaition が Buyer へ送信されること。

<検証・評価方法>

- 商品階層構造は「アイテムユニット識別子(パレット、ケース、パック、単品、等)」を使用した Configuration 方式により管理する。
- アイテムユニット識別子にて上位層商品、下位層商品を判断し、商品の階層構造が構成されることを検証する。
- 上位商品がマッチングした際、すべての下位商品が CatalogueItemNotification データへ包含され、Buyer へ送信されることを検証する。

図表 2-33 CatalogueItemNotificationの構造



(6) TEC-006 同期化マスターデータの更新差分管理機能の検証

<検証・評価内容>

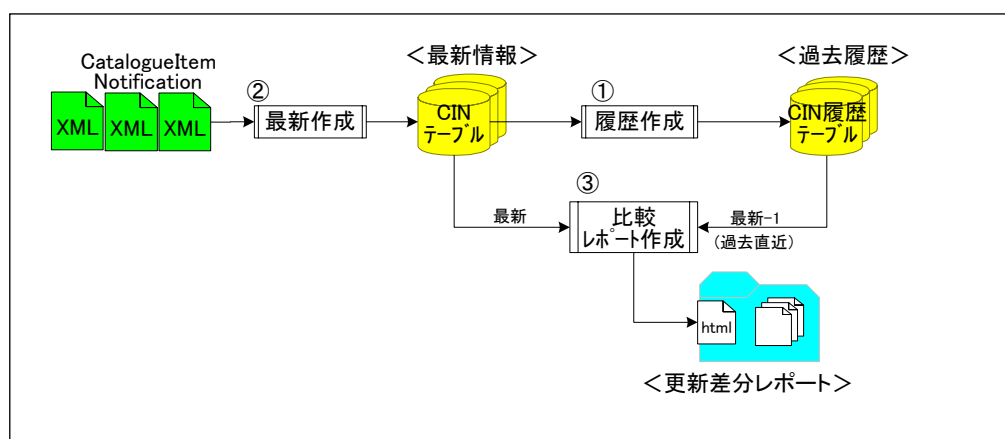
同一商品に対して複数の更新を実施し、CatalogueItemNotification(C I N) 送信を行った場合、CIN 受信側で、CIN 履歴情報を保持し、変更内容が更新差分レポートとして提供することができること

<検証・評価方法>

同一商品に対して複数回の CatalogueItemNotification(C I N)を受信した時、過去の CatalogueItemNotification(C I N)受信データは、履歴テーブルへ格納されることを検証する。

また、最新の CatalogueItemNotification(C I N)情報と前回受信分の CatalogueItemNotification(C I N)情報とを比較し、下位層を含む Catalogue Item 情報の項目単位で更新差分レポートが作成されることを検証する。

図表 2-34 CIN受信データの履歴管理



(7) TEC-007 Validationによる同期化データのクレンジング機能の検証

<検証・評価内容>

GDS プロセス／マスタ項目に沿った Validation ルールを整備し、同期化されたデータが後からエラーにならないことを検証する。

実証実験版の Validation ルール／エラーコードのマスタを各 Data Pool で共有し、チェックが出来ることを確認する。

Validation ルールは、グローバルにおいてもまだ検討段階のため、

BRD ver0.0.6 で定義されている Validation ルールを元に以下の方針とする。

- 今回の実証実験で最低限必要なもの
- Validation ルールに則りメッセージを生成するためエラーチェック自体不要なもの。
- BRD ver0.0.6 に定義されていないが、Data Synchronization に最低限必要なものについては、Validation ルール追加を行う。
(→日本独自拡張となる)

＜検証・評価方法＞

実証実験では、以下の基準で Validation ルールを設定する。

- 同期化プロセスメッセージ フォーマットチェック
- 必須項目チェック
- 一意性チェック (GTIN+GLN+TM)
- コードチェック (TM、Sub-TM、商品分類、GLN (Party 情報存在チェック))
- 商品階層データチェック (子 GTIN 数、入り数、最下層 GTIN 存在)
- 日付整合性チェック (キャンセル日、商品停止日)

同期化データについて、正しくバリデーションチェックが行えること。

チェックの結果、エラー内容が正しく判別できること。

(8) TEC-008 EDIINT AS2プロトコルを使用したData Pool (DP) 間でデータ交換機能の検証

＜検証・評価内容＞

- インターネット上の HTTP 通信により各ノード間のデータ授受が正常に行えること
- HTTP 上の S/MIME による暗号化通信である EDIINT AS2 による通信が正常に行えること
- グローバルで検討中の AS パラメータ設定内容で EDIINT AS2 による通信が正常に行えること

＜検証・評価方法＞

本実証実験システムにおいて、Data Pool-Data Pool 間の通信プロトコルとして EDIINT AS2 を採用 (グローバルでの事実上のスタンダード) して実装を行い、実証実験システム環境において検証を実施。

主な AS2 通信パラメータとしては、以下の設定とする。

図表 2-3 5 AS2通信パラメータ

パラメータ	設定値
署名 ハッシュ・アルゴリズム	SHA-1
暗号化アルゴリズム	Triple DES
受領確認	同期MDN (署名あり)
圧縮／非圧縮	非圧縮
トランスポートレイヤ	HTTP

AS2 通信検証に関しては、以下のシナリオで実施する。

- 純粋な通信／疎通テスト
⇒インフラ総合テストの一環として実施
- データ同期化システム連携テスト
⇒TEC-001 の想定した業務シナリオに沿ってシナリオテストの中で実施（AS2 通信経由での **Notification** データの送受信確認）

2-5 実証実験システム概要

本実証実験システムにおけるシステム構成について記述する。

GSMPにて規定されている Global Data Synchronization (GDS) プロセスに則り、システム構築を行なう。

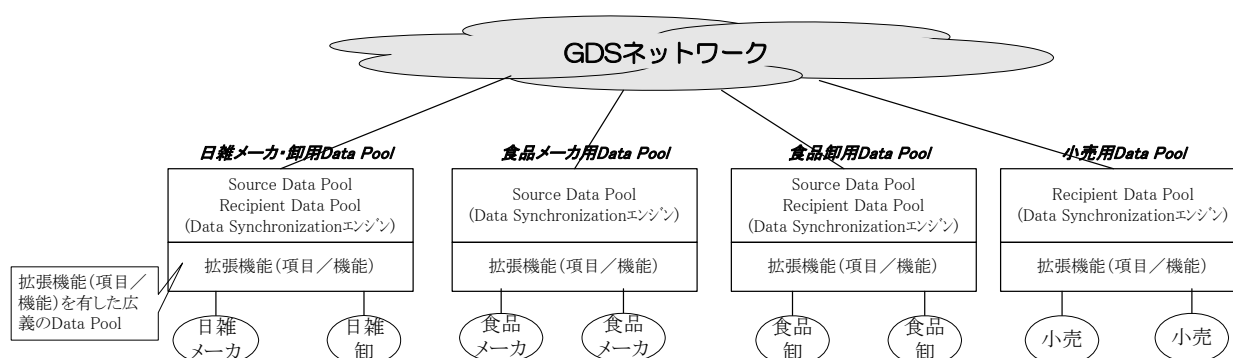
Registry機能については、本実験の主旨から重要な機能では無いため、本実証実験システムでは、Registry機能を構築せず、Data Pool(DP)相互接続を行う。

Data Pool (DP) としては、

- ・ 食品メーカー用 Data Pool (DP)、
- ・ 食品卸用 Data Pool (DP)、
- ・ 日雑メーカー・卸用 Data Pool (DP)、
- ・ 小売用 Data Pool (DP) を用意する。

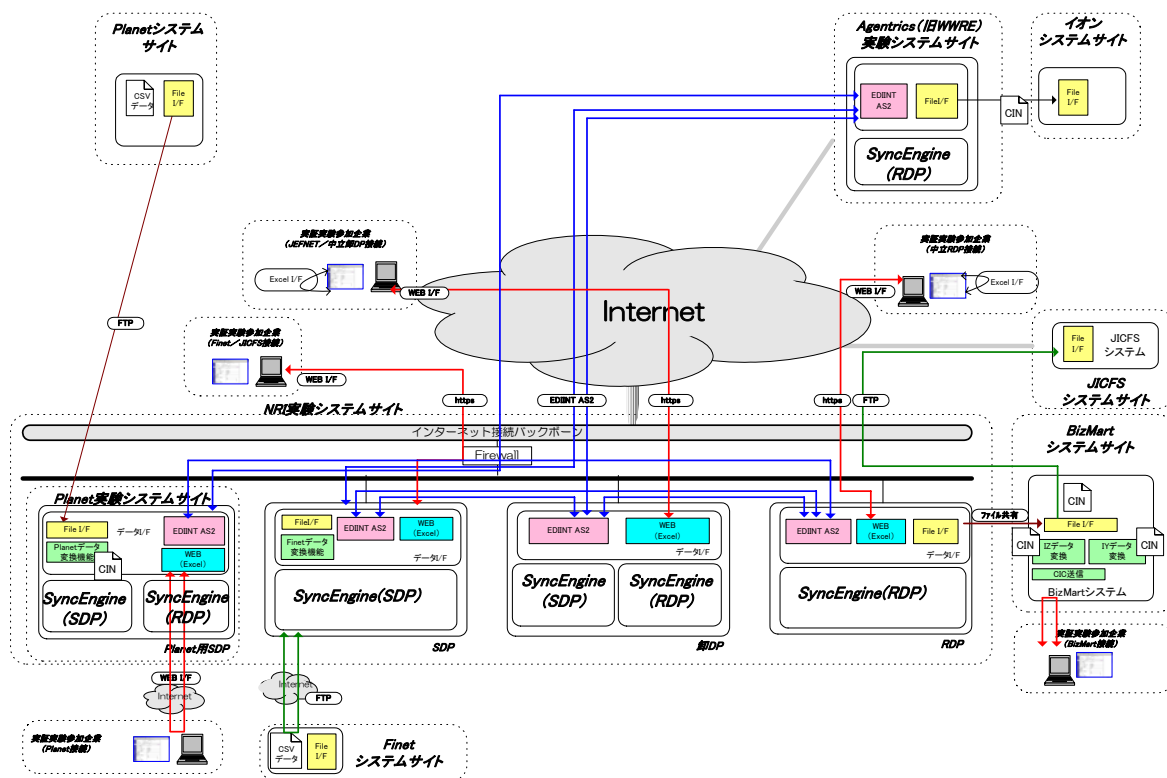
本実証実験システムのネットワークトポロジを下図に示す。

図表 2-36 実験システムトポロジー



外部接続先も含めた実験システム全体概要図を下図に示す。

図表 2-37 実験システム全体概要図



<外部接続先>

- 食品メーカー用 Data Pool (DP)
 - FINET システムサイト (食品メーカー商品マスタ DB)
 - 食品メーカー用 WEBI/F
- 食品卸用 Data Pool (DP)
 - 食品卸用 WEBI/F
- 日雑メーカー・卸用 Data Pool (DP)
 - PLANET システムサイト (日雑メーカー商品マスタ DB)
 - 日雑メーカー・卸用 WEBI/F
- 小売用 Data Pool (DP)
 - BizMart システムサイト (小売接続)
 - JICFS システムサイト (小売接続)
 - 小売用 WEBI/F
- Agentrics (旧 WWRE) 実験システムサイト (小売用 Data Pool (DP) として)
 - イオンシステムサイト

3. 実証実験結果

3-1 実証実験における登録件数

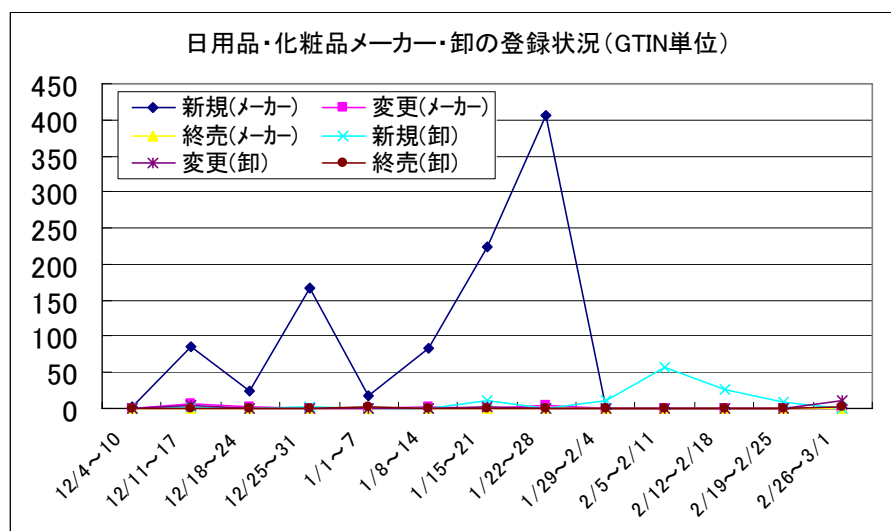
実証実験期間におけるメーカー・卸の商品情報登録件数の推移を以下に示す。なお、日用品・化粧品メーカーは2005年12月5日、日用品・化粧品卸は2005年12月7日、酒類・加工食品メーカー・卸は、2006年1月6日に、実証実験システムに対して登録を開始した。

<日用品・化粧品>

下記のグラフは、GTIN単位の登録状況である。2006年3月1日までの日用品・化粧品メーカーの商品登録件数（GTIN単位）は、新規登録が1013件、変更登録が15件、終売登録が0件であった。（ただし、3月1日以降に終売登録が数件発生したので、終売登録に関する検証では、そのデータを利用した。）また、新規登録のピークは、2006年1月第4週（1/22～1/28）の406件であった。

2006年3月1日までの日用品・化粧品卸の商品登録件数（GTIN単位）は、新規登録が118件、変更登録が20件、終売登録が6件となった。また、新規登録のピークは、2006年2月第2週（2/5～2/11）の56件であった。

図表 3-1 日用品・化粧品メーカー・卸の登録状況（GTIN単位）



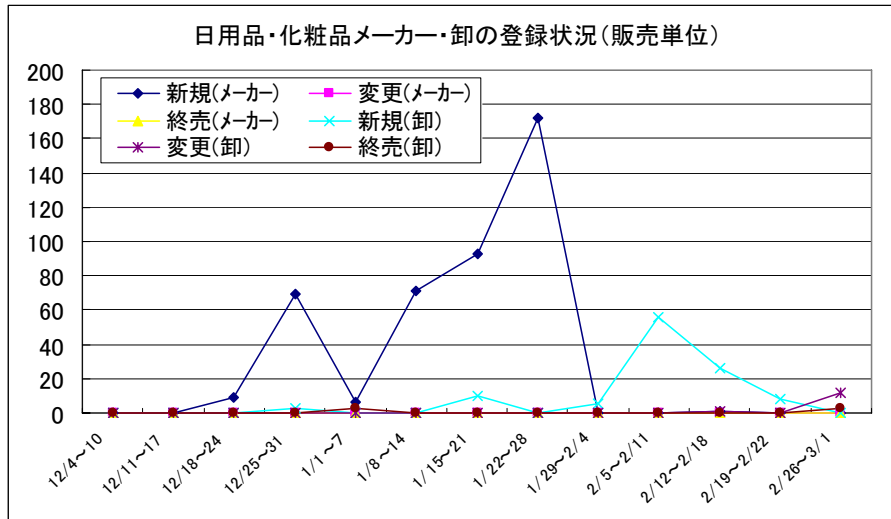
下記のグラフは、販売単位*の登録状況である。2006年3月1日までの日用品・化粧品メーカーの商品登録件数（販売単位）は、新規登録が421件、変更登録が0件、終売登録が0件であった。また、新規登録のピークは、2006年1月第4週（1/22～1/28）の172件であった。

2006年3月1日までの日用品・化粧品卸の商品登録件数（GTIN単位）は、新規登録が108件、変更登録が13件、終売登録が6件となった。また、新規登録のピーク

は、2006年2月第2週（2/5～2/11）の56件であった。

※ 販売単位の定義はGTINの頭1桁が”0”であること

図表 3-2 日用品・化粧品メーカー・卸の登録状況（販売単位）

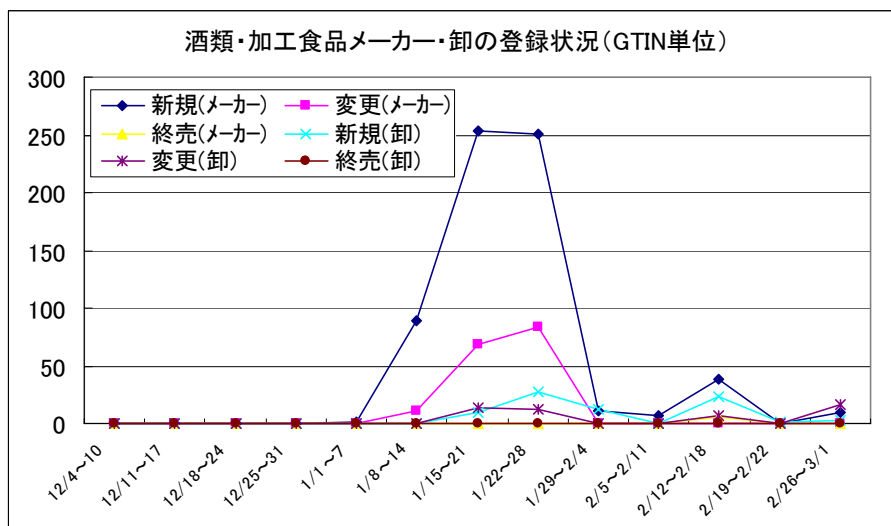


<酒類・加工食品>

下記のグラフは、GTIN単位の登録状況である。2006年3月1日までの酒類・加工食品メーカーの商品登録件数（GTIN単位）は、新規登録が662件、変更登録が163件、終売登録が5件であった。また、新規登録のピークは、2006年1月第3週（1/15～1/21）の254件であった。

2006年3月1日までの酒類・加工食品卸の商品登録件数（GTIN単位）は、新規登録が75件、変更登録が50件、終売登録が0件となった。（ただし、3月1日以降に終売登録が数件発生したので、終売登録に関する検証では、そのデータを利用した。）また、新規登録のピークは、2006年1月第4週（1/22～1/28）の27件であった。

図表 3-3 酒類・加工食品メーカー・卸の登録状況（GTIN単位）

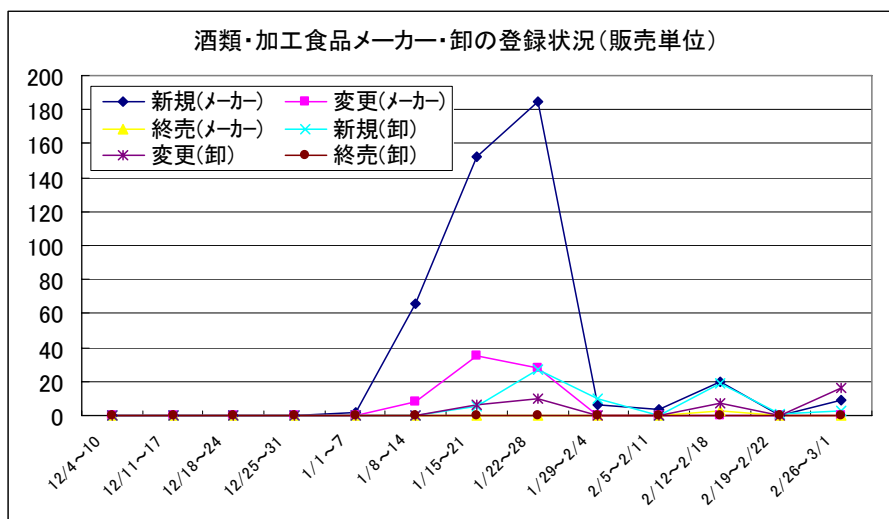


下記のグラフは、販売単位※の登録状況である。2006年3月1日までの酒類・加工食品メーカーの商品登録件数（販売単位）は、新規登録が444件、変更登録が71件、終売登録が3件であった。また、新規登録のピークは、2006年1月第4週（1/22～28）の185件であった。

2006年3月1日までの酒類・加工食品卸の商品登録件数（GTIN単位）は、新規登録が65件、変更登録が39件、終売登録が0件となった。また、新規登録のピークは、2006年1月第4週（1/22～1/28）の27件であった。（ただし、3月1日以降に終売登録が数件発生したので、終売登録に関する検証では、そのデータを利用した。）

※ 販売単位の定義はGTINの頭1桁が”0”であること

図表 3-4 酒類・加工食品メーカー・卸の登録状況（販売単位）



3-2 マスタ項目に関する検証結果

ここでは実証実験時に同期化されたマスタ項目について、その項目決定の経緯と実際の実験での検証結果を報告する。

3-2-1 マスタ項目決定の経緯

(1) マスタ項目検討のプロセス

① マスタ項目検討の際のコンセプト

マスタ同期化実験におけるマスタ項目を決定する際の基本的なコンセプトは以下の通りであった。

- ① 主に小売業の現状業務を一定程度担保しつつ、Global 項目との整合性を取れるマスタ項目を決定する。
- ② 主に小売業⇔卸売業間のマスタ同期化を今回の主眼とする。従って卸売業⇔メーカー間の同期化項目詳細については現段階においては検討をしない。
- ③ 商品階層についても対応を行う。

② GDS実証実験におけるマスタ項目検討主体

GDS実証実験における同期化すべき項目の検討母体としてはGCIジャパン GDSワーキンググループ 項目分科会がその主体となって対応した。

またその検討のベースとなる項目抽出においては、大手小売業数社からなる項目検討グループがその先鞭を付けることによってマスタ項目の最終利用者である小売業のニーズをかなりの部分実験に組み込むことに成功したと言える。

さらに、今回の小売業の検討によって実験参加小売業は【現状業務を一定程度担保しつつ】、全てが同一Schemaを使用してマスタ同期化を行うことが可能となった。

③ マスタ項目検討経緯

本実験で同期化したマスタ項目の検討経緯概要は以下の通りである。

2005年2月頃～ 大手小売業主体のマスタ項目検討開始

2005年5月頃～ 大手小売業マスタ項目整理をベースとしてGCIジャパン
GDSワーキング 項目分科会検討開始

2005年8月 項目検討合宿、同期化実験項目確定（8月末）

2005年9月～ 確定項目微修正、XML-Schema作成、その後実験に向け
Schemaチューニング

(2) Global 項目との関連

① 実験項目とGDDの関係

本実験においてマスタ項目を検討する際のコンセプトにもある通り、Global項目との整合性を保持することを前提としている。

従ってGDD (Global Data Dictionary) において定義された項目については全項目を実験の対象とした。

なお、今回の実験対象項目のGDDはCatalogue Item BRD (Business Requirement Document) Ver. 7.7を採用した。

② GDD以外のGlobal項目

Global項目ではあるが拡張項目 (Extension) としての扱いとなっている項目群も今回一部実験に使用している。

● FMCG Extension

FMCGとは【Fast Moving Consumer Goods】の略称。主に食品関連での拡張項目となっている。このFMCG ExtensionはGlobalにおいても食品関連の拡張項目として定義づけされている。

今回の実験では「アルコール度数」表示のため この拡張項目を採用した。

● Multimedia Extension

主に商品画像・動画等のMultimedia Fileを取扱うための拡張項目群である。

Globalでの標準化の議論においては商品画像の明確なニーズはまだ出てきていない。しかしながら米国内の一部でテスト的に画像の同期化が行われているという情報もある。

今回の「Multimedia Extension」はGSMP (Global Standards Management Process) の場においても決定したものではないが、現在GS1-FranceがCR (Change Request) を提出しているものである。

将来的にGSMPの場でGS1-FranceのCR通りの内容でApproveされれば、画像関連のExtensionとして使用されることとなると想定される。

万が一 このCRがRejectされた場合においても 日本や他の地域での画像のニーズが明確に存在すれば、GSMPに再度CRを提出することで実用化が可能となると考えられる。

(3) マスタ項目の分類

本実験において同期化するマスタ項目についてはその項目属性、項目定義に基づき大きく以下の3種に分類した。

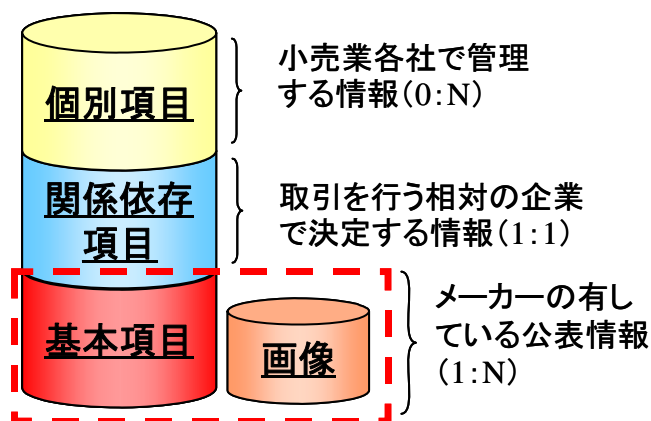
- ① 基本項目：商品の基本的な情報
- ② 関係依存項目：商談の結果として、相対の取引内容によって設定される情報
- ③ 小売個別項目：小売独自の項目でありの事業戦略上必要となる情報

ここで、日本における業務運用を考慮した場合、棚割情報の提供・収集が必要不可欠な業務であることを考慮し、商品マスタとして同期化される商品情報として、上記の3層に加え、画像情報を含めることが必要となる。

そのため、日本の業務を考慮した商品マスタ情報項目を、以下の4層に区分する。

- ① 基本項目：商品の基本的な情報
- ② 関係依存項目：取引内容によって設定される情報
- ③ 個別項目：小売の事業戦略上必要となる情報
- ④ 画像項目：商品の画像情報（本実験においては棚割のための商品単品画像と限定）

図表 3-5 日本の業務を考慮した商品情報構成



① 基本項目

基本項目は、当該商品について、どの業界およびどの企業においても共通に利用可能な情報項目である。

基本項目の定義は、原則として当該商品を供給するメーカーが保有する情報であり、GDS上ではメーカーが登録を行い、卸・小売は、メーカーの登録した商品情報を書き換えることなく利用することとなる。

項目としてはGTIN・GLNはもちろん、GPC（Global Product Classification）と呼ばれる商品分類、あるいは同期化対象地域（国単位）を表すTargetMarket等が存在する。

（Globalでは、この基本項目がGDS（Global Data Synchronisation）の対象として規定されている。いわゆるGDDであり、情報項目の意味・表記方法・情報内容を特定するために利用するコード群が、業界や企業を問わず、同一のルールの下で設定されている。この、標準化に向けた検討は、BRGs（Business Requirement Groups；BRGsは、GDS（Global Data Synchronisation）プロセスの標準化推進を、業務プロセスの観点から検討を進めるグループ。）において、実施され、推進されている。

なおBRGsにおける基本項目の標準化に関する検討内容は、

- ・ ITEM BRD：項目定義に関するドキュメント
 - ・ Catalogue Item Synchronisation BRD：GDS プロセスに関するドキュメント
- として整理されている。）

ただし、日本での業務を考慮した場合、Globalで規定された基本項目だけでは、必ずしも十分に業務運用を実施することができない可能性が示唆される。そのため、日本の商慣行を踏まえた基本項目の検討が必要となる。

② 関係依存項目

関係依存項目は、項目の名称は各社共通であるが、項目の内容は取引内容によって、それぞれ登録内容が別個に設定される情報項目である。つまり、当該商品について、取引を行う企業間において、相対の商談により、1対1で規定される情報項目となる。

関係依存項目は、原則として小売企業に商品を提供するベンダー側（直取引の場合はメーカー企業、卸経由の取引の場合は卸企業）が登録を行う。

本実験において、関係依存項目は製配販間の整理の結果、意外と少なく、以下の項目のみとなった。（項目詳細定義は【付属資料2．実験用マスタ項目一覧表】参照）

- 見積価格
- 納品原価（総額／本体価格）
- 食品の際の卸での取扱温度（上限／下限）

③ 個別項目

個別項目は、小売の事業戦略上必要となる情報項目であり、同一商品であっても、その内容は小売ごとに異なる。そのため、原則として個々の小売業の内部でのみ共有が必要な情報であり、取引関係相互で必ずしも共有する必要が無い情報項目である。

対象となる情報としては、以下のような情報が挙げられる。

【小売業の販売戦略および販売活動に関連する情報】

- ・販売対象マーケットエリア・店舗
- ・販売時のカテゴリ分類（商品の基本情報における商品分類とは異なる）
- ・販売時の棚割情報
- ・販売展開時期・期間
- ・販売対象とする消費者情報
- ・販売に係るコスト
- ・販売価格
- ・販売計画に基づく期待粗利率 等

【小売業の在庫戦略および物流管理に関連する情報】

- ・在庫保有計画および倉庫情報
- ・物流拠点から店舗等への輸送指示・受理の条件（オーダー受付頻度、オーダー受付後から輸送指示までの時間等）
- ・物流拠点から店舗等への輸送条件（輸送ロット、輸送頻度、輸送時間、輸送コスト等） 等

個別項目は、企業個別性の強い情報項目であるため、原則として、小売企業の担当者によって登録されるものとする。

※ なお、本実験においては企業間（あるいは DataPool 間）のマスタ情報同期化が主眼であったため、個別情報の取扱いについては実験の対象外とした。

※ ただし個別項目の取扱いについては今後もどうあるべきかの検討が引き続き必要と考えられる。

④ 画像情報

日本における業務運用を考慮した場合、棚割情報の提供・収集は、必要不可欠な業務であることを考慮し、商品マスタとして同期化される商品情報として、画像情報を実験対象とした。

なお、商品関連で必要と考えられる画像情報は一般的に以下の通りと考えられる。

- 棚割用商品単品画像：棚割作成用の単品画像
- 棚割 棚画像：棚割で作成した棚画像
- 閲覧用画像：商品の社内閲覧用画像
- 高精細画像：チラシ等印刷物展開用画像
- 動画：小売業店舗等での販売促進用動画

ただし、現在のところ、棚割単品画像以外の画像についての議論がさほど進んでいないこと、また棚割単品画像の同期化プロセスが確認できれば 他の画像情報の同期化も同様のプロセスで同期化可能ではないかとの仮説に基づき、本実験での画像情報は、「棚割のための商品単品画像」のみと限定した。

画像情報の位置づけは、基本項目と同等であるものとし、GDS（Global Data Synchronisation）プロセスによって同期化がなされるものとして整理する。

また、画像情報の登録に関しても、基本項目同様、当該商品を生供給するメーカーによって登録されるものとする。つまり、画像情報は、当該商品を生供給するメーカーによって登録されて以降は、原則として、卸・小売企業が情報を書き換えることなく利用する情報項目となる。

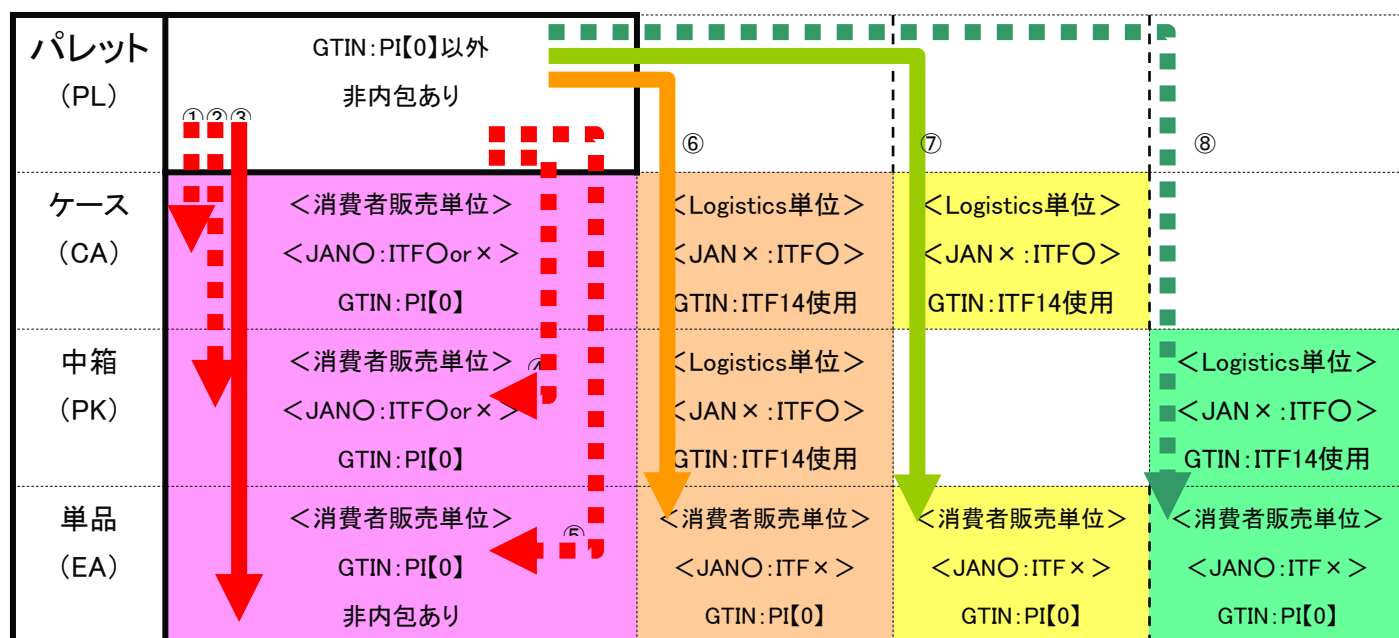
(4) 商品階層に関する考え方

GDSにおいては商品情報を同期化する際、単品情報以外の梱包情報については単品情報とGTINを別として商品階層を構成する構造となっている。この時、GTINの頭1桁目をPI (Package Indicator) として認識させることとなっている。

GlobalでのルールはPI=0の場合は消費者への販売単位（商品単品では必ずしもない）を表し、1～9はそれ以外を表すこととなっている。

例えば、商品階層を構成する要素がパレット (PL)、ケース (CA)、中箱 (PK)、単品 (EA) の4階層とし、かつCA、PKが消費者販売階層である場合も含んだ事例を考えると、下図の商品階層構成が考えられる。

図表 3-6 商品階層構成例



① Global での商品階層検討状況

商品階層情報の同期化については、GSMPで仕様が検討されているが、まだ不明確な点が散見される。

現在の検討状況について、

□Approvedされたドキュメント記述内容

- ・ BRD_Catalogue Item Synchronisation Version1.8
- ・ BMS_Align_Catalogue Item Synchronisation 2.0.2

□GSMP GDSNタスクグループでの検討資料

- ・ GDSN Task Group Hierarchy Issues 20040603.ppt
- ・ level of hierarchy proposal Use Cases11145.doc

をもとに整理し、商品階層情報の同期化プロセス・その項目の取扱いについて報告する。

1) BRD_Catalogue Item Synchronisation Version1.8 での記述について
商品階層のデータ登録について

- ・ “6.3 Overview”より抜粋

A data source sends a full data set(Catalogue Item Hierarchy) to its source data pool.(BRD line 900)

- ・ “6.4 New CatalogueItem Hierarchy”より抜粋

To create a new Catalogue Item Hierarchy, the Data Source enters a full Catalogue Item Hierarchy.(BRD line 914)

⇒ ※商品階層データはフルセットで登録する

2) Pub/Sub マッチングについて

- ・ “6.10.2 Subscription & Synchronisation List”より抜粋

Subscription: for every matching GTIN, independently from its level, all hierarchies will be returned. (BRD line 1211)

- ・ “6.12 Notification based on Publication/Subscription ”より抜粋

for each matching subscription, a notification is created including all dependent hierarchies (BRD line 1343)0

⇒ ※マッチングはどの階層でも行われ、CINは全ての商品階層のデータが返される

3) Confirmation について

- Synchronisation List:

Can be a result of the Confirmation process (BRD line 1215)

- All GTIN's equal or lower in the hierarchy than the GTIN confirmed will be returned

- Only these GTIN's will be returned

- Rejection at any level of a hierarchy will trigger the rejection of All GTIN's equal or higher in the Hierarchy of the rejected GTIN (BRD line 1219)

- accept/reject confirmations are always communicated on the highest level of the hierarchy (BRD line 1411)

⇒ ※Confirmationの返し方に矛盾がある。どの階層でもOKか。最上位階層か。

- The implementation of the confirmation process in the recipient's data pool or in the recipient's back end systems can be at any level as long as the confirmation messages used for communication in the GDSN only contain full, uniquely identified hierarchies (BRD line 1413)

⇒ ※RDP、DRのバックエンド側での管理方法に既定は無いが、Confirmationは最上位で行う必要がある

② BMS_Align_Catalogue Item Synchronisation 2.0.2 での変更点について

◆ CatalogueItemNotification(CIN)のメッセージ構造変更

CatalogueItemChildLink内にCatalogueItem情報を保持するようになり、全ての商品階層データがCINの中に格納されるようになっている

※ ただし、クラス図が未修正（データを保持するような形になっていない）

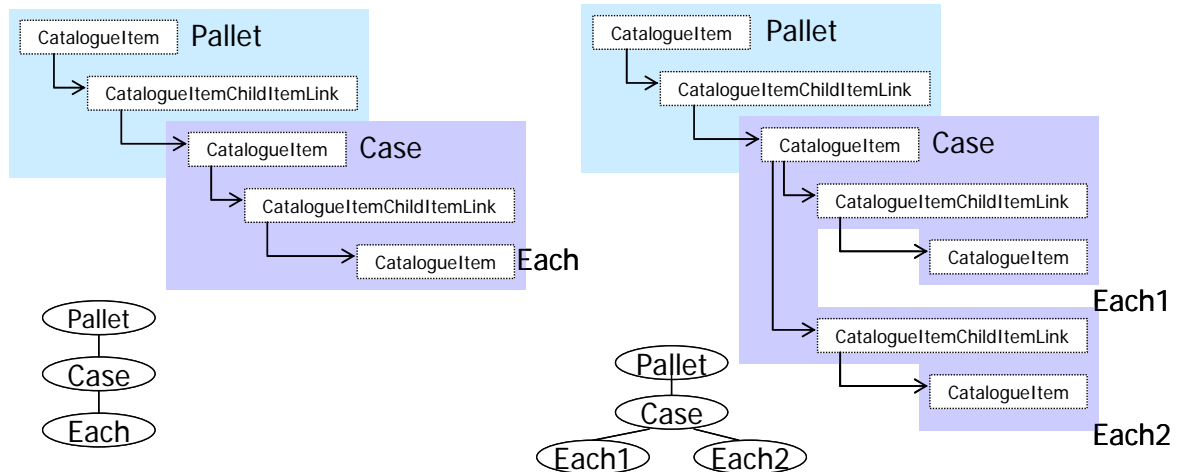
◆ メッセージ構造変更内容

CatalogueItemChildItemLinkを繰り返しで持ち、全階層情報データをもつ

図表 3-7 CILでの商品階層の保持

□メッセージ構造変更内容

CatalogueItemChildItemLinkを繰り返して持ち、全階層情報データをもつ



③ グローバルでの検討状況について

“GDSN Task Group Hierarchy Issues 20040603.ppt”にて

BRD_Catalogue Item Synchronisation Version1.8の矛盾について述べられている。

- “level of hierarchy proposal Use Cases11145.doc”にて、矛盾の修正案について述べている
- BRD_Catalogue Item Synchronisation Version1.8 に直接修正するイメージで記述されているが、検討段階は不明。

従って本実験では以下の考え方で商品階層プロセスを構成した。

- CatalogueItemConfirmation は商品階層の最上位に対して返す
(Pallet/Case/Eachの場合、CICはPalletに対して返す)
- CIN送信の際、全商品階層をSyncListに追加する
- 最上位階層で“Synchronised”された場合、階層内の商品が変更されるとNotificationされる
- 最上位階層で“Reject”された場合、その商品階層がRejectされる
- 最上位階層で“Review”された場合、階層内の商品が変更されると、その商品が属する全ての階層データNotificationされる
- 最上位階層で“Accepted”された場合、階層内の商品が変更されると、その商品

が属する全ての階層データNotificationされる

- 上位の階層が追加された場合、下位層も含めた全階層で公開される
- CICを返さないケースも階層内の商品が変更されると更新情報を通知する

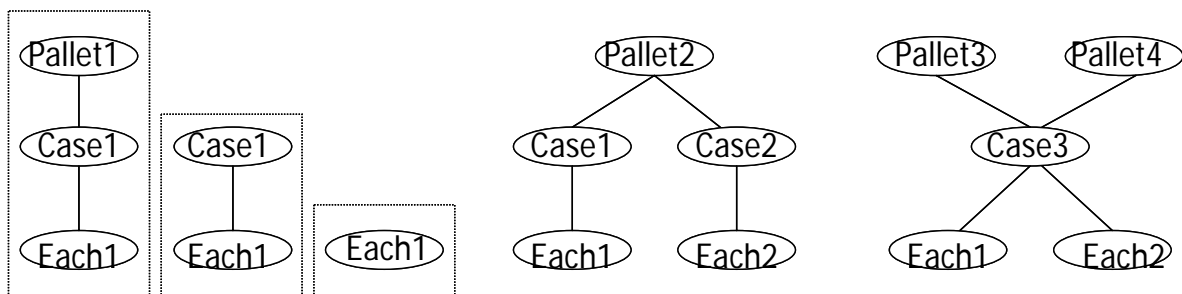
④ 実証実験での対応方針

- BRDの矛盾点については、検討状況は不明だが、現在グローバルで検討途中の仕様をもとに設計する。
- 階層情報としては、TradeItemの「nextLowerLevelTradeItemInformation」情報から、子GTIN、及び、入り数の情報を取得できるため、CILのメッセージは使用しない事とする。

⑤ 商品階層形態のバリエーション

Pallet-Case-eachといった商品階層でも階層の持ち方は複数存在する。

図表 3-8 商品階層のバリエーション例



- 各階層での商品情報としては同じだが、入り数等が異なれば、それは異なった商品形態として考える
- 「Pallet1-Case1-Each1」と「Case1-Each1」、「Each1」といった組み合わせが存在する
- 「Pallet2-Case1-Case2」、「Pallet2-Case2-Each2」といった「親1ー子GTINが2つ」といった形態が存在する
- 「Pallet3-Case3-Each1、Each2」、「Pallet3-Case3-Each1、Each2」といった形態が存在する

⑥ 実証実験での対応方針

本実証実験においては 商品階層の同期化について下記の考え方で対応することとした。

図表 3-9 商品階層同期化に関する考え方

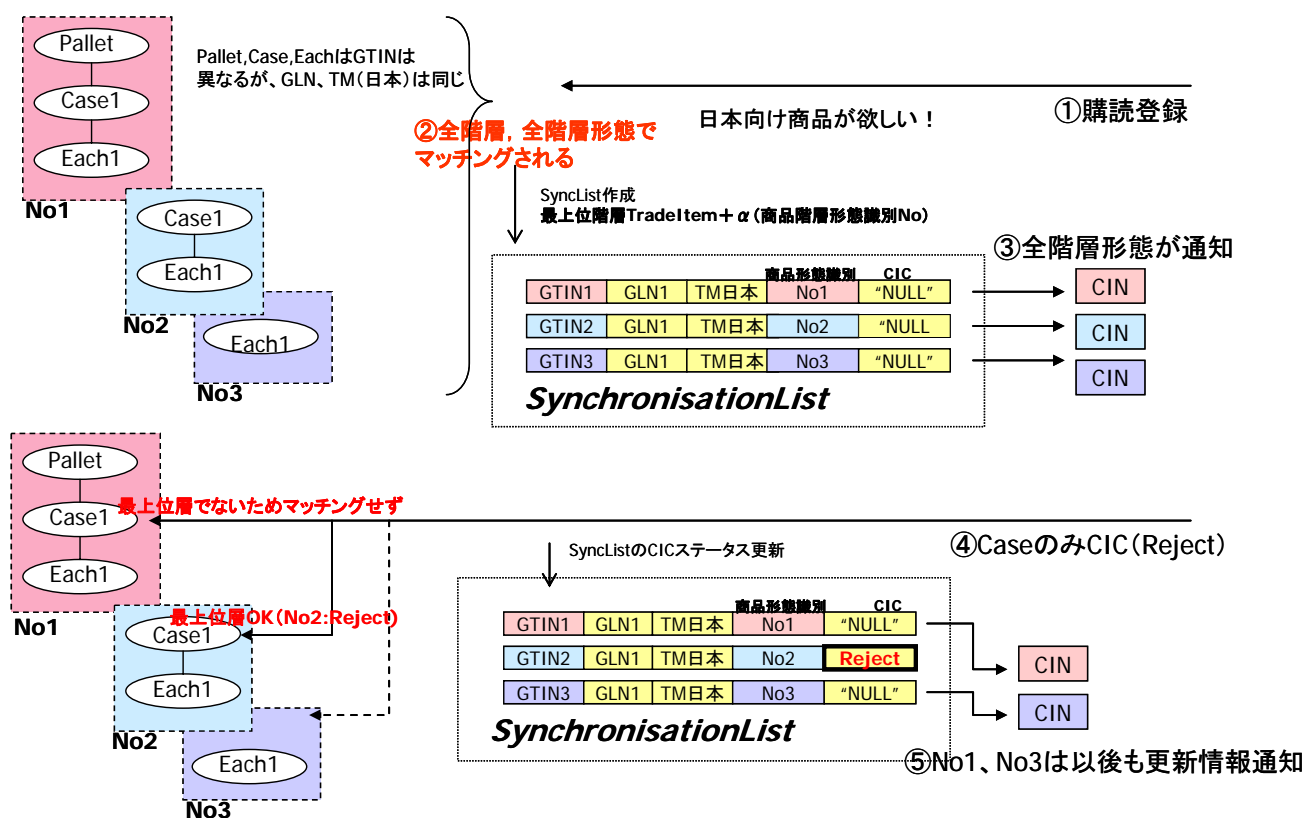
プロセス	対応方針	特記事項(追加・変更内容)
登録	<ul style="list-style-type: none"> ・全商品階層データをまとめて登録 ・下位層が登録済みかValidation実施 ・商品階層単位でデータを保持する ・CILのメッセージは使用しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・CINメッセージのExtension項目を使用し、商品階層形態の識別子を持たせる ・nextLowerLevelTradeItemInformationで階層／入り数を判断(親GTIN—子GTINの階層情報は別途保持する)
公開	<ul style="list-style-type: none"> ・最上位層で実施 ・下位層が公開済みかValidation実施 	
購読	<ul style="list-style-type: none"> ・どの商品階層でも購読可能 	
マッチング	<ul style="list-style-type: none"> ・どの商品階層でもマッチングされる ・階層ごとに公開日/公開先をチェック(※) ・マッチングした商品を含む全ての商品階層形態がNotificationされる 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品階層形態単位でSyncListに登録する。(「最上位階層TradeItem＋商品階層形態識別情報」で登録) ・どの商品階層形態に対するCINなのか判断するためCINメッセージのExtension項目に商品階層形態識別情報を持たせる
Confirmation	<ul style="list-style-type: none"> ・最上位層で実施 ・最上位でないものはエラーとしてハンドリングする。(CICを返していないケースと同じ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの商品階層形態に対するCICなのか判断するためCICメッセージのExtension項目に商品階層形態識別情報を持たせる

⑦ Pub/Sub マッチングケース例

□ ケース 1

“pallet-case-each(親1つ、子1つ)”の商品階層形態を公開し、全階層でマッチングされた場合。

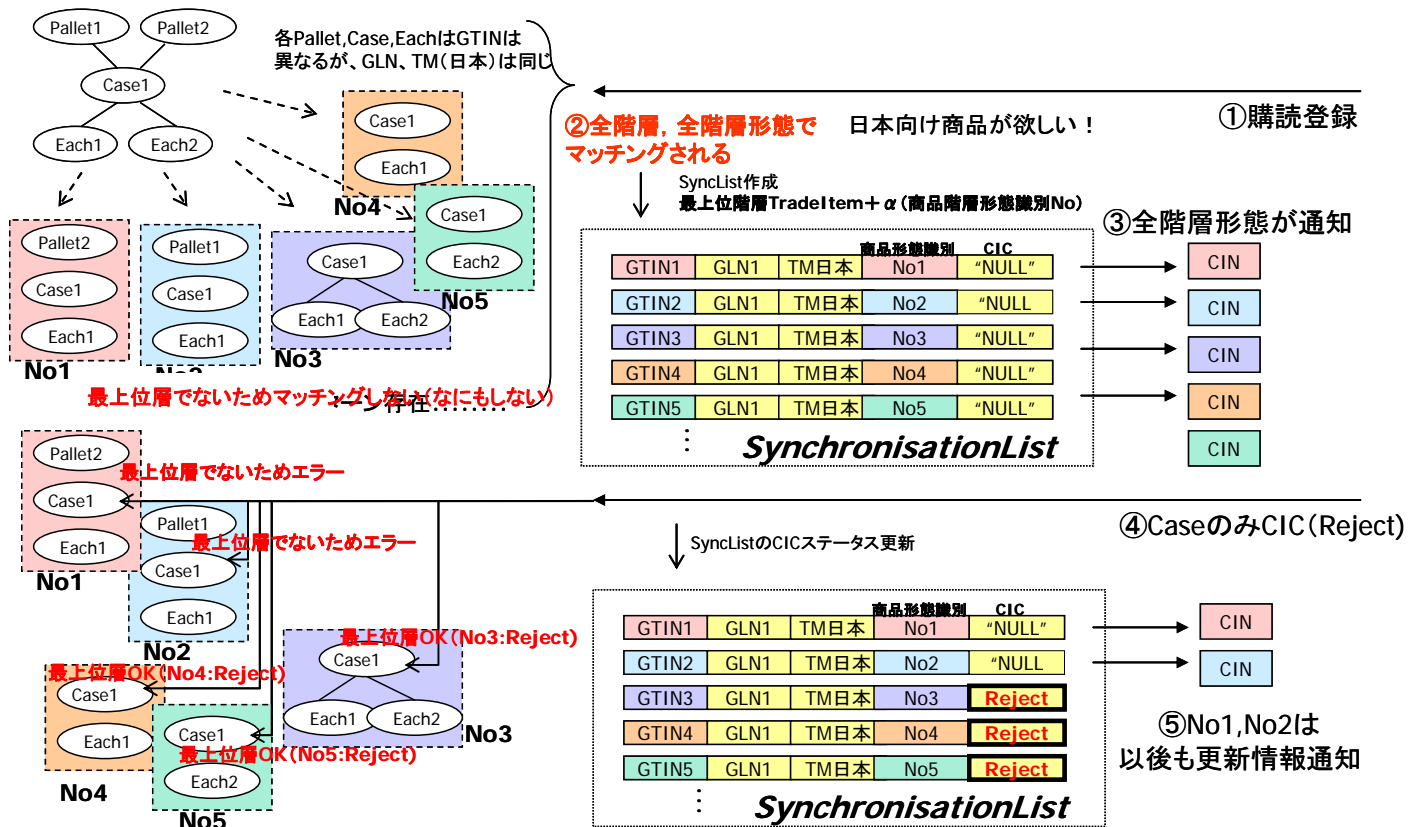
図表 3-10 マッチングケース 1



□ ケース 2

“pallet-case-each（親 2 つ、子 2 つ）” の商品階層形態を公開し、全階層でマッチングされた場合。

図表 3-1 1 マッチングケース 2

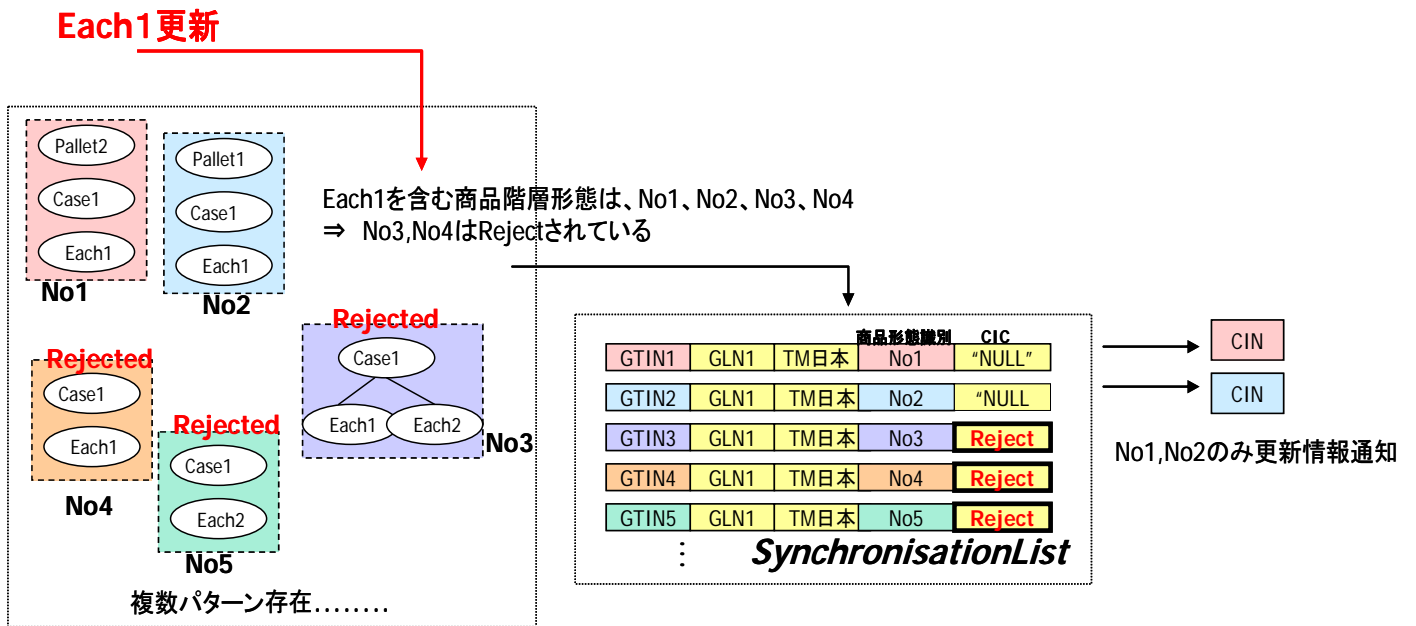


□ ケース 3 <CatalogueItem 更新>

更新（削除）があった場合、そのItemが属する全ての階層形態データに対してSync対象のデータを通知する

◆ 「Pub/Sub マッチング ケース 2 の場合」

図表 3-1 2 CatalogueItem更新<マッチングケース2>の場合



(5) マスタ項目と XMLSchema の関係

本実験で使用したマスタ項目は各項目の詳細定義を行った上でXML-Schemaへ反映した。

① 項目定義詳細

実験で使用した項目については以下の事項について定義した。

- 項目名
- 項目内容（具体的な場面での利用形態詳細定義）
- 項目用途
- 項目属性（半角・全角・数字・コードリスト等）
- 項目長
- 必須・条件付必須・任意の属性
- 基本・関係依存・個別 の属性
- 商品階層上構成の場合の情報可否
- XML-Schema 作成時の繰返し項目の是非
- システム的注意点 等

② XML-Schema 作成

上記①にて詳細定義を行った項目は、下記のプロセスを経てXML-Schemaへ反映された。

1) 詳細定義項目の GDD へのマッピング

実験用に詳細定義された項目（以下「国内項目」）をGDDとマッピングした。

この際、GDDの基礎となるドキュメントはGS1標準のCatalogueItemBRD ver7.7であるが、このBRDと相対するSchema (GS1標準Schema ver2.02（後日若干バージョンアップとなり2.03））に相違点が存在したため、一部Schemaの修正を行った部分も存在した（項目のAttribute部分が主）。

また、国内項目の中でGDDと項目定義内容はほぼ同じであるが若干ながら使い方が違うと思われるような項目もいくつか存在した。これらは本実験においてはGDDに無理やりマッピングはせず、後述の【Japan Extension】に組み込むこととした。

※商品名称・ブランド名称関連・レシート品名等については日本語特有の【半角文字】が存在する。

また項目詳細定義の際、各名称項目についてはトライアルとして個々に桁数の詳細制限を設定した。

この全角・半角文字混在の日本語の特徴・特異性、及び名称桁数の有効性を確認するため、商品名称関連の項目はすべてGDDとはあえてマッピングせず、Extensionとして対応した。

2) FMCG/Multimedia Extension へのマッピング

一部項目についてはFMCG Extension、またはMultimedia ExtensionのSchemaへのマッピングを行った。

3) 日本独自拡張項目の設計・マッピング

上記1)、2) でマッピングできなかった国内項目についてはいったん項目抽出を行い、【Japan Extension】としてスキーマ設計・開発を行った。

また、この際、商品名称・各種コメント等の項目については実験時の入力容易性を確保するため【LanguageCode】指定を行わない、いわゆる【String】形式を採用した。

③ GDS 実験用 XML-Schema 構造

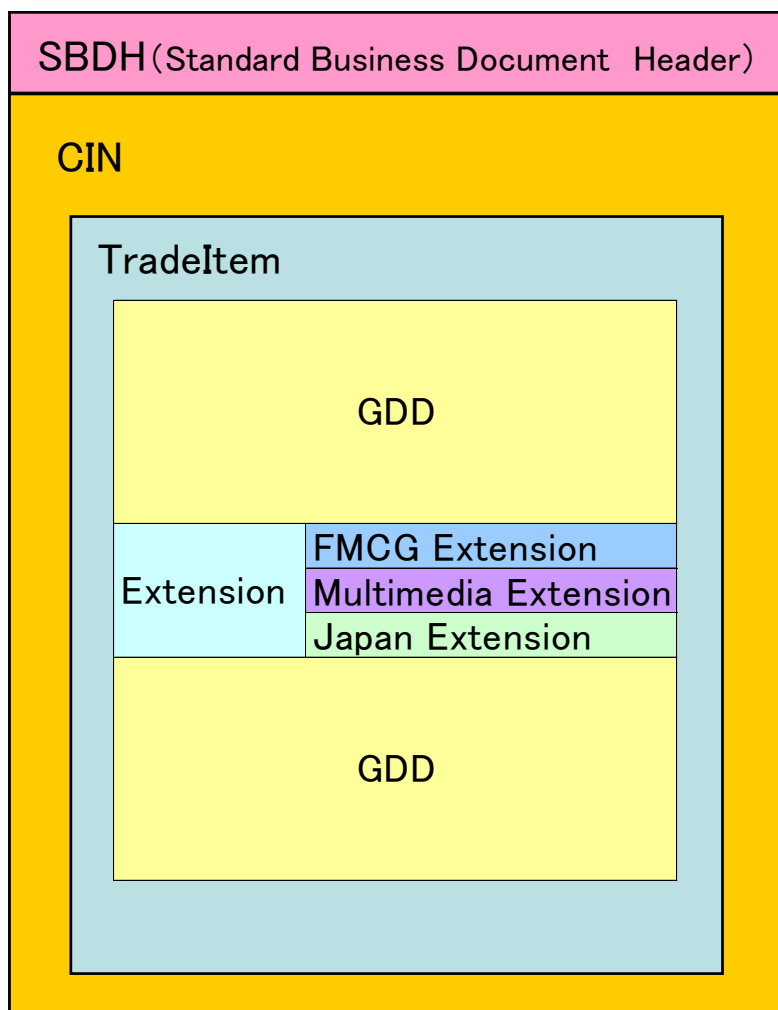
上記(2)のプロセスを経て作成されたXML-Schemaはその後、少しずつチューニングを行ったうえで実験用の仕様とした。

以下は GDSプロセス内 CIN (CatalogueItemNotification) メッセージにおける<TradeItem>以下のクラス内の国内項目をSchema化した全体の構造図である。

この構造モデルは各種GDSメッセージでも使用可能であり、かつ今後検討が進むと考えられる各種XML-EDIメッセージでも同様である。

このことはGDSプロセスとXML-EDIプロセスにおけるメッセージの位置付けが同じであることを示唆している。

図表 3-1 3 CIN Message Schema内 国内項目構造モデル図



3-2-2 マスタ項目に関する検証結果

これまでは マスタ同期化実験項目の決定経緯・考え方等の報告であったが、ここからは実際の実験で同期化された商品情報の分析結果、並びに今後の実用化に当たっての留意点・課題について報告する。

マスタ項目検証に当たっての考え方

本実験に当たってのマスタ項目検証に当たっては以下の検証を行うこととした。

- マスタ項目充足性についての検証

実験で決定し同期化した国内項目が小売業を中心とした実際の業務で使用するマスタと比較してどの程度の充足性があったのか を検討する。

具体的な検証方法としては以下の通り

- ◆ 実証実験システム上での同期化項目充足性

実験システム内で同期化された項目についてどの項目がどの程度使用されたかを検証する。

具体的にはメーカー⇒卸売業⇒小売業の3層間にわたって同期化された全データを抽出し、項目毎の使用状況を分析する。

- ◆ 国内項目と各社社内項目との充足性

実験で使用した国内項目と各社が社内で管理する商品マスタ項目間での整合性の検証を行う。

この検証によってこういった項目が現状の製配販3層間の同期化対象としてすでに存在するのか、日本でのGDS実用化の際の各社のマスタシステムにどのような影響があり、その規模はどの程度なのかを推計することが目的である。

なお検証方法は各社へのアンケート方式で対応した。

- マスタ項目品質についての検証

マスタ項目品質についてはGlobalでも大きな課題であり、マスタデータのAccuracyが確保されないとGDSを行う根本から覆ってしまう非常に重要な問題である。

ここではメーカー⇒卸売業⇒小売業の3層間にわたって同期化された全データを抽出し、その中で無作為にサンプリングを行った結果を基にData Accuracyの検証を行う。

3-2-3 データ充足性に関する検証結果

(1) 実証実験システム上での同期化項目充足性

ここでは製配販3層間で同期化された実データをベースに実験における国内項目の必然性について検証する。

また項目使用の集計は以下の切り口での分析を行った。

- 同期化された小売業毎（含む全体）での項目使用状況
- 商品階層毎の項目使用状況
- 商品分類（業界）毎の項目使用状況

(2) 同期化された小売業毎（含む全体）での項目使用状況

図表3-14は実験において製配販間で同期化され、最終的に何らかの形で小売業に同期化されたデータを全件抽出したものである。

ここでは小売業毎の同期化項目について特定の傾向値があるか否か、またデータ全体として各項目の使用率を検証した。

1) 全体的な傾向

実験参加小売業各社毎のデータについては多少企業ごとのばらつきはあるものの小売業全体としてみるとさほど企業間で同期化された項目の格差は出てこなかった。

これは、主にメーカーが入力する基本項目が検証対象項目では圧倒的に多かったため、小売業ごとの格差がつかなかったことが主な原因と考えられる。

なお、一部小売業のデータで同期化されたデータのパーセンテージが異常に高いものが存在する。これは該当小売業に対する同期化データ数（商品数）がごく限られた商品数に留まったことが原因と考えられる。

2) 各項目ごとの使用率について

同期化された全データを分析すると 以下の状況が判明した。

- 実験必須項目については **Schema** 上、あるいは入力チェック上でも厳しい **Validation** をかけたため、ほとんどの項目が登録率 100%であった。
- 一部項目は入力チェックから漏れたものがあり、項目充足度から見た場合には問題とならないデータ品質上の問題が存在することがわかった。
- ほとんど登録・利用のなかった項目も多数存在した。具体的には図表 3-14 内の黄色でマーキングしている項目である。
- これらの項目はまったく使われていないか、あるいは一部の商品にのみ使われている項目と考えられる。
- この利用率の低さの理由は様々あると考えられる。
 - 今回の実験対象データに該当項目を使用すべき商品がなかった。(フック穴サイズ、重なり形式、取扱最高/最低温度 等)
 - そもそも登録する必要性が薄いと考えられる。(メーカーパレット才数、主たる原料の原産国、CF 投入量 等)
- 本来登録をして然るべきであるが、メーカーが登録しきれないと考えられる項目も存在する。(ユニット容量、単位コード等)
- 見積価格については 関係依存項目であるが使用率は極端に少なかった。

図表 3-14 小売業別項目充足度

データ	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	総計
GTIN	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
情報提供者コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
情報受領者コード	46.6%	100.0%	100.0%	99.0%	11.3%	100.0%	66.0%	36.4%
次下位層GTIN	41.3%	21.4%	0.0%	13.7%	34.3%	0.0%	34.0%	37.1%
次下位層アイテム数	41.3%	21.4%	0.0%	13.7%	34.3%	0.0%	34.0%	37.1%
次下層GTINフラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
PIIH(商品階層)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
販売対象国コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
販売対象地域コード	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.1%
POS用コード	64.7%	89.3%	100.0%	100.0%	71.0%	100.0%	79.2%	69.0%
ソースマージング種類コード	68.7%	100.0%	100.0%	100.0%	74.4%	100.0%	79.2%	72.6%
以前のGTIN	3.3%	14.3%	11.8%	3.9%	3.5%	0.0%	7.5%	3.7%
GPC(グローバル商品分類)コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
JICFSコード(標準分類)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
店頭販売単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
発注可能フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
物流単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決済単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
定貨/不定貨フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
メーカーコード(代表メーカーコード)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
メーカー名(正式メーカー名)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品名・短縮メーカー名	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品カナ名・短縮メーカー名	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
ブランド名(漢字)	62.8%	100.0%	100.0%	78.4%	73.9%	100.0%	83.0%	68.5%
サブブランド名(漢字)	14.6%	42.9%	0.0%	35.3%	40.9%	0.0%	50.9%	26.0%
贈答区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品名(漢字)	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
メーカー正式商品名	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品名・長	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品名・短	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
レシート名	72.5%	100.0%	100.0%	94.1%	80.1%	100.0%	75.5%	76.5%
商品名・内容量名	51.8%	71.4%	88.2%	62.7%	55.4%	100.0%	34.0%	53.6%
商品名・規格単位名	51.8%	71.4%	88.2%	62.7%	55.4%	100.0%	34.0%	53.6%
商品カナ名・長	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品カナ名・短	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%
商品カナ名・内容量名	71.4%	92.9%	88.2%	88.2%	77.8%	100.0%	71.7%	74.7%
商品カナ名・規格単位名	71.4%	92.9%	88.2%	88.2%	77.8%	100.0%	71.7%	74.6%
CF投入量	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
商品特徴(フル)	99.0%	96.4%	94.1%	93.1%	75.1%	100.0%	49.1%	88.9%
商品特徴(概要)	97.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.6%
商品特徴(短)	97.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%
希望小売価格区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
希望小売価格(総額)	63.7%	92.9%	70.6%	77.5%	69.3%	0.0%	81.1%	66.8%
希望小売価格(本体)	63.8%	92.9%	70.6%	77.5%	69.8%	0.0%	81.1%	67.1%
希望小売価格単位	64.1%	92.9%	70.6%	77.5%	69.8%	0.0%	81.1%	67.2%
tax agency code	99.3%	100.0%	100.0%	97.1%	99.6%	100.0%	100.0%	99.4%
消費税率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
消費税率	99.3%	100.0%	100.0%	97.1%	99.6%	100.0%	100.0%	99.4%
見積り価格	0.4%	0.0%	0.0%	14.7%	0.0%	100.0%	3.8%	0.8%
見積り価格単位	0.4%	0.0%	0.0%	14.7%	0.0%	100.0%	3.8%	0.8%
商品画像取り込みURL	51.6%	64.3%	88.2%	69.6%	59.7%	100.0%	56.6%	55.7%
商品サイズ<幅>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<高さ>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<奥行>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<直径>	17.0%	35.7%	11.8%	32.4%	20.8%	0.0%	26.4%	19.3%
商品サイズ単位	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
フック穴位置X	0.6%	0.0%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.5%
フック穴位置Y	0.6%	0.0%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.5%
フック穴サイズ	0.6%	0.0%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.5%
フック穴サイズ単位	0.6%	0.0%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.5%
圧縮率<幅>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
圧縮率<高さ>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
圧縮率<奥行>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
重なり形式	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
重なり<幅>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
重なり<高さ>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
重なり<奥行>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
重なり単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
標準サイズコード団体名	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
標準サイズコード	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サイズ名	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
色コード管理団体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
標準カラーコード	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
カラー名	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総重量	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総重量単位コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
内容量	90.8%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	94.3%	91.7%
内容量単位コード	90.8%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	94.3%	91.7%
ユニット容量	9.2%	7.1%	29.4%	12.7%	9.2%	100.0%	1.9%	9.3%
ユニット単位コード	9.2%	7.1%	29.4%	12.7%	9.2%	100.0%	1.9%	9.3%
容器形態コード(外装容器形態)	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
容器素材の区分,容器素材重量,容器素材重量単位コード	15.8%	14.3%	35.3%	8.8%	9.2%	0.0%	11.3%	13.1%
品質保証期間値	41.8%	67.9%	29.4%	36.3%	41.2%	100.0%	49.1%	41.7%
品質保証期間単位コード	41.8%	67.9%	29.4%	36.3%	41.2%	100.0%	49.1%	41.7%
メーカー発売日	53.2%	89.3%	94.1%	92.2%	55.3%	100.0%	58.5%	56.0%
メーカー終了日	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	3.8%	1.9%
原単価(総額)	10.8%	100.0%	94.1%	98.0%	7.8%	100.0%	66.0%	15.1%
原単価(本体)	10.8%	100.0%	94.1%	98.0%	7.8%	100.0%	66.0%	15.1%
原単価単位	10.8%	100.0%	94.1%	98.0%	7.8%	100.0%	66.0%	15.1%
パレット段数	11.3%	17.9%	29.4%	24.5%	12.6%	100.0%	9.4%	12.4%
ハイ組(パレット面ケース数)	11.3%	17.9%	29.4%	24.5%	12.6%	100.0%	9.4%	12.4%
使用パレット種類	9.4%	17.9%	29.4%	4.9%	10.5%	100.0%	15.1%	10.0%
メーカーパレット枚数	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
取扱最高温度(°C)(メーカー)	11.2%	17.9%	0.0%	10.8%	9.8%	0.0%	1.9%	10.5%
取扱最低温度(°C)(メーカー)	5.4%	7.1%	0.0%	10.8%	5.4%	0.0%	1.9%	5.5%
取扱最高温度(°C)(卸)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取扱最低温度(°C)(卸)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
温度単位	11.2%	17.9%	0.0%	10.8%	9.8%	0.0%	1.9%	10.5%
温度帯区分	34.7%	42.9%	29.4%	22.5%	37.2%	100.0%	43.4%	35.5%
原産国コード	23.3%	28.6%	11.8%	20.6%	16.2%	0.0%	3.8%	20.2%
アルコール度数	8.5%	42.9%	5.9%	41.2%	9.2%	0.0%	1.9%	10.1%
酒類分類	6.5%	42.9%	0.0%	30.4%	7.4%	0.0%	1.9%	7.9%
栄養成分表示単位	29.3%	67.9%	29.4%	41.2%	31.5%	100.0%	13.2%	30.6%
カロリー	34.9%	82.1%	29.4%	43.1%	38.4%	100.0%	47.2%	37.2%
カロリー単位	34.9%	82.1%	29.4%	43.1%	38.4%	100.0%	47.2%	37.2%
タンパク質	33.6%	82.1%	29.4%	19.6%	36.8%	100.0%	47.2%	35.0%
タンパク質単位	33.6%	82.1%	29.4%	19.6%	36.8%	100.0%	47.2%	35.0%
脂質	34.9%	82.1%	29.4%	43.1%	38.4%	100.0%	47.2%	37.2%
脂質単位	34.9%	82.1%	29.4%	43.1%	38.4%	100.0%	47.2%	37.2%
炭水化物	32.5%	82.1%	29.4%	19.6%	36.3%	100.0%	47.2%	34.2%
炭水化物単位	32.5%	82.1%	29.4%	19.6%	36.3%	100.0%	47.2%	34.2%
ナトリウム	33.6%	82.1%	29.4%	19.6%	36.8%	100.0%	47.2%	35.0%
ナトリウム単位	33.6%	82.1%	29.4%	19.6%	36.8%	100.0%	47.2%	35.0%
栄養成分強調表示	8.8%	21.4%	29.4%	35.3%	10.0%	100.0%	3.8%	10.4%
原材料表示	30.9%	82.1%	29.4%	23.5%	34.5%	100.0%	47.2%	32.8%
主たる原材料の原産国	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
遺伝子組換え区分	58.9%	89.3%	94.1%	89.2%	54.1%	100.0%	67.9%	58.8%
取り扱い注意(危険物等)区分	61.3%	89.3%	94.1%	89.2%	58.7%	100.0%	67.9%	61.9%
情報公開可能日(一斉公開日)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
マスター有効日	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ITEコード	40.2%	50.0%	41.2%	40.2%	41.1%	100.0%	50.9%	40.8%

（３） 商品階層毎の項目使用状況

次に商品階層毎の項目使用状況を見てみる。

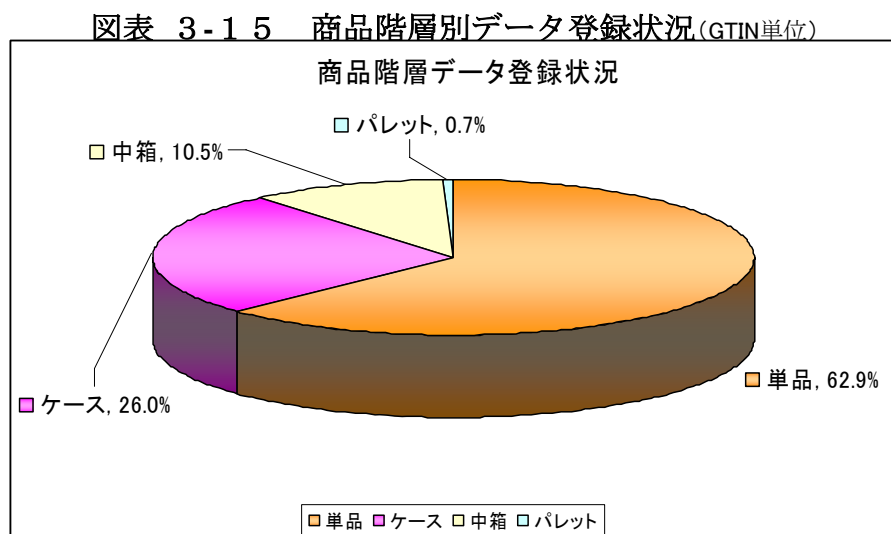
まず、本実験においては商品階層を以下の４種類に限定して対応した。

- Pallet : パレット
- Case : ケース
- Pack : 中箱（ケース内インナーパック）
- Each : 単品

実業務上は上記以外にも多種多様な商品階層が存在する（MixPack等）が、今回は商品階層の考え方の理解を早める意味もあり分かりやすい階層のみとした。

本実験での商品階層の取扱は実質的に全体の同期化データの60%以上が商品単品のデータとなった。（図表3-15参照）

またケースの情報も26%とそれなりにデータ登録があった反面、中箱・パレット情報の登録は少なかった。特にパレット情報については小売業としてパレット情報のニーズがさほどなかったことが大きな原因と考えられる。



また図表3-16は実際の階層毎のデータである。こちらにもいくつかの傾向が見られた。

- 商品名、希望小売価格等については、単品はそれなりにデータ登録があるが、それ以外の商品階層ではさほど登録されていない。⇒商品名・価格等は単品情報のみ必要という考え方もあり、入力インターフェースと併せ、今後検討が必要と考えられる。
- パレット関連情報についてはパレット階層ではきちんとデータが登録されていた。⇒これらの項目は単品階層では存在しないはずであるが、若干存在してしまっている部分もあり、データ品質面の検討が必要である。

図表 3-16 商品階層別データ登録状況 (GTIN単位)

※データのない項目は表示していません

データ	単品	ケース	中箱	パレット	総計
商品階層シェア	62.9%	26.0%	10.5%	0.7%	100.0%
GTIN	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
情報提供者コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
情報受領者コード	36.7%	33.9%	37.2%	100.0%	36.4%
次下位層GTIN	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	37.1%
次下位層アイテム数	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	37.1%
最下層GTINフラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
PTIH(商品階層)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
販売対象国コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
販売対象地域コード	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
POS用コード	100.0%	18.1%	10.7%	40.0%	69.0%
ソースマーキング種類コード	100.0%	32.2%	10.7%	40.0%	72.6%
以前のGTIN	5.2%	1.4%	0.0%	0.0%	3.7%
GPC(グローバル商品分類)コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
JICFSコード(標準分類)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
店頭販売単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
発注可能フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
物流単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決済単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
定員/不定員フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
メーカーコード(代表メーカーコード)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
メーカー名(正式メーカー名)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品名・短縮メーカー名	100.0%	97.7%	100.0%	70.0%	99.2%
商品カナ名・短縮メーカー名	100.0%	97.7%	100.0%	70.0%	99.2%
ブランド名(漢字)	88.4%	32.7%	39.5%	40.0%	68.5%
サブブランド名(漢字)	33.1%	13.5%	14.9%	10.0%	26.0%
贈答区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品名(漢字)	100.0%	97.7%	100.0%	70.0%	99.2%
メーカー正式商品名	100.0%	97.7%	100.0%	70.0%	99.2%
商品名・長	100.0%	97.7%	100.0%	70.0%	99.2%
商品名・短	100.0%	97.7%	100.0%	70.0%	99.2%
レジスト名	98.1%	40.1%	39.8%	40.0%	76.5%
商品名・内容量名	75.0%	22.1%	4.5%	40.0%	53.6%
商品名・規格単位名	75.0%	22.1%	4.5%	40.0%	53.6%
商品カナ名・長	100.0%	97.7%	100.0%	70.0%	99.2%
商品カナ名・短	99.8%	97.4%	100.0%	70.0%	99.0%
商品カナ名・内容量名	95.4%	39.7%	39.5%	40.0%	74.7%
商品カナ名・規格単位名	95.4%	39.5%	39.5%	40.0%	74.6%
商品特徴(フル)	95.0%	78.3%	79.9%	70.0%	88.9%
商品特徴(概要)	99.8%	96.5%	98.7%	70.0%	98.6%
商品特徴(短)	99.8%	95.7%	98.7%	70.0%	98.4%
希望小売価格区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
希望小売価格(総額)	89.3%	24.5%	38.8%	40.0%	66.8%
希望小売価格(本体)	89.1%	25.8%	38.8%	40.0%	67.1%
希望小売価格単位	89.3%	26.0%	38.8%	40.0%	67.2%
tax agency code	100.0%	98.2%	98.4%	100.0%	99.4%
消費税区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
消費税税率	100.0%	98.2%	98.4%	100.0%	99.4%
見積り価格	1.1%	0.3%	0.6%	0.0%	0.8%
見積り価格単位	1.1%	0.3%	0.6%	0.0%	0.8%
商品画像取り込みURL	83.9%	8.5%	4.5%	40.0%	55.7%
商品サイズ<幅>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<高さ>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<奥行>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<直径>	30.2%	1.0%	0.0%	0.0%	19.3%
商品サイズ単位	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
フック穴位置X	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
フック穴位置Y	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
フック穴サイズ	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
フック穴サイズ単位	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
重なり形式	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
総重量	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総重量単位コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
内容量	100.0%	83.3%	67.6%	10.0%	91.7%
内容量単位コード	100.0%	83.3%	67.6%	10.0%	91.7%
ユニット容量	10.4%	10.5%	0.0%	10.0%	9.3%
ユニット単位コード	10.4%	10.5%	0.0%	10.0%	9.3%
容器形態コード(外装容器形態)	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
容器素材の区分.容器素材重量.容器素材重量単位コード	18.1%	6.3%	0.0%	10.0%	13.1%
品質保証期間値	43.3%	39.7%	39.8%	0.0%	41.7%
品質保証期間単位コード	43.3%	39.7%	39.8%	0.0%	41.7%
メーカー発売日	62.5%	46.0%	45.6%	0.0%	56.0%
メーカー終了日	2.7%	0.8%	0.0%	0.0%	1.9%
原単価(総額)	18.1%	9.4%	9.4%	40.0%	15.1%
原単価(本体)	18.1%	9.4%	9.4%	40.0%	15.1%
単価単位	18.1%	9.4%	9.4%	40.0%	15.1%
パレット段数	9.4%	20.7%	4.2%	100.0%	12.4%
ハイ組(パレット面ケース数)	9.4%	20.7%	4.2%	100.0%	12.4%
使用パレット種類	7.5%	17.8%	0.0%	100.0%	10.0%
メーカーパレット才数	0.3%	0.8%	0.0%	40.0%	0.7%
取扱最高温度(°C)(メーカー)	10.8%	13.2%	2.6%	0.0%	10.5%
取扱最低温度(°C)(メーカー)	5.9%	5.9%	2.6%	0.0%	5.5%
温度単位	10.8%	13.2%	2.6%	0.0%	10.5%
温度帯区分	35.8%	35.8%	35.0%	0.0%	35.5%
原産国コード	20.1%	21.5%	15.9%	40.0%	20.2%
アルコール度数	10.8%	9.5%	7.8%	0.0%	10.1%
酒類分類	9.2%	6.4%	4.5%	0.0%	7.9%
栄養成分表示単位	34.7%	20.4%	33.7%	0.0%	30.6%
カロリー	42.1%	26.3%	36.9%	0.0%	37.2%
カロリー単位	42.1%	26.3%	36.9%	0.0%	37.2%
タンパク質	40.0%	25.0%	32.4%	0.0%	35.0%
タンパク質単位	40.0%	25.0%	32.4%	0.0%	35.0%
脂質	42.1%	26.3%	36.9%	0.0%	37.2%
脂質単位	42.1%	26.3%	36.9%	0.0%	37.2%
炭水化物	38.8%	25.0%	32.4%	0.0%	34.2%
炭水化物単位	38.8%	25.0%	32.4%	0.0%	34.2%
ナトリウム	40.0%	25.0%	32.4%	0.0%	35.0%
ナトリウム単位	40.0%	25.0%	32.4%	0.0%	35.0%
栄養成分強調表示	13.2%	6.3%	4.5%	0.0%	10.4%
原材料表示	38.3%	24.5%	22.7%	0.0%	32.8%
遺伝子組換え区分	58.2%	61.6%	53.4%	100.0%	58.8%
取り扱い注意(危険物等)区分	63.0%	61.6%	53.4%	100.0%	61.9%
情報公開可能日(一斉公開日)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
マスター有効日	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ITFコード	38.0%	49.3%	36.9%	40.0%	40.8%

(4) 商品カテゴリ毎の項目使用状況

同じデータを今度は商品分類をキーとして抽出した。
こちらは商品分類、業界毎の特徴が明確に現れている。

1) 酒類・加工食品業界

- ユニット容量に関する登録が特に飲料で高い。
- 商品直径項目が特に酒類・飲料において登録率が高い。これは容器形態が瓶・ボトルが多いためと考えられる。
- 品質保証期間値・温度帯管理情報・栄養成分表示関連項目等の登録率が非常に高い。
- 当然のことであるが酒類のみアルコール度数・酒類分類の登録率が高い。

2) 日用品・化粧品業界

- 全体として、入力項目は食品業界よりは少ない。
- 見積価格・ユニット容量の入力が無いか 非常に少ない。
- 品質保証期間・温度帯管理・栄養成分表示・等の項目の登録が無い⇒加工食品業界中心の項目であるため、日用品・化粧品業界では必要ないか。
- 遺伝子組換え区分・取扱注意（危険物等）区分データが食品業界と比較して明らかに少ない⇒これも業界特性か。

以上のことから分かるように【FMCG Extension】がGlobalでも設定されているように日本においても業界別のExtension項目、いわゆる【IndustryExtension】項目を設定し、業界横断的な共通項目は一定限度に制限してゆく方向性が考えられる。この共通項目はいわゆるGDD+日本共通項目になると想定される。

また【IndustryExtension】項目は全ての業界には必ずしも必要ではなく、項目検討の中で必要と考えられる業界に対して設定すればよいと考えられる。

図表 3-17 商品カテゴリ別データ登録状況 (GTIN単位)

※データの無い項目は表示していません

項目	日用雑貨	家庭用品	化粧品	その他日用品	日用雑貨計	加工食品	酒類	飲料	食品計	総計
Retailer	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品分類	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
GTIN	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
情報提供者コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
情報受領者コード	52.3%	100.0%	57.0%	100.0%	56.0%	10.6%	24.6%	12.1%	14.0%	36.4%
次下位層GTIN	35.9%	50.0%	38.4%	50.0%	37.5%	36.3%	37.8%	37.9%	36.7%	37.1%
次下位層アイテム数	35.9%	50.0%	38.4%	50.0%	37.5%	36.3%	37.8%	37.9%	36.7%	37.1%
最下層GTINフラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
PTIN(商品階層)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
販売対象国コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
販売対象地域コード	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.2%	0.1%
POS用コード	65.1%	50.0%	61.9%	50.0%	63.2%	67.6%	97.2%	87.9%	75.6%	69.0%
ソースマーキング種類コード	65.1%	50.0%	61.6%	50.0%	63.1%	78.5%	98.2%	87.9%	83.6%	72.6%
以前のGTIN	0.1%	0.0%	4.6%	0.0%	2.0%	7.7%	0.0%	0.0%	5.5%	3.7%
GPC(グローバル商品分類)コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
JICFSコード(標準分類)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
店頭販売単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
発注可能フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
物流単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決済単位フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
定員/不定員フラグ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
メーカーコード(代表メーカーコード)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
メーカー名(正式メーカー名)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品名-短縮メーカー名	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品カナ名-短縮メーカー名	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
ブランド名(漢字)	65.1%	50.0%	61.9%	50.0%	63.2%	80.0%	66.8%	30.3%	74.5%	68.5%
サブブランド名(漢字)	3.0%	0.0%	43.6%	0.0%	20.2%	29.2%	45.5%	18.2%	32.5%	26.0%
贈答区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品名(漢字)	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
メーカー正式商品名	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品名・長	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品名・短	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
レシート名	65.1%	50.0%	61.9%	50.0%	63.2%	91.1%	93.2%	97.0%	91.9%	76.5%
商品名-内容量名	65.1%	50.0%	61.0%	0.0%	61.6%	48.5%	27.1%	71.2%	44.5%	53.6%
商品名-規格単位名	65.1%	50.0%	61.0%	0.0%	61.6%	48.5%	27.1%	71.2%	44.5%	53.6%
商品カナ名・長	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
商品カナ名・短	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	100.0%	98.5%	100.0%	99.6%	99.0%
商品カナ名-内容量名	65.1%	50.0%	61.0%	0.0%	61.6%	93.4%	76.3%	100.0%	89.7%	74.7%
商品カナ名-規格単位名	65.1%	50.0%	61.0%	0.0%	61.6%	93.2%	76.3%	100.0%	89.5%	74.6%
商品特徴(フル)	85.4%	100.0%	80.7%	100.0%	83.9%	95.9%	89.5%	100.0%	94.6%	88.9%
商品特徴(概要)	98.6%	100.0%	99.1%	100.0%	98.9%	99.6%	94.5%	100.0%	98.4%	98.6%
商品特徴(短)	98.6%	100.0%	98.2%	100.0%	98.5%	99.6%	94.5%	100.0%	98.4%	98.4%
希望小売価格区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
希望小売価格(総額)	61.2%	50.0%	58.2%	50.0%	59.5%	75.4%	70.5%	97.0%	75.2%	66.8%
希望小売価格(本体)	61.2%	50.0%	58.2%	50.0%	59.5%	74.8%	74.2%	97.0%	75.7%	67.1%
希望小売価格単位	61.2%	50.0%	58.2%	50.0%	59.5%	75.4%	74.2%	97.0%	76.1%	67.2%
tax agency code	100.0%	100.0%	98.8%	100.0%	99.5%	100.0%	96.6%	100.0%	99.2%	99.4%
消費税区分	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
消費税税率	100.0%	100.0%	98.8%	100.0%	99.5%	100.0%	96.6%	100.0%	99.2%	99.4%
見積り価格	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	4.9%	0.0%	1.8%	0.8%
見積り価格単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	4.9%	0.0%	1.8%	0.8%
商品画像取り込みURL	60.4%	50.0%	51.9%	0.0%	55.2%	57.2%	64.9%	0.0%	56.3%	55.7%
商品サイズ<幅>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<高さ>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<奥行>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
商品サイズ<直径>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.4%	52.9%	27.3%	41.3%	19.3%
商品サイズ単位	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
フック穴位置X	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
フック穴位置Y	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
フック穴サイズ	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
フック穴サイズ単位	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
重なり形式	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
総重量	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総重量単位コード	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
内容量	95.5%	100.0%	97.3%	100.0%	96.5%	81.7%	98.8%	90.9%	86.2%	91.7%
内容量単位コード	95.5%	100.0%	97.3%	100.0%	96.5%	81.7%	98.8%	90.9%	86.2%	91.7%
ユニット容量	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	22.6%	0.0%	60.6%	19.1%	9.3%
ユニット単位コード	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	22.6%	0.0%	60.6%	19.1%	9.3%
容器形態コード(外装容器形態)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%	100.0%	99.9%	100.0%
容器素材の区分,容器素材重量,容器素材重量単位コード	9.4%	0.0%	13.2%	0.0%	10.7%	17.4%	3.1%	54.5%	15.8%	13.1%
品質保証期間値	1.1%	0.0%	6.4%	0.0%	3.3%	96.6%	49.8%	100.0%	85.7%	41.7%
品質保証期間単位コード	1.1%	0.0%	6.4%	0.0%	3.3%	96.6%	49.8%	100.0%	85.7%	41.7%
メーカー発売日	29.9%	0.0%	6.5%	0.0%	18.8%	99.6%	95.4%	100.0%	98.6%	56.0%
メーカー終了日	6.4%	0.0%	1.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.6%	0.0%	0.1%	1.9%
原単価(総額)	14.0%	0.0%	20.9%	0.0%	16.5%	10.6%	22.2%	12.1%	13.4%	15.1%
原単価(本体)	14.0%	0.0%	20.9%	0.0%	16.5%	10.6%	22.2%	12.1%	13.4%	15.1%
単価単位	14.0%	0.0%	20.9%	0.0%	16.5%	10.6%	22.2%	12.1%	13.4%	15.1%
パレット段数	3.3%	0.0%	0.6%	0.0%	2.0%	19.0%	44.6%	4.5%	24.3%	12.4%
ハイ組(パレット面ケース数)	3.3%	0.0%	0.6%	0.0%	2.0%	19.0%	44.6%	4.5%	24.3%	12.4%
使用パレット種類	3.3%	0.0%	0.6%	0.0%	2.0%	19.8%	20.3%	4.5%	19.2%	10.0%
メーカーパレット才数	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
取扱最高温度(°C)(メーカー)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.7%	3.1%	69.7%	22.4%	10.5%
取扱最低温度(°C)(メーカー)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	0.0%	69.7%	11.8%	5.5%
温度単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.7%	3.1%	69.7%	22.4%	10.5%
温度帯区分	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	96.9%	6.8%	100.0%	75.7%	35.5%
原産国コード	5.2%	0.0%	6.2%	0.0%	5.4%	42.8%	12.9%	69.7%	37.0%	20.2%
アルコール度数	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.4%	0.0%	21.6%	10.1%
酒類分類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.0%	0.0%	17.0%	7.9%
栄養成分表示単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.5%	44.0%	71.2%	65.7%	30.6%
カロリー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	66.5%	71.2%	79.8%	37.2%
カロリー単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	66.5%	71.2%	79.8%	37.2%
タンパク質	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	46.8%	71.2%	75.2%	35.0%
タンパク質単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	46.8%	71.2%	75.2%	35.0%
脂質	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	66.5%	71.2%	79.8%	37.2%
脂質単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	66.5%	71.2%	79.8%	37.2%
炭水化物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	46.8%	36.4%	73.5%	34.2%
炭水化物単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	46.8%	36.4%	73.5%	34.2%
ナトリウム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	46.8%	71.2%	75.2%	35.0%
ナトリウム単位	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	46.8%	71.2%	75.2%	35.0%
栄養成分強調表示	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.9%	19.7%	40.9%	22.3%	10.4%
原材料表示	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	79.3%	38.2%	97.0%	70.4%	32.8%
遺伝子組換え区分	27.7%	0.0%	19.0%	0.0%	23.0%	100.0%	99.7%	100.0%	99.9%	58.8%
取り扱い注意(危険物等)区分	27.9%	0.0%	32.1%	0.0%	28.7%	100.0%	99.7%	100.0%	99.9%	61.9%
情報公開可能日(一斉公開日)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
マスタ有効日	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ITFコード	6.3%	0.0%	2.1%	0.0%	4.2%	88.3%	71.4%	56.1%	82.8%	40.8%

（５） 国内項目と各社社内項目との充足性

ここでは実験で使用した国内項目と現在 製配販各社が社内で管理する商品マスタ項目間での整合性の検証を行った結果を報告する。

なお検証方法は各社へのアンケート方式で対応した。

※アンケート詳細結果は、付属資料５（商品マスタ項目充足性検証結果）を参照

① アンケート結果集約による傾向

- 現在の製配販各社の各社内項目は JAN コード（単品 or 一部ケース等の GTIN）や商品名称等はかなりの確率で合致する。
- ただし、大部分の項目は社内項目として存在していない。
- 業界毎の社内項目保有傾向は前記（４）の分析結果とほぼ同様である。
- 特に食品業界の卸売業において項目のカバー率が全体的に高い。
- 商品階層別では圧倒的に商品単品の情報が多い。
 - 単品の次に多いのがケースの情報であるが情報量は格段に少なくなる
 - 中箱の情報もかなり少ない状況である
 - パレット情報は製配販含めほとんど保有していないことが判明した

② 分析結果

- 全体的には実験項目に対し、社内で保有していない項目が多いことが判明した。これは、GDS 実用化に際しては各社の商品マスタ情報のかなり基本部分から見直す必要が出てくる可能性が高い。
またこのことはメーカー・卸売業から見た場合、GDS実用化への壁はそれなりに高いことを示唆していると考えられる。
- 商品階層毎に情報を持つGDSに考え方はこれまで日本国内ではほとんど存在していなかった。例外的にケース/ボール JAN を持つ商品のみがその商品情報を保有していたと考えられる。ただし、GDS 実用化にあたっては商品階層毎の情報管理、あるいはこれまで対応していなかった商品情報の収集・管理が必要となると考えられる。この点も実用化の際の大きな壁になると考えられる。

3-2-4 データ品質に関する検証結果

(1) 送信データに基づくデータ品質に関する検証結果

ここではメーカー⇒卸売業⇒小売業の3層間にわたって同期化された全データを抽出し、その中で無作為にサンプリングを行った結果を基に同期化されたマスターデータの品質チェックを行った。

なお、この品質検証に当たっては3層間での情報整合性をチェックするため、いわゆる基本項目に絞って検証を行った。

また以下に報告するものはサンプリングを行って判明したものの一部である。

① 同一 GTIN での情報整合性

各小売業に同期化された商品情報のうち同一GTIN内での情報整合性を検証した。当然のことではあるが基本項目全体で相違が出ている項目は存在しなかった。

図表 3-18 同一GTIN内情報整合性検証 (項目サンプリング結果)

商品分類	商品名 —内容 量名	商品名 —規格 単位名	消費 税税率	商品サイズ ＜幅＞	商品サイズ ＜高さ＞	商品サイズ ＜奥行＞	商品サイズ 単位	総重量	総重量単位 コード	品質保証期 間値	品質保証 期間単位 コード
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA
飲料	920	g	5	70	255	70	MM	950	GR	270	DA

② 項目単位での情報整合性

今度は各項目単位での情報整合性をチェックしてみた。

ほとんどの項目では問題はなかったが若干ながら以下のような現象が見られた。

□ 日数登録のエラー

下図は基本項目のうちメーカーが指定する【品質保証期間値】である。
項目定義としては【日数】あるいは【時間数】を登録することとなっているが、
最下段のデータは日数ではなく「品質保証期限」を表しているものと考えられる。
データは実質的に「9999年」となっているためダミーデータであると推測されるが、
登録形式が間違っている。

図表 3-19 品質保証期間値の不整合

品質保証期間値	品質保証期間単位コード
60	DA
180	DA
99991231	DA

今後の検討方針としては以下の可能性が考えられる。

- ✓ バリデーションチェックの強化
一定以上の日数・時間数が入力された段階でバリデーションエラーとする。
- ✓ 【品質保証期限】項目設定
商品情報内で品質保証期間ではなく、具体的な期限の年月日を指定させる。
ただし、この方法では汎用的なマスタ情報項目とはならず、入荷単位のマスタ項目更新が必要と考えられ、実質的な対応は困難であると考えられる。

□ 短縮メーカー名称のエラー

下図はあるメーカーの短縮メーカー名 及び短縮カナ名である。

図表 3-20 短縮メーカー名の不整合

商品名－短縮メーカー名	商品カナ名－短縮メーカー名
■■■■■	■■■■■
■■■■■ビー	■■■■■比

これはあるメーカーの短縮メーカー名及び短縮カナメーカー名であるが、下段のほう
が「ビー」あるいは「比」が追加されている。

実際には双方とも単品の商品情報であり、もちろん商品自体も違うものであるがメーカーのGLNはイコールである。しかしながら、メーカー名の表記方法が商品毎に違ってしまった。

対応策としては以下の対応が考えられる。





- メーカー名(正式・短縮とも)、ブランド名等比較的固定化されやすい項目については GLN に対して固定的な項目を設定し、自動付与させる。
- あるいはユーザーインターフェース上で項目と固定値の関係を事前登録させる。

どちらにしても単純なバリデーションのみでは対応が困難な問題であり、かつ変動要素が少ないため、システム的には何らかの事前設定機能を開発すればこのエラーは防止可能と考えられる。

□ 文字種のエラー

下図は同一商品における階層違いの情報の一部である。

図表 3-2 1 文字種の不整合

PTIH(商品階層)	メーカー正式商品名
CASE	「  KK  だし」55g瓶
BASE_UNIT_OR_EACH	「  kk  だし」55g瓶

【メーカー正式商品名】の項目そのものは全く同一であったが、項目長が微妙に違っていた。

詳細を見た結果【KK】部分がケースは大文字、単品は小文字であることが判明した。このケースでは英文字の大小の違いであったが、実は日本語の場合、【半角/全角】文字の問題が存在する。

カタカナ及び英数字、記号の場合、各々に全角文字と半角文字が存在し、その使用ルールは厳密には指定されていない実情が存在する。

特に今回のような商品名・ブランド名の場合、英文字であっても固有名詞、あるいは固有名詞に近いものの場合、全角文字で表現する場合も存在する。

これらの名称系の項目においてはこういった文字種の統一化の問題は非常に重要かつ解決困難な課題であると言える。

特に半角／全角に関する問題は単にValidationの問題のみでは解決が不可能、あるいは解決するにしても開発に多大な時間とコストがかかる問題である。

これらの大文字/小文字、全角/半角文字の課題については実用化に際してどのレベルまでデータValidationを行うのか関係者で詳細検討を行った上で、合意形成されたルールに基づいて時間をかけて段階的に整合性を取っていかざるを得ない課題であると考えられる。

□ 商品階層間でのデータ品質

同一商品の商品階層間の関係をサンプリングしてみたところ、特に商品に関するサイズ関連情報で以下のような事例が見られた。

- 単品とケースの商品サイズが同じ
- 単品商品サイズ > ケース/中箱等の商品サイズ

今回は実験であり、かつ実験参加者のほとんどは商品階層に関する考え方の理解度がまだ高くないために発生したエラーであると考えられる。

今後実用化に向けては以下の対応が必要となると考えられる。

- 商品階層の考え方に関するラーニング
- 商品階層とデータの相関関係に関する Validation

例えばパレット（の商品サイズ）>ケース>中箱>単品でない場合はValidationエラーとする等の対応

③ 送信データに基づくデータ品質に関する検証結果

実験におけるデータ品質については、実験開始当初の想像以上にエラーは少なかったと考えられる。しかしながらデータを詳細に検証すると細かなデータ不整合を発見することとなった。

今後 実用化に向けては登録データのValidation チェック機能の実装・強化は必須である。

しかしながら特に商品名関連の項目においては、Validationのみでは解決不可能なデータ不整合問題が発生する可能性は高い。

従って今後とも継続的なデータチェックと問題の発見、解決へのアプローチは必須であると考ええる。

(2) 課題シートに基づくデータ品質に関する検証結果

本実験において使用したマスタ項目については様々な検証結果が得られたが、もちろん課題も多かった。

ここでは、マスタ項目に関する課題のうち、特に指摘が多かった、あるいは課題として重要度が高いと考えられるものについて報告する。

① 全体的な傾向・項目全体の課題

実験において使用したマスタ項目については様々な検証結果が得られたが、もちろん課題も多かった。

なかでも一番多かったのはマスタ項目の定義・使い方に関する課題である。

本実験においては、これまで対応したことのないGlobal共通項目や実験としてのトライアル項目も含めて多数の項目が存在した。それだけに聞きなれない項目・使い方の判りづらい項目も存在した。

実用化に向けては以下のような対応策が挙げられる。

- 項目定義の現在以上の詳細化・明確化
- 各項目の利用シーンの明確化
- 項目間の関連性の明確化
- GDS 以外のソリューションとの関連性明確化⇒EDI 項目との関連等
- 同期化項目に対するラーニング及びドキュメンテーション

② 項目に関する代表的課題

ここではマスタ項目に関する代表的課題のいくつかを例にとり、解決の方向性を探ることとする。

M1) 価格関連項目において総額／本体表示両方が必要か？

【課題概要】

マスタ項目として価格関連（cf,希望小売価格）が存在する。本実験ではトライアルとして価格関連情報については【総額】と【本体】の双方の価格を設定した。しかしながら、実験では双方は必要ないのではという意見が多かった

【課題分類】

- 原因分類 : マスタ定義
- 緊急度 : 本番開始前に解決必須

【詳細説明】

現状価格総額計算方式が小売業毎に微妙に違っている。この状況を是正することがない限り、価格総額計算方式を標準化することは出来ない。

また一部業界では希望小売価格であっても円未満の端数が存在すると言う指摘もあった。

<今後の課題>

様々な価格関連の総額／本体項目の整理

M2) 商品階層と項目登録の関連

【課題概要】

実験に際し、マスタ項目の検討を行った際、単品をベースとしたマスタ項目検討を行ったが他の商品階層との兼ね合いを検討していなかった。

そのため、実験時に消費者販売階層以外の商品階層でのマスタ項目登録についてどの項目を必須とし、どの項目を任意とすべきかという点において詳細定義がなされていなかった。

【課題分類】

- 原因分類 : 商品階層との関連
- 緊急度 : 本番開始前に解決必須

【詳細説明】

本来GDS項目を同期化するためのXML-Schemaはどの商品階層の登録であっても同じSchemaを使用することとなっている。(Globalでの構造はCatalogueItemBRD ver7.7に詳しい)

またこのことは各項目の必須／任意等も含めた属性も同じであるということとイコールである。

本実験においてもXML-Schemaの構造はGlobalと同様 どの商品階層でも同じ構造となっていた。

しかしながら、XML-Schemaと同じ構造を入力インターフェースに反映させた場合、ユーザーにとっては非常に違和感があるものとなった。

原因としては消費者販売階層上での必要性により必須属性と決めた項目はその他属性でも同じ必須項目となってしまうため。

具体的には商品単品での希望小売価格は入力できてもパレットレベルでの希望小売価格は登録不可能と言う事態が生じた。

また同様に商品名称においても同じ問題が発生した。

ただこちらは実験期間中に使用しない項目について未入力の場合【未入力】を強制的データセットすることで対応した。

ただしこの解決策も根本的な解決策では必ずしもないため、実用化に向けての詳細検討・対応方針検討が必要と考えられる。

<今後の課題>

- ・ 項目再定義の際の商品階層を跨った場合での属性設定
- ・ 入力インターフェース上でのコントロール

M3) バンドル品・半裁品と商品階層登録の関連

【課題概要】

実業務においてLogisticsUnitにバンドル品・半裁品が存在する。
これらの集合包装形態の取扱をどうするか？

【課題分類】

- 原因分類 : 商品階層との関連
- 緊急度 : 本番開始前に解決必須

【詳細説明】

バンドル品は通常のケースを2～3個バンドル掛けしたもの、半裁品はケースが半分に裁断できるようにしたものである。

これらの集合包装形態は以前から日本のGDS実用化のための課題として認識されており、2004年度GCIジャパン GDS-WG（当時はGCI研究会）においても議論がなされていた。

その当時の結論としては以下の通りである。

- ◆ バンドル品・半裁品とも集合包装形態として考える。
- ◆ GDS上においては通常のケース以外にバンドル品・半裁品の商品階層を構成する。
- ◆ 商品のHierarchyとしては全て【CASE】の取扱とする。

本実験においてはこれらの決定事項が参加者全員に必ずしも周知できておらず、一部の商品情報において これら商品階層の入数・縦・横・奥行・重量等において問題が発生した

<今後の課題>

- ・ バンドル品・半裁品の取扱に関する項目定義及びGTIN取扱に関する業務プロセス詳細定義

※マスタ項目の課題は、根本的にデータValidationをどこまで深く掘り下げるかと言う課題であると言える。

なぜなら、マスタ項目のQualityを高めようとする場合、最終的にはDataValidationをどのレベルまで厳密にするかと言うこととイコールとなるためである。

今回のデータ品質検証でも出てきたが、日本の場合 全角／半角文字にまつわる問題が非常に大きい。この課題をどのレベルまで追求し、データの正確性を確保するかという点は実用化に向けて、あるいは実用化後も半永久的に整理してゆかねばならない課題である。

3-3 業務プロセスに関する検証結果

業務プロセスに関する検証は、以下の4つの観点で行った。

- ・ タイミングに関する検証
- ・ 作業時間に関する検証
- ・ 経済効果に関する検証
- ・ 同期化プロセスの適合性に関する検証

以降、それぞれの検証結果について順次説明する。

3-3-1 タイミングに関する検証結果

(1) タイミングの検証の目的

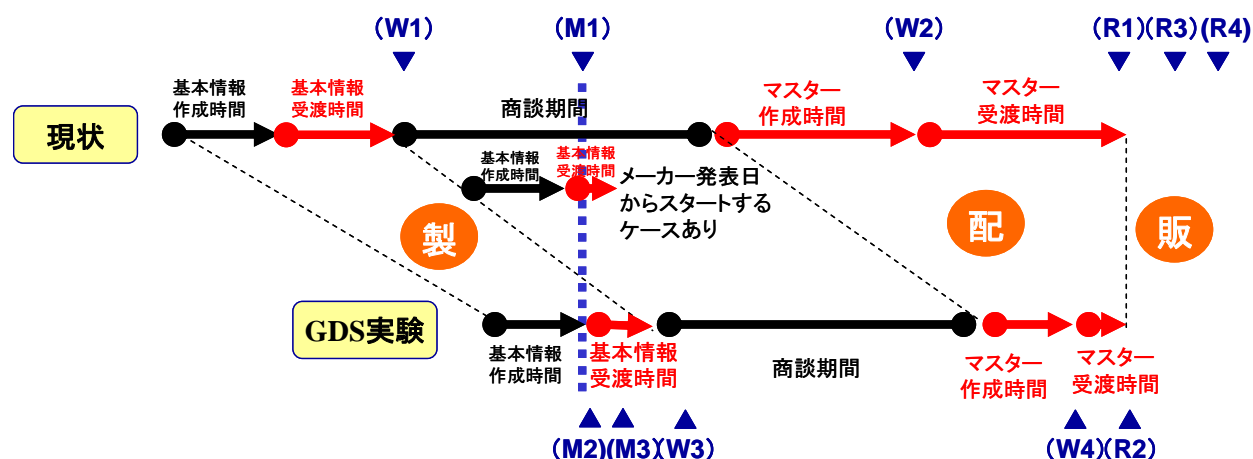
タイミング検証の目的は、以下である。

＜検証の目的＞

メーカーがデータプール（メーカー機能）に対して、メーカー発表日に基本情報を登録するタイミングでも、小売業のマスタ登録締切日までにデータ提供が間に合うか、を検証することを目的とする。

これが検証できることにより、メーカーが1つのデータ登録場所から、1対多通知で多くのデータ利用者へ公開登録できることが確認できることとなる。

図表 3-2 2 タイミング検証の調査ポイント図



- (M1) : メーカー発表日
- (M2) : 業界DP登録・公開タイミング(実験時)
- (M3) : 実験システム登録・公開タイミング(実験時)
- (W1) : メーカーから情報が届いたタイミング(現状業務)
- (W2) : 小売に送付する情報が揃ったタイミング(現状業務)
- (W3) : メーカーからの情報を最初に通知確認したタイミング(実験時)
- (W4) : 小売に送付する情報が揃ったタイミング(実験時)
- (R1) : 最初にマスタ登録用の紙・データが渡ってきたタイミング(現状業務)
- (R2) : 最初にマスターデータの通知確認したタイミング(実験時)
- (R3) : データ登録締切日(現状業務)
- (R4) : 店頭販売開始日(現状業務)

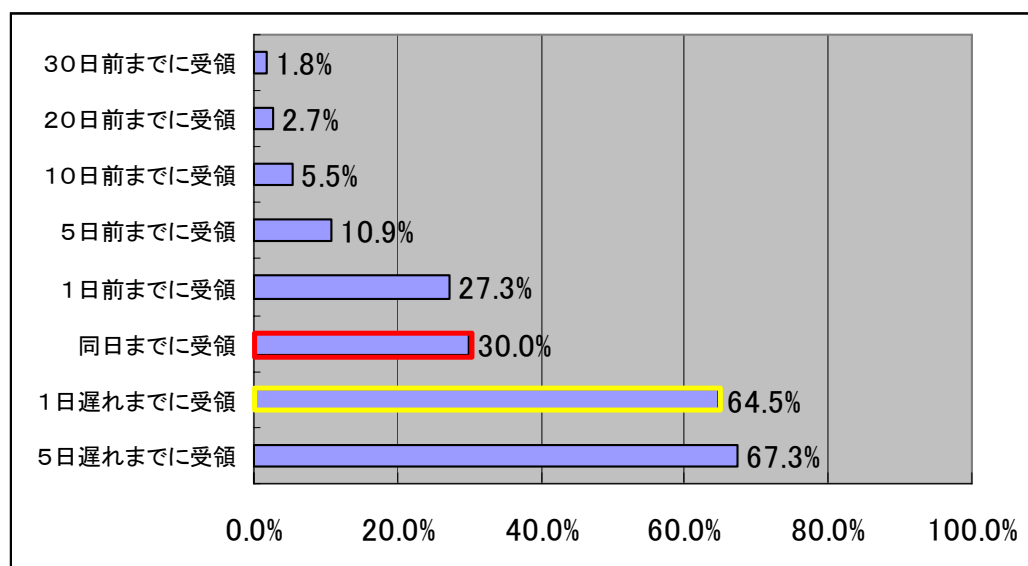
(2) データ登録締切日に対するタイミング検証の結果

小売側のデータ登録締切日（R3）までに、小売側でデータ送信通知が確認できたのは、有効件数のうち、30.0%（33件）であった。

なお、アイテム単位で製・配・販のタイミングデータが揃い、かつ、実験時、メーカー発表日以降にメーカーが公開登録したデータを有効とした。その結果、有効件数は、110件となった。

さらに、データ通知確認の認識のズレを考慮して1日遅れまで含めると、65%までが、受領できたこととなる。

図表 3-23 小売側でのデータ受領タイミング



また、本実験期間中に、商談期間が延びたことによるデータ送信の遅延が一部で発生

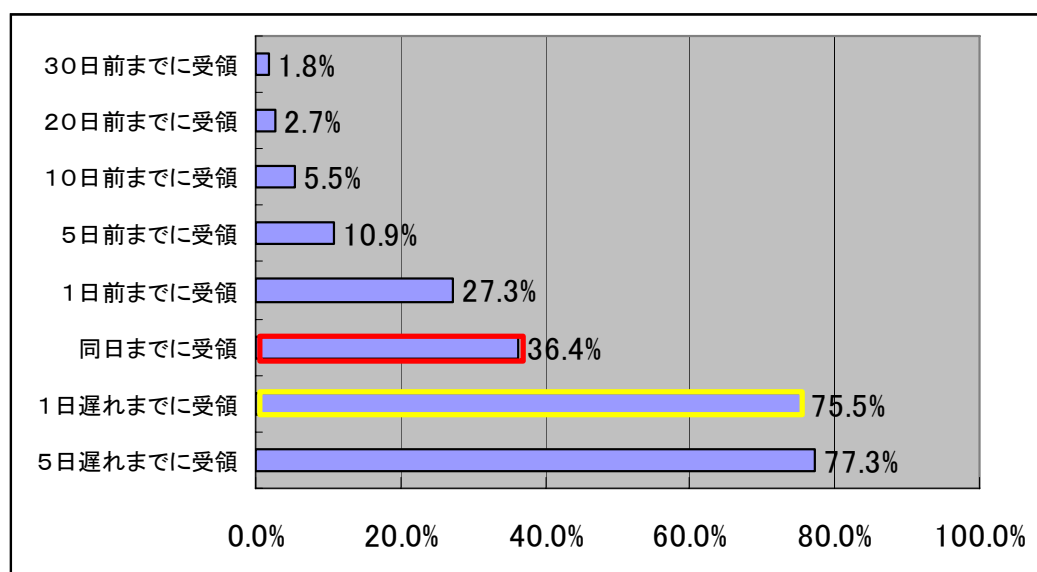
したことが確認された。

そこで、小売側のデータ登録締切日（R3）と、小売側での現実のマスターデータ登録シートの受領日（R1）のうち、遅い日付に対して、小売側のデータ送信通知タイミングを比較した。

すると、「同日までに受領」があったのは、36.4%（40件）であった。

さらに、データ通知確認の認識のズレを考慮して1日遅れまで含めると、75.5%までが、受領できたこととなる。

図表 3-24 小売側でのデータ受領タイミング（商談遅延を考慮）



遅延したケースについて原因分析してみると、メーカー発表日がそもそも遅かったケース（①）、実験時に小売へ渡す情報を揃えるのに時間がかかったケース（④）、小売側にデータ通知するまでに時間がかかったケース（⑤）があった。

図表 3-25 データ登録締切日に対する遅延理由（商談遅延を考慮）

小売側のデータ登録締切日(R3)と、小売側での現実のマスターデータ登録シートの受領日(R1)のうち、遅いタイミングから2日以上、小売側でデータ送信通知が遅れたケース		27	100.0%
①メーカー発表日がそもそも遅かったケース	M1	2	7.4%
②上記以外で、メーカーが実験システムで公開した日が遅かったケース	M3	0	0.0%
③上記以外で、卸がメーカー通知確認したのが遅かったケース	W3	0	0.0%
④上記以外で、実験で卸が小売へ渡す情報が揃ったタイミングが遅かったケース	W4	21	77.8%
⑤上記以外で、小売側がデータ通知確認をしたタイミングが遅かったケース	R2	4	14.8%

(①メーカー発表日がそもそも遅かったケース)

このケースの場合、小売側へのデータ提供タイミングは必ず遅れる。よって、メーカーが発表日を前倒しするか、小売側がデータ登録締日を遅くするか、製配販が期日調整を図っていく必要がある。

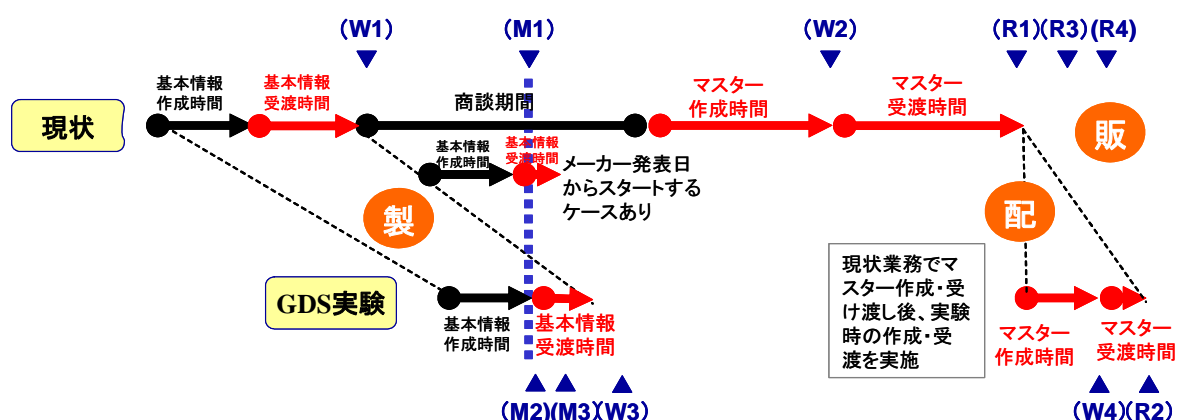
(④実験システムで卸が小売へ渡す情報が揃った日が遅かったケース)

このケースの場合、現状業務において、小売へ送付するデータが揃ったタイミング(W2) が遅延していたのは、14.8% (4件) のみであった。

よって、残り約85%は、実験システム側だけで遅延が起こったこととなる。

本実験は、現業との2重作業で進められたため、現業でのマスタデータ登録シートの提出を優先し、その後、実験時のデータを作成して遅延したと想定される。

図表 3-26 2重業務による送信タイミングの遅延 (想定)



また、マスタ登録画面の操作に対する慣れていない、入力項目が現状の登録書とマッチしていない、コピー機能が充分でない、など様々な要因により、実験システムで送信する情報の準備が遅延したと想定される。

今後、現状の登録シートを廃止して、電子データのためのマスタ登録本番業務として運用するなど業務変更を行い、また、マスタ登録操作に対する習熟度が向上し、操作性が向上することで作業時間の改善が図られ、遅延が改善されることが考えられる。

(⑤小売側がデータ通知確認をした日が遅かったケース)

実験システムは、公開登録の操作をすると、ほぼリアルタイムで送信元から送信先にデータが届けられる仕組みとなっている。このケースでは、商品情報登録後、公開登録まで時間がかかっていることとなる。

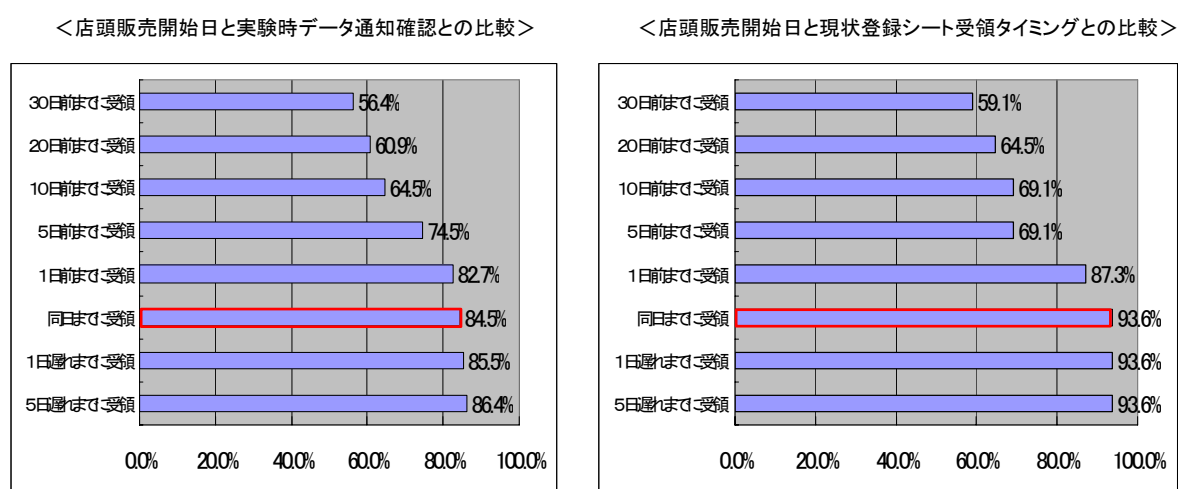
本実験では、商品情報登録後に、公開登録の操作をすることが認識されていないケースもあった。よって、操作方法に対する習熟度をあげることで改善されることが考えられる。

(3) 店頭販売開始日に対するタイミング検証の結果

店頭販売開始日（R4）に対して、実験時の小売側のデータ通知確認タイミング（R2）および、現状業務での小売側のマスタ登録用シートの受領タイミング（R1）を比較した。

その結果、実験時においても、現状業務においても、店頭販売開始日までにデータ送信が確認できないケースがあった。

図表 3-27 小売側でのデータ受領タイミング（店頭販売開始日との比較）



店頭販売開始日（R4）までに遅延した16件（14.5%）、10日前までに遅延した38件（25.5%）、20日前までに遅延した42件（38.2%）について遅延理由を分析したところ以下のような結果となった。

遅延理由は、①～⑤まで全ての要因が対象となった。

図表 3-28 店頭販売開始日に対する遅延理由

店頭販売開始日(R4)までに、小売側でデータ送信通知が遅れたケース		16	100.0%
①メーカー発表日がそもそも遅かったケース	M1	0	0.0%
②上記以外で、メーカーが実験システムで公開した日が遅かったケース	M3	0	0.0%
③上記以外で、卸がメーカー通知確認したのが遅かったケース	W3	3	18.8%
④上記以外で、実験で卸が小売へ渡す情報が揃ったタイミングが遅かったケース	W4	9	56.3%
⑤上記以外で、小売側がデータ通知確認をしたタイミングが遅かったケース	R2	4	25.0%

店頭販売開始日(R4)の10日前までに、小売側でデータ送信通知が遅れたケース		38	100.0%
①メーカー発表日がそもそも遅かったケース	M1	3	7.9%
②上記以外で、メーカーが実験システムで公開した日が遅かったケース	M3	8	21.1%
③上記以外で、卸がメーカー通知確認したのが遅かったケース	W3	3	7.9%
④上記以外で、実験で卸が小売へ渡す情報が揃ったタイミングが遅かったケース	W4	17	44.7%
⑤上記以外で、小売側がデータ通知確認をしたタイミングが遅かったケース	R2	7	18.4%

店頭販売開始日(R4)の20日前までに、小売側でデータ送信通知が遅れたケース		42	100.0%
①メーカー発表日がそもそも遅かったケース	M1	17	40.5%
②上記以外で、メーカーが実験システムで公開した日が遅かったケース	M3	2	4.8%
③上記以外で、卸がメーカー通知確認したのが遅かったケース	W3	2	4.8%
④上記以外で、実験で卸が小売へ渡す情報が揃ったタイミングが遅かったケース	W4	12	28.6%
⑤上記以外で、小売側がデータ通知確認をしたタイミングが遅かったケース	R2	9	21.4%

(②メーカーが実験システムで公開した日が遅かったケース)

このケースの場合、商品情報登録後、公開登録まで時間がかかっていることとなる。商品情報登録後に、公開登録をすることが操作者に認識されていないケースもあった。操作方法に対する習熟度をあげることで改善されると想定する。

(③卸がメーカーからデータ通知確認した日が遅かったケース)

本実験システムでは、受領者側が、Web画面に自ら操作して、データ受信を確認しないと、データ受信があったかわからない仕様となっている。このケースの場合、データプールとしてのユーザー・サービス要件として、メール等によるデータ受信通知を付加機能として加えることで、課題が解決されると想定する。

(4) タイミング検証結果のまとめ

タイミングが遅延する要因は、様々なケースが想定されることがわかった。

要因のうち、①メーカー発表日がそもそも遅かったケースは、製・配・販によるタイミングの調整が必要となるが、それ以外の②～⑤は、操作者の習熟度や操作性の改善により、いずれも解決可能であり、メーカー発表日に基本情報を登録して、小売側のデータ登録締切日までに小売側に届く可能性は高いと言える。

一方、小売業側が社内システムとマスタデータ同期化との連携を図ることで、現在のデータ登録締切タイミングより、後ろ倒しになる可能性も指摘されている。

このような状況になれば、さらに遅延が改善されることとなる。

3-3-2 作業時間に関する検証結果

作業時間の検証では、メーカー・卸・小売が、実証実験システムを用いて商品情報の新規登録時、変更登録時、終売登録時の作業時間の検証を行った。また、実験におけるマスタデータ同期化プロセスの経験を基にして、マスタデータ同期化本番時の作業削減時間を推測した。

1) メーカーの作業時間に関する検証結果

現状業務における作業時間とマスタデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間を比較し、現状と比べてどの程度の作業時間が削減されるかを検証した。マスタデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間と比較する理由は、実験時の作業時間では、実験システムや実験プロセスに対する不慣れがあるため、現状よりも時間がかかってしまう可能性が高く、マスタデータ同期化実現時の作業時間が正確に測ることが出来ないからである。

※マスタデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間は、実験時の作業を基にした推測値なので、下記の作業削減時間はあくまでも推測値である。

A) 酒類・加工食品メーカーの作業削減時間(結果)

酒類・加工食品メーカーの1アイテムあたりの作業削減時間は、新規登録の場合で367.3分(約6.1時間)、変更登録の場合で319.2分(約5.3時間)、終売登録の場合で67.8分(約1.1時間)となった。

B) 日用品・化粧品メーカーの作業削減時間(結果)

日用品・化粧品メーカーの1アイテムあたりの作業削減時間は、新規登録の場合で201.5分(約3.4時間)、終売登録の場合で22.5分となった。

なお、変更登録については実験時および本番時の作業時間が挙がってこなかったため、変更登録の本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間は、新規登録の現状業務と本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間の削減率を基に算出した。(具体的には、『現状の変更登録作業時間×(現状業務の新規登録作業時間÷本番時(2008年の社内システム想定)の新規登録作業時間)= $0.7 \times (1.0 \div 4.5) = 0.1$ 分』とした。1アイテムあたりの作業削減時間は、変更登録の場合で29.2分とした。)

図表 3-29 メーカーの作業時間検証結果

分類	登録 パターン	①17アイテム・1登録先あたりの 現状業務の 作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの 実験時の 作業時間 (単位:分)	③17アイテム・1登録先あたりの 本番時(現状社内システム想定) 作業時間 (単位:分)	④17アイテム・1登録先あたりの 本番時(2008年 想定) 作業時間 (単位:分)	⑤現状一本番 (現状社内システム)※ (①×w-③) (単位:分)	⑥現状一本番 (2008年)※ (①×w)-④ (単位:分)
酒類・ 加工食品 メーカー	新規	10.3	19.5	18.5	3.5	352.3	367.3
	変更	9.0	12.4	10.7	4.8	313.3	319.2
	終売	1.9	1.5	4.8	0.6	63.6	67.8
日用品・ 化粧品 メーカー	新規	4.5	30.1	12.4	1.0	190.1	201.5
	変更	0.7			0.1※※		29.2
	終売	0.5	1.0	1.0	0.0	21.5	22.5
全体	新規	8.3	23.2	16.6	2.8	319.6	332.6
	変更	7.2	12.4	10.7	4.8	280.9	286.8
	終売	1.6	1.3	4.2	0.5	60.6	64.6

※※新規登録時の①と④の作業時間の削減率を基に算出

※ メーカーの1アイテムあたりの現状業務における作業時間は、1アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間×登録先数(=①×w)から算出できる。また、登録先数(w)は、実験参加企業へのアンケートより、酒類・加工食品メーカーの場合36社、日用品・化粧品メーカーの場合45社、全体で40.5社とした。

2) 卸の作業時間に関する検証結果

現状業務における作業時間とマスタデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間を比較し、現状と比べてどの程度の作業時間が削減されるかを検証した。マスタデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間と比較する理由は、実験時の作業時間では、実験システムや実験プロセスに対する不慣れがあるため、現状よりも時間がかかってしまう可能性が高く、マスタデータ同期化実現時の作業時間を正確に測ることが出来ないからである。

※マスタデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間は、実験時の作業を基にした推測値なので、下記の作業削減時間はあくまでも推測値である。

A) 酒類・加工食品卸の作業削減時間(結果)

酒類・加工食品卸の1アイテムあたりの作業時間は、新規登録の場合で3.1分、変更登録の場合で4.7分の削減となった。しかし、終売登録の場合は逆に3.4分作業時間が増加する結果となった。

B) 日用品・化粧品卸の作業削減時間（結果）

日用品・化粧品卸の1アイテムあたりの作業削減時間は、新規登録の場合で6.4分、変更登録の場合で7.5分、終売登録の場合で7.5分となった。

図表 3-30 卸の作業時間検証結果

分類	登録パターン	①17アイテム・1登録先あたりの現状業務の作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの実験時の作業時間 (単位:分)	③17アイテム・1登録先あたりの本番時(現状社内システム想定)作業時間 (単位:分)	④17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	⑤現状一本番(現状社内システム)①-③ (単位:分)	⑥現状一本番(2008年)①-④ (単位:分)
酒類・加工食品卸	新規	20.2	47.8	25.7	17.1	-5.5	3.1
	変更	15.0	15.0	16.0	10.3	-1.0	4.7
	終売	3.3	10.0	10.0	6.7	-6.7	-3.4
日用品・化粧品卸	新規	17.0	48.9	36.4	10.6	-19.4	6.4
	変更	15.5	20.0	8.0	8.0	7.5	7.5
	終売	10.5	5.0	3.0	3.0	7.5	7.5
全体	新規	15.1	48.3	29.6	14.9	-14.5	0.2
	変更	9.4	16.3	13.7	9.5	-4.3	-0.1
	終売	5.1	7.5	7.2	5.2	-2.1	-0.1

3) 小売の作業時間に関する検証結果

現状業務における作業時間とマスターデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間を比較し、現状と比べてどの程度の作業時間が削減されるかを検証した。マスターデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間と比較する理由は、実験時の作業時間では、実験システムや実験プロセスに対する不慣れがあるため、現状よりも時間がかかってしまう可能性が高く、マスターデータ同期化実現時の作業時間が正確に測ることが出来ないからである。

※マスターデータ同期化本番時(2008年の社内システム想定)の作業時間は、実験時の作業を基にした推測値なので、下記の作業削減時間はあくまでも推測値である。

A) 酒類・加工食品アイテムの作業削減時間（結果）

酒類・加工食品アイテムの1アイテムあたりの作業削減時間は、新規登録の場合で1.7分、変更登録の場合で0.2分であった。ただし、終売登録の場合のみ、逆に0.2分作業時間が増加する結果となった。

B) 日用品・化粧品アイテムの作業削減時間（結果）

日用品・化粧品アイテムの1アイテムあたりの作業削減時間は、新規登録の場合で2.1分、変更登録の場合で0.8分、終売登録の場合で0分となった。

図表 3-3 1 小売の作業時間検証結果

分類	登録 パターン	①17アイテム あたりの 現状業務 の作業時間 (単位:分)	②17アイテム あたりの 実験時 の作業時間 (単位:分)	③17アイテム あたりの 本番時(現状社 内システム想定) 作業時間 (単位:分)	④17アイテム あたりの 本番時(2008年 想定) 作業時間 (単位:分)	⑤現状一本番 (現状社内シ ステム (①-③ (単位:分)	⑥現状一本番 (2008年) ①-④ (単位:分)
酒類・ 加工食品 アイテム	新規	2.8	1.0	1.6	1.1	1.2	1.7
	変更	1.7	0.3	1.5	1.5	0.2	0.2
	終売	1.0	0.3	1.0	1.2	0.0	-0.2
日用品・ 化粧品 アイテム	新規	3.0	1.0	1.3	0.9	1.7	2.1
	変更	1.3	0.3	0.8	0.5	0.5	0.8
	終売	0.5	0.3	0.5	0.5	0.0	0.0
全体	新規	2.8	1.0	1.5	1.0	1.3	1.8
	変更	1.5	0.3	1.2	1.1	0.3	0.4
	終売	0.8	0.3	0.8	0.9	0.0	-0.1

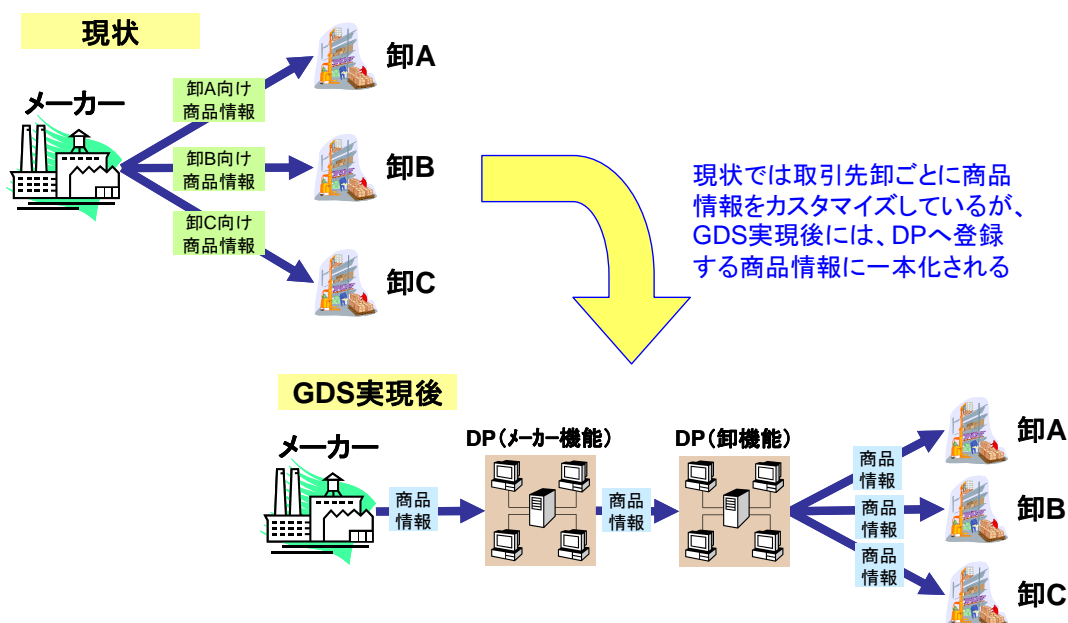
4) 作業時間検証の考察

A) メーカーと卸の作業削減時間の差について

メーカー・卸・小売で1アイテムあたりの作業削減時間を比較した場合、メーカーが最も作業削減時間が多かった。これは、メーカーの場合、現状業務では商品情報を取引先ごとにカスタマイズしているのが、マスタデータ同期化実現後には商品情報を一本化できるからである。

なお、卸の場合は、マスタデータ同期化実現でも取引先ごとのカスタマイズ（関係依存情報など）が必要であり、そのためにメーカーほどの効果が現れなかったと考えられる。

図表 3-3 2 メーカー卸間の商品情報提供方法（現状およびマスタデータ同期化実現後）



B) 酒類・加工食品メーカーの作業削減時間について

今回の検証結果では、酒類・加工食品メーカーの作業時間が、日用品・化粧品の作業削減時間より、1.8倍大きかった。これは、酒類・加工食品の方が、日用品・化粧品と比べて登録項目数が多いため、現状の作業時間が元々大きかったことが、1つの原因であると考えられる。(新規登録時の平均登録項目数は、酒類・加工食品は72.7項目、日用品・化粧品で36.0項目となり、約2倍の差があった)

C) 作業削減時間の条件について

実験時の作業時間は、実験システムや実験プロセスに対する不慣れがあるため、現状業務の作業時間よりも時間がかかってしまった。環境やプロセスの不慣れについては、時間の経過とともに解消することが出来る。しかし、それ以外にも下記のような理由が原因で、現状よりも時間がかかったという意見があった。

<作業時間が現状よりもかかる理由>

- 商品階層分の登録が必要であり、登録項目数が増加した
- 項目の意味や利用用途の確認が必要
- 項目で認識の違いによる修正が発生するため見直しが必要
- 社内システムとの連携が十分でないため手入力が多数発生

登録項目数の増加の件については、現状の業務では本実験のように明確に商品階

層ごとの商品情報を保持していないことや、本実験では各商品階層で必須・任意項目が共通だったため、ある商品階層では不要と思われる項目についても入力しなければならなかったこのことなどが、登録項目数の増加の一因だと考えられる。この件については、各商品階層に必須・任意項目の見直しを進めていくことで、登録項目数を削減することが可能になると考えられる。

項目の意味・利用用途の確認、項目の認識違いの件については、マスターデータ同期化本番時までには、項目の意味や利用用途の認知・理解を利用者に深めてもらい、商品情報の提供者と受領者との間での十分な確認を行うことで、確認作業および認識の違いの解消をすることが可能であると考えられる。

社内システムとの連携の件については、現状の商品情報作成時に、社内システムからの自動入力率が高い企業については、これまでと同等の水準までマスターデータ同期化への対応を進めていかなければ、作業時間が増加してしまう。逆に自動入力の割合が現状低い企業は、今後マスターデータ同期化への対応を進めていくことで、作業時間を減らすことが出来ると考えられる。

以上のことから、実験システムや実験プロセスに対する不慣れ以外の原因についても、それぞれ対策を打つことが可能であり、マスターデータ同期化実現時の商品情報提供に関する作業時間は、まだまだ短縮化の余地があると考えられる。

3-3-3 経済効果に関する検証結果

作業時間検証結果より、メーカー・卸・小売それぞれにおける経済効果を試算した。

1) メーカーの経済効果

下記の計算式を新規登録、変更登録、終売登録の3パターンについて計算し、経済効果を算出した。

図表 3-3 3 メーカーの経済効果計算式

$$\left(\begin{array}{c} \text{①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間} \\ \times \\ \text{②1アイテムあたりの登録先数} \end{array} - \begin{array}{c} \text{③17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)の作業時間} \\ \times 1 \end{array} \right) \times \begin{array}{c} \text{④日雑・食品の新規・変更・終売アイテム数(年間)} \\ \times \\ \text{⑤データ入力者時給} \end{array}$$

17アイテムあたりの現状の作業時間 17アイテムあたりの本番時の作業時間

上記の①～⑤については、以下の値を用いた。

- 「①1アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間」および、「③ 1アイテム・1登録先あたりの本番時（2008年想定）の作業時間」は、作業時間検証の結果を利用した。
- 「②1アイテムあたりの登録先数」は、実験参加企業からのアンケート結果を利用した。
- 「④日雑・食品の新規・変更・終売アイテム数」は、JICFS-IF/DB※の2005/1/1～12/31までの新規・変更・終売アイテム数を利用した。

※JICFS/IF-DB（JANコード統合商品情報データベース）は、（財）流通システム開発センターの著作物で、JANコードとこれに付随する商品情報を一元的に管理するデータベースサービス。スーパーマーケットなどの業態で販売されている加工食品、飲料、日用雑貨等に関しては9割以上をカバーしている。

- データ入力にメーカーの営業担当が行うと想定し、「⑤データ入力者時給」は、『439万円※×1.25（福利厚生を考慮）÷（12ヶ月×20日×10時間）』≒2300円とした。

※439万円は、国税庁 平成16年度民間給与実態統計調査結果の平均給与を利用した。

図表 3-3 4 新規登録におけるメーカーの作業削減時間（年間）

分類	JICFS中分類	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテムあたりの登録先(卸)件数	③17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	④日雑・食品の新規アイテム数 (年間)	作業削減時間 (年間) (①×②)-③×④ (単位:時間)
酒類・加工食品メーカー	加工食品(11)	10.3	36	3.5	60000	367300.0
	飲料・酒類(14)				19000	116311.7
日用品・化粧品メーカー	日用雑貨(21)	4.5	45	1.0	5000	16791.7
	化粧品(23)				11000	36941.7

図表 3-35 変更登録におけるメーカーの作業削減時間（年間）

分類	JICFS中分類	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテムあたりの登録先(卸)件数	③17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	④日雑・食品の変更アイテム数 (年間)	作業削減時間 (年間) (①×②)-③×④ (単位:時間)
酒類・加工食品メーカー	加工食品(11)	9	36	4.8	28000	148960.0
	飲料・酒類(14)				20000	106400.0
日用品・化粧品メーカー	日用雑貨(21)	0.7	45	0.1	6000	3140.0
	化粧品(23)				5000	2616.7

図表 3-36 終売登録におけるメーカーの作業削減時間（年間）

分類	JICFS中分類	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテムあたりの登録先(卸)件数	③17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	④日雑・食品の終売アイテム数 (年間)	作業削減時間 (年間) (①×②)-③×④ (単位:時間)
酒類・加工食品メーカー	加工食品(11)	1.9	36	0.6	5000	5650.0
	飲料・酒類(14)				1000	1130.0
日用品・化粧品メーカー	日用雑貨(21)	0.5	45	0	1000	375.0
	化粧品(23)				400	150.0

以上の新規登録、変更登録、終売登録の作業削減時間（年間）に「⑤データ入力者時給（2300円）」を掛けることで、下記の経済効果を算出した。

図表 3-37 メーカーの経済効果

分類	JICFS中分類	新規登録の作業時間削減による経済効果 (単位:千万円)	変更登録の作業時間削減による経済効果 (単位:千万円)	終売登録の作業時間削減による経済効果 (単位:千万円)	新規・変更・終売合計 (単位:千万円)	合計 (単位:千万円)
酒類・加工食品メーカー	加工食品(11)	84.5	34.3	1.3	120.0	171.5
	飲料・酒類(14)	26.8	24.5	0.3	51.5	
日用品・化粧品メーカー	日用雑貨(21)	3.9	0.7	0.1	4.7	13.8
	化粧品(23)	8.5	0.6	0.0	9.1	

A) 酒類・加工食品メーカーにおける経済効果

加工食品では年間12.0億円、飲料・酒類では5.2億円、合わせて17.2億円の経済効果を見込むことが出来るという結果になった。

B) 日用品・化粧品メーカーにおける経済効果

日用品では年間5千万円、化粧品では9千万円、合わせて1.4億円の経済効果を見込むことが出来るという結果になった。

2) 卸の経済効果

下記の計算式を新規登録、変更登録、終売登録の3パターンについて計算し、経済効果を算出した。

図表 3-38 卸の経済効果計算式

$$\begin{aligned}
 & \left(\begin{array}{|c|} \hline \text{①17アイテム・} \\ \text{1登録先あたりの} \\ \text{現状の作業} \\ \text{時間} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{②17アイテム・} \\ \text{1登録先あたりの} \\ \text{本番時(2008年)} \\ \text{の作業時間} \\ \hline \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{|c|} \hline \text{③登録先数} \\ \text{(小売業態別)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{④日雑・食品の新規・} \\ \text{変更・終売} \\ \text{アイテム登録数} \\ \text{(小売業態別・年間)} \\ \hline \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{⑤データ入力者} \\ \text{時給} \\ \hline \end{array}
 \end{aligned}$$

上記①～⑤については、以下の値を用いた。

- 「①1アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間」および、「② 1アイテム・1登録先あたりの本番時（2008年想定）の作業時間」は、作業時間検証の結果を利用した。
- 「③登録先数（小売業態別）」は、卸の場合「小売数」となる。業態別の小売数は、文献（日本リテリングセンター編 ビッグストア基本統計2005年版）のデータを利用した。
- 「④日雑・食品の新規・変更・終売アイテム登録数（小売業態別・年間）」は、実験参加企業からのアンケートおよびヒアリングの結果を利用した。
- データ入力は卸の営業担当者が行うことを想定し、「⑤データ入力者時給」は、『439万円※×1.25（福利厚生を考慮）÷（12ヶ月×20日×10時間）』≒2300円とした。

※439万円は、国税庁 平成16年度民間給与実態統計調査結果の平均給与を利用した。

図表 3-39 新規登録における卸の作業削減時間（年間）

分類	業態	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	③登録先 (小売)数	④日雑・食品の新規アイテム数 (年間)	作業削減時間 (単位:時間)
酒類・加工食品卸	GMS	20.2	17.1	21	5100	5533.5
	SM			234	4000	48360.0
	CVS			9	4400	2046.0
	DgS			56	1000	2893.3
	HC			61	2800	8824.7
	ディスカウント			12	2800	1736.0
	生協			76	4000	15706.7
日用品・化粧品卸	GMS	17.0	10.6	21	6900	15456.0
	SM			234	1300	32448.0
	CVS			9	3000	2880.0
	DgS			56	3300	19712.0
	HC			61	5400	35136.0
	ディスカウント			12	5400	6912.0
	生協			76	1300	10538.7

図表 3-4 0 変更登録における卸の作業削減時間（年間）

業界	業態	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	③登録先(小売)数	④日雑・食品の変更アイテム数 (年間)	作業削減時間 (単位:時間)
酒類・加工食品	GMS	15.0	10.3	21	5400	8883.0
	SM			234	5600	102648.0
	CVS			9	6200	4371.0
	DgS			56	1400	6141.3
	HC			61	3900	18635.5
	ディスカウント			12	3900	3666.0
	生協			76	5400	32148.0
日用品・化粧品	GMS	15.5	8.0	21	5400	14175.0
	SM			234	1600	46800.0
	CVS			9	3700	4162.5
	DgS			56	4100	28700.0
	HC			61	6600	50325.0
	ディスカウント			12	6600	9900.0
	生協			76	1600	15200.0

図表 3-4 1 終売登録における卸の作業削減時間（年間）

分類	業態	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	③登録先(小売)数	④日雑・食品の終売アイテム数 (年間)	作業削減時間 (単位:時間)
酒類・加工食品卸	GMS	3.3	6.7	21	3200	-3808.0
	SM			234	1500	-19890.0
	CVS			9	1700	-867.0
	DgS			56	400	-1269.3
	HC			61	1200	-4148.0
	ディスカウント			12	1200	-816.0
	生協			76	1500	-6460.0
日用品・化粧品卸	GMS	10.5	3.0	21	3700	9712.5
	SM			234	600	17550.0
	CVS			9	1400	1575.0
	DgS			56	1500	10500.0
	HC			61	5100	38887.5
	ディスカウント			12	5100	7650.0
	生協			76	600	5700.0

以上の新規登録、変更登録、終売登録の作業削減時間（年間）に「⑤データ入力者時給（2300円）」を掛けることで、下記の経済効果を算出した。

図表 3-4 2 卸の経済効果

分類	小売業態	新規登録 (単位:千万円)	変更登録 (単位:千万円)	終売登録 (単位:千万円)	小売業態別 合計 (単位:千万円)	業界合計 (単位:千万円)
酒類・ 加工食品 卸	GMS	1.3	2.0	-0.9	2.4	51.6
	SM	11.1	23.6	-4.6	30.2	
	CVS	0.5	1.0	-0.2	1.3	
	DgS	0.7	1.4	-0.3	1.8	
	HC	2.0	4.3	-1.0	5.4	
	ディスカウント	0.4	0.8	-0.2	1.1	
	生協	3.6	7.4	-1.5	9.5	
日用品・ 化粧品 卸	GMS	3.6	3.3	2.2	9.0	88.3
	SM	7.5	10.8	4.0	22.3	
	CVS	0.7	1.0	0.4	2.0	
	DgS	4.5	6.6	2.4	13.5	
	HC	8.1	11.6	8.9	28.6	
	ディスカウント	1.6	2.3	1.8	5.6	
	生協	2.4	3.5	1.3	7.2	

A) 酒類・加工食品卸における経済効果

酒類・加工食品卸では、年間5.2億円の経済効果を見込むことが出来るという結果になった。

B) 日用品・化粧品卸における経済効果

日用品・化粧品卸では、年間8.8億円の経済効果を見込むことが出来るという結果になった。

3) 小売の経済効果

下記の計算式を新規登録、変更登録、終売登録の3パターンについて計算し、経済効果を算出した。

図表 3-4 3 小売の経済効果計算式

$$\begin{array}{c}
 \text{1アイテムあたりの} \\
 \text{作業削減時間(小売)} \\
 \left(\begin{array}{c} \text{①1アイテム} \\ \text{あたりの現状} \\ \text{の作業時間} \end{array} - \begin{array}{c} \text{②1アイテム・} \\ \text{あたりの本番時} \\ \text{(2008年)の作業} \\ \text{時間} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{c} \text{小売が1年間に登録するアイテム数} \\ \text{(小売業態別)} \\ \text{③小売数} \\ \text{(業態別)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{④日雑・食品の新規・} \\ \text{変更・終売} \\ \text{アイテム登録数} \\ \text{(小売業態別・年間)} \end{array} \right) \times \begin{array}{c} \text{⑤データ入力者} \\ \text{時給} \end{array}
 \end{array}$$

上記①～⑤については、以下の値を用いた。

- 「①1アイテムあたりの現状の作業時間」および、「② 1アイテムあたりの本番時（2008年想定）の作業時間」は、作業時間検証の結果を利用した。

- ・ 「③小売数（業態別）」は、文献（日本リテイリングセンター編 ビッグストア基本統計2005年版）のデータを利用した。
- ・ 「④日雑・食品の新規・変更・終売アイテム登録数（小売業態別・年間）」は、実験参加企業からのアンケートおよびヒアリングの結果を利用した。
- ・ データ入力パンチャーが行うと仮定し、「⑤データ入力者時給」は1000円とした。

図表 3-44 新規登録における小売の作業削減時間（年間）

業態	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	③小売数	④日雑・食品の新規アイテム数 (年間)	作業削減時間 (単位:時間)
GMS	2.8	1.0	21	16300	10269.0
SM			234	5200	36504.0
CVS			9	7400	1998.0
DgS			56	4300	7224.0
HC			61	8200	15006.0
ディスカウント			12	8200	2952.0
生協			76	5200	11856.0

図表 3-45 変更登録における小売の作業削減時間（年間）

業態	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	③小売数	④日雑・食品の変更アイテム数 (年間)	作業削減時間 (単位:時間)
GMS	1.5	1.1	21	21900	3066.0
SM			234	7200	11232.0
CVS			9	9900	594.0
DgS			56	5500	2053.3
HC			61	10500	4270.0
ディスカウント			12	10500	840.0
生協			76	7200	3648.0

図表 3-46 終売登録における小売の作業削減時間（年間）

業態	①17アイテム・1登録先あたりの現状の作業時間 (単位:分)	②17アイテム・1登録先あたりの本番時(2008年想定)作業時間 (単位:分)	③小売数	④日雑・食品の終売アイテム数 (年間)	作業削減時間 (単位:時間)
GMS	0.8	0.9	21	7800	-273.0
SM			234	2100	-819.0
CVS			9	3100	-46.5
DgS			56	1900	-177.3
HC			61	6300	-640.5
ディスカウント			12	6300	-126.0
生協			76	2100	-266.0

以上の新規登録、変更登録、終売登録の作業削減時間（年間）に「⑤データ入力者時給（1000円）」を掛けることで、下記の経済効果を算出した。

図表 3-47 小売の経済効果

小売業態	新規登録 (単位:千万円)	変更登録 (単位:千万円)	終売登録 (単位:千万円)	小売業態別 合計 (単位:千万円)	業態合計 (単位:千万円)
GMS	1.03	0.31	-0.03	1.3	10.9
SM	3.65	1.12	-0.08	4.7	
CVS	0.20	0.06	0.00	0.3	
DgS	0.72	0.21	-0.02	0.9	
HC	1.50	0.43	-0.06	1.9	
ディスカウント	0.30	0.08	-0.01	0.4	
生協	1.19	0.36	-0.03	1.5	

小売の業態合計で、年間1.1億円の経済効果を見込むことが出来るという結果になった。

- 4) 業界（酒類・加工食品および日用品・化粧品）全体における経済効果
メーカー・卸・小売の経済効果を合計して、各業界全体の経済効果を算出した。
酒類・加工食品業界全体では年間で22.9億円、日用品・化粧品業界全体では年間で10.8億円の経済効果を見込むことが出来ると考えられる。

図表 3-48 業界全体の経済効果（年間）

業界	メーカーの 経済効果(年間) (単位:億円)	卸の 経済効果(年間) (単位:億円)	小売の 経済効果(年間) (単位:億円)	業界全体の 経済効果(年間) (単位:億円)
酒類・ 加工食品	17.2	5.2	0.5	22.9
日用品・ 化粧品	1.4	8.8	0.6	10.8

4) 経済効果についての考察

本実証実験では、酒類・加工食品のメーカーおよび日用品・化粧品の卸の経済効果が、その他と比べて大きかった。理由としては、以下のことが考えられる。

A) 酒類・加工食品メーカーの経済効果が大きかった理由

酒類・加工食品メーカーの1アイテムあたりの作業削減時間と年間の新規・変更・終売アイテム数が、日用品・化粧品と比べて多かったことが経済効果を大きくした原因だと考えられる。

酒類・加工食品の方が、日用品・化粧品と比べて登録項目数が多いため、現状の作業時間が約2倍ある。(1アイテム・1登録先あたりの新規登録時間は、酒類・

加工食品は10.3分、日用品・化粧品は4.5分）そのため、マスタデータ同期化が実現することによる作業削減時間も酒類・加工食品の方が大きくなる。また、年間の新規登録アイテム数は、酒類・加工食品の方が日用品・化粧品の約5倍ある。

図表 3-49 メーカーの作業削減時間とアイテム数

分類	登録パターン	1アイテムあたりの作業削減時間 (単位:分)	アイテム数 (年間)	年間の作業削減時間 (単位:時間)
酒類・加工食品 メーカー	新規登録	367.3	79000	745751.7
	変更登録	319.2	48000	
	終売登録	67.8	6000	
日用品・化粧品 メーカー	新規登録	201.5	16000	60015
	変更登録	31.4	11000	
	終売登録	22.5	1400	

B) 日用品・化粧品卸の経済効果が大きかった理由

日用品・化粧品卸の1アイテムあたりの作業削減時間が、酒類・加工食品と比べて多かったことが、経済効果を大きくした原因だと考えられる。

酒類・加工食品は、現状業務の作業時間とマスタデータ同期化本番時の作業時間との差が小さく、1アイテムあたりの作業削減時間が日用品・化粧品の約二分の一であった。(新規登録時の1アイテムあたりの作業削減時間は、酒類・加工食品は3.1分、日用品・化粧品は6.4分)

3-3-4 同期化プロセスの適合性に関する検証結果

実証実験を通じて、同期化プロセスの適合性に関する課題を収集した。それらを分類した結果、以下の14の課題に整理された。

- P 1) 商品情報の削除、停止
- P 2) 商品情報のキー項目の修正
- P 3) 公開制御
- P 4) 商品登録と公開プロセスの操作面での一体化
- P 5) 2つ以上の商品階層がある商品情報のPublication（公開）
- P 6) メーカー・小売業間の直取引・直接情報提供
- P 7) メーカー・卸間の役割分担（代行入力）
- P 8) 承認・非承認の通知および登録内容通知
- P 9) 受信通知
- P 10) 商品情報の確定ステータス
- P 11) 公開タイミング
- P 12) 公開履歴の参照
- P 13) Pub/Subマッチング結果の確認
- P 14) 卸向けD P事業者の参画

以降、それぞれの課題について説明する。

P 1) 商品情報の削除、停止

【課題概要】

誤登録のため、削除しようとしたが、削除機能がないため、「停止（終売）」操作を行った。その後、同一商品情報を修正して利用したいために、「再開」操作を試みたが、何も操作が出来なくなった。

【課題分類】

- ・ 原因分類：標準化
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

<実験時に発生した現象・問題>

- ・ 商品情報を登録後、商品情報の誤登録に気づき、単純に「変更」操作を行えば事足りたが、「削除」したいと思った。しかし、「削除」機能がないため、「停止

（終売）」操作を行ってしまった。

（そもそも商品情報の修正操作は、情報公開前後に係らずニーズあり。操作も可能である。）

- ・ 商品情報の「停止（終売）」操作を行った場合、それを「再開」することができなかった。
- ・ 単品とケースの2つの商品階層を「次下位層GTIN」によりリンクして商品情報を登録した。このうち下位階層にあたる、単品の商品情報を、誤って「停止（終売）」としてしまった。その結果、上位階層である、ケースで公開していた商品情報がエラーとなった。

<発生した原因・理由>

- ・ 商品情報の「削除」は、今回の実証実験ではできない仕様とした。
 - ①グローバルでは、商品情報を公開操作したら即時公開する仕様であり、一度公開操作された商品情報は、データ受領者側の商品情報を同期化して更新する必要があるため、レコードの「削除」操作は、そもそも仕様として存在しない。
- ・ 商品情報の「停止」後の「再開」が出来ない件について、
 - 「停止」は終売することを意味するため、終売した商品を、再度販売開始することはないと想定。
- ・ 商品情報の「公開」「停止」は、どの階層で行っても良い仕様とした。
- ・ 今回の件では、GDSプロセスのひとつである商品の「停止（終売）」・「停止」の意味が理解されておらず、誤操作をしてしまったのも一因である。

<今後の検討内容>

- （1）商品情報の削除・停止プロセスの明確化
 - ・ 商品情報の誤登録された場合も考慮して、商品情報の公開・未公開各々の状態での、商品情報の削除・停止プロセスを明確化する必要がある。
- （2）利用者への用語・操作に関する理解
 - ・ 利用者が、商品情報の「停止（終売）」と、「公開停止」を混同している。業務用マニュアル作成や教育等で、利用者に対して、正しく理解していただく必要がある。

P 2）商品情報のキー項目（GTIN、GLN、TM、TMSUB、GPC）の修正

【課題概要】

登録した商品情報のうちPub/Subマッチングのキー項目（GTIN、GLN、TM、TMSUB、GPC）は実験時の仕様として修正不可能としていた。しかし、実験時に

は誤登録もあり、上記のキー項目を修正したい業務ニーズが発生した。

【課題分類】

- ・ 原因分類：運用、標準化
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

＜実験時に発生した現象・問題＞

- ・ 商品情報の登録後、G P C（商品分類）コードの誤りに気づき、内容を修正しようとしたが、修正できなかった。

＜発生した原因・理由＞

- ・ 登録された商品情報を修正する場合、画面上で「商品修正」操作により行うことができる。しかし、商品情報のうち、Pub/Subマッチングのキー項目（GTIN、GLN、TM、TMSUB、GPC）は、以下の理由により、修正できない仕様とした。
 - ①一度Pub/Subマッチングすると同期化するための送信先リストが作成される。その後に、公開した商品情報の、Pub/Subマッチングのキー項目を変更すると、マッチングしない商品情報が継続的に送信され続けることとなるため
 - ②逆に、新たにPub/Subマッチングされるはずの送信先があっても、そこへ送信されないため

＜今後の検討内容＞

（１）Pub/Subマッチングのキー項目（GTIN、GLN、TM、TMSUB、GPC）に対する業務上の修正ニーズの明確化

- ・ 一度登録した商品情報のうち、Pub/Subマッチングのキー項目（データ提供者GLN、GTIN、TM、TMSUB、GPC）に対する、業務上の修正ニーズを明確にする必要がある。

（２）キー項目修正時の変更プロセスの明確化

- ・ 上記キー項目を変更した場合、Pub/Subマッチングの内容が変更されるため、一度、Pub/Subマッチングを行っていたデータ送信先に対して、既送信データが修正されたことを伝達する必要がある。グローバル仕様を確認しつつ、変更プロセスを明確化する必要がある。少なくとも、公開前であればキー項目でも修正可能にするか検討が必要。

P 3) 公開制御

【課題概要】

公開先をパブリック扱いで登録した場合、プライベート扱いに変更できない仕様としたが、実験時には修正したい業務ニーズが発生した。また、公開済の商品情報を、後日に公開日を変更したい業務ニーズが発生した。

【課題分類】

- ・ 原因分類：標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

<実験時に発生した現象・問題>

- ・ 一旦、パブリック扱いで公開情報を登録すると、プライベートへ変更できない。また、プライベート扱いで公開情報を登録すると、パブリックへ変更できない。特にメーカーの場合、業界DBから実験システムへデータを取り込む際には公開先を特定する情報が全くないため、パブリックとして登録する仕様とした。そのため、特定の公開先を指定したくても、プライベートへ変更することができなかった。
- ・ 登録した商品情報の公開日が到来して、公開処理したアイテムについて、「公開日」が変更できなかった。（変更できない仕様としたため。）
- ・ プライベート扱いで登録し、公開日が到来して、公開処理したアイテムに対して、さらに公開先GLNを追加して、他GLNと同じ公開日で登録しようとしてもエラーとなった。（登録日が過去日になるとエラーとする仕様のため。）
- ・ プライベート扱いで公開情報を修正する際、一度、公開先GLNをすべて削除すると、公開先の修正ができなくなった。（すべての公開先GLNを削除した場合には、商品「停止（終売）」となる仕様のため。）

<発生した原因・理由>

- ・ パブリック扱いで一度、公開情報を登録した場合、以下の理由で変更できない仕様とした。
 - ①パブリック扱いで公開された情報を、プライベート扱いに変更すると、パブリックとしてデータ送信した受領者の商品情報が更新されないこととなるため。
- ・ また、本実験では、実験参加メーカー各社が、ファイネットやプラネットなど業界DBに登録したデータを、実験システムへ取り込みを行う際、パブリック

扱い、プライベート扱いかのどちらかで登録しなければならず、メーカーはパブリック扱いで公開すると想定したこと、及び、業界DBでは公開先を特定するための情報がないため、実験システムへ取り込んだデータを、すべてパブリック扱いとして取り込む仕様とした。

- ・パブリック、プライベートいずれの場合も、公開日が到来して、公開処理したアイテムについては、すでに情報が多くの受領者へ伝達されているため、「公開日」を変更できない仕様とした。
- ・公開情報を登録する際、過去日付で登録が行われなくないようにするため、「公開日」を当日以降で設定する仕様とした。
- ・プライベートの場合、公開処理前であっても、公開処理後であっても、公開先GLNの追加、削除は可能とした。ただし、すべての公開先GLNを削除した場合には、公開先がなくなることから、商品「停止（終売）」とする仕様とした。

※なお、パブリックやプライベートという公開制御方法は、UCCnetの仕様を参考としたものであり、グローバル仕様では公開先をGLN指定する方法（＝プライベート）しか定義されていない。今後、公開制御方法について再整理が必要。

<今後の検討内容>

（１）公開先の変更に対する業務ニーズ・プロセスの再整理：

- ・パブリックとプライベート間の変更が必要か、公開日が到来した後に、公開日を変更することが必要か、など公開制御に関する業務ニーズを再整理する必要がある。
- ・例えば、新商品案内にマスタデータ同期化の仕組みを活用することとなった場合、先行的な商談時にはプライベート扱いで公開し、メーカー発表日以降は、パブリックにするなどの業務ニーズが想定される。
- ・業務ニーズを整理した後、すでに公開された受領者に対する対応を含め、業務プロセスを再整理する必要がある。

P 4）商品登録と公開プロセスの操作面での一体化

【課題概要】

公開情報（公開先や公開日）の登録画面と、公開指示をする画面は、業務プロセスが異なるため別画面となっているが、２つの操作を一体化したいという業務ニーズが発生した。

【課題分類】

- ・ 原因分類：標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

＜実験時に発生した現象・問題＞

- ・ 公開情報（公開先や公開日）の登録画面と、公開指示をする画面は、別画面となっているため、公開指示の操作を行わずに公開が遅れることがあった。また、画面操作が煩雑となった。

＜発生した原因・理由＞

- ・ グローバル仕様において、公開先や公開日を含む商品情報を登録するプロセスと、公開行為を行う業務プロセスは別々に定義されている。そのため、これら进行操作する画面を、それぞれ「商品マスター一覧表示」、「公開対象一覧表示」という別のメニューとした。

＜今後の検討内容＞

（１）商品情報登録と公開指示のプロセスの再整理

- ・ 商品情報（公開先・公開日を含む）の登録プロセスと、公開指示プロセスはデータプール間のプロセスとしては別とする必要がある。しかし、利用者にとっての業務プロセス上で統合するか、別にするかは再整理が必要である。

P 5） 2つ以上の商品階層がある商品情報のPublication（公開）

【課題概要】

Publication（公開）は、最上位階層で行うルールであるが、最上位階層での公開のみならず、他の階層でも公開したため、“単品”に関するデータが2重で送信された。

【課題分類】

- ・ 原因分類：運用、標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

＜実験時に発生した現象・問題＞

- ・ Publication（公開）は、送信する商品情報の最上位階層で公開するルールとなっている。しかし、そのルールが利用者に充分伝わっていなかったため、ケー

ス（CA）と単品（EA）の両方の商品階層でPublication（公開）して、単品（EA）に関する商品情報が2回送信されたり、最下位階層のみでPublication（公開）して、ケース（CA）の商品情報が送信されなかったことがあった。

＜発生した原因・理由＞

- ・ 2つ以上の商品階層をもつ商品情報は、グローバル仕様において、最上位階層で公開することとなっている。利用者に、この公開方法が十分に伝達されていなかった。

＜今後の検討内容＞

（１）利用者へのPublication（公開）に関する理解の向上

- ・ 最上位階層で公開するというルールが利用者に十分に伝達されていなかった。今後は、業務マニュアルも整備して、どのようにしてPublication（公開）実行すればいいか、認知向上を図る必要がある。

（２）利用しやすいユーザー・インターフェースの開発

- ・ これまでの商慣行から、“単品”を起点として情報管理したいという業務ニーズがある。グローバル仕様に準拠した公開方法をとった場合でも、社内でデータを利用する際には、“単品”を起点としたユーザー・インターフェースにすることができる。
- ・ 最上位階層以外で、同時にPublication（公開）を行うと下位階層では同一商品で複数件の受信が起これ得る。そのようになった場合には、受領側のデータプールでの対応が必要となり、システム的なガードやフォロー運用ができるかも検討する必要がある。

P 6）メーカー・小売業間の直取引・直接情報提供

【課題概要】

本実証実験では、直取を対象外としたが、実証実験期間中にも、直取を行いたいニーズが発生した。

【課題分類】

- ・ 原因分類：標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

＜実験時に発生した現象・問題＞

- ・ メーカーが直接、小売に対して商品情報を提供することを想定した場合、メーカーは、基本情報を送信するメーカーの役割と、その情報を受信して、関係依

存情報を送信する卸の役割の2つの役割を順番で行う方法しかなかった。

＜発生した原因・理由＞

- ・ 本実証実験では、メーカーが基本情報を登録し、卸売業へ送信する。また、卸売業は、関係依存情報を登録し、小売へ送信するというプロセスを対象とした。
- ・ そのため、メーカーの役割に対しては、基本情報を登録する画面しか提供していなかった。

＜今後の検討内容＞

- (1)メーカー用データプールに、メーカーが関係依存情報を登録する機能の整備：
- ・ 本番運用時には、直取にも対応できるように、卸用データプールと同様の機能を実装することが必要。但し、直取を行わない場合とのガードについてはどこまで行うのか検討が必要。

P 7) メーカー・卸間の役割分担（代行入力）

【課題概要】

本実証実験では、メーカーは基本情報のみ登録することとしたが、メーカーでも代行で小売向け関係依存情報を卸に対して登録することがあり、関係依存情報まで入力する機能が用意されていない。

【課題分類】

- ・ 原因分類：標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

＜実験時に発生した現象・問題＞

- ・ メーカーが、代行で小売向け関係依存情報を卸に対して登録することがある。よって、卸売業に対して商品情報を提供することを想定した場合、メーカーは、基本情報を送信するメーカーの役割と、その情報を受信して、関係依存情報を送信する卸の役割の2つの役割を順番で行う方法しかなかった。

＜発生した原因・理由＞

- ・ 本実証実験では、メーカーが基本情報を登録し、卸売業へ送信する。また、卸売業は、関係依存情報を登録し、小売へ送信するというプロセスを対象とした。
- ・ そのため、メーカーの役割に対しては、基本情報を登録する画面しか提供していなかった。

＜今後の検討内容＞

（１）製・配・販での登録役割分担のパターン再整理と項目管理者の整理

- ・ 本番運用時には、メーカーが卸売業に対して直接、関係依存情報を提供するケースが想定される。直取引を含めて、製・配・販で情報登録の役割分担のパターンを再整理するとともに、項目の管理者について再整理する必要がある。

（２）メーカーに対する関係依存情報を登録する機能の整備

メーカー用データプールに、メーカーが関係依存情報を登録する機能の整備：

- ・ 本番運用時には、代行にも対応できるように、卸用データプールと同様の機能を実装することが必要。但し、代行を出来る・出来ないのガードについてはどこまで行うのか検討が必要。

P 8）承認・非承認の通知および登録内容通知

【課題概要】

マスタデータ同期化により商品マスタ送信後（公開後）、受領側である卸や小売が、自社システムにマスタデータとして取り込んだかどうか分からない。また、小売側が登録したマスタデータ項目を送信側（卸）が分からない。

【課題分類】

- ・ 原因分類：標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

＜実験時に発生した現象・問題＞

- ・ マスタデータ同期化により送信された商品情報を、受領側である卸や小売が、自社システムにマスタデータとして取り込んだかどうか分からない。
- ・ また、小売側が登録したマスタデータ項目を送信側（卸）が分からない。例えば、小売側の「登録完了」と伴に、下記項目の戻りがあると、GDS後に行われる「EDI」にとってメリットが生まれるが、実験システムでは入手できない。
 - ・ 小売社内商品コード
 - ・ 部門コード（DPT・ライン・クラス等々）
→決済に必要な「部門コード」という意味
 - ・ 原単価
 - ・ 店舗または店舗パターン→つまり、どこで取り扱うかのGLN

<発生した原因・理由>

- ・ グローバル仕様としてのGDSプロセスでは、DataRecipient（データ受信者）→DataSource（データ送信者）にCIC（CatalogItemComfomation）で応答を返すことで、取りこんだ情報を把握できることとなっている。しかし、本実験システムでは、更新差分管理や、卸売における基本情報のコピー機能など、他機能の優先度を上げて開発したことから、C I C機能は実験時の実装対象外とした。

<今後の検討内容>

（１）CICプロセスの再定義

- ・ 本番運用時には、受領した際に「承認」「非承認」の結果のみをCICとして返信するのか、「登録完了」まで含めるのか、また、登録内容まで返信するのか（その場合には、どの項目を対象とするか）について再整理が必要である。

（２）上記プロセスを実現する同期化システムの構築

- ・ 上記C I Cプロセスの再整理した結果に応じて、そのプロセスを実現する同期化システムを構築する必要がある。

P 9) 受信通知

【課題概要】

マスタデータ同期化により送信側がデータを送信しても、受信側は、いつ受信したか、実験システム以外で別途、連絡しないとわからない。受信側がW e b画面を実際に開かないとわからない。

【課題分類】

- ・ 原因分類：標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

<実験時に発生した現象・問題>

- ・ 受信側がマスタデータを受信したことを気づかずに、次のステップの業務が始まらない。

<発生した原因・理由>

- ・ 本実験システムでは、データ受領者が、Web画面等に自ら操作して、データ受信していることを確認していただくこととした。データを送信したことは、別途、営業同士のコミュニケーションで対応していただくこととした。

<今後の検討内容>

(1) ユーザー要件としてデータプールの付加機能の検討

- ・ 受信通知は、GDSグローバル標準では規定されていない。よってユーザー要件としてデータプールの付加機能(Ackknowledge)で対応できるか検討を行う。
- ・

P10) 商品情報の確定ステータス

【課題概要】

Publication (公開) した商品情報に、マスタデータが確定したというステータス情報が欲しいという業務ニーズが発生した。

【課題分類】

- ・ 原因分類：運用、標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

<実験時に発生した現象・問題>

- ・ Publication (公開) した商品情報に、マスタデータが確定したというステータス情報はないため、いつ確定したのか、データ受領側にはわからない。

<発生した原因・理由>

- ・ マスタデータ同期化は、商品情報が更新されるたびに、公開先へ更新情報を送信し続けるコンセプトであるため、マスタデータに確定というステータスはなく、常に更新される。

<今後の検討内容>

(1) 確定ステータスの必要性に関する再整理：

- ・ 実験システムでは、変更の都度、更新データが同期化され、確定タイミングは相対で決定される。業務ニーズとして確定ステータスは、本当に必要か再整理が必要である。変更理由に「確定」という運用ルールもある。

(2) 社内システム整備のガイドラインの整理

- ・ 社内システムでは、マスタデータが常に更新される可能性があることを想定した管理が必要となる。具体的な対応をガイドラインとして整理する必要がある。

P 1 1) 公開タイミング

【課題概要】

メーカー発表日前に、メーカー内で希望小売価格が何度も変更される。希望小売価格が変更されないものということになると、公開タイミングが確定しない。

【課題分類】

- ・ 原因分類：運用、標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

<実験時に発生した現象・問題>

- ・ 発表日前に、メーカー内で希望小売価格が何度も変わる。その場合、希望小売価格をいつ公開とするかタイミングが定まらない。

<発生した原因・理由>

- ・ マスタデータ同期化は、商品情報が更新されるたびに、公開先へ更新情報を送信し続けることとなっている。よって、希望小売価格が変更されるたびに、データ送信することは可能。
- ・ 一方、受信側は、マスタデータが更新される可能性があることを想定した管理が必要となるが対応できていない。

<今後の検討課題>

(1) 公開された商品情報のあり方の再整理：

- ・ 実験システムでは、公開後の変更の都度、修正データとして同期化されるため、常に更新し続けることとなる。
- ・ 受信側が、マスタデータが更新されるたびに、社内システムで対応することが合意されていないと、情報更新することが負担となる可能性がある。

P 1 2) 公開履歴の参照

【課題概要】

過去に公開 (Publication) したときの情報を履歴として管理し、常に参照できるような仕組みがない。よって、相手先に送信したかどうか、送信者が把握できない。

【課題分類】

- ・ 原因分類：運用、標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

<実験時に発生した現象・問題>

- ・ 過去に公開したときの情報を履歴として把握できないため、送信側が、実験システムを利用して本当に送信できたか自ら確認できない。(送信操作をしたときに、画面の動きが早くで送信できたか不明。) また、送信先から問合せがあったときに、送信したことを明確に回答できない。

<発生した原因・理由>

- ・ 過去に公開(Publication)したときの情報を履歴として管理することがグローバル仕様で定義されていないため、参照する機能は、実装していない。

<今後の検討内容>

(1)ユーザー要件としてデータプールの付加機能の検討

- ・ 実証実験では、更新差分のニーズもあり、履歴管理することまでは実装したがユーザインターフェースまでは議論仕切れなかった。ユーザー要件として、過去に公開(Publication)したときの情報を履歴として管理し、常に参照するなど、データプールの付加機能で検討が必要である。

P 1 3) Pub/Subマッチング結果の確認

【課題概要】

プライベート扱いで公開操作したが、送付先が想定したGLNで送信しなかったためPub/Subマッチングされなかった。また、送信者はマッチングされなかったことに気づけなかった。

【課題分類】

- ・ 原因分類：運用、標準化、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

<実験時に発生した現象・問題>

- ・ プライベート扱いで公開操作したとき、送信先GLNを、送信先が想定したGLNで登録しなかったため、送信先がデータ受信を認識できなかった。しかし、送信者は、すでに送信したと思っていたため、データ送信確認が遅れた。

<発生した原因・理由>

- ・ プライベート公開時にPub/Subマッチングがされなかったとき、送信者にマッ

チングされなかったことを知らせる仕組みがグローバル仕様で定義されていないため、該当機能は、実装していない。

＜今後の検討内容＞

(1)ユーザー要件としてデータプールの付加機能の検討

- ・ 実証実験では、GLNの存在確認は行ったが、送信先がSubscriptionを出しているところへ、Publication（公開）しているか確認する機能は実装していなかった。ユーザー要件として、Pub・Subマッチングの結果を確認できるようにするなど、データプールの付加機能で検討が必要である。

P 1 4) 卸向けD P 事業者の参画

【課題概要】

卸向けデータプール機能を提供するデータプール事業者が、現時点で見当たらない。

【課題分類】

- ・ 原因分類：運用、システム
- ・ 緊急度：本番開始前に解決必須

【詳細説明】

＜実験時に発生した現象・問題＞

- ・ 日用品・化粧品業界における卸向けデータプール機能を提供するデータプール事業者が、現時点で見当たらない。

＜発生した原因・理由＞

- ・ 以下の要因が考えられる。
 - ①候補となるサービス事業会社への啓蒙が不十分である
 - ②具体的な投資規模が見えず、事業化に踏み切れない
 - ③具体的に投資採算性を検討したが、すべて自社投資では採算が合わないと判断した

＜今後の検討内容＞

(1)候補となるサービス事業会社への啓蒙

- ・ サービス事業会社の候補企業に対して、利用者である卸が集まって説明する。または、業界として説明する場を増やして、啓蒙活動をすることが考えられる。

(2)事業計画立案に必要な料金体系、投資内容の明確化

- ・ サービスに必要となる投資内容を明確にするとともに、利用者数、料金体系について具体化する必要がある。

(3)政策としての事業促進策の推進

- ・ 投資リスクを低減するために、例えば、同期化するためのソフトウェアを低価格で導入できる、などの促進策が必要である。

3-4 技術に関する検証結果

3-4-1 技術に関する設計及びシステムテスト時の検証結果

技術的な観点での、検証項目一覧を以下に示す。

ID	タイトル
TEC-001	グローバルに準拠した商品マスタ同期化プロセス機能の検証
TEC-002	日本独自拡張項目を同期化マスタに追加し、同期化が行えることの検証
TEC-003	棚割商品単品画像データ同期化の検証
TEC-004	同期化データの公開制御が行えることの検証
TEC-005	商品階層データ同期化の検証
TEC-006	同期化マスタデータの更新差分管理機能の検証
TEC-007	Validationによる同期化データのクレンジング機能の検証
TEC-008	EDIINT AS2プロトコルを使用したデータプール間でデータ交換機能の検証

上記の検証項目について検証を行ったところ、下記のような結果になった。

TEC-001) グローバルに準拠した商品マスタ同期化プロセス機能の検証

→実証実験システム環境にて、想定した業務シナリオに沿って、GSMP仕様にて定義されているビジネスプロセス（Catalogue Item 登録、Catalogue Item 更新、Catalogue Item 停止、Publication 実行、Publication 停止、Notification 受信）の動作検証を行った。結果としては、想定したテストケース通りの動作を確認することができた。

TEC-002) 日本独自拡張項目を同期化マスタに追加し、同期化が行えることの検証

→実証実験システム環境にて、TEC-001 の想定した業務シナリオに沿って、GSMP仕様にて定義されているビジネスプロセスの動作検証を行ったところ、すべてのシナリオにおいて、日本独自拡張項目を追加した商品マスタ情報が同期化でき、想定したテストケース通りの動作を確認することができた。

TEC-003) 棚割商品単品画像データ同期化の検証

→卸は/小売は同期化されたリンク情報を元に、画像管理サイトにインターネットアクセスし参照するものとした。結果としては、単品画像の商品登録、同期化、及び参照について想定した動作を確認することができた。

TEC-004) 同期化データの公開制御が行えることの検証

→今回の実証実験では、Catalogue Item 情報を公開先単位に分けることによって、公開日や関係依存項目を公開先別に制御できるように対応した。結果は、下記のとおり。

- 実証実験システム環境にて、公開先別に公開日、関係依存項目等の登録が行えることを確認することが出来た。
- マッチング対象の購読条件(Subscription)を設定し、マッチング対象のみの公開先へ Notification されることを確認した。
- すべてのシナリオにおいて、公開先別にマッチングが行われた結果、商品マスタ情報が同期化でき、想定したテストケース通りの動作を確認した。(但し、実証実験を進めていく中で、いくつかの課題も挙がってきた。)

TEC-005) 商品階層データ同期化の検証

→階層登録されている上位層の商品が PUB/SUB マッチングした際、すべての下位商品の階層構造情報を保持した CatalogueItemNotificaiton が Buyer へ送信されるかどうか、検証を行った。結果は、下記のとおりであった。

- 実証実験システム環境にて、商品マスタ登録の際、下位商品の階層登録が行えることを確認することが出来た。
- 上位商品マッチング後の CatalogueItemNotification にすべての下位商品情報が包含されていることを確認した。
- 受信データの階層情報画面にて階層構造がツリー状に表示されることを確認することが出来た。
- すべてのシナリオにおいて、階層情報の登録後、次下位層を含む商品マスタ情報の同期化ができ、想定したテストケース通りの動作を確認することが出来た。(但し、実証実験を進めていく中で、いくつかの課題も挙がってきた。)

TEC-006) 同期化マスタデータの更新差分管理機能の検証

→「同一商品に対して複数回の CatalogueItemNotification(C I N)を受信した時、過去の CatalogueItemNotification(C I N)受信データは、履歴テーブルへ格納されること」および、「最新の CatalogueItemNotification(C I N)情報と前回受信分の CatalogueItemNotification(C I N)情報とを比較し、下位層を含む Catalogue Item 情報の項目単位で更新差分レポートが作成されること」について検証を行った。結果は、下記のとおりであった。

- TEC-001 の想定した業務シナリオに沿ってテストを行い、Catalogue Item 更新のシナリオにおいて、受信した CatalogueItemNotification より C I N テーブル、C I N 履歴テーブル、更新差分レポートが作成されることを確認した。
- また、WEB 画面より作成された更新差分レポートを表示、印刷できることを確認した。

TEC-007) Validation による同期化データのクレンジング機能の検証

→Validation ルールを設定し、同期化データについて、正しくバリデーションチェックが行えること、チェックの結果、エラー内容が正しく判別できることについて、検証を行った。結果としては、登録時や同期化データにおいて、設定したバリデーションチェックが正しく行われたことを検証することが出来た。(但し、実証実験を進めていく中で、いくつかの課題も挙がってきた。)

TEC-008) EDIINT AS2 プロトコルを使用したデータプール間でデータ交換機能の検証

→Data Pool-Data Pool 間の通信プロトコルとして EDIINT AS2 を採用（グローバルでの事実上のスタンダード）して実装を行い、実証実験システム環境において検証を実施した。

結果としては、EDIINT AS2 ミドルウェアを使用して、Data Pool-Data Pool 間とも問題なく EDIINT AS2 プロトコルを用いた送受信を行うことができることが確認できた。受領確認（MDN）も問題なく実施できた。

また、Agentrics（旧 WWRE）サイトと、Data Pool（メーカー機能）、Data Pool（卸機能）間の EDIINT AS2 通信は、異なる AS2 ミドル製品間の通信となるが、問題なく通信が行え、異なる EDIINT AS2 ミドルでの相互運用性も確認することが出来た。

3-4-2 技術に関する実証実験時の検証結果

実証実験を通じて、実験参加者から技術に関する課題を収集した。それらを分類した結果、以下の課題が抽出された。

- T1) スキーマバージョン管理
- T2) SUB/CICのユーザーインターフェース未実装
- T3) 画像管理
- T4) Validation

以降、それぞれの課題の詳細について説明する。

【課題分類】

- 原因分類 : 標準化、システム
- 緊急度 : 本番開始前に解決必須

【課題詳細】

T1) スキーマバージョン管理

商品階層内に複数の Version の CIN が存在する場合の対応方法について検討する必要がある。要検討事項の扱いとし、今後の実証実験での課題とする。

→単品レベルでの複数バージョン管理については、対応できるように、テーブルにバージョン情報を保持する方法がある。

問題は、商品階層内での、スキーマバージョンの関連。階層情報は一つのCINの中に全ての商品情報を持つが、ヘッダでスキーマバージョンを指定するので、バージョンも一つしか持てない。

従って、階層内の情報は全て同じバージョンで統一する必要がある、バリデーションする必要がある。

T2) SUB/CICのユーザーインターフェース未実装

- 実証実験では、実装しなかったSUB登録画面でユーザーがSUB登録できるようにする。(実験では、開始時に初期設定で代用した。)

→実装は時間があれば可能であるが、後からSUBを追加した場合にも、PUB/SUBマッチングを行い、SYNCLIST更新及びCINを自動送信すると、一気に大量のCINデータが流れることになり、サーバ負荷・ネットワーク負荷を考慮して本当に行うか検討する必要がある。

(例：新規参入の中規模小売が、TM＝日本でSUBすると、最低でも数万件のCINが一気に発生することになる。)

- 実証実験では、実装しなかったCIC登録画面で、ユーザーがCIC登録をできるようにする。(実験では、各DataRecipient(DR)の要望が低く、CIC送信のニーズより、UIの改善のニーズ対応を優先して実装しなかった。)
→実装は時間があれば可能であるが、各DataRecipient(DR)からのRecipientDataPool(RDP)への送信タイミング(各DataRecipient(DR)側受信時or社内マスタ取込み時or社内商品マスタ取込み後の承認時 等)やCICステータスのセット方法(Reject,Synchronize、等)

T3) 画像管理

- 単品の棚割画像のみをリンク方式で、現時点で実現可能な方式で行ったが、本格運用に向けては深堀をすべき。
→「画像DBを提供する事業者」と「SDPを行う事業者」が異なる場合の技術的な連動方式
 - － 基本的には、事業者間でのサービスレベルを含めた検討項目であり、GDS標準プロセスでは規定しない。
- 画像参照に関するセキュリティ・料金体系
 - － リンク情報を用いて、画像DBにアクセスした時点で、セキュリティ・料金負担が発生するためGDS標準プロセスでは規定しない。
- 同期化必要な画像含むマルチメディアファイルの定義の明確化と共通認識
 - － 商品カタログ・棚割・チラシ用 の画像の種類
 - － サイズ/フォーマットの標準化の範囲
 - － 動画等静止画像以外の扱い

T4) Validation

- Schema上の必須項目については、厳密なエラーチェックが実装でき、登録精度も高かったが、任意項目については、項目関連チェックを含めチェックが甘くなったケースがあった。
- Schemaの制限でもあるが、商品階層別にSchema定義を変更することが出来ないため、商品階層別で業務的に必要・不要の切り分けが必要である。

→業務プロセス／項目確定後になるが、以下のような検討が必要と思われる。

- それぞれに則ったvalidationルールの設定
- BRDバージョンアップ対応の実装方式検討
- GDD準拠と日本独自拡張の切り分けルールの標準化
- 商品階層別、項目関連チェックの充足度向上
- validationルールと、各DataPoolでのエントリ時のチェックとの実装範囲の切り分け

3-4-3 ユーザーインターフェースに関する検証結果

実証実験を通じて、実験参加者からユーザインターフェース（以下UIとする）に関する課題を収集した。それらを分類した結果、以下の課題が抽出された。

【ユーザーインターフェースに関する課題】

- U1) 一時保存
- U2) UI検索条件及び一覧表示
- U3) UI画面遷移
- U4) UI複写・コピー
- U5) UIレスポンス
- U6) UI操作性
- U7) UIレイアウト
- U8) UIセキュリティ・アクセスコントロール

【課題分類】

- 原因分類：標準化、システム
- 緊急度：本番開始前に解決必須

【課題詳細】

U1) 一時保存

- セキュリティなどの観点から30分でセッションタイムアウトとなり、それまで入力したものが無駄になった。
- 登録項目が多いため、一気に最後まで登録が出来ない。一時保存があれば利便性が上がる。

U2) UI検索条件及び一覧表示

- 一覧から特定のレコードを選択する場合、“TM”“商品特徴”では判別できない。GTINをダイレクトに入力する、という操作も桁数が多く、非現実的。
- 一覧表示に商品名がないため、GTINだけでは特定がしにくい。
- 受信データ一覧表示、商品マスター一覧表示、公開情報一覧表示 等の一覧画面にて、商品名が表示されていないので検索に時間がかかる。
- 現在は、メーカーからJANコードで連絡をもらっているので、GTINで検索するGDS実験システムでは商品を抽出することが困難。（これは実験固有の課題であるが、移行期には同様のことが想定される。）
- 一覧画面で「公開/未公開」が表示されていないので、ステータス確認するために明細画面を確認する必要がある。
- 公開・公開停止のステータスが一覧画面で分かるようにする。
- 公開情報に紐づく下位階層の商品情報は、どこまで表示させるべきか？（今回のシステムでは、一覧には表示されていない。）
- 商品分類を詳細指定しないと検索できない。分類コードが複数選択できないので、分類コードで絞り込みたい場合、複数回処理を繰り返す必要がある。
- GLNなど都度検索しなくては入力できない。

※ [商品名を追加する留意点]

グローバルTradeItemのDescriptionは、GLN、GPC、TM、商品説明 等が規定されており、実証実験で多くの意見を頂いた「商品名称」がないことが課題の発端。

単純なUI（商品を選択する際の一覧表示、検索条件での操作性向上目的）であれば、日本拡張機能として表示すればよいが、今後、グローバルサーチ等でも商品名を使用したい場合には、ChangeRequest(CR)を行う必要がある。

※ [商品分類の留意点]

マスタ項目での課題にも挙げられているが、グローバルでの商品分類はGPCである。実証実験では、GPCがそのまま日本でも使えるか検討不足であり、JICFS商品分類をGPCに見立てて検索条件等に利用しただけである。グローバルに準拠する場合には、日本の標準商品分類とGPCの関連付けをどうするのか標準化が必須である。

U3) UI画面遷移

- 改ページ後の一覧から基本情報や公開先情報へ遷移して戻ると、必ず1ページ目が表示される。遷移前のページに戻るべき。
- 複数ページにまたがる際、中間ページで内容検索し画面を戻すと1ページに戻りオペレーションが面倒であり、検索時点のページを保持する。
- 商品一覧で、IEの戻るボタンを使用すると、画面表示で前回の情報が残っている場合があり、マスタ登録の画面から一覧表示に戻る時に毎回先頭ページに戻ってしまう。少なくとも先頭ページに戻ってしまうことは避けて欲しい。
- 「修正送信」「個別入力完了」「拠点入力完了」というボタン名称に違和感あり。

U4) UI複写・コピー

- 同一シリーズ商品の場合、同じ内容を何度も登録することになり手間がかかる。個別入力、拠点入力画面単位に事前登録した製品を指定してコピー可能とする。
→複写機能をリリースし、解決済み。
- 複写機能実装前のため、複数階層登録が手間かつ必要項目等が分かりにくく各階層に必要な項目のみの入力画面とし、かつ最下位層からの登録に従い、可能な項目は自動的にデフォルトで複写する等UIを改善。
→複写機能をリリースし、解決済み。
- 1商品単位での取り込みとなるため、商品数が多い場合取り込みに手間がかかる。一覧画面から指定して取り込み可能とする。→EXCELからSBDH付x m lではなく、単純な入力補助としてのCSV取込みを検討も必要。
- 入力内容が同一の拠点を複数登録する場合のオペレーションが大変である。今回のWeb画面はエクセル等のコピー&ペーストに比べ、オペレーションが大幅に大変になる。(時間も大幅に掛かる。)。
→Web画面で実用化する場合は、「複数拠点の一括登録」や「拠点複写」などの機能が必須であると考える。
- 入力内容が毎回変わらないのに、全てのアイテムで毎回入力しなければならないのでオペレーションが大変である。Web画面で実用化する場合は、入力内容が毎回変わらない項目を保持するような機能が必要ではないか。(例えば各項目に固定値を登録するようなメンテ画面を追加するとか。)

- 拠点別個別項目を都度入力しなくてはならない。拠点別個別項目のコピー機能を実装する。

U5) UIレスポンス

- 登録操作のレスポンスがすぐに戻らず、エラーになったのか、OKなのか判り辛い。またうまくいっていないと勘違いし、何度も同じ操作をするので使いづらい。
- 一意制約違反などのエラーは登録時に表示されるべき。(同期処理にするか、非同期処理という事がわかるコメントを出すなど工夫を。)
- 公開操作を2回以上行った場合、エラーログに書き出されていたので、システムはそれを認識していたと思う。エラーログに書き出すだけではなく操作時に表示される様にして欲しい。勿論、公開作業が直ぐに反映されるようにしてほしい。

U6) UI操作性

- 実験システムの操作性が悪い。
- 登録項目が多く入力に時間がかかってしまった。
- 修正をする際の、個別項目の修正がわかりにくい。
- 今回は実験と割り切っていたが、項目の羅列でわかりにくかった。
- エラー検知などでPOP-UP機能があれば、より便利であると思った。(タイムリーな登録)

U7) UIレイアウト

- 「商品名・長」と「商品カネ名・短(半角)」の入力フィールドの幅が短いため項目毎の長さに合わせた枠にしてほしい。
- 等幅フォントでなければ等幅フォントにしてほしい。
- FDBの項目順に従ったが、法制度(熱量/たんぱく質/脂質/炭水化物/ナトリウム/強調表示の順になおす)と順番が違うので対応が困難。
- 入力項目枠内のスクロールはやめて、全て表示されるようにして欲しい。
- 今回は実験と割り切ってはいたが、項目の羅列でわかりにくい。不必要な項目は極力画面に出さない等ユーザーインターフェースの工夫が必要。
- 現行の公開先への提出用紙と登録画面上のマス目の配置が異なるため別途入力原票を作成しないと入力に時間がかかる。またその原票作成に手間がかかる。

U8) UIセキュリティ・アクセスコントロール

- 実証実験は、小売担当別の卸IDを使い、卸内部での担当者間のアクセスコントロールを行ったが不十分と思われる。
- GDSに同時に同一IDでログインできてしまい、商品修正画面を同時に利用することができるのでデータの修正を行った後、別画面で修正前のデータを保存できてしまう。二重ログインとデータを開いているときに修正があった事が分かるようにした方が良い。
- 同一レコードが複数のユーザーで取り出してメンテナンスができてしまう。共同利用するマスタの品質確保の観点でありあまり好ましくない。排他制御は必要。あるユーザーが一覧から取り出し中の場合は、その他のユーザーは取り出せない。(又は取り出し中がわかるような工夫が必要。)

【今後の進め方】

ユーザーインターフェースについては、限られたリソース・時間の中で作成したUIのため、操作性が悪いのは否めない。実証実験の課題も参考に本格に向けての操作性・機能向上としたい。

但し、グローバルのGDSプロセス・項目に規定されていない・準拠するだけでは対応できないものもあり、日本独自拡張や、PIM (Product Information Management 商品情報管理) ツールの活用も含み DataPool の付加価値 (差別化) する検討課題もある。今後の進め方としては、以下のようなことをやっていく必要がある。

- 業務プロセスWG・マスタ項WGでの見直し結果でUIについても実装方式の検討。
- 実装開発する前に、主たるメンバーに対してレビュー指摘を行うタスクフォースを行う。

3-5 実証実験結果のまとめ

本実証実験は、1章で述べたように、以下を目的とした。

【実証実験の目的】

本実証実験は、我が国における商品マスターデータ同期化システム（GDS）の本格運用を目指し、製・配・販が協働で策定した、マスターデータ項目と、同期化プロセスの仮説を基本的に用いて、製・配・販一気通貫でデータ同期化を行うことによって、

「実業務として採用できるのか？」

「実業務として採用した場合、どのような効果が得られるのか？」

をできる限り本番に近い業務環境で検証し、その検証成果を広く公開すること

【全般について】

- ・ 本実証実験は、参加企業・団体62社と実証実験としては非常に多くの方々にご参加いただくこととなった。
- ・ メーカーや卸売業においては営業担当者が、また小売業では商品部の方が直接、実験にご参加され、マスターデータ登録・受信や、結果検証に直接関与していただくこととなった。
- ・ また、実験期間に先立つ検討において、参加する小売企業各社が自社のマスターデータ項目を開示し合い、それぞれの項目の意味を共有し、マスターデータ項目の定義を統一化し、項目数を絞り込むという、画期的な取り組みも行われた。
- ・ よって、目的として掲げた「本格運用を目指し」、「できる限り本番に近い業務環境で検証」することができたのではないかと考えている。
- ・ 一方で、実験期間がトータルで3ヶ月間、小売側がデータを受信したのは、2月頭から2月末までの約1ヶ月間と短い期間となった。本格運用を目指すためには、まだ十分な検証ボリュームになっていないとも言える。

【実業務として採用できるか】

1) マスターデータ項目について

- ・ 実業務としてマスターデータ同期化の仕組みが利用されるようになるには、マ

スタデータ項目が標準化され、現実に使われると想定されていることが前提条件となる。

- ・ 先に述べたとおり、実験時に用いたマスタデータ項目は、小売業同士が集まって統一化し、さらにG C I ジャパンにおいて、さらに多くの利用者により精査されたマスタデータ項目である。
- ・ このような検討プロセスを踏まえたため、実験開始以前に、実業務レベルに近い水準までマスタデータ項目を検討することができた。
- ・ 実験を通じて、マスタデータ項目に関する多くの課題（さらなる定義・ルールの追加や利用シーンの詳細化、など）が抽出されたが、本格運用までに約1年の間に、充分整理可能な課題である。

2) 業務プロセスについて

- ・ タイミングに関する検証では、小売業側のデータ登録締切日までに、（認識の違いを考慮しても）約3割が遅延となった。
- ・ その遅延も、メーカー発表日、つまりメーカーのデータ公開日がすでに小売業側のデータ登録締切日より遅かったケースや、卸売業が登録する情報を揃えるために時間がかかったケースなど、様々な状況が発見された。
- ・ この根本原因として、登録者が実験操作環境に不慣れであることや、実験時の登録項目の理解不足や、実験操作環境のユーザーインターフェースなど様々な問題があったことがわかった。これらも今後、充分整理可能な課題である。
- ・ また、作業時間に関する検証では、メーカー、卸売業、小売業とも、マスタデータ管理に関わる時間が削減されるという結果となった。ただし、作業時間が削減されるためには、データ項目が標準化され、業務プロセスが整理され、社内システム、データ操作環境、利用者の習熟度が改善されることが前提となるため、今後とも継続的な検討が必要である。
- ・ 一方、同期化プロセスの適合性については、修正、削除、停止プロセスの整理を含め、本格運用を目指した様々な課題があがった。
- ・ 帳合への対応を含め、日本の商慣習はバラエティーに富み、実際にやって見て初めて解ることが多く、実験の継続により問題を解決していくことが必要である。特に卸売業の業務周辺で多様性があり、実験の継続と新たな業界、参加者の追加による問題の発見、解決が不可欠である。

3) 実験システムについて

- ・ プロセスの課題、ユーザーインターフェースの課題が多くあり、今回の実験で準備されたシステムだけでは今後の継続的利用に向けた基盤として十分

では無い。今後とも機能追加が必要である。

【実業務として採用した場合、どのような効果が得られるのか？】

- ・ マスタデータ管理業務に関する経済効果としては、メーカー、卸売業、小売業のすべてにおいてプラス効果があるという結果となった。
- ・ また、今回定量的に評価していないが、マスタデータ同期化により、マスタデータの品質が向上すると想定する実験参加者が多い。データ品質の向上により、発注、物流、決済、分析など様々な業務でのプラス効果が想定される。
(この効果については、4章の実験参加者アンケートの結果ご参照)
- ・ 例えば、現在、多くの人的対応により受発注エラー対応を行っているが、この中にはマスタデータ品質に起因するエラー対応も含まれている。そのような業務は、今後改善される見込みがある。
- ・ また、協働での販売・販促計画の立案、協働でのサプライチェーン・マネジメントなど、企業間に渡る業務プロセスの革新にもつながる可能性ある。
- ・ マスタデータ管理業務で空いた時間を、どのように付加価値業務へつなげられるか、各企業の創意工夫にかかっている。

【今後の課題解決へ向けて】

- ・ 2005年の実験において、多くの課題が見つかった。
- ・ これらの課題については、今後も継続的な問題解決が必要である。
- ・ なお、本実験を協働で実施した、日本GCI推進協議会（GCIジャパン）では、2005年度に実施した実験結果を踏まえ、継続的に問題解決へ向けた検討が行われる予定である。

4. まとめ

4-1 実験参加者アンケート結果

本実証実験の実験期間終了後、実験にご参加された各社担当者に対して、以下の2点を確認するために、アンケートを実施した。

- マスタデータ同期化のしくみはどんな効果が想定されるか。
- 今後も前向きに取り組もうとしているのか。

前者のマスタデータ同期化のしくみがもたらす効果の確認では、メーカー、卸売業、小売業ごとに、以下の効果項目を設定した。

図表 4-1 マスタデータ同期化のしくみがもたらす効果

	メーカー	卸	小売
マスタデータ品質の向上	M1・提供するマスタデータのエラー率低減 M2・製配版でのデータ一貫性の向上	W1・自社及び提供するマスタデータのエラー率低減 W2・製配版でのデータ一貫性の向上	R1・自社のマスタデータのエラー率低減 R2・製配版でのデータ一貫性の向上
マスタデータ管理業務の軽減	M3・新商品情報登録作業が軽減 M4・商品情報の更新負荷の軽減	W3・新商品情報登録作業が軽減 W4・商品情報の更新負荷の軽減	R3・新商品情報登録作業が軽減 R4・商品情報の更新負荷の軽減
マスタデータの提供リードタイムの短縮	M5・新商品データの提供リードタイムの短縮 M6・情報更新データの提供リードタイムの短縮	W5・新商品データの提供リードタイムの短縮 W6・情報更新データの提供リードタイムの短縮	R5・新商品データの提供リードタイムの短縮 R6・情報更新データの提供リードタイムの短縮
その他業務効率の向上	M7・受注エラー対応業務の削減 M8・緊急納品・遅配・誤配送・返品 の削減 M9・請求不整合の削減 M10・POSデータ集計など分析業務 負荷の削減	W7・受発注エラー対応業務の削減 W8・緊急納品・遅配・誤配送・返品 の削減 W9・請求不整合の削減 W10・POSデータ集計など分析業務 負荷の削減	R7・発注エラー対応業務の削減 R8・緊急納品・遅配・誤配送・返品 の削減 R9・請求不整合の削減 R10・POSデータ集計など分析業務 負荷の削減
付加価値の増大	M11・商談時間・MD業務時間の増大 M12・新商品案内のカバー範囲の増 大 M13・棚割支援業務の効率化 M14・新商品導入リードタイムの短期 化	W11・商談時間・MD業務時間の増大 W12・新商品案内のカバー範囲の増 大 W13・棚割支援業務の効率化 W14・新商品導入リードタイムの短期 化	R11・商談時間・MD業務時間の増大 R12・新商品情報の収集範囲拡大 R13・棚割業務の効率化 R14・新商品導入スピードの増大
その他	C1・e-コラボレーション(企業間での協働販売計画・協働SCMなど)実現へ向けて第1歩の実現 C2・次世代流通システム標準化の進展 C3・メーカー・卸・小売一体での流通システムに関する業界としての取り組み・活動の活性化		

この効果項目を用いて、以下の3点についてアンケート調査した。

“実験に参加された当初、想定されていた効果”（問1）

“実験に参加された結果、短期的（2～3年）に見込まれる効果”（問2）

“実験に参加された結果、中長期的（3～10年）に見込まれる効果”（問3）

また、後者の取り組み意向では、以下の3点についてアンケート調査した。

“マスタデータ同期化に対する、貴社内のシステム整備、ルール・体制整備について、実施事項や実施時期を整理したマスタプラン（活動計画）などを策定されたか。”（問4）

“マスタデータ同期化に対する、貴社内のシステム整備、体制整備について、すでに投資規模を明確にした投資計画を策定されたか。または、すでに投資したか。”（問5）

“マスタデータ同期化のしくみづくりに対して、今後とも前向きに取り組まれるご意向か。”（問7）

4-1-1 マスタデータ同期化がもたらす効果に関するアンケート調査結果

本アンケート調査は、実験に参加されたメーカー15社、卸売業13社、小売6社、合計34社よりご回答いただいた。

1）実験に参加されていた当初、想定されていた効果

①メーカー

実験参加当初、想定されていたマスタデータ同期化のしくみがもたらす、メーカーにおける効果では、以下の5つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

「M1・提供するマスタデータのエラー率低減」

「M2・製配販でのデータ一貫性の向上」

「M3・新商品情報登録作業が軽減」

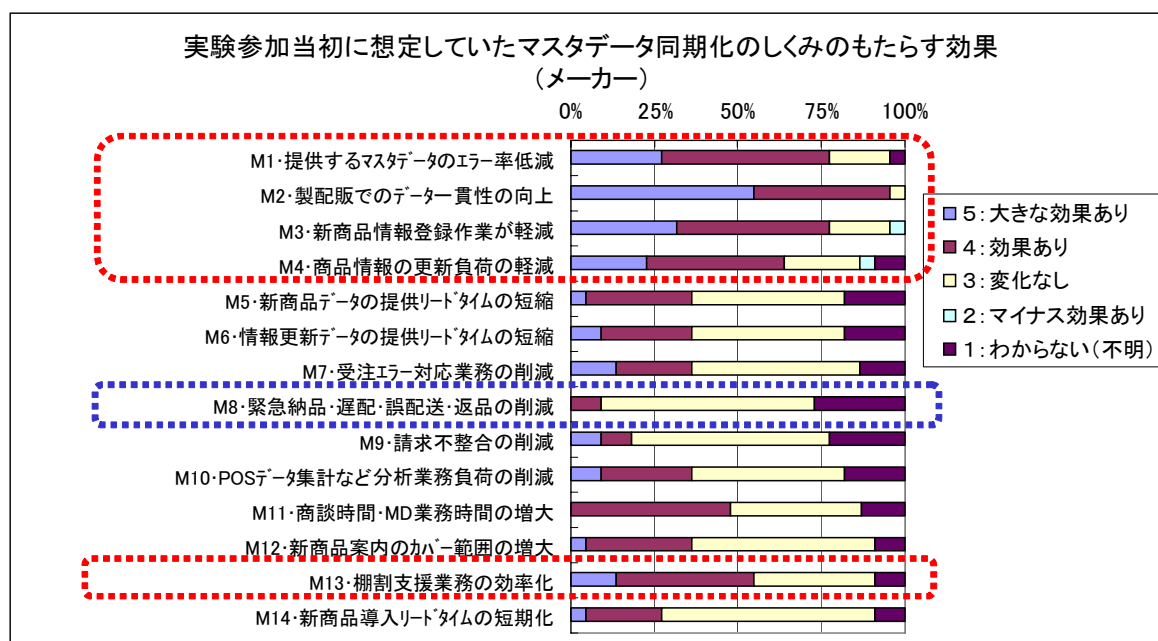
「M4・商品情報更新の負荷の軽減」

「M13・棚割支援業務の効率化」

ただし、「M3・新商品情報登録作業が軽減」、「M4・商品情報更新の負荷の軽減」の2つについては、“マイナス効果あり”という意見もあった。

また、「M8・緊急納品・遅配・誤配送・返品削減」については、“変化なし”という意見が多かった。実際の業務で、遅配・誤配送などが起こることが少ないため、効果が少ないと想定されるが、遅配・誤配送が起こらないように多大な労力をかけている可能性がある。

図表 4-2 実験参加当初に想定していたマスタデータ同期化の効果(メーカー)



② 卸売業

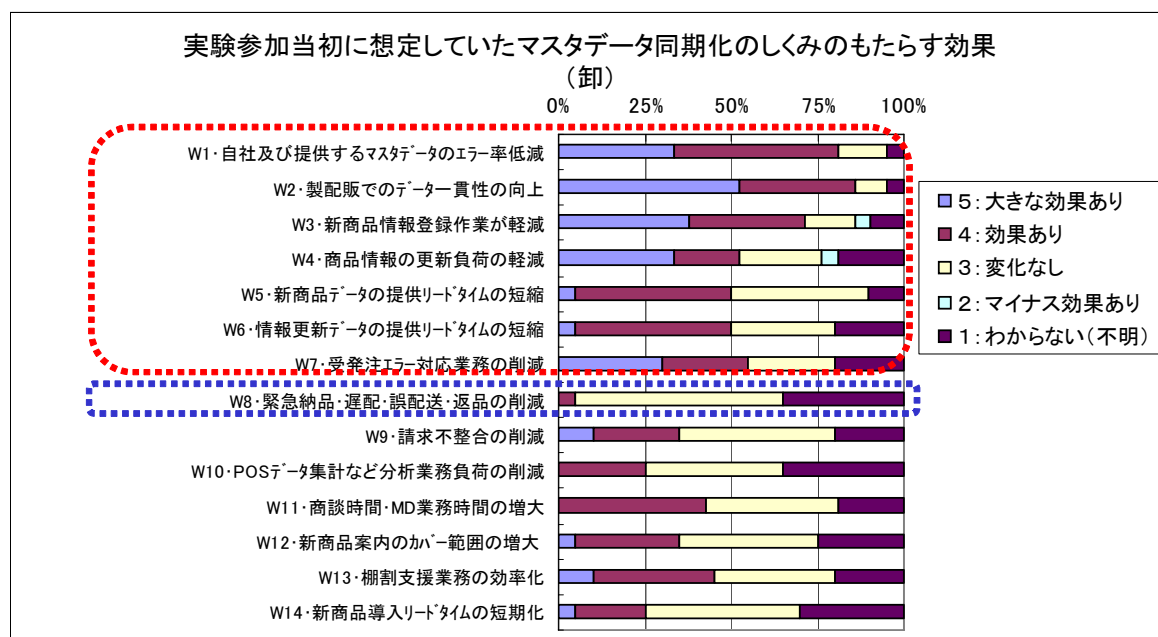
実験参加当初、想定されていたマスタデータ同期化のしくみがもたらす、卸売業における効果では、以下の7つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

- 「W1・自社及び提供するマスタデータのエラー率低減」
- 「W2・製配販でのデータ一貫性の向上」
- 「W3・新商品情報登録作業が軽減」
- 「W4・商品情報更新の負荷の軽減」
- 「W5・新商品データの提供リードタイムの短縮」
- 「W6・情報更新データの提供リードタイムの短縮」
- 「W7・受発注エラー対応業務の削減」

ただし、「W3・新商品情報登録作業が軽減」、「W4・商品情報更新の負荷の軽減」の2つについては、“マイナス効果あり”という意見もあった。

また、「W8・緊急納品・遅配・誤配送・返品削減」については、“変化なし”という意見が多かった。実際の業務で、遅配・誤配送などが起こることが少ないため、効果が少ないと想定されるが、遅配・誤配送が起こらないように多大な労力をかけている可能性がある。

図表 4-3 実験参加当初に想定していたマスターデータ同期化の効果（卸売業）



③ 小売業

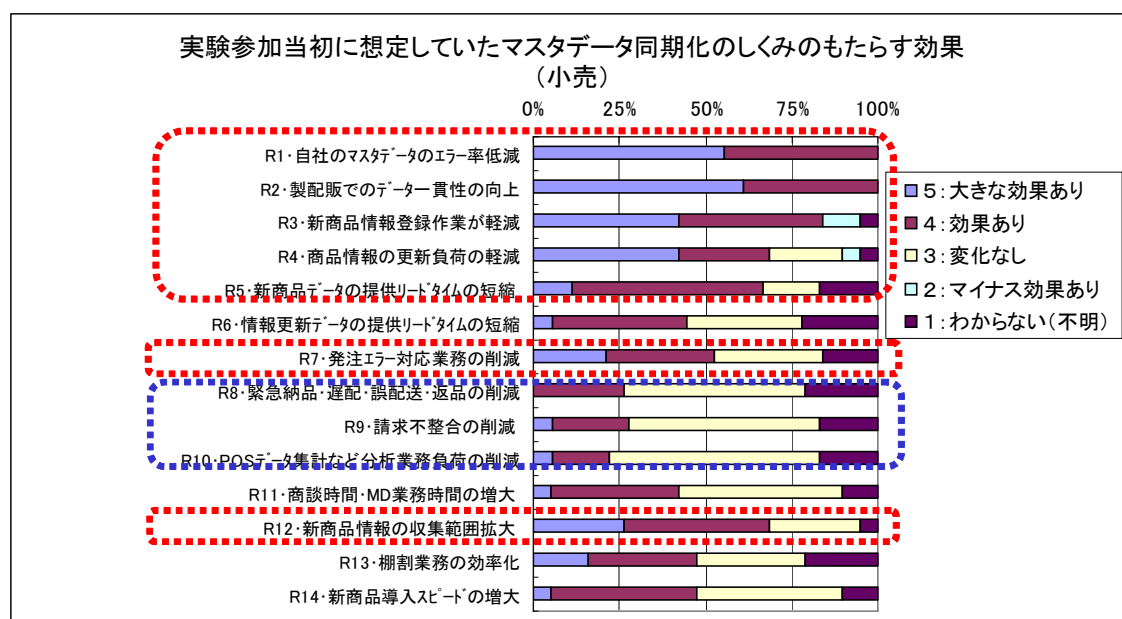
実験参加当初、想定されていたマスターデータ同期化のしくみがもたらす、小売業における効果では、以下の7つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

- 「R1・自社のマスターデータのエラー率低減」
- 「R2・製配販でのデータ一貫性の向上」
- 「R3・新商品情報登録作業が軽減」
- 「R4・商品情報更新の負荷の軽減」
- 「R5・新商品データの提供リードタイムの短縮」
- 「R7・発注エラー対応業務の削減」
- 「R12・新商品情報の収集範囲拡大」

ただし、「R3・新商品情報登録作業が軽減」、「R4・商品情報更新の負荷の軽減」の2つについては、“マイナス効果あり”という意見もあった。

また、「R8・緊急納品・遅配・誤配送・返品削減」、「R9・請求不整合の削除」、「R10・POSデータ集計など分析業務負荷の削減」については、“変化なし”という意見が多かった。「R8・緊急納品・遅配・誤配送・返品削減」については、実際の業務で、遅配・誤配送などが起こることが少ないため、効果が少ないと想定されるが、遅配・誤配送が起こらないように多大な労力をかけている可能性がある。

図表 4-4 実験参加当初に想定していたマスタデータ同期化の効果（小売業）



④ メーカー・卸・小売共通

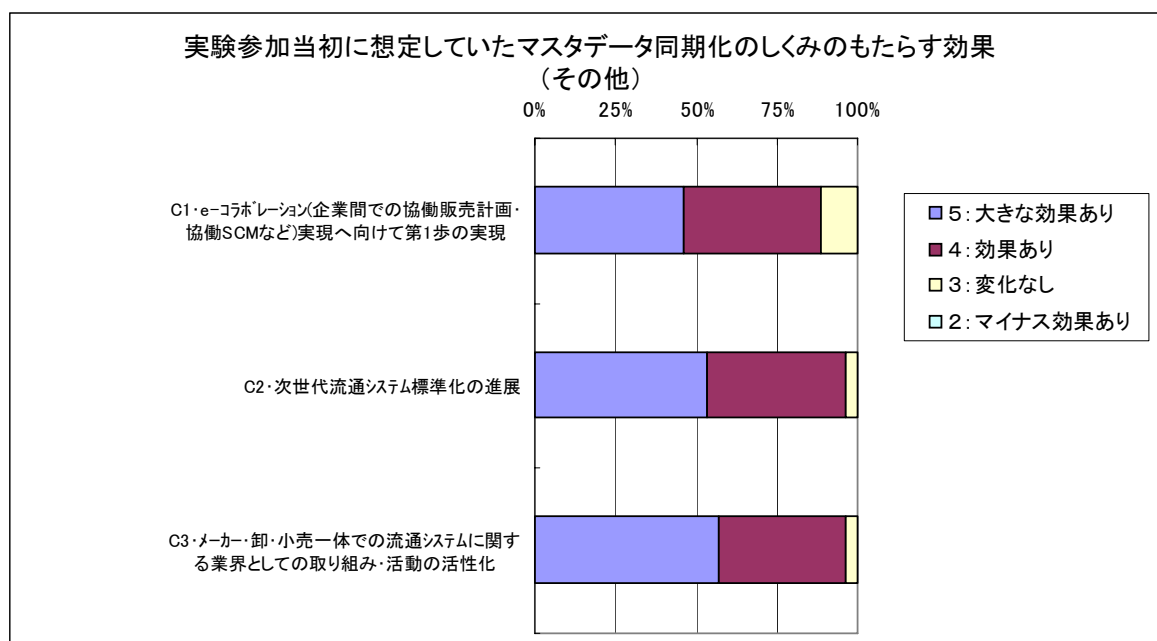
実験参加当初、想定されていたマスタデータ同期化のしくみがもたらす、メーカー・卸・小売業共通の効果では、以下の3つ効果項目全てにおいて、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

「C1・e-コラボレーション（企業間での協働販売計画・協働SCMなど）実現へ向けて第1歩の実現」

「C2・次世代流通システム標準化の進展」

「C3・メーカー・卸・小売一体での流通システムに関する業界としての取り組み・活動の活性化」

図表 4-5 実験参加当初に想定していたマスタデータ同期化の効果（共通）



2) 実験に参加された結果、短期的（2～3年）に見込まれる効果

①メーカー

実験に参加された結果、短期的（2～3年）にマスタデータ同期化のしくみをもたらす、メーカーにおいて見込まれる効果では、以下の3つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

「M1・提供するマスタデータのエラー率低減」

「M2・製配販でのデータ一貫性の向上」

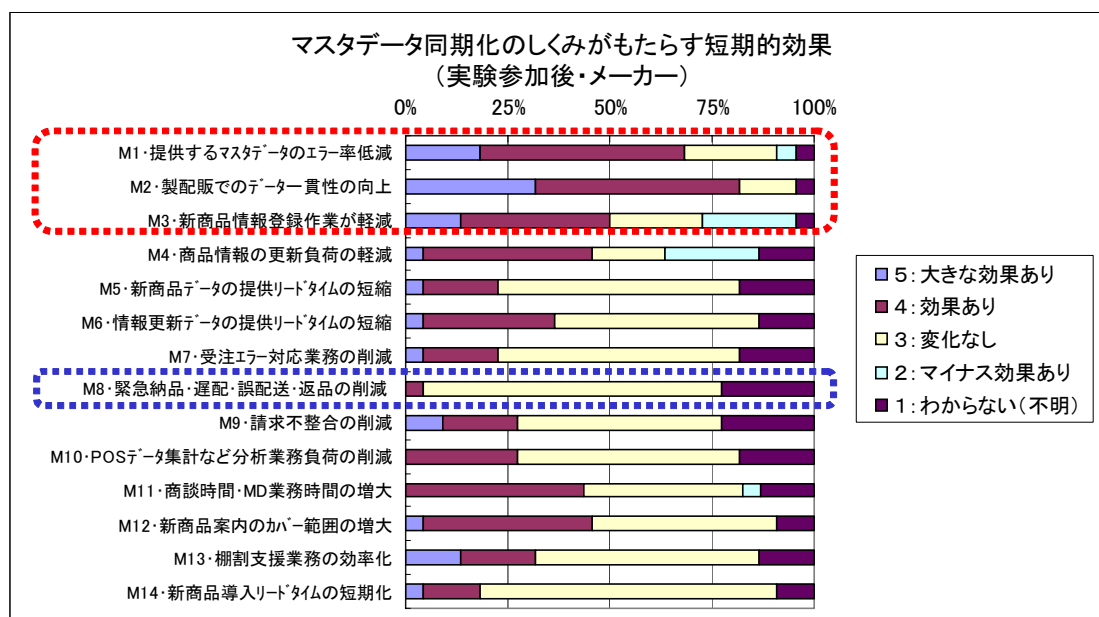
「M3・新商品情報登録作業が軽減」

「M4・商品情報更新の負荷の軽減」、「M13・棚割支援業務の効率化」については、当初の想定では“効果あり”及び“大変効果あり”の割合が50%を越えていたが、実験参加後は50%を切っていた。

「M3・新商品情報登録作業が軽減」、「M4・商品情報更新の負荷の軽減」の2つについては、“マイナス効果あり”という意見が増加した。

「M8・緊急納品・遅配・誤配送・返品削減」について、“変化なし”という意見が多いことは実験後も変わらなかった。

図表 4-6 マスタデータ同期化で短期的に見込まれる効果（メーカー）



② 卸売業

実験に参加された結果、短期的（2～3年）にマスタデータ同期化のしくみがもたらす、卸売業において見込まれる効果では、以下の5つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

「W1・自社及び提供するマスタデータのエラー率低減」

「W2・製配販でのデータ一貫性の向上」

「W3・新商品情報登録作業が軽減」

「W4・商品情報更新の負荷の軽減」

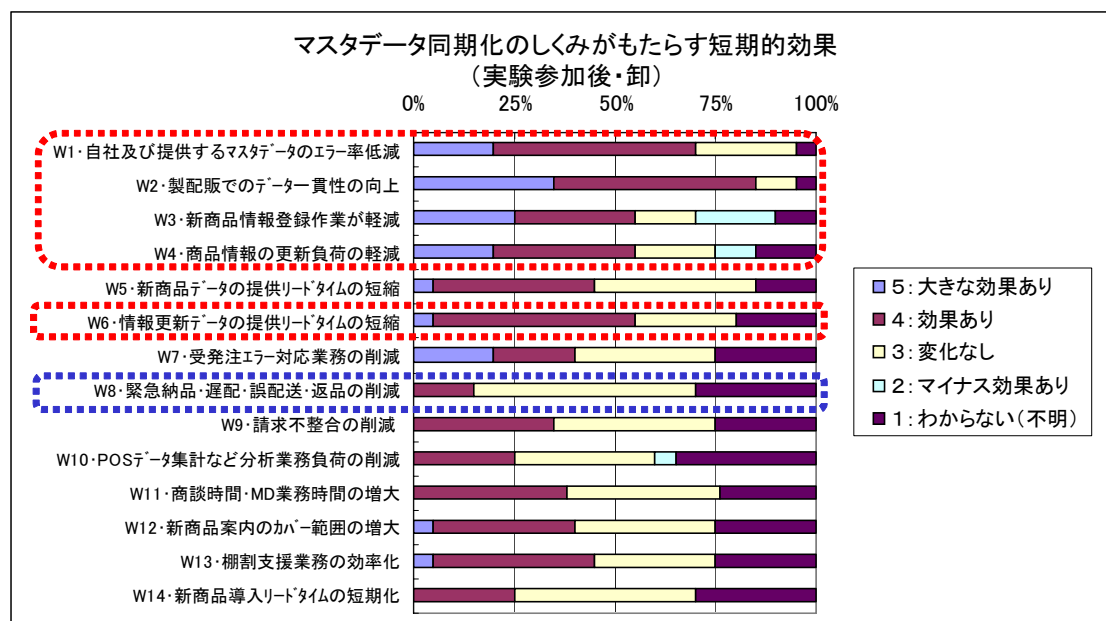
「W6・情報更新データの提供リードタイムの短縮」

「W5・新商品データの提供リードタイムの短縮」、「W7・受発注エラー対応業務の削減」は、実験前は50%以上だったが、実験後は50%を切った。

「W3・新商品情報登録作業が軽減」、「W4・商品情報更新の負荷の軽減」の2つについては、“マイナス効果あり”という意見が増加した。

「W8・緊急納品・遅配・誤配送・返品削減」について、“変化なし”という意見が多いことは実験後も変わらなかった。

図表 4-7 マスタデータ同期化で短期的に見込まれる効果（卸売業）



③ 小売業

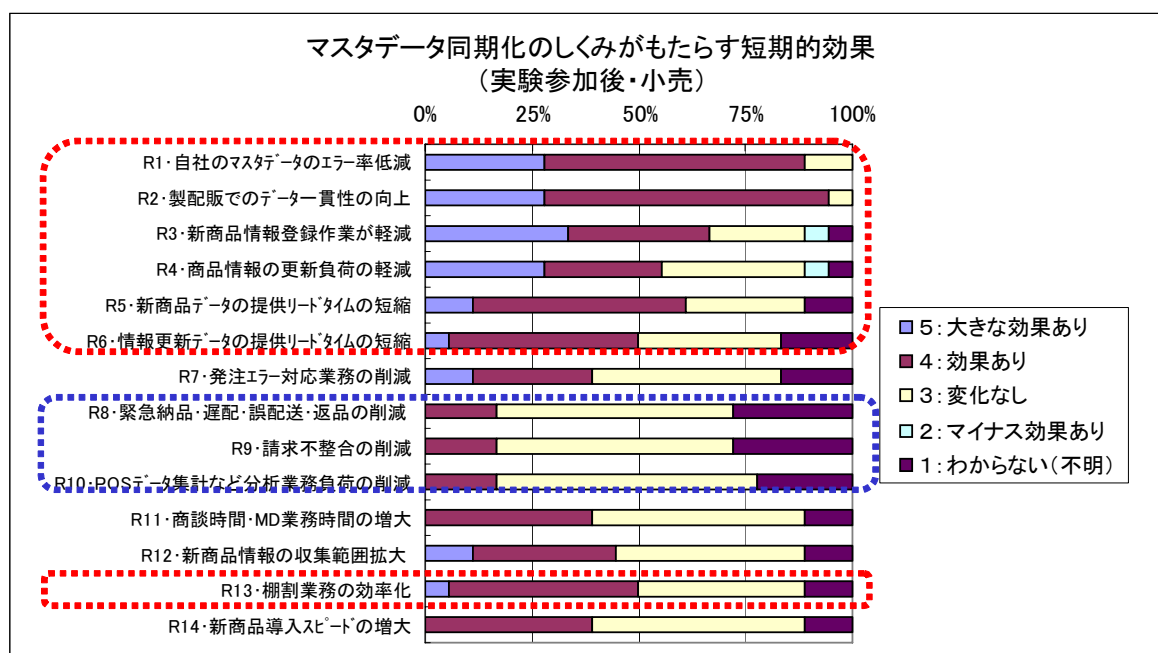
実験に参加された結果、短期的（2～3年）にマスタデータ同期化のしくみがもたらす、小売業において見込まれる効果では、以下の7つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

- 「R1・自社のマスタデータのエラー率低減」
- 「R2・製配販でのデータ一貫性の向上」
- 「R3・新商品情報登録作業が軽減」
- 「R4・商品情報更新の負荷の軽減」
- 「R5・新商品データの提供リードタイムの短縮」
- 「R6・情報更新データの提供リードタイムの短縮」
- 「R13・棚割業務の効率化」

「R7・発注エラー対応業務の削減」、「R12・新商品情報の収集範囲拡大」は、実験前は50%以上だったが、実験後は50%を切った。

「R8・緊急納品・遅配・誤配送・返品 of 削減」、「R9・請求不整合の削除」、「R10・POSデータ集計など分析業務負荷の削減」について、“変化なし”という意見が多いことは実験後も変わらなかった。

図表 4-8 マスタデータ同期化で短期的に見込まれる効果（小売業）



④ メーカー・卸・小売共通

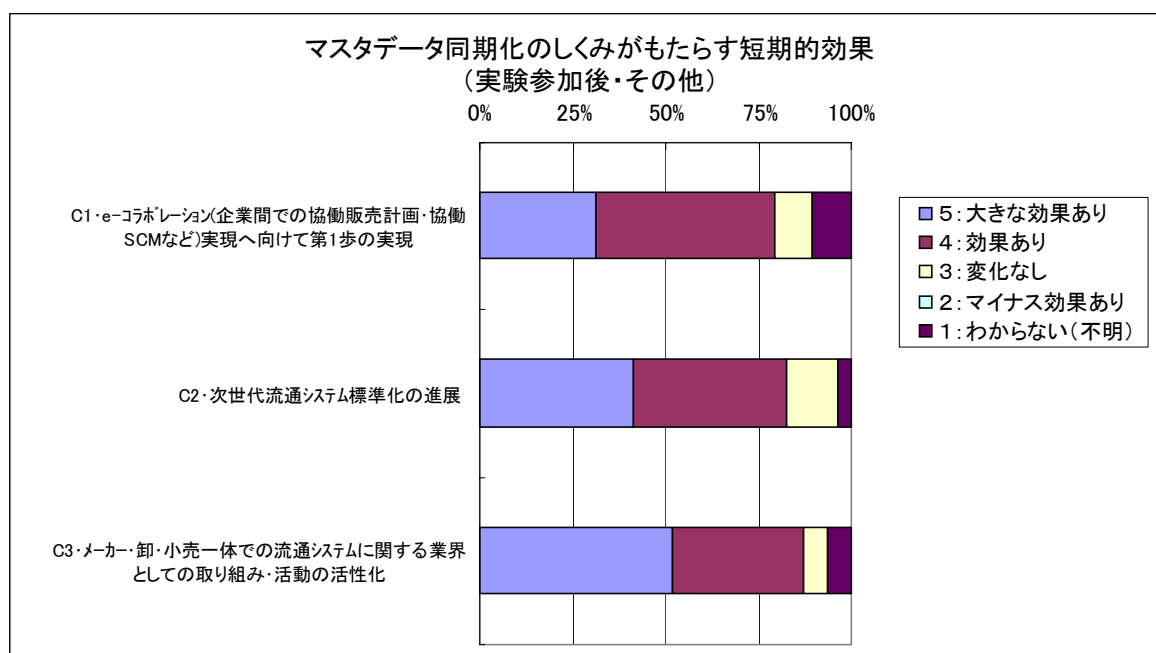
実験に参加された結果、短期的（2～3年）にマスタデータ同期化のしくみがもたらす、メーカー・卸・小売業共通の効果では、以下の3つ効果項目全てにおいて、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

「C1・e-コラボレーション（企業間での協働販売計画・協働SCMなど）実現へ向けて第1歩の実現」

「C2・次世代流通システム標準化の進展」

「C3・メーカー・卸・小売一体での流通システムに関する業界としての取り組み・活動の活性化」

図表 4-9 マスタデータ同期化で短期的に見込まれる効果（共通）



3) 実験に参加された結果、中長期的（3～10年）に見込まれる効果

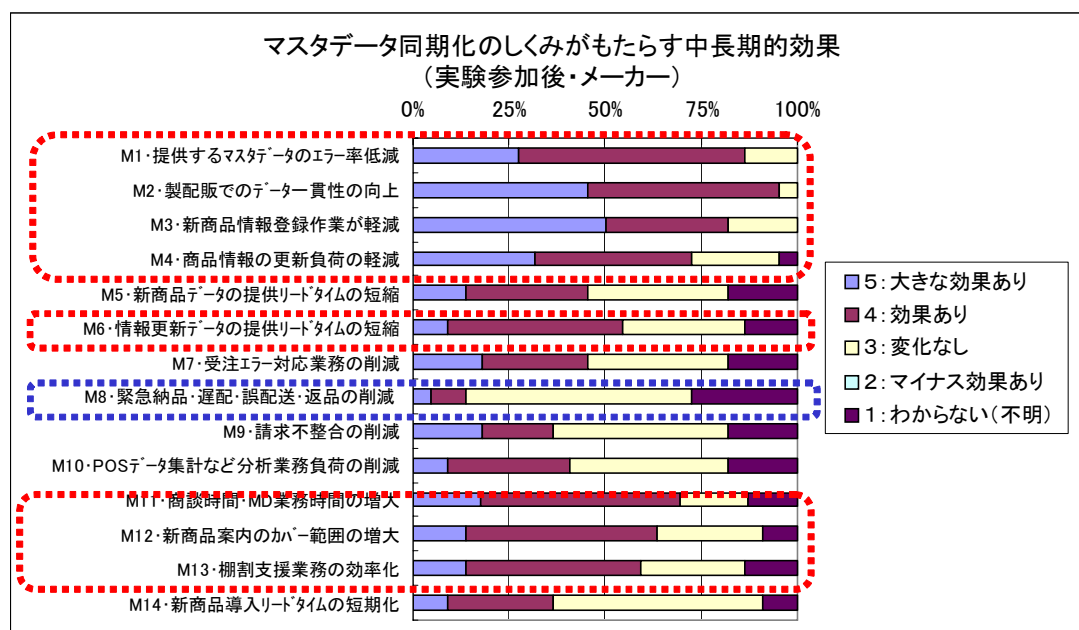
①メーカー

実験に参加された結果、中長期的（3～10年）にマスタデータ同期化のしくみがもたらす、メーカーにおいて見込まれる効果では、以下の8つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

- 「M1 ・ 提供するマスタデータのエラー率低減」
- 「M2 ・ 製配販でのデータ一貫性の向上」
- 「M3 ・ 新商品情報登録作業が軽減」
- 「M4 ・ 商品情報更新の負荷の軽減」
- 「M6 ・ 情報更新データの提供リードタイムの短縮」
- 「M11・ 商談時間・MD業務時間の増大」
- 「M12・ 新商品案内のカバー範囲の増大」
- 「M13・ 棚割支援業務の効率化」

短期的効果との違いとしては、「M4・商品情報更新の負荷の軽減」、「M6・情報更新データの提供リードタイムの短縮」、「M11・商談時間・MD業務時間の増大」、「M13・棚割支援業務の効率化」が50%以上になった。

図表 4-10 マスタデータ同期化で中長期的に見込まれる効果（メーカー）



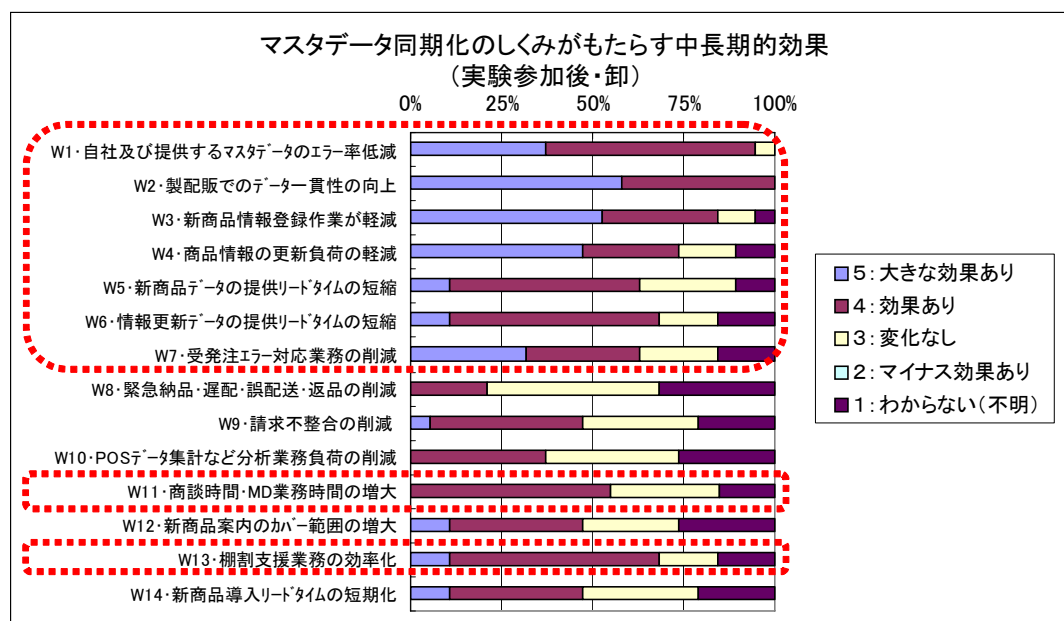
②卸売業

実験に参加された結果、中長期的（3～10年）にマスタデータ同期化のしくみがもたらす、卸売業において見込まれる効果では、以下の9つの効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

- 「W1・自社及び提供するマスタデータのエラー率低減」
- 「W2・製配販でのデータ一貫性の向上」
- 「W3・新商品情報登録作業が軽減」
- 「W4・商品情報更新の負荷の軽減」
- 「W5・新商品データの提供リードタイムの短縮」
- 「W6・情報更新データの提供リードタイムの短縮」
- 「W7・受発注エラー対応業務の削減」
- 「W11・商談時間・MD業務時間の増大」
- 「W13・棚割支援業務の効率化」

短期的効果との違いとしては、「W5・新商品データの提供リードタイムの短縮」、「W7・受発注エラー対応業務の削減」、「W11・商談時間・MD業務時間の増大」、「W13・棚割支援業務の効率化」が50%以上になった。

図表 4-1 1 マスタデータ同期化で中長期的に見込まれる効果（卸売業）



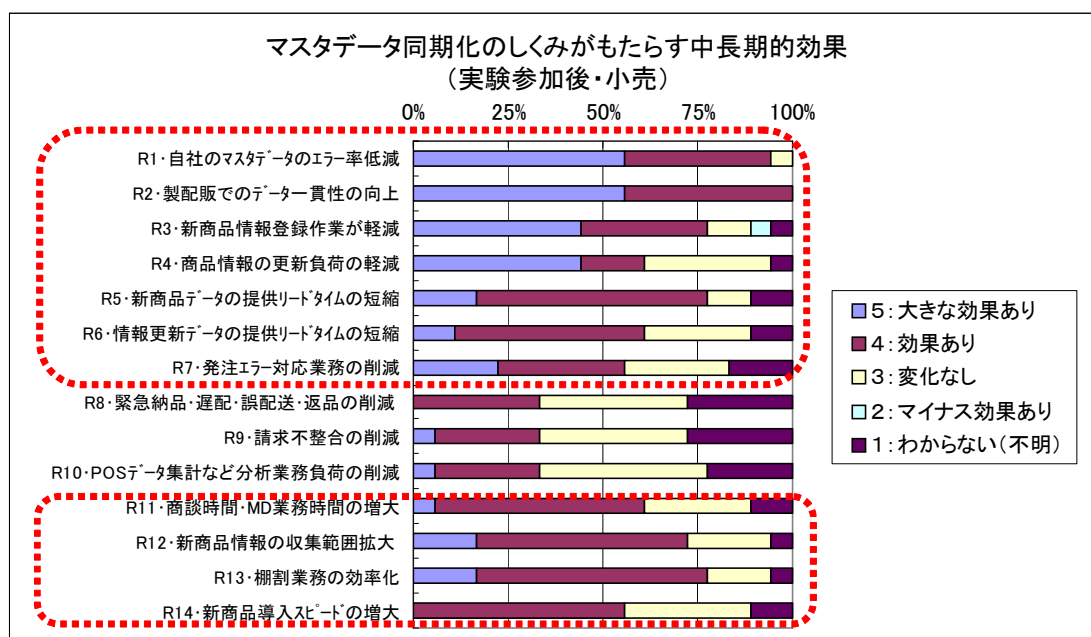
③小売業

実験に参加された結果、中長期的（3～10年）にマスタデータ同期化のしくみがもたらす、小売業において見込まれる効果では、以下の11個の効果項目において、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

- 「R1・自社及び提供するマスタデータのエラー率低減」
- 「R2・製配販でのデータ一貫性の向上」
- 「R3・新商品情報登録作業が軽減」
- 「R4・商品情報更新の負荷の軽減」
- 「R5・新商品データの提供リードタイムの短縮」
- 「R6・情報更新データの提供リードタイムの短縮」
- 「R7・発注エラー対応業務の削減」
- 「R11・商談時間・MD業務時間の増大」
- 「R12・新商品情報の収集範囲拡大」
- 「R13・棚割業務の効率化」
- 「R14・商品導入スピードの増大」

短期的効果との違いとしては、「R7・発注エラー対応業務の削減」、「R11・商談時間・MD業務時間の増大」、「R12・新商品情報の収集範囲拡大」、「R14・新商品導入スピードの増大」が50%以上になった。

図表 4-12 マスタデータ同期化で中長期的に見込まれる効果（小売業）



④ メーカー・卸・小売共通

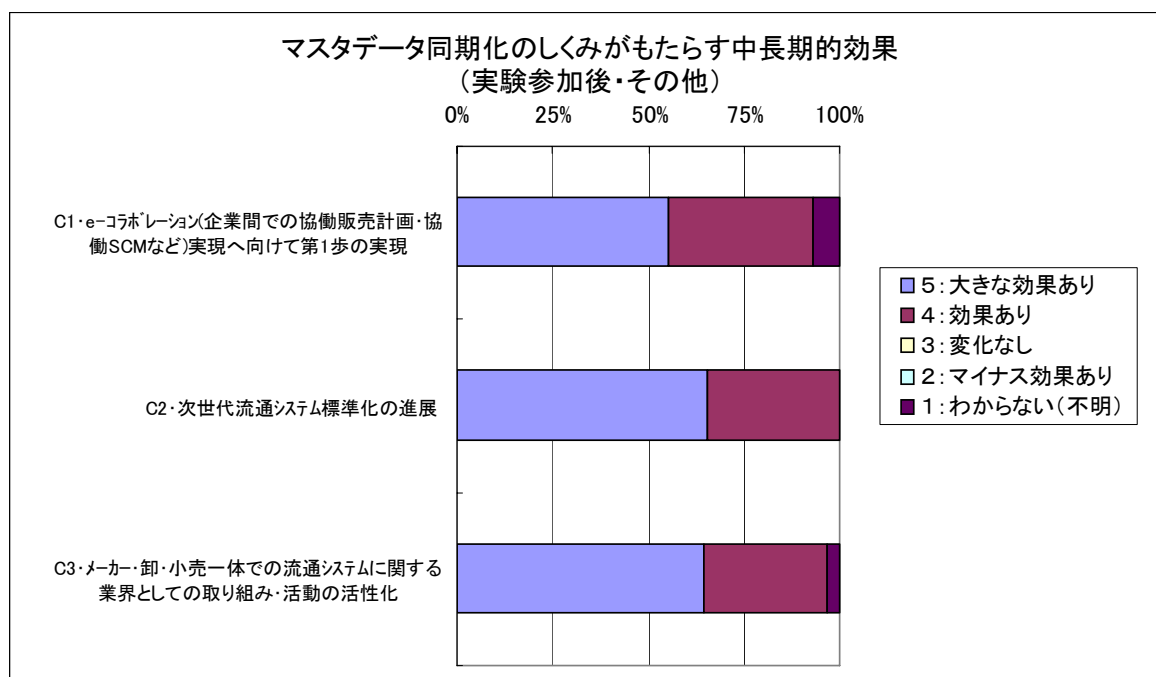
実験に参加された結果、中長期的（3～10年）にマスタデータ同期化のしくみがもたらす、メーカー・卸・小売業共通の効果では、以下の3つ効果項目全てにおいて、回答者の50%以上が“効果あり”または“大変効果あり”とご回答された。

「C1・e-コラボレーション（企業間での協働販売計画・協働SCMなど）実現へ向けて第1歩の実現」

「C2・次世代流通システム標準化の進展」

「C3・メーカー・卸・小売一体での流通システムに関する業界としての取り組み・活動の活性化」

図表 4-13 マスタデータ同期化で中長期的に見込まれる効果（共通）



4-1-2 マスタデータ同期化に対する取り組み状況と今後の取り組み意向に関するアンケート調査結果

本アンケート調査において、取り組み状況、今後の取り組み意向については、実験に参加されたメーカー14社、卸売業12社、小売6社、合計32社よりご回答いただいた。

1) マスタデータ同期化に対する自社の活動計画

マスタデータ同期化に対する、実験参加企業各社内のシステム整備、ルール・体制整備について、実施事項や実施時期を整理したマスタプラン（活動計画）などを策定されたか、について調査した。

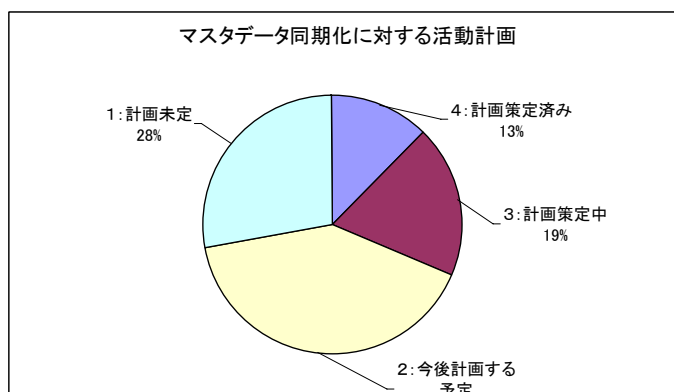
この結果、「4：計画策定済み」及び「3：計画策定中」と回答した企業が、全体の3割強あった。一方、「1：計画未定」の企業も全体の3割弱であった。

これをメーカー、卸売業、小売業に分けて見ると、「4：計画策定済み」及び「3：計画策定中」と回答した企業が、メーカーで43%、卸で8%、小売で50%となった。

一方、「1：計画未定」の企業は、メーカーで21%、卸で50%、小売で0%となった。

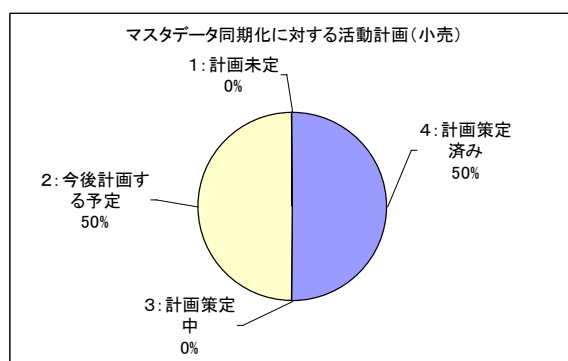
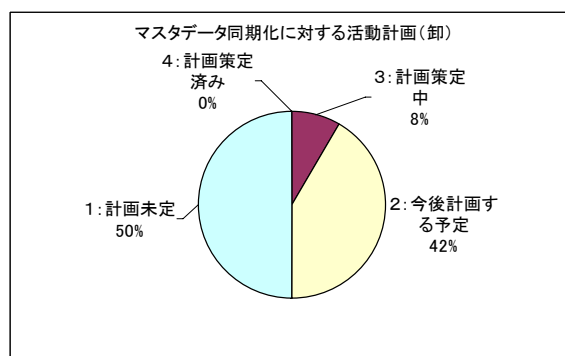
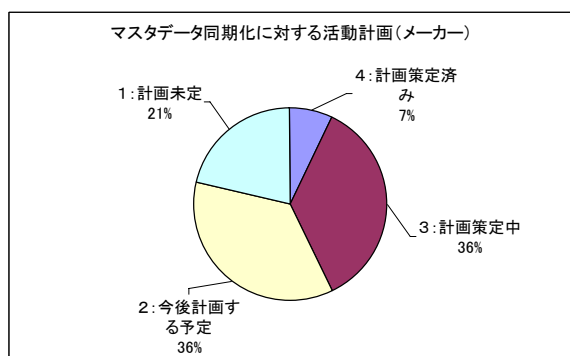
図表 4-14 マスタデータ同期化に対する自社の活動計画

選択肢	回答
4:計画策定済み	4
3:計画策定中	6
2:今後計画する予定	13
1:計画未定	9
回答数	32



図表 4-15 マスタデータ同期化に対する自社の活動計画

(メーカー・卸売業・小売業別)

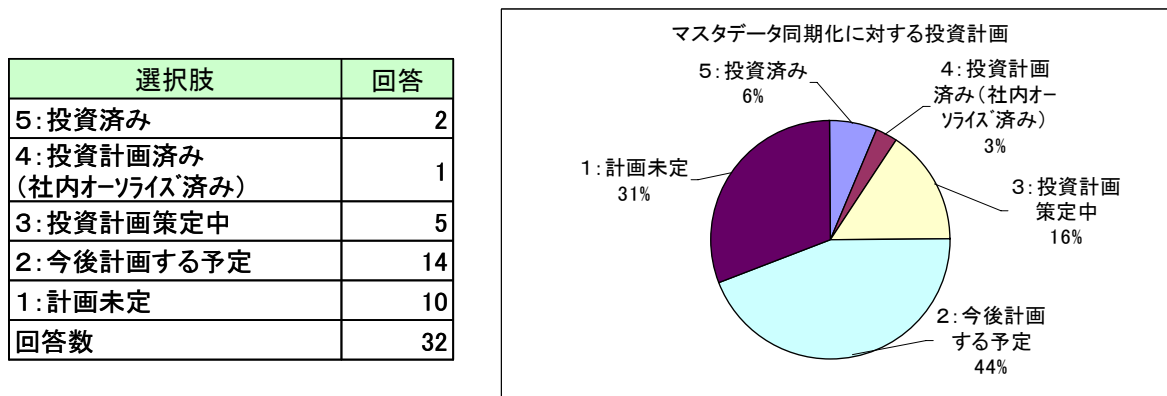


2) マスタデータ同期化に対する自社の投資計画

マスタデータ同期化に対する、実験参加企業各社内のシステム整備、体制整備について、投資規模を明確にした投資計画を策定されたか、または、すでに

投資されたか、について調査した。

図表 4-16 マスタデータ同期化に対する自社の投資計画

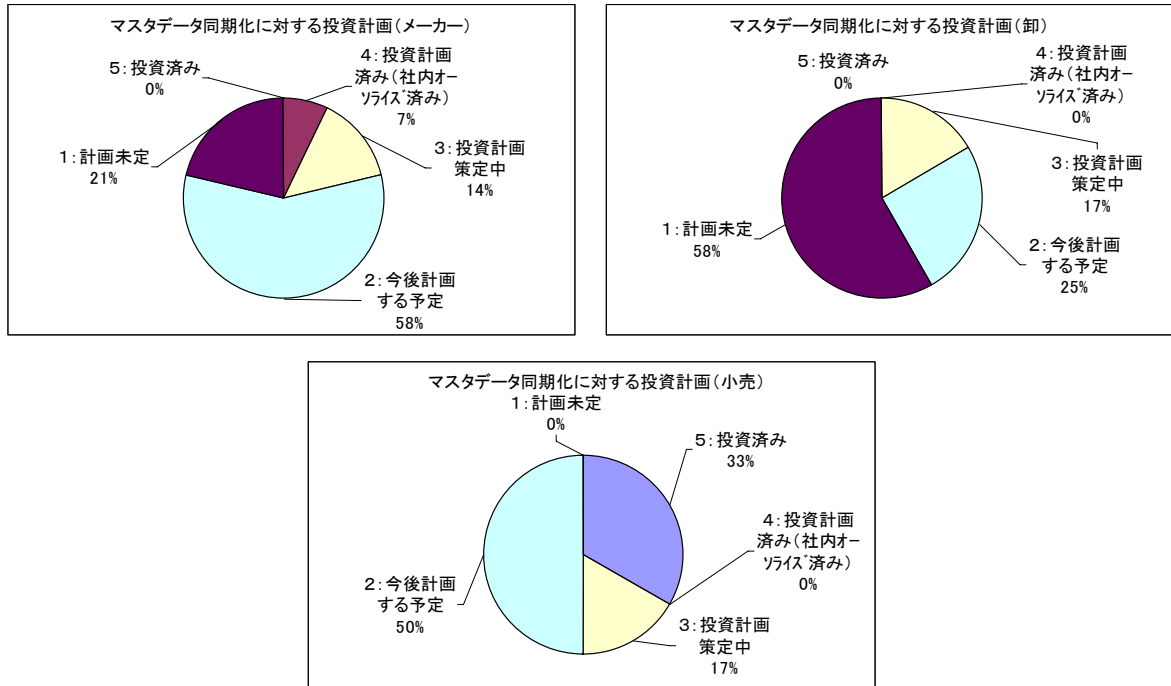


その結果、「5：投資済み」および「4：投資計画済み」および「3：投資計画策定中」と回答した企業が、全体の25%あった。一方、「1：計画未定」の企業は、全体の3割強あった。

これをメーカー、卸売業、小売業に分けて見ると、「5：投資済み」または「4：投資計画済み」または「3：投資計画策定中」と回答した企業が、メーカーで21%、卸で17%、小売で50%となった。

一方、「1：計画未定」の企業は、メーカーで21%、卸で58%、小売で0%となった。

図表 4-17 マスタデータ同期化に対する自社の投資計画
(メーカー・卸売業・小売業別)



3) 自社の活動計画・投資計画を策定するための業界・行政に対するニーズ

マスタデータ同期化に対する自社の活動計画や投資計画を策定するために、業界・行政に対して求めるものを、アンケート調査した。
その結果、以下のニーズがあげられた。

①マスタデータ同期化による効果の明確化

- ・ 3者（メーカー、卸、小売り）のメリット・デメリット
- ・ 定量的なベネフィットの明確化
- ・ 投資コスト（初期費用、運用費用）の概略

②マスタデータ同期化を行うための現実的なDP・ネットワーク環境の整備

- ・ 卸業に対する業界DB加入への働きかけ
- ・ 卸向けDPサービス事業者の明確化
- ・ 実務に耐えられるインターフェースへの改善
- ・ DPの使用料金（初期、月額）が低価格であること
- ・ 通信インフラ・通信ソフトの費用が高価でないこと
- ・ 常時、接続しテストできるテスト環境（社内向けにプレゼンにも有効）

③マスタデータ同期化の啓蒙活動

- ・各業界の団体（工業会等）を通じての啓蒙普及活動による認知の徹底
- ・今回の実証実験結果のリリース及びGDSへの対応について関係省庁からより強化された広報活動
- ・各社の経営者が一同に会し、GDSを含むSCMに関する会合の行政主導での開催（トップダウンで活動計画・投資計画の推進のため）
- ・企業内で使用できるピーアール用パンフレットの整備

④マスタデータ同期化の具体的なマイルストーンの提示

- ・接続企業拡大のための施策とロードマップ
- ・卸売業界と小売業界など利用側のマスタデータ同期化利用意向の明確化とロードマップ策定
- ・各業界における推進スケジュールと体制の具体化

⑤マスタデータ同期化実現のための課題の潰しこみ

- ・マスタ同期化項目の早期整備
- ・登録ガイドラインの整備。登録・修正・削除プロセスの早急な整備
- ・国際的な合理性と実運用性の両方を兼ね備えた標準化およびその推進
- ・「メーカーが登録した基本情報（名称など）を卸・小売も使用する」基本方針の同意
- ・特定プレーヤーへ負担が偏らないような行政による確認作業
- ・メーカーと卸間の関係依存に関するマスタデータ同期化の実証実験
- ・GLN実運用の目処
- ・GTIN実運用へ向けた課題の解決、ルールの確立
- ・基本／関係依存項目以外の取引項目の位置づけについての検討
- ・G D S 推進母体の明確化

4) マスタデータ同期化に対する今後の取り組み意向

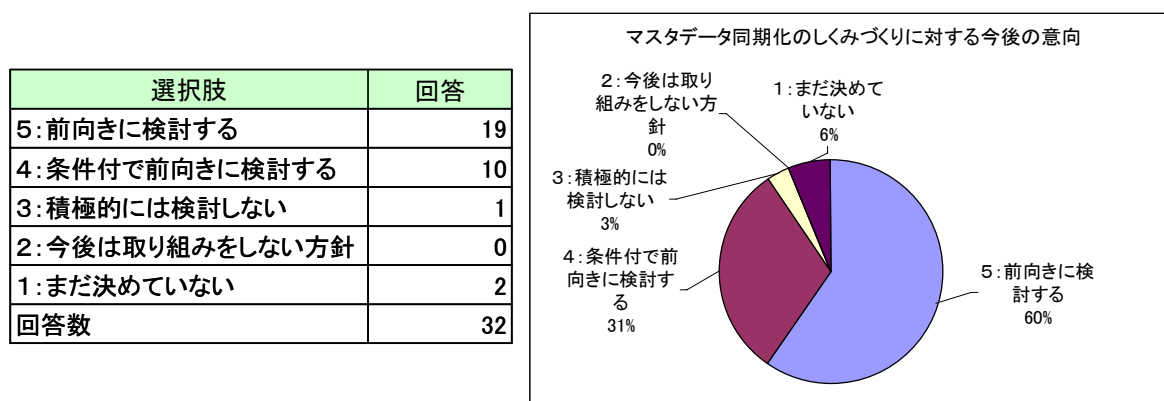
マスタデータ同期化のしくみづくりに対して、今後とも前向きに取り組まれるご意向か、について調査した。

その結果、「5：前向きに検討する」および「4：条件付で前向きに検討する」が、全体の9割であった。

これをメーカー、卸売業、小売業に分けて見ると、「5：前向きに検討する」または「4：条件付で前向きに検討する」が、メーカーで93%、卸で88%、

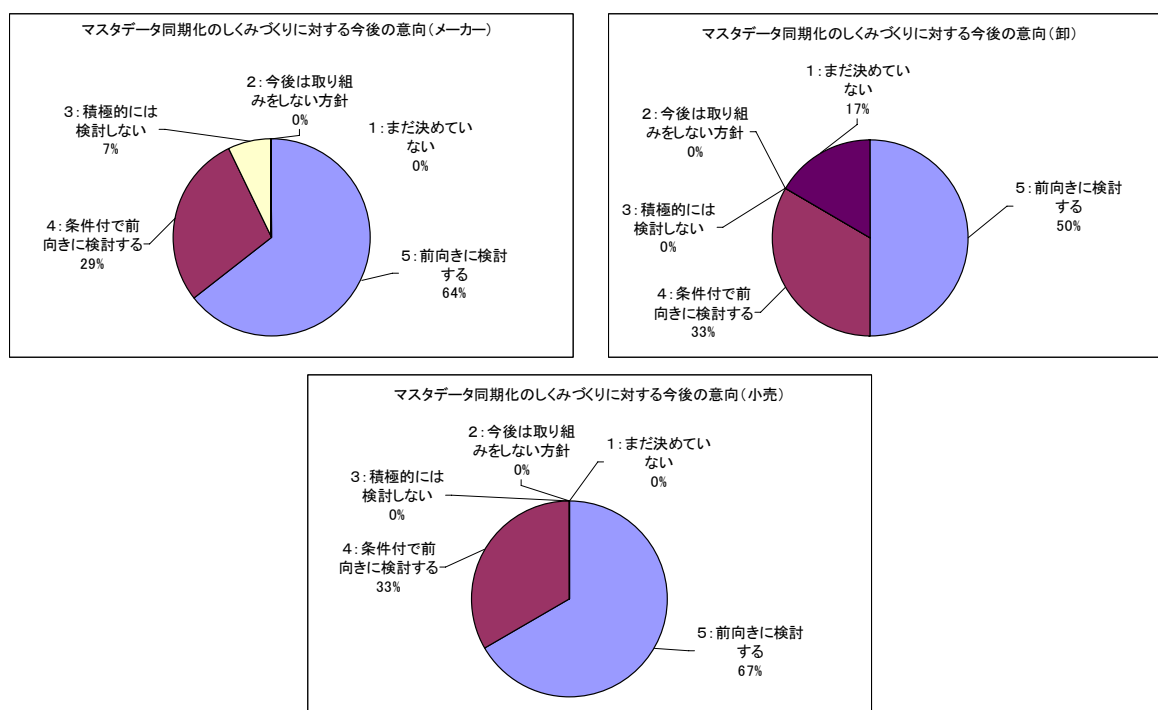
小売で100%となった。

図表 4-18 マスタデータ同期化のしくみづくりに対する今後の意向



図表 4-19 マスタデータ同期化のしくみづくりに対する今後の意向

(メーカー・卸売業・小売業別)



また、「4. 条件付で検討する」際の条件として以下があげられた。

①マスタデータ同期化実現のための課題の潰しこみ

- ・テスト環境の常設
- ・Webのシステム大幅改善
- ・業界内取り組み企業数(メーカー)の拡大

- ・ 利用料金体系の明確化
- ・ 推進にあたっての体制整備（調整機関の設置）
- ・ マスタ項目の精査（不要項目削除と個別項目追加の抑止）
- ・ 基本項目以外の項目整備、及び分担の再考
- ・ 製販配3層のそれぞれに対し、公平に便益が享受されること
- ・ GLN実運用の目処
- ・ GTIN実運用へ向けた課題の解決、ルール確立

②マスタデータ同期化に対する各社利用意向の表明

- ・ 業界全体及びその縦(製配販)・横(同業)の温度差の解消
- ・ 卸売業界、小売業界それぞれの業界としての強い要望
- ・ 参画企業の明確化

③参加する際の諸情報の開示

- ・ 参加企業に対する諸情報の開示
- ・ 投資金額とその効果の明確化

④参加促進に関する行政の支援

- ・ 参加企業に対するテスト段階での優遇処置

4-2 マスタデータ同期化のロードマップ

4-1における実験参加者アンケート調査から、実験参加企業の継続的な検討・推進を望む声が非常に強いことがわかった。2007年3月での本格運用開始を目指して、2006年度は、今回の実験成果を整理し、実用化に繋げる取り組みが必要である。

1) 本年度の実証実験で確認できたこと

本年度の実証実験を通じて、以下のことが確認された。

- ・ マスタデータ同期化のための基本情報、関係依存情報などマスタ項目のバリエーションは想定したものより少なく、十分整理可能であり、マスタデータ同期化は十分効果を発揮できる。
- ・ ただし、同期化プロセスについては、修正、削除、停止プロセスの整理を含め、本格運用を目指したプロセス設計と教育・普及活動が必要である。
- ・ 今回の実験で準備されたシステムだけでは今後の継続的利用に向けた基盤として十分では無く、機能追加整備が必要である。
- ・ 日本の商慣習はバラエティーに富み、実際にやって見て初めて解ることが多く、実験の継続により問題を解決していくことが必要である。特に卸売業の業務周辺で多様性があり、実験の継続と新たな業界、参加者の追加による問題の発見、解決が不可欠となる。
- ・ 実験参加者と非参加者の理解に大きな差が出来ることから、実験の継続により参加者＝理解者を増やしていくことが必要である。
- ・ 継続的活用に向けて、①GLNの管理体制の構築、②マスタデータ同期化と整合性のあるXML-EDIの標準化、③商品分類・属性コードの整備と管理体制の構築が必要である。

2) 本格運用を目指した課題

また、2007年3月におけるGTIN／マスタデータ同期化のライジングサン（本格運用開始）を実現するための課題もある。

- ・ グローバルなマスタデータ同期化（GDS）への公式準拠を確立するためには海外接続（グローバルレジストリへの接続）が必要であり、これを2006年度中に実現する必要がある。
- ・ ライジングサンと言えるに十分な数の継続的利用者を確保するためには2005年度のマスタデータ同期化実証実験参加者の継続的利用だけでなく、新たな参加者の追加、業種拡大のための施策が不可欠である。
- ・ GTIN・GLNへのスムーズな移行をサポートするための施策が必要である。

これらの観点から、図表４－２０のようにマスタデータ同期化のロードマップを整理した。

２００６年度は以下の取り組みが必要となる。

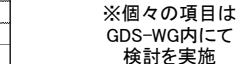
- ・ ２００５年度に判明したマスタデータ項目、業務プロセス、ユーザー・インターフェース・技術面の課題を解決する。そのために２００５年度実験参加企業を中心として、実証実験から実用化への問題解決・本格移行を図る。
 - ・ ２００５年度の実証実験の基盤（システム、実験参加者、実験規約）を活用して、２００７年サンライズに対応できる基盤（システム、実験参加者、実験規約）を構築する。
 - ・ そのために２００５年度の実証実験基盤をもとにNGW（ナショナル・ゲートウェイ）を構築し、これを実用レベルに引き上げていくための実験を行う。
 - ・ NGWは以下の要件を満たすことが必要。
 - －海外とシームレスに接続できること
 - －継続的利用がなされる基盤となること
 - －GDS準拠のデータプールとして認証を受けること
 - －可能な限り割安の料金でユーザーに提供できること
 - ・ さらに、マスタデータ同期化のサポート基盤として以下の機能が必要。
 - －GLN管理機能
 - －XMLスキーマ管理機能
 - －GDSに対応した商品分類のマッピング機能
- ただし、GLN、XML-EDIに関する検討が未成熟であることから全てを完全に動かすことは難しく、部分的には暫定的な対応となる。
- ・ ２００７年度以降の国際規約との調整、規約整備・運用、ユーザーとの調整、コード・システム運用の枠組みも整備する必要がある。
 - ・ 対象業界については、以下の２つの側面から拡大を図る必要がある。

①海外接続の必要性が高い業界への拡大

２００５年実験の範囲では海外接続に対する参加者のニーズは顕在化していない。このため海外接続の必要性の高い業種に実験範囲を広げて、検討を進める必要がある。（例：家電業界）

②酒類・加工食品、日用品・化粧品以外での実用化検討のための拡大

国内部分については、２００５年度実験の実験成果を取り入れて、国内中心の業種も拡充して経験を積みながら２００７年度以降の実用に耐えるシステム、規約、運用経験を作り上げていく必要がある。（例：菓子、大衆医薬、アパレル）



GSMPジャパン(仮称) 活動

付属資料 1

実験実施マニュアル

経済産業省
平成17年度 流通サプライチェーン全体最適化促進事業
マスタデータ同期化システム実証実験

実験実施マニュアル

Ver.1.5

2006年1月20日

改訂履歴

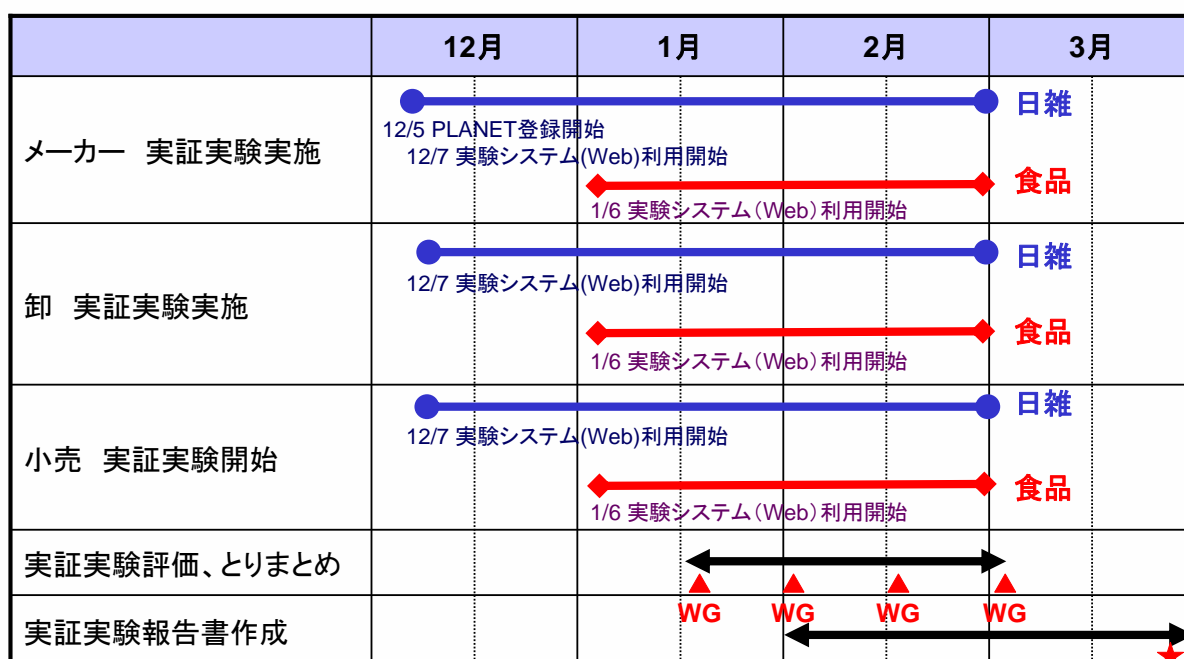
経済産業省
H17
GDS実証実験

No.	Ver.	改訂日	改訂内容	改訂者
1	1.0	2005/12/2	初版として作成	NRI 鷺森
2	1.1	2005/12/2	P13,14にテストユーザーについての詳細を追記	NRI 鷺森
3	1.2	2005/12/6	実験システムの接続方法について修正。	NRI 鷺森
4	1.3	2006/1/5	食品実験開始日について追記・修正	NRI 鷺森
5	1.4	2006/1/19	事務局問合せ票について追記	NRI 鷺森
6	1.5	2006/1/20	表記間違いについて修正	NRI 鷺森

目次

1. 実証実験実施スケジュール
2. 実証実験システムの利用方法
 - 1) 参加者の実験環境
 - 2) 実証実験システムの運用時間
 - 3) Developers-Netについて
 - 4) Webサービスのご利用について
 - 5) テストユーザーのご利用について
3. 実証実験中のお問合せ・ご要望
 - 1) お問合せ受付窓口
 - 2) お問合せ方法(事務局問合せ票)
 - 3) ご要望受付窓口
 - 4) 緊急時のお問合せ

1. 実証実験実施スケジュール



2. 実証実験システムの利用方法

1) 参加者の実験環境

① 実証実験システムで用意するWeb型のI/Fを利用して実験参加するパターン (ブラウザで操作。経済産業省予算にて標準形を準備)

Web版I/Fを操作する下記の環境のPC1台および、実験システムとhttps(SSL)の通信プロトコルで接続可能な社内ネットワーク環境をご準備いただく必要があります。

- OS: Windows2000 sp3以降、又は、WindowsXP professional
- ブラウザ: IE6.01sp1以降

② 実験に参加する企業が、ホームDP企業を選定し、ホームDPが独自で提供するユーザーI/Fを利用して実験参加するパターン

※各DPの操作環境に依存するので、各DPにお問い合わせ下さい

③ 実験に参加するメーカー・卸・小売企業が、ホームDP企業を選定し、ホームDPと社内システムとの接続I/Fを構築して、ユーザー企業内システムを操作して実験参加するパターン

実験環境システムと自社情報システムの接続および自社情報システムの開発及び、操作環境の整備が必要（具体的な仕様は、各DPとの接続方法によります。）

※各DPおよび実証実験システムの両方が関連するので、各DPもしくは事務局にお問い合わせ下さい

2. 実証実験システムの利用方法

2) 実証実験システムの運用時間

実験システムの運用時間帯 平日10:00～17:00

✓ 上記以外の時間帯もシステム機能の利用は可能ですが、環境変更作業等によりシステムが利用できない場合があります。

✓ 計画的なサーバの停止等のお知らせは、事前にDevelopers-Net※、eメールなどでアナウンスする予定です。

✓ 年末年始については、12/29-1/4はサービスを停止させていただきます。

✓ 実証実験システムであることから、予期せぬ障害等により入力頂いたデータの保全性についての保証は致しかねますので、予めご了承願います。

※Developers-Netは、各社GDS実証実験実務ご担当者（および追加登録申請者）のみ、アクセスすることができます。

2. 実証実験システムの利用方法

3) Developers-Net (Dev-Net)について

2005年度GDS実証実験の参加企業が情報共有を行うためのインターネット上の会員制サイトです。各社実務ご担当者が、会員として登録されております。

なお、Dev-Netには、下記のような機能があります。

<Developers-Netイメージ>



●ドキュメント管理機能

WGや各種説明会で配布された資料や、実証実験に関連するドキュメントなどを、入手することができます。

●会議室機能

実証実験システムに対するご要望やお問い合わせは、こちらに書き込むことになります。

各WGで議論しきれなかったことなどは、こちらで検討することになります。

●スケジュール管理機能

GDS実証実験のWGや各種説明会等の開催日時は、こちらを見れば分かります。

2. 実証実験システムの利用方法

4) Webサービスのご利用について

4) - 1. 実証実験システムへの接続【日経向け】

インターネットを介し、実証実験システムのホームページにアクセスします。ユーザーの役割に応じ、アドレスが異なりますのでご注意ください。

- PLANET用DP : <https://dp01.planetgds.jp/GDSWEB/>
...PLANETユーザー(日経メーカー、卸)向け。
(12/7利用開始)
- 小売機能DP : <https://rdp01.gdsproto.jp/GDSWEB/>
...小売の立場で実験に参加される方向け
(12/7利用開始)

2. 実証実験システムの利用方法

4) Webサービスのご利用について

4) - 2. 実証実験システムへの接続【食品向け】

インターネットを介し、実証実験システムのホームページにアクセスします。ユーザーの役割に応じ、アドレスが異なりますのでご注意ください。

- メーカー機能DP : <https://sdp01.gdsproto.jp/GDSWEB/>
...食品メーカーの立場で実験に参加される方向け
(1/6利用開始)
- 卸機能DP : <https://wdp01.gdsproto.jp/GDSWEB/>
...食品卸の立場で実験に参加される方向け
(1/6利用開始)
- 小売機能DP : <https://rdp01.gdsproto.jp/GDSWEB/>
...小売の立場で実験に参加される方向け
(12/7利用開始)

食品のメーカー・卸は、テストユーザーでPLANET用DPにログインして、操作性の確認等、各種テストを行うことができます。(12月7日から利用可能)

8

2. 実証実験システムの利用方法

4) - 3. 実証実験システムへのログイン

経済産業省 平成17年度 流通サプライチェーン全体最適化促進事業
マスタデータ同期化システム実証実験

ユーザーID

パスワード

ユーザーIDおよびパスワードは、各社の代表GLNおよびご希望のパスワードとなります。

※卸様の場合、担当小売別に代表GLNを分けている場合があります。

9

2. 実証実験システムの利用方法

4)ー3. Webサービスの操作方法について

Webサービスの操作方法については、下記の操作説明書をご参照下さい。
なお、下記操作説明書の最新版は、Dev-Netに掲載されております。
(2005年 GDS実験 正式ドキュメント/③システムツール・マニュアル)

<主要業務の画面の流れ>

- ・システム操作説明会資料(メーカー用)
- ・システム操作説明会資料(卸用)
- ・システム操作説明会資料(小売用)

<各画面の詳細な説明>

- ・Web画面詳細説明書

2. 実証実験システムの利用方法

5)テストユーザーのご利用について

実証実験システムで、テスト的に作業を行いたい場合のため、テスト用ユーザーを用意しております。(12月7日以降、利用可能になります)

必ず運用ルール(次ページ参照)を遵守の上、ご利用下さい。(運用ルールが守られない場合、他社にご迷惑がかかる場合があります)

ユーザー名	GLN(ログインID)	パスワード	備考
テストメーカー	4929206999016	パスワードは、 2005/12/7に 各社実務担当者に 別途メールで お知らせ済みです	下記のPLANET用DPでログイン https://dp01.planetgds.jp/GDSWEB/
テスト卸	4929206999023		下記のPLANET用DPでログイン https://dp01.planetgds.jp/GDSWEB/
テスト小売	4929206999054		下記の小売機能DPでログイン https://rdp01.gdsproto.jp/GDSWEB/

※Subscriptionは、「テスト卸⇒全メーカー」、「テスト小売⇒テストメーカー・テスト卸」となっております

2. 実証実験システムの利用方法

<テスト用ユーザー運用ルール>

- 公開登録は、必ず「**プライベート**」を指定して下さい。また、**情報公開先はテスト卸・テスト小売のみ**とします。
- 商品概要説明に企業名を入力してください。(データ入力者を明確にするため)
- 価格情報などの登録情報は、誰に見られても問題ないものを入力してください。
- 個人情報や誹謗中傷などは入力禁止です。

3. 実証実験中のお問合せ・ご要望

1)お問合せ受付窓口

実証実験中の**お問合せ※は、原則としてDevelopers-Netで受け付けます。**

※業務プロセス・項目等についてのご質問、システム的なトラブルなど、実証実験中のお問い合わせは全てDev-Netに書き込んでください。

野村総合研究所 登森 崇徳

会議室 会議

会議室一覧 >

会議室を選択して下さい。

会議室一覧 (1~5/5)

会議室名	主催者	タイプ	会員数
マスター項目WG	NRI	フリー	10
業務WG	NRI	フリー	10
雑談	NRI	フリー	9
実証実験についてのお問合せ	NRI	フリー	1
実証実験システムご要望	NRI	フリー	8

Copyright© 2005 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

実証実験中のお問合せについては、「**実証実験についてのお問合せ**」の会議室に書き込みをお願いいたします。

3. 実証実験中のお問合せ・ご要望

2)お問合せ方法(事務局問合せ票)

事務局問合せ票(Ver.1.0)

事務局連絡日: 年 月 日

会社名: _____

氏名: _____

現象は再現しますか? (必須)	再現する 再現しない 確認できない
発生度 (必須)	大(悪化) 中(早急に) 小(悪くない)
問題キャプチャはありますか? (必須)	ある ない

※再現するかどうか、必ず確認してからお問合せ下さい。

お問い合わせ内容 (必須)

どのような手順で操作を行ったのか (必須)

現象が発生した日時 (必須)	
現象が発生した GTIN (必須)	※現象が起きていることを確認した GTIN のみ記入してください。
ログインしたユーザーID (必須)	※Accessツールの場合は、ご報告下さい。
お問い合わせ (任意)	
受付番号ID (任意)	

※受付番号ID はエラー・検索・発生・発生原因・発生状況・発生原因などで使用されます

実証実験に関するお問い合わせは、原則として Developers-Net で受け付けます。

その際、下記の **事務局問合せ票** にお問い合わせ内容をご記入の上、添付ファイルとし Developers-Net にアップロードしてください。

※お問合せ内容が、公開されたくない内容の場合は、事務局宛にメールでお送り下さい。

お問合せ内容の正確な把握と、お問合せ履歴の保管を目的としたものなので、必須項目については、必ずご記入下さい。

14

GDS実証実験事務局: 野村総合研究所
Nomura Research Institute

3. 実証実験中のお問合せ・ご要望

3)ご要望受付窓口

実証実験システムについての機能拡充等のご要望は、原則として Developers-Net で受け付けます。

野村総合研究所 野村 崇徳

会議室 会議

会議室一覧 >

会議室を選択して下さい。

会議室一覧 (1~5/5)

会議室名	主催者	タイプ	会員数
マスター項目WG	NRI	フリー	10
業務WG	NRI	フリー	10
雑談	NRI	フリー	9
実証実験についてのお問合せ	NRI	フリー	1
実証実験システムへのご要望	NRI	フリー	3

Copyright © 2005 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

実証実験システムについてのご要望は、「**実証実験システムへのご要望**」の会議室に書き込みをお願いいたします。

15

3. 実証実験中のお問合せ・ご要望

4) 緊急時のお問合せ

業務プロセス・項目等についてのご質問、システムのトラブルなどのお問い合わせ、実証実験システムに対するご要望については、基本的にはDevelopers-Netで受け付けますが、緊急での対応が必要な場合、下記のGDS実証実験事務局宛にメールにてご連絡下さい。

なお、緊急の場合も「事務局問合せ票」のご記入は必須になります。

nri-gds05-jimukyoku@nri.co.jp

✓メールは24時間受付致しますが、回答時間は原則 平日10:00～17:00となりますので、予めご了承ください。

✓12/29～1/4はお問合せ対応をおこなえませんのでご了承ください。

※GDS実証実験時は【あくまでも実験】ですので、予期せぬ障害等が発生する可能性もあります。ご入力頂いたデータの保証は致しかねますので、予めご了承ください。

付属資料 2

実験用マスタ項目一覧表

2005年度実証実験用商品マスター項目一覧表

作成日：2005.1125

【重要】本資料は、2005年度実証実験用(仮説)として作成したマスタ項目であり、そのまま標準版として使用されるものではありません。マスタ項目の標準版は、2005年度に実施した実験結果を踏まえ、日本GCI推進協議会にて継続的に審議され、見直しが行われる予定です。最新バージョンについては、日本GCI推進協議会事務局(流通システム開発センター)へお問合せください。

凡例:

【実験基本/実験関係依存】 = 必須 = 任意 = 条件付き必須
【共通度】Y = 各階層同じ項目 N = 各階層独立した項目 ブランク = 入力なし

	コード 作成	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	項目内容(定義)	半or全	項目桁 数	用途、例	実験 基本	実験 関係 依存	共通度 バレット (PL)	共通度 外箱 (CA)	共通度 中箱 (PK)	共通度 単品 (EA)	備考
1		情報提供者コード	データ提供者コード (InformationProvider)	商品マスタ情報の提供者を表す(GLN)。情報提供者となりえる事業者(メーカー、卸など)あるいはその事業所・支店・拠点。	半	13	商品マスタ同期化のキー項目。			Y	Y	Y	Y	
2			データ提供者名称 (nameOfInformationProvider)	GLNに紐づく名称をセット										
3		POS用コード	POS用コード (tradeItemIdentificationForPOS)	POSレジにてスキャンされるコード	半	max13	POSレジ						N	UPCは12桁で登録、短縮JANは8桁登録。(桁数は縛らない) 店頭販売単位フラグ=Yの場合必須
4		ソースマーキング種類コード	ソースマーキング種類 (barcodeType)	スキャンコードの種類[EAN(JAN含む)、UPC]	半	1	POSレジ、インストアコード等と判別						N	店頭販売単位フラグ=Yの場合必須
5		以前のGTIN	以前GTIN (replacedGTIN)	商品リニューアル時の元のGTIN	半	14	売上管理等			N			N	「以前の商品コード」=「代替品」
6		G P C (グローバル商品分類)コード	GPC分類カテゴリコード (classificationCategoryCode)	GS1によって管理される商品分類コード	半	10	商品検索	()					N	実証実験は、「GDSJ」+ JICFS細分類(6桁)
7			商品分類名称 (classificationCategoryName)											
8		J I C F Sコード (標準分類)	JICFS分類カテゴリコード (additionalClassificationCategoryCode)	JICFSでの商品コード。(財)流通システム開発センター(GS1JAPAN)にて作成された、物販小売業で販売される全消費財を対象とした、ある一定基準で作成された商品分類。	半	6	POSデータ分析、プログラム等 自社商品分類の参考として			Y	Y	Y	Y	日本国内における、標準/共通の商品部類コード。 キー項目のため全階層必須 Y(全階層同じ項目を入力)とした
9			分類名称(JICFS分類名称) (additionalClassificationCategoryDescription)											
10		GTIN	GTIN (gtin)	商品を識別するためのグローバルでユニークなコード。(上記スキャンコードに対応するGTIN (=0+JAN))	半	14	商品識別等			N	N	N	N	商品マスタ同期化のキー項目。GTINアロケーションルールに従う。 将来的にJANコード、ITFコードはここに集約。
11		次下位層GTIN	次下位層GTIN (nextLowerLevelGtin)	商品階層において、自分の次の階層(下位)のGTINを指定する。	半	14	商品階層における親子関係を 示すのに用いる。 発注単位に対応した入り数計算。 外箱内内箱入り数、内箱内単品入り数など、物流単位による発注数の自動変換			N	N	N	N	自分が最下位以外は入力。最下位の場合はブランクとする。
12		次下位層アイテム数	子階層トレードアイテム (quantityOfNextLowerLevelTradeItem)	次下位層GTINで指定された次下位層の商品の個数。	半	max6							N	自分が最下位以外は入力。最下位の場合は0を入力し、NULLは認めない。 内箱単品入り数、単品内入数(場合によって両合わせ数も)を集約
13		P T I H (商品階層)	P T I H (商品階層) (tradeItemUnitDescriptor)	荷姿を表記。その外装が、商品階層のどのレベルかを表示する。	半	max35	階層別に必要な項目の制御、メッセージ制御用、統計用 (例 Base_Unit_Or_Each, Case, Pallet)			N	N	N	N	GTINに対する荷姿。選択式。
14		店頭販売単位フラグ	店頭販売単位フラグ (isTradeItemAConsumerUnit)	このGTINによる店頭販売の可否を指定するフラグ。供給側(メーカーあるいは卸)が指定する。	半	1	発注時			N	N	N	N	店頭販売単位フラグ。メーカー・卸、卸・小売間で単位は変わる。 (将来的にはASN・決済データにも転用化か) "Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
15		発注可能フラグ	発注可能フラグ (isTradeItemAnOrderableUnit)	このGTINによる発注を可能と指定するフラグ。供給側(メーカーあるいは卸)が指定する。	半	1	発注時			N	N	N	N	発注可能フラグ。フラグ項目。メーカー・卸、卸・小売間で単位は変わる(将来的にはASN・決済データにも転用化か) "Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
16		物流単位フラグ	物流単位フラグ (isTradeItemADespatchUnit)	このGTINが SHIPPING(配送)可能か否かを指定するフラグ。供給側(メーカーあるいは卸)が指定する	半	1	発注・配送時			N	N	N	N	物流単位フラグメーカー・卸、卸・小売間で単位は変わる(将来的にはASN・決済データにも転用化か) "Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
17		決済単位フラグ	決済単位フラグ (isTradeItemAnInvoiceUnit)	このGTINでの決済可能か否かを指定するフラグ。供給側(メーカーあるいは卸)が指定する	半	1	発注・配送・決済時			N	N	N	N	決済単位フラグメーカー・卸、卸・小売間で単位は変わる "Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
18		定費/不定費フラグ	不定費フラグ(定費/不定費フラグ) (isTradeItemVariableUnit)	定費 or 不定費。不定費表示商品か否か。 (不定費商品は同一の商品であっても、個々のパッケージごとに重量が異なるため、「1個 = kg」と決められない、重量差のある商品)	半	1	発注・配送・決済時			N	N	N	N	"Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
19		販売対象国コード	ターゲットマーケットコード (targetMarketCountrycode)	情報提供者により、その商品(GTIN)が展開される対象の市場を国レベルで表現する。ISOに定めるところの国コードを用いる。	半	3	840= アメリカ合衆国、 276= ドイツ連邦共和国、 156= 中華人民共和国			Y	Y	Y	Y	ISO3166-1に従う。EAN.UCCGenSpecA1DCC guidelinesに従う。商品マスタ同期化のキー項目。 キー項目のため全階層必須 Y(全階層同じ項目を入力)とした
20			ターゲットマーケット名称(targetMarketDescription)											
21		販売対象地域コード	T M サブコード (targetMarketSubdivisionCode)	商品の展開対象市場を国より小さい単位で示す。行政単位。 日本の場合には、都道府県を表す。	半	7	例：02 = 宮城、12 = 千葉						N	ISO3166-2に従う。GDDに合わせると7桁<3(国コード)-3(都道府県コード)>を要確認=ISOコード使用<事務局より>
22		情報受領者コード	公開先GLN(pub_to_gln) (partyReceivingGLN)	情報受領者コード (GLN)	半	13				Y	Y	Y	Y	公開制御が必要ときは必須。 Publication dateは本来はCINメッセージ上に有するがわかりやすくするために掲載。
23			パブリケーション日(publicationDate)	公開制御を行う要素として明示的に記載しています										
24		メーカーコード (代表メーカーコード)	メーカーコード (brandOwnerGLN)	商品の提供企業を表す。代表GLN。複数JANを持つ企業の代表的なJAN	半	13	メーカーの特定、商品の集計、検索のキー						N	広義のメーカー(市場への提供会社)を表す。
25		メーカー名 (正式メーカー名)	メーカー名(GLNより設定) (nameOfBrandOwner)	メーカーコードのメーカー名を表す。	全	max20	例：「花王株式会社」 「味の素株式会社」						N	当項目情報を保持するか、データベース等で編集するか別途調整が必要。
26		商品名・短縮メーカー名	商品名・短縮メーカー名 (manufacturerShortName)	短縮したメーカー名。商品名の補足情報。	全	max5	ブライスカード、POP、分析用 例：「FT資生堂」「花王」「味の素」			N	N	N	N	実験ではメーカー名+ブランド名+サブブランド名+商品名(漢字)で正式名称を生成できるように登録。標準化とは別運用。 階層入力時に何にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
27		商品カナ名・短縮メーカー名	商品カナ名・短縮メーカー名 (manufacturerShortKanaName)	短縮したメーカー名。商品名の補足情報。	半	max5	POPソフト用、分析用。 例：「FT-SD」「花王」「資/Ft」			N	N	N	N	実験ではメーカー名+ブランド名+サブブランド名+商品名(漢字)で正式名称を生成できるように登録。標準化とは別運用。 階層入力時に何にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
28		ブランド名(漢字)	ブランド名(漢字) (brandName)	メーカーが管理しているブランド名もしくはシリーズ名	全	max20	POPソフト、実績の集計、ソート、商品検索用 例)「Cook do」「エコナ」						N	実験ではメーカー名+ブランド名+サブブランド名+商品名(漢字)で正式名称を生成できるように登録。標準化とは別運用。
29		サブブランド名(漢字)	サブブランド名(漢字) (subBrandName)	メーカーが管理しているブランド名もしくはシリーズ名	全	max20	POPソフト、実績の集計、ソート、商品検索用						N	ブランド名入力が必要。実験ではメーカー名+ブランド名+サブブランド名+商品名(漢字)で正式名称を生成できるように登録。標準化とは別運用。
30		贈答区分	贈答区分 (isGiftTradeItemByManufacturer)	贈答商品か否か	半	1							N	"Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
31		商品名(漢字)	商品名(漢字) (tradeItemDescription)	商品名・規格(正式商品名・メーカー名、ブランド名、サブブランド)	全	max50	POP用			N	N	N	N	実証実験で自動生成がうまくいけば採用 階層入力時に何にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
32		メーカー正式商品名	メーカー正式 (tradeItemRegularDescription)	メーカーが提供する省略のない商品名。容量、規格名、入数も入れる。 POP/ブライスカード用(全角6)	全	max60	POP用			N	N	N	N	階層入力時に何にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
33		商品名・長	商品名・長 (tradeItemLongDescription)	ブランド名、商品名、容量、規格、入り数を含めて、できるだけ消費者にわかりやすく表現する。(メーカー/ブランド名+商品名+規格)	全	max25	ブライスカード用、POP用			N	N	N	N	階層入力時に何にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
34		商品名・短	商品名・短 (tradeItemShortDescription)	商品名+商品名。基本的には、容量・規格は入れない。入数の情報がある場合には、容量・規格を商品名に入れる。(ブランド名+商品名)	全	max14	ブライスカード用、POSレジ用			N	N	N	N	階層入力時に何にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
35		レシート名	レシート名 (receiptName)	POSレジにて印刷される名称。 (メーカー/ブランド名+商品名+規格)	半+全	max14	POSレジ用			N	N	N	N	POSレジの印刷桁数に規定される。将来的な変更を含め、trialで登録する。 階層入力時に何にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる

2005年度実証実験用商品マスター項目一覧表

作成日：2005.1125

【重要】本資料は、2005年実証実験用(仮説)として作成したマスタ項目であり、そのまま標準版として使用されるものではありません。マスタ項目の標準版は、2005年度に実施した実験結果を踏まえ、日本GCI推進協議会にて継続的に審議され、見直しが行われる予定です。最新バージョンについては、日本GCI推進協議会事務局(流通システム開発センター)へお問合せください。

凡例:

【実験基本/実験関係依存】 = 必須 = 任意 = 条件付き必須
【共通度】Y = 各階層同じ項目 N = 各階層独立した項目 プランク = 入力なし

	コード 作成	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	項目内容(定義)	半or全	項目桁 数	用途、例	実験 基本	実験 関係 依存	共通度 パレット (PLT)	共通度 外箱 (CA)	共通度 中箱 (PK)	共通度 単品 (EA)	備考
36		商品名-内容量名	商品名-内容量名 (tradeItemContentDescription)	内容量または入り数の数量表記。	全	max4	プラスチックカード用、POP用 1200mlなら「1200」						N	明らかに単位が1のものは登録不要
37		商品名-規格単位名	商品名-規格単位名 (tradeItemContentMeasurementDescription)	内容量または入り数の単位名称。	全	max2	プラスチックカード用、POP用 1200mlなら「ML」						N	明らかに単位が1のものは登録不要
38		商品カナ名・長	商品カナ名・長 (tradeItemLongKanaName)	ブランド名+商品名+容量+人数などを半角カナで表現したもの。 データの受け手にとって、判りやすい表現にする。	半	max25	EOS用、統一伝票表示用			N	N	N	N	半角のみ。全角カナが必要な場合は取り込み時に変換する。外字、英 数小文字は不可。 階層入力時にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
39		商品カナ名・短	商品カナ名・短 (tradeItemShortKanaName)	ブランド名+商品。基本的に、容量・規格は入れない。入数の情報がある場合には、容量・規格を商品名に入れる。	半	max14	汎用(POSレジ)			N	N	N	N	半角のみ。全角カナが必要な場合は取り込み時に変換する。外字、英 数小文字は不可。 階層入力時にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
40		商品カナ名-内容量名	商品カナ名-内容量名 (tradeItemContentKanaDescription)	内容量または入り数の数量表記。	半	max4	「1200」						N	明らかに単位が1のものは登録不要
41		商品カナ名-規格単位名	商品カナ名-規格単位名 (tradeItemContentMeasurementKanaDescription)	内容量または入り数の単位名称。	半	max2	「ML」						N	明らかに単位が1のものは登録不要
42		C F投入量	C F投入量 (commercialFilmAmountDescription)	コーマーシャルの有無、及び投入量	全	max500	商品導入検討、販売促進						N	
43		商品特徴(フル)	商品特徴(フル) (longText)	メーカーから小売ないし卸の商品部への売込文句	全	max500	ウェブ提案						N	長
44		商品特徴(概要)	商品特徴(概要) (tradeItemDescription)	小売本部から小売店舗への商品説明	全	max50	機能説明			N	N	N	N	中 階層入力時にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
45		商品特徴(短)	商品特徴(短) (tradeItemFeatureBenefit)	お客様への商品説明。桁数におさまるキャッチコピー。	全	max25	チラシ、POP用			N	N	N	N	短 階層入力時にも入力無ければ【未使用】強制入力。単品も同様となる
46		希望小売価格区分	希望小売価格区分 (suggestedRetailPriceType)	希望小売価格の区分	半	2	例：0:オプション、1:メーカー希望						N	
47		希望小売価格区分コード	希望小売価格区分コード											
48		希望小売価格(総額)	希望小売価格(総額) (suggestedRetailPriceTaxIncluded)	希望小売価格(税込)を円単位で登録	半	max9							N	オプション価格でない場合は必須
49		通貨コード	通貨コード (currencyISOCode)											
50		希望小売価格(本体)	希望小売価格(本体) (suggestedRetailPriceTaxExcluded)	希望小売価格(税抜)を円単位で登録	半	max9							N	オプション価格でない場合は必須
51		通貨コード	通貨コード (currencyISOCode)											
52		税エージェンシーコード	税エージェンシーコード名称 (taxAgencyCode)	税金を管理する省庁	半	3	国税庁						N	国税庁で固定
53		税エージェンシーコード	税エージェンシーコード (taxAgencyCode)											
54		消費税区分	消費税区分名称 (consumptionTaxType)	商品の消費税区分を示す。	半	1	課税、非課税の区分 (ゴミ袋、商品券など) 例:外税、内税、非課税、不課税						N	TaxAgency・消費税区分・税率 については 【税率が入った場合に 他項目を必須】を階層毎にチェック。従って税率入力するh実用がな い階層の場合は税率を入力しないでください
55		消費税区分コード	消費税区分コード (consumptionTaxTypeCode)											
56		消費税税率	消費税税率 (taxRate)	消費税の税率を%単位で入力	半	max3.2							N	非課税時以外は必須
57		見積価格	見積価格 (quotedPrice)	商談時の見積もり価格	半	max9.2	見積もり			N	N	N	N	事前商談時に利用。(税抜き、税込み等は企業ごとの関係に依存する)
58		通貨単位コード	通貨単位コード (currencyISOCode)											
59		商品画像取り込みURL	商品画像取り込みURL (fileTransmitterSystemDescription)	棚割用の商品画像データ。最大6画像(正面、上面、右側面、左側面、背面、底面)。商品サイズの向きと画像の面を一致させる。	半	max256	棚割システム、社内システム						N	URLを表現することでリンクづけされるイメージ。ただし正面は必須でそれ以外は任意。URLのネーミングの取り決めで画像種類を特定できるようにする。
60		商品サイズ<幅>	幅 (width)	商品を正面から見た際の「幅」(陳列サイズ)	半	max15	販促：棚割用 物流：容量計算用(小売出荷 箱)			N	N	N	N	店頭販売可能単位="Y"の場合、棚割サイズ幅と同義
61		寸法単位コード (unitOfMeasure)												
62		商品サイズ<高さ>	高さ (height)	商品を正面から見た際の「高さ」(陳列サイズ)	半	max15	販促：棚割用 物流：容量計算用(小売出荷 箱)			N	N	N	N	店頭販売可能単位="Y"の場合、棚割サイズ高さと同義
63		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
64		商品サイズ<奥行>	奥行 (depth)	商品を正面から見た際の「奥行」(陳列サイズ)	半	max15	販促：棚割用 物流：容量計算用(小売出荷 箱)			N	N	N	N	店頭販売可能単位="Y"の場合、棚割サイズ奥行きと同義
65		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		商品サイズ幅、高さ、奥行き、直径の単位コード		3								
66		商品サイズ<直径>	直径 (diameter)	商品を正面から見た際の「幅」と「奥行」が同じで、なおかつ形状が円筒形の商品の場合、その「幅」(＝「奥行」)	半	max15	販促：棚割用 物流：容量計算用(小売出荷 箱)			N	N	N	N	店頭販売可能単位="Y"の場合、棚割サイズ幅、奥行きと同義
67		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
68		フック穴位置X	フック穴位置 (x) (pegHorizontal)	棚置時のフック穴の横方向の位置を表す。商品の基準点からの距離(＝左端から穴の中心)を表す。	半	max15	棚割作業						N	フック穴のある商品のみ必須。
69		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
70		フック穴位置Y	フック穴位置 (y) (pegVertical)	棚置時のフック穴の縦方向の位置を表す。商品の基準点からの距離(＝上端から穴の中心)を表す。	半	max15	棚割作業						N	フック穴のある商品のみ必須。
71		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
72		フック穴サイズ	フック穴サイズ (pegHoleSize)	棚置時のフック穴の直径	半	max15	棚割作業						N	フック穴のある商品のみ必須。
73		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
74		圧縮率<幅>	圧縮率<幅> (percentageOfWidthCompression)	棚割りソフト用商品サイズの許容圧縮率を%で登録	半	max2	棚割作業						N	
75		圧縮率<高さ>	圧縮率<高さ> (percentageOfHeightCompression)	棚割りソフト用商品サイズの許容圧縮率を%で登録	半	max2	棚割作業						N	
76		圧縮率<奥行き>	圧縮率<奥行き> (percentageOfDepthCompression)	棚割りソフト用商品サイズの許容圧縮率を%で登録	半	max2	棚割作業						N	
77		重なり形式	重なり形式 名称 (pileUpForm)	重ね陳列時のもぐり、かぶり、通常の区分 もぐり、入り口を上に乗せる場合、かぶり、入り口を下に乗せる場合	半	1	棚割作業						N	
78		重なり形式コード (pileUpFormCode)												
79		重なり<幅>	重なり<幅> (pileUpWidth)	植木鉢など積み重ねた時に出来る幅(幅)	半	max8	棚割作業						N	
80		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
81		重なり<高さ>	重なり<高さ> (pileUpHeight)	植木鉢など積み重ねた時に出来る幅(高)	半	max8	棚割作業						N	
82		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
83		重なり<奥行き>	重なり<奥行き> (pileUpDepth)	植木鉢など積み重ねた時に出来る幅(奥)	半	max8	棚割作業						N	
84		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)												
85		標準サイズコード団体名	標準サイズコード団体名、名称 (sizeCodeListAgency)	標準サイズコードを規定している団体(があれば)	全	max20	例：JIS						N	
86		サイズコード管理団体コード (sizeCodeListAgency)												
87		標準サイズコード	標準サイズコード (sizeCodeValue)	上記団体の中でのサイズコード	半	max5	例:001						N	
88		サイズ名	サイズ名 名称 (descriptive size)	上記団体の中でのサイズ名(S,M,Lなど利用時に判断できるサイズ)	全	max20	例:S						N	

2005年度実証実験用商品マスター項目一覧表

作成日：2005.1125

【重要】本資料は、2005年実証実験用(仮説)として作成したマスタ項目であり、そのまま標準版として使用されるものではありません。マスタ項目の標準版は、2005年度に実施した実験結果を踏まえ、日本GCI推進協議会にて継続的に審議され、見直しが行われる予定です。最新バージョンについては、日本GCI推進協議会事務局(流通システム開発センター)へお問合せください。

凡例:
 【実験基本/実験関係依存】 = 必須 = 任意 = 条件付き必須
 【共通度】Y = 各階層同じ項目 N = 各階層独立した項目 プランク = 入力なし

	コード 作成	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	項目内容(定義)	半or全	項目桁 数	用途、例	実験 基本	実験 関係 依存	共通度 パレット (PL)	共通度 外箱 (CA)	共通度 中箱 (PK)	共通度 単品 (EA)	備考
89		標準カラーコード団体名	標準カラーコード団体名、名称(colorCodeListAgency)	標準カラーコードを規定している団体名	全	max20	例：PANTONE						N	
90		色コード管理団体コード	色コード管理団体コード(colorCodeListAgency)		全	max20	例：001						N	
91		標準カラーコード	標準カラーコード(colorCodeValue)	上記団体名の中のカラーコード	半	max5	例：赤						N	
92		カラー名	カラー名称(colorDescription)	上記団体名の中のカラー名	全	max20							N	
93		総重量	総重量(grossWeight)	総重量(容器重量を含む)	半	max15	物流関連で利用(例：100.00)			N	N	N	N	酒は必須(酒税法) パレットの場合、パレットの重さも含まれる。 外箱重量、ボール重 量もここに吸収。物流用
94		総重量単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)	重量単位コード	半	3	例：g・kg・・・			N	N	N	N	物流用
95		内容量	内容量(netContent)	商品本体の容量(容器を含まない)。入り数がある場合には、容量と 入り数の積。	半	max12.2	ユニットプライス計算用						N	酒は必須(酒税法) 商品特性により、単位は異なる。 例)お茶200ml、洗剤1kg、ハンバーグ 6個 など。
96		内容量単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)	内容量の単位コード	半	3	ユニットプライス計算用。 例)1ml、枚・・・						N	各企業内で社内の単位コードに変換可能。
97		ユニット容量	ユニット容量(measurementValue)	ユニット計算に使う容量(値)	半	max15	例：10						N	エッジライズ計算が必要なものは必須(東京都でまず始める)
98		ユニット単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)	ユニット計算に使う単位コード	半	3	例：g						N	エッジライズ計算が必要なものは必須(東京都でまず始める)
99		容器形態コード (外装容器形態)	外装容器形態 名称(packagingType)	その商品の陳列時の包装の形態の種類を示す。	半	3	分析(商品識別の為)、棚割 り用(例：ビン、カン、パッ ック)			N	N	N	N	各企業内で社内の単位コードに変換可能。(流開の容器形態コードで OK)
100		外装形態コード	外装形態コード(packagingTypeCode)											
101		容器素材の区分	容器素材の区分 名称(packagingMaterial)	ガラスびん(無色)、PETボトル、紙容器・・・など容器素材を区分 で選択	半	3	小売の納税。例：ガラスびん無 色、ガラスびん茶色、ガラスびんそ の他、PET、紙製容器包装、ガラス 製容器包装、金属						N	容器素材別に繰り返し、登録の要否は容器リサイクル法に準拠(最小 単位で)但し、PB品は必須になる。
102		容器素材コード	容器素材コード(packagingMaterialCode)		半	max5.2	小売の納税						N	容器素材別に繰り返し、登録の要否は容器リサイクル法に準拠。 但し、PB品は必須になる。
103		容器素材重量	容器素材重量(packagingMaterialCompositionQuantity)	容器素材の素材毎の重さ	半	max5.2	小売の納税						N	容器素材別に繰り返し、登録の要否は容器リサイクル法に準拠。 但し、PB品は必須になる。
104		容器素材重量単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)	容器素材の重さ単位	半	3	小売の納税						N	容器素材別に繰り返し、登録の要否は容器リサイクル法に準拠。 但し、PB品は必須になる。
105		品質保証期間値	品質保証期間値(minimumTradeItemLifeSpanFromTimeOfProduction)	メーカーの品質保証期間	半	max5							N	特に定めのないものは登録しなくても良い
106		メーカー発売日	時間単位コード メーカー発売日 (consumerAvailabilityDateTime)	メーカーの発売日	半	8							N	特に定めのないものは登録しなくても良い
107		メーカー発売日	メーカー発売日 (consumerAvailabilityDateTime)	メーカーの発売日	半	8							N	終売が決まっていないものは登録できない
108		メーカー終売日	メーカー終売日 (endAvailabilityDateTime)	メーカーの終売日	半	8							N	終売が決まっていないものは登録できない
109		原単価(総額)	原単価(総額) (costPriceTaxIncluded)	基本の原単価(税込)	半	max9.2				N	N	N	N	商談の内容による。
110		通貨コード	通貨コード(currencyISOCode)		半	max9.2							N	商談の内容による。
111		原単価(本体)	原単価(本体) (costPriceTaxExcluded)	基本の原単価(税抜)	半	max9.2				N	N	N	N	商談の内容による。
112		通貨コード	通貨コード(currencyISOCode)		半	max15				N				計算式が異なるため、上記3つを重視。パレット組みなきものは登録 なし
113		パレット段数	パレット段数(quantityOfLayersPerPallet)	メーカーからの標準つみ付けパターンにおける1パレットに積み上げ る段数	半	max15	入荷時の荷受形態標準化の為 利用(庫内標準化)			N				パレット組みなきものは登録なし
114		パレイ組 (パレット面ヶス数)	パレイ組(パレット面ヶス数) (quantityOfTrayItemPerPalletLayer)	メーカーからの標準つみ付けパターンにおける1段当たりの外箱個数	半	max15	入荷時の荷受形態標準化の為 利用(庫内標準化)			N				パレット組みなきものは登録なし
115		使用パレット種類	使用パレット種類 名称(palletType)	メーカーからの標準つみ付けに使用するパレットの種類コード	半	max3	庫内管理パレットの標準化の 為に利用(荷受時に積替え 等) 例： T-11、1100×900、T8、その他			N				パレット組みなきものは登録なし
116		パレットタイプコード	パレットタイプコード(palletTypeCode)											
117		メーカーパレット才数	メーカーパレット才数(manufacturerPalletSaisu)	メーカーからの標準つみ付け時1パレット当たり才数。 (1才=立方尺=27.826立方cm)	半	max15				N				計算式が異なるため、上記3つを重視。パレット組みなきものは登録 なし
118		取扱最高温度() (メーカー)	取扱最高温度() (メーカ) (handlingTemperatureMaximumByManufacturer)	メーカーの最高温度	半	+4							N	
119		温度単位コード	温度単位コード(unitOfMeasure)		半	+4							N	
120		取扱最低温度() (メーカー)	取扱最低温度() (メーカ) (handlingTemperatureMinimumByManufacturer)	メーカーの最低温度	半	+4							N	
121		温度単位コード	温度単位コード(unitOfMeasure)		半	+4							N	
122		取扱最高温度() (卸)	取扱最高温度() (卸) (handlingTemperatureMaximumByWholesaler)	卸での最高温度	半	+4							N	
123		取扱最高温度() (卸) 単位	取扱最高温度() (卸) 単位 (unitOfMeasure)		半	+4							N	
124		取扱最低温度() (卸)	取扱最低温度() (卸) (handlingTemperatureMinimumByWholesaler)	卸での最低温度	半	+4							N	
125		取扱最低温度() (卸) 単位	取扱最低温度() (卸) 単位 (unitOfMeasure)		半	+4							N	
126		温度帯区分	温度帯区分名称		半	1	例：常温、冷、冷蔵、冷凍、超 冷凍						N	項番175、176がはいれば必須 温度帯区分のみ入力可とする
127		温度帯区分コード	温度帯区分コード(temperatureZone)	区分コード	半	3							N	
128		原産国コード	原産国コード(CountryOfOriginCode)	製品ラベルに記載されている原産国でISOコードの国コード。	半	3	分析・お客さまの問い合わせ せ、トラブル対応での検索						N	
129		原産国 名称	原産国 名称(nameOfCountryOfOrigin)		半	2.1	お客さまへの表示・増税対応						N	酒類の場合必須
130		アルコール度数	アルコール度数 (percentageOfAlcoholByVolume)	酒類のアルコール度数。表記に「以上・未満」などの表記がある場合 は、その表記以外の数値部分	半	4	販売数量報告						N	酒類の場合必須
131		酒類分類	酒類分類(LiquorClassificationForTax)		半	max40	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：N40
132		酒類分類コード	酒類分類コード(LiquorClassificationForTaxCode)		半	max5	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値5(整数5桁小数0桁)
133		栄養成分表示単位	栄養成分表示単位(displayUnitOfNutritiousSubstance)	「加減」「100g」の単位。パ「1」がある情報。 例：1食あた り1本(200.0ml)あたりに	全	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
134		カロリー	カロリー (quantityOfCalorie)	パ「1」表示にある情報[kcal単位]	半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
135		タンパク質	タンパク質 (quantityOfProtein)	パ「1」表示にある情報[g単位]	半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
136		重量単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)		半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
137		脂質	脂質 (quantityOfLipid)	パ「1」表示にある情報[g単位]	半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
138		炭水化物	炭水化物 (quantityOfCarbohydrate)	パ「1」表示にある情報[g単位]	半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
139		重量単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)		半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
140		重量単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)		半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)
141		重量単位コード	重量単位コード(unitOfMeasure)		半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタ ログ						N	FDB桁数定義：数値9(整数5桁小数3桁)

2005年度実証実験用商品マスター項目一覧表

作成日：2005.1125

【重要】本資料は、2005年実証実験用(仮説)として作成したマスタ項目であり、そのまま標準版として使用されるものではありません。マスタ項目の標準版は、2005年度に実施した実験結果を踏まえ、日本GCI推進協議会にて継続的に審議され、見直しが行われる予定です。最新バージョンについては、日本GCI推進協議会事務局(流通システム開発センター)へお問合せください。

凡例：
【実験基本/実験関係依存】 = 必須 = 任意 = 条件付き必須
【共通度】Y = 各階層同じ項目 N = 各階層独立した項目 プランク = 入力なし

	コード 作成	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	項目内容(定義)	半or全	項目桁 数	用途、例	実験 基本	実験 関係 依存	共通度 パレット (PL)	共通度 外箱 (CA)	共通度 中箱 (PK)	共通度 単品 (EA)	備考
142		ナトリウム	ナトリウム (quantityOfSodium)	パッケージ表示にある情報[mg単位]	半	max5.3	お客さまへの表示・商品カタログ						N	FDB桁数定義:数値9(整数5桁小数3桁)
143			重量単位コード (unitOfMeasure)											
144		栄養成分強調表示	栄養成分強調表示 (nutrientInformation)	パッケージ表示にある情報	全	max400	お客さまへの表示・商品カタログ						N	
145		原材料表示	原材料表示 (rawMaterialInformation)	パッケージ表示にある原材料情報。パッケージ裏面の表記をすべて記入	全	max1200	分析・お客さまの問い合わせ・トラブル対応での検索						N	FDB桁数定義: N1200。
146		主たる原材料の原産国	主たる原材料の原産国 (mainCountryOfRawMaterial)	製品に表記されている内容程度	全	200	分析・お客さまの問い合わせ・トラブル対応での検索						N	
147		遺伝子組換え区分	遺伝子組換え区分 (isTradeItemGeneticallyModified)	遺伝子組み替え商品か否か (Yes/No)	半	1	お客さまへの表示・お客さまの問い合わせ・トラブル対応での検索						N	"Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
148		取り扱い注意(危険物等)区分	取り扱い注意(危険物等)区分 (isTradeItemDangerousGoods)	アレルギー等の取り扱い注意商品か否か	半	1	その商品の取り扱い上の注意喚起する。						N	"Y"or"N"で表現し、NULLを不可とする。
149		情報公開可能日(一斉公開日)	パブリケーション日(publicationDate)	メーカーが指定する商品情報の公開を許可する日	半	8	公開制御			Y	Y	Y	Y	公開制御と関係する
150		マスタ有効日	マスタ有効日 (effectiveDate)	いつからマスタを有効にするか	半	8				N	N	N	N	変更時の適用開始日
151		最終更新日(システム日付)	最終更新日 (lastChangeDateTime)	最後に更新されたのはいつか				システム 対応						
152			商品停止日付 (discontinuedDate)											
153			変更理由内容 (modifiedDescription)											
154		ITFコード	ITFコード (itfCode)	ITFコード	半	max16	ITFコード			N	N	N		
155		最下層GTIN	最下層GTIN (isTradeItemABaseUnit)	自身の商品情報が商品階層上 最下層の場合チェック	半	1	主に単品の場合につく						(N)	通常の場合単品に対してつく

付属資料 3

実験用コード一覧

リストタイプ 101

アイテムユニットリスト(商品階層)		EXCELでの表示・xml格納形式	
01	単品	→	BASE_UNIT_OR_EACH
03	パック/インナーパック	→	PACK_OR_INNER_PACK
07	ケース	→	CASE
10	パレット	→	PALLET

※英語文字列となる。

リストタイプ 106

バーコードタイプリスト		EXCELでの表示・xml格納形式	
04	EAN/UCC8桁	→	EAN_UCC_8_SYMBOL
05	EAN/UCC13桁	→	EAN_UCC_13_SYMBOL
06	EAN/UCC14桁	→	EAN_UCC_14_SYMBOL
07	ITF14桁	→	ITF_14_SYMBOL
15	UPC12桁	→	UPC_A_SYMBOL
16	UPC8桁	→	UPC_E_SYMBOL
17	EAN/UCC128桁	→	UCC_EAN_128_SYMBOL
J01	JAN8桁	→	JAN_8_SYMBOL
J02	JAN13桁	→	JAN_13_SYMBOL
J03	擬似JAN	→	JAN_ETC

※擬似JANは04～J02以外を含む

※英語文字列となる。

国コード	国名
004	アフガニスタン
008	アルバニア
010	南極
012	アルジェリア
016	サモア
020	アンドラ
024	アンゴラ
028	アンティグア・バーブーダ
031	アゼルバイジャン
032	アルゼンチン
036	オーストラリア
040	オーストリア
044	バハマ
048	バーレーン
050	バングラデシュ
051	アルメニア
052	バルバドス
056	ベルギー
060	バミューダ諸島
064	ブータン
068	ボリビア
070	ボスニア・ヘルツェゴビナ
072	ボツワナ
074	ブーベ島
076	ブラジル
084	ベリーズ
086	英領インド洋地域
090	ソロモン諸島
092	英領バージン諸島
096	ブルネイ
100	ブルガリア
104	ミャンマー
108	ブルンジ
112	ベラルーシ
116	カンボジア
120	カメルーン
124	カナダ
132	カーボベルデ
136	ケイマン諸島
140	中央アフリカ共和国
144	スリランカ
148	チャド
152	チリ
156	中華人民共和国
158	台湾
162	クリスマス島
166	ココス諸島/キーリング諸島
170	コロンビア
174	コモロ
175	マイヨット島
178	コンゴ共和国
180	コンゴ民主共和国
184	クック諸島
188	コスタリカ
191	クロアチア
192	キューバ
196	キプロス
203	チェコ共和国
204	ベナン
208	デンマーク

212	ドミニカ
214	ドミニカ共和国
218	エクアドル
222	エルサルバドル
226	赤道ギニア
231	エチオピア
232	エリトリア
233	エストニア
234	フェロー諸島
238	フォークランド(マルビナス)諸島
239	サウスジョージア・サウスサンドウィッチ諸島
242	フィジー諸島
246	フィンランド
249	フランス領自治区
250	フランス
254	フランス領ギアナ
258	フランス領ポリネシア
260	フランス領南極地方
262	ジブチ
266	ガボン
268	グルジア
270	ガンビア
275	パレスチナ
276	ドイツ
288	ガーナ
292	ジブラルタル
296	キリバス
300	ギリシャ
304	グリーンランド
308	グレナダ
312	グアドループ
316	グアム
320	グアテマラ
324	ギニア
328	ガイアナ
332	ハイチ
334	ハード・マクドナルド諸島
336	バチカン
340	ホンジュラス
344	香港 SAR
348	ハンガリー
352	アイスランド
356	インド
360	インドネシア
364	イラン
368	イラク
372	アイルランド
376	イスラエル
380	イタリア
384	コートジボワール
388	ジャマイカ
392	日本
398	カザフスタン
400	ヨルダン
404	ケニア
408	朝鮮民主主義人民共和国
410	大韓民国
414	クウェート
417	キルギス
418	ラオス
422	レバノン

426	レソト
428	ラトビア
430	リベリア
434	リビア
438	リヒテンシュタイン
440	リトアニア
442	ルクセンブルグ
446	マカオ SAR
450	マダガスカル
454	マラウイ
458	マレーシア
462	モルディブ
466	マリ
470	マルタ
474	マルチニーク島
478	モーリタニア
480	モーリシャス
484	メキシコ
492	モナコ
496	モンゴル
498	モルドバ
500	モンセラット
504	モロッコ
508	モザンビーク
512	オマーン
516	ナミビア
520	ナウル
524	ネパール
528	オランダ
530	オランダ領アンティル
533	アルバ
540	ニューカレドニア
548	バヌアツ
554	ニュージーランド
558	ニカラグア
562	ニジェール
566	ナイジェリア
570	ニウエ
574	ノーフォーク島
578	ノルウェー
580	北マリアナ諸島
581	米領オセアニア諸島
583	ミクロネシア
584	マーシャル諸島
585	パラオ
586	パキスタン
591	パナマ
598	パプアニューギニア
600	パラグアイ
604	ペルー
608	フィリピン
612	ピトケアン
616	ポーランド
620	ポルトガル
624	ギニアビサウ
626	東ティモール
630	プエルトリコ
634	カタール
638	レユニオン
642	ルーマニア
643	ロシア

646	ルワンダ
654	セントヘレナ
659	セントクリストファー・ネイビス
660	アングラ
662	セントルシア
666	サンピエール・ミクロン
670	セントビンセント
674	サンマリノ
678	サントメ・プリンシペ
682	サウジアラビア
686	セネガル
690	セイシェル
694	シエラレオネ
702	シンガポール
703	スロバキア
704	ベトナム
705	スロベニア
706	ソマリア
710	南アフリカ
716	ジンバブエ
724	スペイン
732	西サハラ
736	スーダン
740	スリナム
744	スバルバル諸島およびヤンマイエン島
748	スワジランド
752	スウェーデン
756	スイス
760	シリア
762	タジキスタン
764	タイ
768	トーゴ
772	トケラウ諸島
776	トンガ
780	トリニダード・トバゴ
784	アラブ首長国連邦
788	チュニジア
792	トルコ
795	トルクメニスタン
796	タークス・カイコス諸島
798	ツバル
800	ウガンダ
804	ウクライナ
807	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国
818	エジプト
826	英国
834	タンザニア
840	米国
850	バージン諸島
854	ブルキナファソ
858	ウルグアイ
860	ウズベキスタン
862	ベネズエラ
876	ワリス・フテュナ諸島
882	サモア
887	イエメン
891	ユーゴスラビア
894	ザンビア

県コード	県名
1	北海道
2	青森
3	岩手
4	宮城
5	秋田
6	山形
7	福島
8	茨城
9	栃木
10	群馬
11	埼玉
12	千葉
13	東京
14	神奈川
15	新潟
16	富山
17	石川
18	福井
19	山梨
20	長野
21	岐阜
22	静岡
23	愛知
24	三重
25	滋賀
26	京都
27	大阪
28	兵庫
29	奈良
30	和歌山
31	鳥取
32	島根
33	岡山
34	広島
35	山口
36	徳島
37	香川
38	愛媛
39	高知
40	福岡
41	佐賀
42	長崎
43	熊本
44	大分
45	宮崎
46	鹿児島
47	沖縄

リストタイプ 145

容器形態コード	
01	袋
03	ビン
05	ボトル
07	カップ
09	パック
11	チューブ
13	箱
15	カン
17	トレー
19	ビニール容器

リストタイプ 146

容器素材コード	
J01	アルミ缶
J02	スチール缶
J03	ガラスびん（無色）
J04	ガラスびん（茶色）
J05	ガラスびん（色あり）
J06	飲料用紙パック（アルミ使用不可）
J07	ダンボール
J08	紙製容器包装
J09	PETボトル
J10	プラスチック製容器包装
J11	金属

リストタイプ 147

パレット	
J01	T-11
J02	1100×900
J03	T-8
J04	その他

リストタイプ 140

寸法単位	
MM	ミリメートル (mm)
CM	センチメートル (cm)
MR	メートル (m)
IN	インチ
FT	フィート

リストタイプ 141

重量単位	
ME	ミリグラム (mg)
GR	グラム (g)
KG	キログラム (Kg)
TN	トン (t)
OZ	オンス
LB	パウンド
CC	シーシー
ML	ミリリットル (ml)
LT	リットル (l)

リストタイプ 142

期間単位	
DA	日
HR	時

リストタイプ 143

温度単位	
CE	摂氏 (°C)

リストタイプ 144

ユニット単位	
BD	束
BG	袋
BX	箱
EA	個
KT	膳
LK	双
PK	包
PR	足
PTN	人前
RL	巻
ST	組
SH	枚
15	本
UN	台
GN	粒
TA	錠
CP	カプセル
MA	食

リストタイプ 148

通貨コード単位	
JPY	円

リストタイプ 149

エネルギー単位	
CL	カロリー (cal)
KL	キロカロリー (kcal)

リストタイプ 806

酒類分類	
0100	清酒（発泡性無）
0105	清酒（発泡性有）
1100	合成清酒（発泡性無）
1105	合成清酒（発泡性有）
2100	焼酎甲類（発泡性無）
2105	焼酎甲類（発泡性有）
2200	焼酎乙類（発泡性無）
2205	焼酎乙類（発泡性有）
3100	みりん（発泡性無）
3105	みりん（発泡性有）
4100	ビール
5100	果実酒（発泡性無）
5105	果実酒（発泡性有）
5200	甘味果実酒（発泡性無）
5205	甘味果実酒（発泡性有）
6100	ウイスキー（発泡性無）
6105	ウイスキー（発泡性有）
6200	ブランデー（発泡性無）
6205	ブランデー（発泡性有）
7100	スピリッツ（発泡性無）
7105	スピリッツ（発泡性有）
7200	原アル
8100	リキュール類（発泡性無）
8105	リキュール類（発泡性有）
9100	発泡酒（麦芽50%以上）
9101	発泡酒（麦芽25－50%未満）
9102	発泡酒（その他）
9200	粉末酒（発泡性無）
9205	粉末酒（発泡性有）
9300	みりん類似品（発泡性無）
9301	その他（発泡性無）
9305	みりん類似品（発泡性有）
9306	その他（発泡性有）

リストタイプ 801

希望小売価格区分	
00	オープン
01	メーカー希望

リストタイプ 802

消費税区分	
1	外税
2	内税
3	非課税
4	不課税

リストタイプ 803

重なり形式	
1	もぐり
2	かぶり
3	通常

リストタイプ 805

温度帯区分	
1	常温
2	チルド
3	冷蔵
4	冷凍
5	超冷凍

付属資料 4

マスタデータ同期化実験参加者
アンケートのお願い

マスタデータ同期化実証実験 参加者アンケートへのご協力をお願い

H17年度マスタデータ同期化実証実験へご参加、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

本実証実験は、参加企業の方々による実験システムへのデータ登録・データ確認や、その後の検証シート・課題シートへのご記入も終わり、現在、実験結果の集計、とりまとめを行っている状況です。

実験結果については、これまでに開催されたマスタ項目・業務プロセス合同ワーキングにて、中間報告させていただいておりますが、「現在の取りまとめ内容は、実験時に判明した課題が前面に出て、実験に参加していない読み手にマイナスイメージを与えるかもしれない。」「実験参加者が、実験に参加して“効果があると考えたか”、“今後も前向きに取り組もうとしているのか”も実験結果として伝えた方がよい」「参加者の意向はインパクトがある」というご意見を、3月3日（金）に開催した合同ワーキングにていただきました。また、3月10日（金）に開催したワーキングでは、アンケート内容（案）についてご確認、ご意見をいただきました。なお、実験時に判明した課題が、今後のマスタデータ同期化の本格運用にとって重要なものというご意見は、ワーキングに参加された方々からもいただいております。

本アンケートは、上記の経緯・狙いで、実験参加者（各社の実務担当者）の方々に送付させていただいております。

再三のアンケートとなり、誠に申し訳ありませんが、アンケートへのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。なお、ご回答いただきました結果は、集計処理をいたしますので、個々の企業の方のご意向は判別できないように取りまとめます。また、本アンケートのご回答は、本実証実験のとりまとめ以外の目的には利用いたしません。

誠に勝手ではございますが、ご回答は、本WORDファイル上にご記入いただき、以下のメールアドレス宛に、**3月14日(火)20時まで**にお願いします。アンケートのご回答時間は約20分と想定しております。ご多忙のところ、非常に急なお願いとなり大変申し訳ありません。

本アンケート結果は、次回3月16日（木）午後で開催される合同ワーキングにて、集計して報告させていただくこととなっております。なお、ご回答しにくい設問がありましたら、その設問を飛ばして次の設問へお進みください。何卒よろしくお願いいたします。

アンケート結果の電子メールご送付先: nri-gds05-jimukyoku@nri.co.jp

（これまでご連絡させていただいております、事務局メールアドレスです）

ご不明な点がございましたら、以下担当者までメールにて、お問合せください。

＜お問合せ先＞

マスタデータ同期化実証実験事務局：

株式会社 野村総合研究所 笹川（ささがわ）または 鷲森（さぎもり）

nri-gds05-jimukyoku@nri.co.jp（上記と同じ事務局メールアドレスです）

マスターデータ同期化のしくみのもたらす効果についてお伺いいたします。

問 1 実験に参加された当初、マスターデータ同期化のしくみは、どのような効果があると想定されておられましたか？（表 1 に効果の選択肢があります。例えば、“M1” はメーカーにとって「提供するマスターデータのエラー率低減」の効果があるという意味です。メーカー以外の方から見ても、その効果があれば、「効果あり」とご回答ください。）

表1 マスターデータ同期化のしくみのもたらす効果

	メーカー	卸	小売
マスターデータ品質の向上	M1・提供するマスターデータのエラー率低減 M2・製配販でのデータ一貫性の向上	W1・自社及び提供するマスターデータのエラー率低減 W2・製配販でのデータ一貫性の向上	R1・自社のマスターデータのエラー率低減 R2・製配販でのデータ一貫性の向上
マスターデータ管理業務の軽減	M3・新商品情報登録作業が軽減 M4・商品情報の更新負荷の軽減	W3・新商品情報登録作業が軽減 W4・商品情報の更新負荷の軽減	R3・新商品情報登録作業が軽減 R4・商品情報の更新負荷の軽減
マスターデータの提供リードタイムの短縮	M5・新商品データの提供リードタイムの短縮 M6・情報更新データの提供リードタイムの短縮	W5・新商品データの提供リードタイムの短縮 W6・情報更新データの提供リードタイムの短縮	R5・新商品データの提供リードタイムの短縮 R6・情報更新データの提供リードタイムの短縮
その他業務効率の向上	M7・受注エラー対応業務の削減 M8・緊急納品・遅配・誤配送・返品 の削減 M9・請求不整合の削減 M10・POSデータ集計など分析業務 負荷の削減	W7・受発注エラー対応業務の削減 W8・緊急納品・遅配・誤配送・返品 の削減 W9・請求不整合の削減 W10・POSデータ集計など分析業務 負荷の削減	R7・発注エラー対応業務の削減 R8・緊急納品・遅配・誤配送・返品 の削減 R9・請求不整合の削減 R10・POSデータ集計など分析業務 負荷の削減
付加価値の増大	M11・商談時間・MD業務時間の増大 M12・新商品案内のカバー範囲の増 大 M13・棚割支援業務の効率化 M14・新商品導入リードタイムの短期 化	W11・商談時間・MD業務時間の増大 W12・新商品案内のカバー範囲の増 大 W13・棚割支援業務の効率化 W14・新商品導入リードタイムの短期 化	R11・商談時間・MD業務時間の増大 R12・新商品情報の収集範囲拡大 R13・棚割業務の効率化 R14・新商品導入スピードの増大
その他	C1・e-コラボレーション(企業間での協働販売計画・協働SCMなど)実現へ向けて第1歩の実現 C2・次世代流通システム標準化の進展 C3・メーカー・卸・小売一体での流通システムに関する業界としての取り組み・活動の活性化		

以下のご記入欄に「5：大きな効果あり」「4：効果あり」「3：変化なし」「2：マイナス効果あり」「1：わからない（不明）」で、番号のみご記入ください。（ご記入例 5）

M 1		M 8		W 1		W 8		R 1		R 8		C 1	
M 2		M 9		W 2		W 9		R 2		R 9		C 2	
M 3		M10		W 3		W10		R 3		R10		C 3	
M 4		M11		W 4		W11		R 4		R11			
M 5		M12		W 5		W12		R 5		R12			
M 6		M13		W 6		W13		R 6		R13			
M 7		M14		W 7		W14		R 7		R14		例	5

問2 実験に参加された結果、マスタデータ同期化のしくみは、どのような効果が短期的（ここ2～3年）にあるとお考えでしょうか？（ご記入方法は、問1と同じ）

以下のご記入欄に「5：大きな効果あり」「4：効果あり」「3：変化なし」「2：マイナス効果あり」「1：わからない（不明）」で、番号のみご記入ください。（ご記入例 5）

M 1		M 8		W 1		W 8		R 1		R 8		C 1	
M 2		M 9		W 2		W 9		R 2		R 9		C 2	
M 3		M10		W 3		W10		R 3		R10		C 3	
M 4		M11		W 4		W11		R 4		R11			
M 5		M12		W 5		W12		R 5		R12			
M 6		M13		W 6		W13		R 6		R13			
M 7		M14		W 7		W14		R 7		R14		例	5

問3 実験に参加された結果、マスタデータ同期化のしくみは、どのような効果が中長期的（3～10年程度）にあるとお考えでしょうか？（ご記入方法は、問1と同じ）

以下のご記入欄に「5：大きな効果あり」「4：効果あり」「3：変化なし」「2：マイナス効果あり」「1：わからない（不明）」で、番号のみご記入ください。（ご記入例 5）

M 1		M 8		W 1		W 8		R 1		R 8		C 1	
M 2		M 9		W 2		W 9		R 2		R 9		C 2	
M 3		M10		W 3		W10		R 3		R10		C 3	
M 4		M11		W 4		W11		R 4		R11			
M 5		M12		W 5		W12		R 5		R12			
M 6		M13		W 6		W13		R 6		R13			
M 7		M14		W 7		W14		R 7		R14		例	5

マスタデータ同期化に対する、取り組み状況・ご意向についてお伺いいたします。

問4 マスタデータ同期化に対する、貴社内のシステム整備、ルール・体制整備について、実施事項や実施時期を整理したマスタープラン（活動計画）などを策定されましたか。

以下のご記入欄に「4：計画策定済み」「3：計画策定中」「2：今後計画する予定」「1：計画未定」で、番号のみご記入ください。

ご記入欄	
------	--

問5 マスタデータ同期化に対する、貴社内のシステム整備、体制整備について、すでに投資規模を明確にした投資計画を策定されましたか。または、投資されましたか。

以下のご記入欄に「5：投資済み」「4：投資計画済み（社内オーソライズ済み）」「3：投資計画策定中」「2：今後計画する予定」「1：計画未定」で、番号のみご記入ください。

ご記入欄	
------	--

問6 貴社内で活動計画や投資計画を計画化するために業界として、または、行政として何が必要でしょうか。または何が必要だったでしょうか。

以下のご記入欄にフリーでご記入ください。

--

問7 最後に、マスタデータ同期化のしくみづくりに対して、今後とも前向きに取り組まれるご意向でしょうか。

以下のご記入欄に「5：前向きに検討する」「4：条件付きで前向きに検討する」「3：積極的に検討しない」「2：今後は取り組みをしない方針」「1：まだ決めていない」で、番号のみご記入ください。

ご記入欄	
------	--

問7ー1 問7で「4：条件付きで前向きに検討する」とご回答された方は、何が条件となるか、ご記入ください。

以下のご記入欄にフリーでご記入ください。

--

貴社名（事務局のみ把握）	
--------------	--

ご記入いただき、誠にありがとうございました。

付属資料 5

商品マスタ項目充足性検証結果

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
						日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)			
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA				
GDSN-TEST001	情報提供者コード	データ提供者コード (informationProvider)	半	13	13	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	4	0%	17%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	12	7%	20%	20%	80%
GDSN-TEST002		データ提供者名称 (nameOfInformationProvider)		80		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	7%
GDSN-TEST003	POS用コード	POS用コード (tradeItemIdentificationForP	半	13	max13	1	0	0	6	13%	0%	0%	75%	0	1	1	5	0%	17%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	12	7%	7%	7%	80%
GDSN-TEST004	ソースマーキング種類コード	ソースマーキング種類 (barCodeType)	半	70	1	1	0	0	7	13%	0%	0%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	10	7%	7%	7%	67%
GDSN-TEST006	以前のGTIN	以前GTIN (replacedGTIN)	半	14	14	1	0	0	1	13%	0%	0%	13%	0	1	1	1	0%	17%	17%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	3	7%	7%	7%	20%
GDSN-TEST007	GPC（グローバル商品分類）コード	GPC分類カテゴリコード (classification_CategoryCode)	半	10	10	1	2	2	6	13%	25%	25%	75%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	3	3	8	7%	20%	20%	53%
GDSN-TEST008		商品分類名称 (classification_CategoryName)		10570		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST009	JICFSコード（標準分類）	JICFS分類カテゴリコード (additionalClassificationCategoryCode)	半	6	6	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	3	3	9	7%	20%	20%	60%
GDSN-TEST010		分類名称（JICFS分類名称） (additionalClassificationCategoryDescription)		70		0	1	1	0	0%	13%	13%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	7%	7%	7%
GDSN-TEST020	GTIN	GTIN (gtin)	半	14	14	1	7	6	6	13%	88%	75%	75%	0	1	1	3	0%	17%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	8	7	10	7%	53%	47%	67%
GDSN-TEST021	次下位層GTIN	次下位層GTIN (NextLowerLevelgtin)	半	14	14	1	7	6	0	13%	88%	75%	0%	0	1	1	1	0%	17%	17%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	8	7	2	7%	53%	47%	13%
GDSN-TEST022	次下位層アイテム数	子階層トレードアイテム (quantityofNextLowerLevelTradeItem)	半	6	max6	0	7	6	0	0%	88%	75%	0%	0	1	1	1	0%	17%	17%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	7	2	0%	53%	47%	13%
GDSN-TEST023	PTIH（商品階層）	PTIH（商品階層） (tradeItemUnitDescriptor)	半	70	max35	1	6	5	7	13%	75%	63%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	7	6	10	7%	47%	40%	67%
GDSN-TEST024	店頭販売単位フラグ	店頭販売単位フラグ (isTradeItemAConsumerUnit)	半		1	1	5	4	7	13%	63%	50%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	6	5	9	7%	40%	33%	60%
GDSN-TEST025	発注可能フラグ	発注可能フラグ (isTradeItemAnOrderableUnit)	半		1	0	5	4	7	0%	63%	50%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	5	9	0%	40%	33%	60%
GDSN-TEST026	物流単位フラグ	物流単位フラグ (isTradeItemADespatchUnit)	半		1	0	5	4	6	0%	63%	50%	75%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	5	8	0%	40%	33%	53%
GDSN-TEST027	決済単位フラグ	決済単位フラグ (isTradeItemAnInvoiceUnit)	半		1	0	5	4	6	0%	63%	50%	75%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	5	8	0%	40%	33%	53%
GDSN-TEST028	定貫／不定貫フラグ	不定貫フラグ（定貫／不定貫フラグ） (isTradeItemAVariableUnit)	半		1	1	1	1	5	13%	13%	13%	63%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	2	2	8	7%	13%	13%	53%
GDSN-TEST029	販売対象国コード	ターゲットマーケットコード (targetMarketCountrycode)	半	3	3	0	2	2	7	0%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	3	9	0%	20%	20%	60%
GDSN-TEST030		ターゲットマーケット名称 (targetMarketDescription)		35		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST031	販売対象地域コード	TMサブコード (targetMarketSubdivisionCode)	半	max7+max357+35（繰返し）	7	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST032	情報受領者コード	公開先GLN (pub_to_gln) (partyReceivingGLN)	半	13+80*GLN+企業名	13	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	2	0%	7%	7%	13%
GDSN-TEST033		パブリケーション日 (publicationDate)		10		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST034	メーカーコード（代表メーカーコード）	メーカーコード (brandOwnerGLN)	半	13	13	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	3	0%	17%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	11	7%	20%	20%	73%
GDSN-TEST035	メーカー名（正式メーカー名）	GLN名称表示 メーカー名（GLNより設定） (nameOfBrandOwner)	全	35	max20	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	3	0%	17%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	11	7%	20%	20%	73%
GDSN-TEST036	商品名－短縮メーカー名	商品名－短縮メーカー名 (manufacturerShortName)	全	5	max5	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST037	商品カナ名－短縮メーカー名	商品カナ名－短縮メーカー名 (manufacturerShortKanaName)	半	5	max5	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST038	ブランド名（漢字）	ブランド名（漢字） (brandName)	全	20	max20	1	1	1	7	13%	13%	13%	88%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	9	7%	7%	7%	60%
GDSN-TEST039	サブブランド名（漢字）	サブブランド名（漢字） (subBrandName)	全	20	max20	1	1	1	5	13%	13%	13%	63%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	7	7%	7%	7%	47%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST041	贈答区分	贈答区分 (isGiftTradeItemByManufactur	半		1	1	2	2	6	13%	25%	25%	75%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	2	2	7	7%	13%	13%	47%
GDSN-TEST042	商品名（漢字）	商品名（漢字） (tradeItemDescription)	全	50	max50	0	2	2	7	0%	25%	25%	88%	0	1	1	3	0%	17%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	3	3	11	0%	20%	20%	73%
GDSN-TEST043	メーカー正式商品名	メーカー正式 (tradeItemRegularDescription	全	50	max60	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST044	商品名・長	商品名・長 (tradeItemLongDescription)	全	25	max25	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	4	0%	17%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	12	7%	20%	20%	80%
GDSN-TEST045	商品名・短	商品名・短 (tradeItemShortDescription)	全	14	max14	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST046	レシート名	レシート名（receiptName）	半+全	14	max14	1	1	1	7	13%	13%	13%	88%	0	0	0	4	0%	0%	0%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	12	7%	7%	7%	80%
GDSN-TEST047	商品名一内容量名	商品名一内容量名 (tradeItemContentDescription	全	4	max4	1	1	1	7	13%	13%	13%	88%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	9	7%	7%	7%	60%
GDSN-TEST048	商品名一規格単位名	商品名一規格単位名 (tradeItemContentMeasurement Description)	全	2	max2	1	1	1	7	13%	13%	13%	88%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	9	7%	7%	7%	60%
GDSN-TEST049	商品カナ名・長	商品カナ名・長 (tradeItemLongKanaName)	半	25	max25	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	5	0%	17%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	13	7%	20%	20%	87%
GDSN-TEST050	商品カナ名・短	商品カナ名・短 (tradeItemShortKanaName)	半	14	max14	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST051	商品カナ名一内容量名	商品カナ名一内容量名 (tradeItemContentKanaDescrip tion)	半	4	max4	1	1	1	7	13%	13%	13%	88%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	9	7%	7%	7%	60%
GDSN-TEST052	商品カナ名一規格単位名	商品カナ名一規格単位名 (tradeItemContentMeasurement KanaDescription)	半	2	max2	1	1	1	7	13%	13%	13%	88%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	9	7%	7%	7%	60%
GDSN-TEST053	C F 投入量	C F 投入量 (commercialFilmAmountDescrip tion)	全	500	max500	0	0	0	1	0%	0%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	0	0	2	0%	0%	0%	13%
GDSN-TEST054	商品特徴（フル）	商品特徴（フル） (longText)	全	1000	max500	1	1	1	6	13%	13%	13%	75%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	1	1	8	7%	7%	7%	53%
GDSN-TEST055	商品特徴（概要）	商品特徴（概要） (tradeItemDescription)	全		max50	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	4	0%	17%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	12	7%	20%	20%	80%
GDSN-TEST056	商品特徴（短）	商品特徴（短） (tradeItemFeatureBenefit)	全		max25	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST057	希望小売価格区分	希望小売価格区分 (suggestedRetailPriceType)	半	20	2	1	1	1	7	13%	13%	13%	88%	0	1	1	3	0%	17%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	2	2	11	7%	13%	13%	73%
GDSN-TEST058		希望小売価格区分コード		2		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST059	希望小売価格（総額）	希望小売価格（総額） (suggestedRetailPriceTaxIncl uded)	半	21	max9	0	1	1	6	0%	13%	13%	75%	0	0	0	2	0%	0%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	1	1	9	0%	7%	7%	60%
GDSN-TEST060		通貨コード（currencyISOCode）		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST061	希望小売価格（本体）	希望小売価格（本体） (suggestedRetailPriceTaxExcl uded)	半	21	max9	1	1	1	6	13%	13%	13%	75%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	1	1	7	7%	7%	7%	47%
GDSN-TEST062		通貨コード（currencyISOCode）		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST063	税エージェンシーコード	税エージェンシーコード名称 (taxAgencyCode)	半		3	0	1	1	1	0%	13%	13%	13%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	2	3	0%	13%	13%	20%
GDSN-TEST064		税エージェンシーコード (taxAgencyCode)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST065	消費税区分	消費税区分名称 (consumptionTaxType)	半		1	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST066		消費税区分コード (consumptionTaxTypeCode)		1		0	0	0	1	0%	0%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	7%
GDSN-TEST067	消費税税率	消費税税率（taxRate）	半	3.2	max3.2	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST068	見積価格	見積価格（quotedPrice）	半	21	max9.2	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST069		通貨単位コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST070	商品画像取り込みURL	商品画像取り込みURL (fileTransmitterSystemDescr iption)	半	70	max256	0	1	1	6	0%	13%	13%	75%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	7	0%	7%	7%	47%
GDSN-TEST071	商品サイズ＜幅＞	幅（width）	半	15	max15	1	7	6	7	13%	88%	75%	88%	1	2	2	4	17%	33%	33%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	2	9	8	12	13%	60%	53%	80%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST072		寸法単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST073	商品サイズ<高さ>	高さ (height)	半	15	max15	1	7	6	7	13%	88%	75%	88%	1	2	2	4	17%	33%	33%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	2	9	8	12	13%	60%	53%	80%
GDSN-TEST074		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST075	商品サイズ<奥行>	奥行 (depth)	半	15	max15	1	7	6	7	13%	88%	75%	88%	0	2	2	4	0%	33%	33%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	9	8	12	7%	60%	53%	80%
GDSN-TEST076		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3	3	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST077	商品サイズ<直径>	直径 (diameter)	半	15	max15	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST078		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST079	フック穴位置X	フック穴位置 (x) (pegHorizontal)	半	15	max15	1	0	0	4	13%	0%	0%	50%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	4	7%	0%	0%	27%
GDSN-TEST080		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST081	フック穴位置Y	フック穴位置 (y) (pegVertical)	半	15	max15	1	0	0	4	13%	0%	0%	50%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	4	7%	0%	0%	27%
GDSN-TEST082		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST083	フック穴サイズ	フック穴サイズ (pegHoleSize)	半	15	max15	1	0	0	4	13%	0%	0%	50%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	4	7%	0%	0%	27%
GDSN-TEST084		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST085	圧縮率<幅>	圧縮率<幅> (percentageOfWidthCompression)	半	3.2	max2	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST086	圧縮率<高さ>	圧縮率<高さ> (percentageOfHeightCompression)	半	3.2	max2	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST087	圧縮率<奥行>	圧縮率<奥行> (percentageOfDepthCompression)	半	3.2	max2	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST088	重なり形式	重なり形式 名称 (pileUpForm)	半		1	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST089		重なり形式コード (pileUpFormCode)		1		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST090	重なり<幅>	重なり<幅> (pileUpWidth)	半	15	max8	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST091		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST092	重なり<高さ>	重なり<高さ> (pileUpHeight)	半	15	max8	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST093		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST094	重なり<奥行き>	重なり<奥行き> (pileUpDepth)	半	15	max8	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST095		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST096	標準サイズコード団体名	標準サイズコード団体名 名称 (sizeCodeListAgency)	全	3	max20	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST097		サイズコード管理団体コード (sizeCodeListAgency)				0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST098	標準サイズコード	標準サイズコード (sizeCodeValue)	半	20	max5	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	7%
GDSN-TEST099	サイズ名	サイズ名 名称 (descriptive size)	全		max20	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST100	標準カラーコード団体名	標準カラーコード団体名 名称 (colorCodeListAgency)	全	3	max20	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST101		色コード管理団体コード (colorCodeListAgency)				0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST102	標準カラーコード	標準カラーコード (colorCodeValue)	半	20	max5	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	7%
GDSN-TEST103	カラー名	カラー名称 (colorDescription)	全	70	max20	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST104	総重量	総重量 (grossWeight)	半	15	max15	1	6	5	6	13%	75%	63%	75%	1	2	2	3	17%	33%	33%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	2	8	7	10	13%	53%	47%	67%
GDSN-TEST105	総重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	3	3	7	0%	38%	38%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	4	4	10	0%	27%	27%	67%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST106	内容量	内容量 (netContent)	半	15	max12.2	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	3	0%	17%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	11	7%	20%	20%	73%
GDSN-TEST107	内容量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	3	0%	17%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	11	7%	20%	20%	73%
GDSN-TEST108	ユニット容量	ユニット容量 (measurementValue)	半	15	max15	1	1	1	4	13%	13%	13%	50%	0	0	0	2	0%	0%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	1	1	6	7%	7%	7%	40%
GDSN-TEST109	ユニット単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	1	1	1	4	13%	13%	13%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	1	1	5	7%	7%	7%	33%
GDSN-TEST110	容器形態コード (外装容器形態)	外装容器形態 名称 (packagingType)	半	35	3	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	10	7%	20%	20%	67%
GDSN-TEST111		外装形態コード (packagingTypeCode)		35		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST112	容器素材の区分	容器素材の区分 名称 (packagingMaterial)	半	35	3	1	0	0	4	13%	0%	0%	50%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	4	7%	0%	0%	27%
GDSN-TEST113		容器素材コード (packagingMaterialCode)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST114	容器素材重量	容器素材重量 (packagingMaterialCompositionQuantity)	半	15	max5.2	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST115	容器素材重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	1	0	0	0	13%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	0	7%	0%	0%	0%
GDSN-TEST116	品質保証期間値	品質保証期間値 (minimumTradeItemLifeSpanfromTimeOfProduction)	半	15	max5	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	0	0	4	7%	0%	0%	27%
GDSN-TEST117		時間単位コード		3		0	0	0	3	0%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	3	0%	0%	0%	20%
GDSN-TEST126	メーカー発売日	メーカー発売日 (consumerAvailabilityDateTim	半	15	8	1	0	0	5	13%	0%	0%	63%	0	0	0	2	0%	0%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	0	0	8	7%	0%	0%	53%
GDSN-TEST127	メーカー終売日	メーカー終売日 (endAvailabilityDateTime)	半	15	8	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	4	7%	0%	0%	27%
GDSN-TEST141	原単価(総額)	原単価 (総額) (costPriceTaxIncluded.)	半	21	max9.2	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	6	0%	17%	17%	100%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	1	1	7	0%	7%	7%	47%
GDSN-TEST142		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST143	原単価(本体)	原単価 (本体) (costPriceTaxExcluded)	半	21	max9.2	1	0	0	0	13%	0%	0%	0%	0	1	1	5	0%	17%	17%	83%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	1	1	5	7%	7%	7%	33%
GDSN-TEST144		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST196	パレット段数	パレット段数 (quantityOfLayersPerPallet)	半	6	max15	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	0	17%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	0	7%	0%	0%	0%
GDSN-TEST197	ハイ組 (パレット面ケース数)	ハイ組 (パレット面ケース数) (quantityOfTradeItemPerPalletLayer)	半	15	max15	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	0	17%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	0	7%	0%	0%	0%
GDSN-TEST198	使用パレット種類	使用パレット種類 名称 (palletType)	半		max3	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST199		パレットタイプコード (palletTypeCode)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST200	メーカーパレット才数	メーカーパレット才数 (manufacturerPalletSaisu)	半	15	max15	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	0	17%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	0	7%	0%	0%	0%
GDSN-TEST201	取扱最高温度 (℃) (メーカー)	取扱最高温度 (℃) (メーカー) (handlingTemperatureMaximumByManufacturer)	半	15	+−4	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST202		温度単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST203	取扱最低温度 (℃) (メーカー)	取扱最低温度 (℃) (メーカー) (handlingTemperatureMinimumByManufacturer)	半	15	+−4	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST204		温度単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST205	取扱最高温度 (℃) (卸)	取扱最高温度 (℃) (卸) (handlingTemperatureMaximumByWholesaler)	半	15	+−4	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST206		取扱最高温度 (℃) (卸)_単位 (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST207	取扱最低温度 (℃) (卸)	取扱最低温度 (℃) (卸) (handlingTemperatureMinimumByWholesaler)	半	15	+−4	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST208		取扱最低温度 (℃) (卸)_単位 (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)				日雑実験使用項目 (回答数)				日雑実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST213	温度帯区分	温度帯区分名称	半	20	1	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST214		温度帯区分コード (temperateZone)		1		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST215	原産国コード	原産国コード (CountryOfOrigincode)	半	3+35 繰返し	3	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	4	7%	0%	0%	27%
GDSN-TEST216		原産国 名称 (nameofCountryofOrigin)		3+35 繰返し		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST217	アルコール度数	アルコール度数 (percentageOfAlcoholByVolume)	半	3.2	2.1	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST218	酒類分類	酒類分類 (LiquorClassificationForTax)	半		4	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST219		酒類分類コード (LiquorClassificationForTaxCode)		4		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST220	栄養成分表示単位	栄養成分表示単位 (displayUnitOfNutritiousSubstance)	全	40	max40	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST221	カロリー	カロリー (quantityOfCalorie)	半	15	max5	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST222		エネルギー単位コード		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST223	タンパク質	タンパク質 (quantityOfProtein)	半	15	max5.3	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST224		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST225	脂質	脂質 (quantityOfLipid)	半	15	max5.3	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST226		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST227	炭水化物	炭水化物 (quantityOfCarbohydrate)	半	15	max5.3	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST228		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST229	ナトリウム	ナトリウム (quantityOfSodium)	半	15	max5.3	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST230		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
GDSN-TEST231	栄養成分強調表示	栄養成分強調表示 (nutrientInformation)	全	400	max400	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST232	原材料表示	原材料表示 (rawMaterialInformation)	全	1200	max1200	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST233	主たる原材料の原産国	主たる原材料の原産国 (mainCountryOfRawMaterial)	全	200	200	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST234	遺伝子組換え区分	遺伝子組換え区分 (isTradeItemGeneticallyModified)	半		1	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST235	取り扱い注意（危険物等）区分	取り扱い注意（危険物等）区分 (isTradeItemDangerousGoods)	半		1	1	0	0	3	13%	0%	0%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	0	0	3	7%	0%	0%	20%
GDSN-TEST236	情報公開可能日（一斉公開日）	パブリケーション日 (publicationDate)	半	10	8	1	2	2	7	13%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1	3	3	9	7%	20%	20%	60%
GDSN-TEST237	マスタ有効日	マスタ有効日 (effectiveDate)	半	10	8	0	2	2	7	0%	25%	25%	88%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	3	9	0%	20%	20%	60%
GDSN-TEST238	最終更新日（システム日付）	最終更新日 (lastChangeDateTime)		15		0	1	1	6	0%	13%	13%	75%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	6	0%	7%	7%	40%
GDSN-TEST239		商品停止日付 (discontinuedDate)		8		0	0	0	1	0%	0%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	7%
GDSN-TEST240		変更理由内容 (modifiedDescription)		1000		0	0	0	1	0%	0%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	0	0	2	0%	0%	0%	13%
GDSN-TEST241	ITFコード	ITFコード (itfCode)	半	16	max16	0	1	1	0	0%	13%	13%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	1	1	2	0%	7%	7%	13%
GDSN-TEST242	最下層GTIN	最下層GTIN (isTradeItemABaseUnit)	半		1	1	2	2	2	13%	25%	25%	25%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	1	3	3	5	7%	20%	20%	33%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計										卸小計										小売小計										合計									
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換 (回 数)	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム 変換 (回 数)	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換 (回 数)	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム 変換 (回 数)	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換 (回 数)	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム 変換 (回 数)										
						PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA						
GDSN - TEST	情報提供者コード	データ提供者コード (informationProvider)	半	13	13	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	17%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	1	0%	7%	0%	13%	7%
GDSN - TEST		データ提供者名称 (nameOfInformationProvider)		80		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	POS用コード	POS用コード (tradeItemIdentificationForPOS)	半	13	max13	1	1	0	5	0	14%	14%	0%	71%	0%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	1	1	0	10	0	7%	7%	0%	67%	0%
GDSN - TEST	ソースマーキング種類コード	ソースマーキング種類 (barCodeType)	半	70	1	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	1	0	3	0	0%	7%	0%	20%	0%
GDSN - TEST	以前のGTIN	以前GTIN (replacedGTIN)	半	14	14	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	GPC（グローバル商品分類）コード	GPC分類カテゴリコード (classificationCategoryCode)	半	10	10	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		商品分類名称 (classificationCategoryName)		10570		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	JICFSコード（標準分類）	JICFS分類カテゴリコード (additionalClassificationCategoryCode)	半	6	6	1	1	1	2	0	14%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	1	1	3	0	7%	7%	7%	20%	0%
GDSN - TEST		分類名称（JICFS分類名称） (additionalClassificationCategoryDescription)		70		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	GTIN	GTIN (gtin)	半	14	14	1	2	0	3	0	14%	29%	0%	43%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	17%	17%	0	1	0	2	0	0%	50%	0%	100%	0%	1	3	0	6	1	7%	20%	0%	40%	7%
GDSN - TEST	次下位層GTIN	次下位層GTIN (NextLowerLevelgtin)	半	14	14	1	3	1	1	0	14%	43%	14%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	1	3	1	1	0	7%	20%	7%	7%	0%
GDSN - TEST	次下位層アイテム数	子階層トレードアイテム (quantityofNextLowerLevelTradeItem)	半	6	max6	1	3	1	1	0	14%	43%	14%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	1	0	0	0%	50%	50%	0%	0%	1	4	2	1	0	7%	27%	13%	7%	0%
GDSN - TEST	PTIH（商品階層）	PTIH（商品階層） (tradeItemUnitDescriptor)	半	70	max35	0	3	2	3	0	0%	43%	29%	43%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	2	3	0	0%	20%	13%	20%	0%
GDSN - TEST	店頭販売単位フラグ	店頭販売単位フラグ (isTradeItemAConsumerUnit)	半		1	1	1	0	2	0	14%	14%	0%	29%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	1	1	0	2	0	7%	7%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	発注可能フラグ	発注可能フラグ (isTradeItemAnOrderableUnit)	半		1	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	0	0%	7%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	物流単位フラグ	物流単位フラグ (isTradeItemADespatchUnit)	半		1	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0	0%	7%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	決済単位フラグ	決済単位フラグ (isTradeItemAnInvoiceUnit)	半		1	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0	0%	7%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	定貫／不定貫フラグ	不定貫フラグ（定貫／不定貫フラグ） (isTradeItemAVariableUnit)	半		1	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	販売対象国コード*	ターゲットマーケットコード (targetMarketCountrycode)	半	3	3	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0	0%	7%	0%	7%	0%
GDSN - TEST		ターゲットマーケット名称 (targetMarketDescription)		35		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST031	販売対象地域コード*	TMサブコード (targetMarketSubdivisionCode)	半	max7+max357+35（繰返し）	7	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0	0%	7%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	情報受領者コード*	公開先GLN (pub_to_gln) (partyReceivingGLN)	半	13+80*GLN+企業名	13	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	17%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	7%	7%
GDSN - TEST		パブリケーション日 (publicationDate)		10		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	メーカーコード（代表メーカーコード）	メーカーコード (brandOwnerGLN)	半	13	13	1	1	1	2	0	14%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	4	1	0%	0%	0%	67%	17%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	1	1	7	1	7%	7%	7%	47%	7%
GDSN - TEST	メーカー名（正式メーカー名）	GLN名称表示 メーカー名（GLNより設定） (nameOfBrandOwner)	全	35	max20	1	0	0	1	0	14%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	0	0	4	0	7%	0%	0%	27%	0%
GDSN - TEST	商品名－短縮メーカー名	商品名－短縮メーカー名 (manufacturerShortName)	全	5	max5	1	1	1	1	0	14%	14%	14%	14%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	1	1	1	5	0	7%	7%	7%	33%	0%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計										卸小計										小売小計										合計									
serial	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)					社内システム変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)					社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)					社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (%)					社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)					社内システム変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)					社内システム				
GDSN - TEST	商品カナ名ー短縮メーカー名	商品カナ名ー短縮メーカー名 (manufacturerShortKanaName)	半	5	max5	1	1	1	2	0	14%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	1	1	6	0	7%	7%	7%	40%	0%
GDSN - TEST	ブランド名(漢字)	ブランド名(漢字) (brandName)	全	20	max20	0	1	1	1	0	0%	14%	14%	14%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	1	1	4	0	0%	7%	7%	27%	0%
GDSN - TEST	サブブランド名(漢字)	サブブランド名(漢字) (subBrandName)	全	20	max20	0	1	1	1	0	0%	14%	14%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0	0%	7%	7%	7%	0%
GDSN - TEST	贈答区分	贈答区分 (isGiftTradeItemByManufacturer)	半		1	0	1	1	1	0	0%	14%	14%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	1	1	2	0	0%	7%	7%	13%	0%
GDSN - TEST	商品名(漢字)	商品名(漢字) (tradeItemDescription)	全	50	max50	0	1	1	3	0	0%	14%	14%	43%	0%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	1	1	8	1	0%	7%	7%	53%	7%
GDSN - TEST	メーカー正式商品名	メーカー正式 (tradeItemRegularDescription)	全	50	max60	0	1	1	2	0	0%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	1	1	5	1	0%	7%	7%	33%	7%
GDSN - TEST	商品名・長	商品名・長 (tradeItemLongDescription)	全	25	max25	1	2	2	5	0	14%	29%	29%	71%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	33%	17%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	2	2	8	1	7%	13%	13%	53%	7%
GDSN - TEST	商品名・短	商品名・短 (tradeItemShortDescription)	全	14	max14	1	1	1	3	0	14%	14%	14%	43%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	1	1	1	6	0	7%	7%	7%	40%	0%
GDSN - TEST	レシート名	レシート名 (receiptName)	半+全	14	max14	1	0	0	1	0	14%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	0	0	3	0	7%	0%	0%	20%	0%
GDSN - TEST	商品名ー内容量名	商品名ー内容量名 (tradeItemContentDescription)	全	4	max4	1	1	1	3	0	14%	14%	14%	43%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	1	1	1	6	1	7%	7%	7%	40%	7%
GDSN - TEST	商品名ー規格単位名	商品名ー規格単位名 (tradeItemContentMeasurementDescription)	全	2	max2	1	1	1	3	0	14%	14%	14%	43%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	1	1	1	6	1	7%	7%	7%	40%	7%
GDSN - TEST	商品カナ名・長	商品カナ名・長 (tradeItemLongKanaName)	半	25	max25	1	2	2	5	0	14%	29%	29%	71%	0%	0	0	0	4	1	0%	0%	0%	67%	17%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	2	2	10	1	7%	13%	13%	67%	7%
GDSN - TEST	商品カナ名・短	商品カナ名・短 (tradeItemShortKanaName)	半	14	max14	1	1	1	3	0	14%	14%	14%	43%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	1	1	1	6	0	7%	7%	7%	40%	0%
GDSN - TEST	商品カナ名ー内容量名	商品カナ名ー内容量名 (tradeItemContentKanaDescription)	半	4	max4	0	1	1	6	0	0%	14%	14%	86%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	1	1	8	1	0%	7%	7%	53%	7%
GDSN - TEST	商品カナ名ー規格単位名	商品カナ名ー規格単位名 (tradeItemContentMeasurementKanaDescription)	半	2	max2	0	1	1	6	0	0%	14%	14%	86%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	1	1	8	1	0%	7%	7%	53%	7%
GDSN - TEST	C F投入量	C F投入量 (commercialFilmAmountDescription)	全	500	max500	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	商品特徴(フル)	商品特徴(フル) (longText)	全	1000	max500	0	1	1	2	0	0%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	1	1	5	0	0%	7%	7%	33%	0%
GDSN - TEST	商品特徴(概要)	商品特徴(概要) (tradeItemDescription)	全		max50	0	2	2	2	0	0%	29%	29%	29%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	2	3	0	0%	13%	13%	20%	0%
GDSN - TEST	商品特徴(短)	商品特徴(短) (tradeItemFeatureBenefit)	全		max25	0	1	1	1	0	0%	14%	14%	14%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	17%	17%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	1	1	3	1	0%	7%	7%	20%	7%
GDSN - TEST	希望小売価格区分	希望小売価格区分 (suggestedRetailPriceType)	半	20	2	1	1	1	2	0	14%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	1	1	3	0	7%	7%	7%	20%	0%
GDSN - TEST		希望小売価格区分コード		2		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	希望小売価格(総額)	希望小売価格(総額) (suggestedRetailPriceTaxIncluded)	半	21	max9	0	1	1	2	0	0%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	1	1	3	0	0%	7%	7%	20%	0%
GDSN - TEST		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	希望小売価格(本体)	希望小売価格(本体) (suggestedRetailPriceTaxExcluded)	半	21	max9	1	1	1	5	0	14%	14%	14%	71%	0%	0	0	0	4	0	0%	0%	0%	67%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	1	1	1	9	0	7%	7%	7%	60%	0%
GDSN - TEST		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	税エージェンシーコード	税エージェンシーコード名称 (taxAgencyCode)	半		3	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		税エージェンシーコード (taxAgencyCode)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%

商品マスタ一項目充足性検証結果（日雑・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計									卸小計										小売小計										合計										
serial	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 システ ム変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 システ ム変換	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 システ ム変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 システ ム変換	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 システ ム変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 システ ム変換	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 システ ム変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 システ ム変換
GDSN - TEST	消費税区分	消費税区分名称 (consumptionTaxType)	半		1	1	1	2	0	14%	14%	14%	29%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	1	1	1	6	0	7%	7%	7%	40%	0%	
GDSN - TEST		消費税区分コード (consumptionTaxTypeCode)		1		0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	17%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	13%	7%
GDSN - TEST	消費税税率	消費税税率 (taxRate)	半	3.2	max3.2	1	0	0	0	0	14%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	0	0	2	0	7%	0%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	見積価格	見積価格 (quotedPrice)	半	21	max9.2	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%
GDSN - TEST		通貨単位コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	商品画像取り込みURL	商品画像取り込みURL (fileTransmitterSystemDescription)	半	70	max256	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	50%	50%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	13%	7%
GDSN - TEST	商品サイズ<幅>	幅 (width)	半	15	max15	1	5	3	6	0	14%	71%	43%	86%	0%	1	2	1	4	0	17%	33%	17%	67%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	2	7	4	12	1	13%	47%	27%	80%	7%
GDSN - TEST		寸法単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	商品サイズ<高さ>	高さ (height)	半	15	max15	2	5	3	6	0	29%	71%	43%	86%	0%	1	2	1	4	0	17%	33%	17%	67%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	3	7	4	12	1	20%	47%	27%	80%	7%
GDSN - TEST		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	商品サイズ<奥行>	奥行 (depth)	半	15	max15	1	5	3	6	0	14%	71%	43%	86%	0%	0	2	1	4	0	0%	33%	17%	67%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	1	7	4	12	1	7%	47%	27%	80%	7%
GDSN - TEST		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3	3	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	商品サイズ<直径>	直径 (diameter)	半	15	max15																																								

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計										卸小計										小売小計										合計									
serial	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム
GDSN - TEST	重なり<高さ>	重なり<高さ> (pileUpHeight)	半	15	max8	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	重なり<奥行き>	重なり<奥行き> (pileUpDepth)	半	15	max8	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	標準サイズコード団体名	標準サイズコード団体名 名称 (sizeCodeListAgency)	全	3	max20	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		サイズコード管理団体コード (sizeCodeListAgency)				0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	標準サイズコード	標準サイズコード (sizeCodeValue)	半	20	max5	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	サイズ名	サイズ名 名称(descriptive size)	全		max20	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	標準カラーコード団体名	標準カラーコード団体名 名称 (colorCodeListAgency)	全	3	max20	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		色コード管理団体コード (colorCodeListAgency)				0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	標準カラーコード	標準カラーコード (colorCodeValue)	半	20	max5	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	カラー名	カラー名称 (colorDescription)	全	70	max20	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	総重量	総重量 (grossWeight)	半	15	max15	2	5	1	4	0	29%	71%	14%	57%	0%	1	2	1	4	0	17%	33%	17%	67%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	3	7	2	9	0	20%	47%	13%	60%	0%
GDSN - TEST	総重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	2	1	2	1	0%	29%	14%	29%	14%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	2	1	3	1	0%	13%	7%	20%	7%
GDSN - TEST	内容量	内容量 (netContent)	半	15	max12.2	0	3	2	6	0	0%	43%	29%	86%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	3	2	10	0	0%	20%	13%	67%	0%
GDSN - TEST	内容量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	2	1	5	0	0%	29%	14%	71%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	2	1	9	0	0%	13%	7%	60%	0%
GDSN - TEST	ユニット容量	ユニット容量 (measurementValue)	半	15	max15	0	1	1	1	0	0%	14%	14%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	1	1	3	1	0%	7%	7%	20%	7%
GDSN - TEST	ユニット単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	1	1	1	0	0%	14%	14%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	1	1	3	1	0%	7%	7%	20%	7%
GDSN - TEST	容器形態コード (外装容器形態)	外装容器形態 名称 (packagingType)	半	35	3	0	2	2	3	0	0%	29%	29%	43%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	2	2	5	1	0%	13%	13%	33%	7%
GDSN - TEST		外装形態コード (packagingTypeCode)		35		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	容器素材の区分	容器素材の区分 名称 (packagingMaterial)	半	35	3	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		容器素材コード (packagingMaterialCode)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	容器素材重量	容器素材重量 (packagingMaterialCompositionQuantity)	半	15	max5.2	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0	0%	7%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	容器素材重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	1	0	1	0	0%	14%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0	0%	7%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	品質保証期間値	品質保証期間値 (minimumTradeItemLifeSpanfromTimeOfProduction)	半	15	max5	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	20%	0%
GDSN - TEST		時間単位コード		3		0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	メーカー発売日	メーカー発売日 (consumerAvailabilityDateTime)	半	15	8	1	0	0	5	0	14%	0%	0%	71%	0%	0	0	0	4	0	0%	0%	0%	67%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	1	0	0	11	0	7%	0%	0%	73%	0%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計															
serial	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内システム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内システム
GDSN - TEST	メーカー終売日	メーカー終売日 (endAvailabilityDateTime)	半	15	8	1	0	0	0	0	14%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	0	0	4	0	7%	0%	0%	27%	0%
GDSN - TEST	原単価(総額)	原単価(総額) (costPriceTaxIncluded)	半	21	max9.2	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	0	0	4	0	0%	0%	0%	27%	0%
GDSN - TEST		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	原単価(本体)	原単価(本体) (costPriceTaxExcluded)	半	21	max9.2	1	0	0	1	0	14%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	4	0	0%	0%	0%	67%	0%	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	50%	1	0	0	5	1	7%	0%	0%	33%	7%
GDSN - TEST		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	パレット段数	パレット段数 (quantityOfLayersPerPallet)	半	6	max15	0	1	0	0	0	0%	14%	0%	0%	0%	1	0	0	1	0	17%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	1	0	2	0	7%	7%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	ハイ組 (パレット面ケース数)	ハイ組(パレット面ケース数) (quantityOfTradeItemPerPalletLayer)	半	15	max15	0	1	0	0	0	0%	14%	0%	0%	0%	1	0	0	1	0	17%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	1	0	2	0	7%	7%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	使用パレット種類	使用パレット種類 名称 (palletType)	半		max3	0	1	0	0	0	0%	14%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	1	0	1	0	0%	7%	0%	7%	0%
GDSN - TEST		パレットタイプコード (palletTypeCode)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	メーカーパレットオ数	メーカーパレットオ数 (manufacturerPalletSaisu)	半	15	max15	0	2	0	0	0	0%	29%	0%	0%	0%	1	0	0	1	0	17%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	1	2	0	2	0	7%	13%	0%	13%	0%
GDSN - TEST	取扱最高温度(℃)(メーカー)	取扱最高温度(℃)(メーカー) (handlingTemperatureMaximumByManufacturer)	半	15	+-4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		温度単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	取扱最低温度(℃)(メーカー)	取扱最低温度(℃)(メーカー) (handlingTemperatureMinimumByManufacturer)	半	15	+-4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		温度単位コード (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	取扱最高温度(℃)(卸)	取扱最高温度(℃)(卸) (handlingTemperatureMaximumByWholesaler)	半	15	+-4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		取扱最高温度(℃)(卸)_単位 (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	取扱最低温度(℃)(卸)	取扱最低温度(℃)(卸) (handlingTemperatureMinimumByWholesaler)	半	15	+-4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		取扱最低温度(℃)(卸)_単位 (unitOfMeasure)		3		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	温度帯区分	温度帯区分名称	半	20	1	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%
GDSN - TEST		温度帯区分コード (temperateZone)		1		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	原産国コード	原産国コード (CountryOfOrigincode)	半	3+35 繰返し	3	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	29%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	20%	0%
GDSN - TEST		原産国 名称 (nameOfCountryofOrigin)		3+35 繰返し		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	アルコール度数	アルコール度数 (percentageOfAlcoholByVolume)	半	3.2	2.1	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	酒類分類	酒類分類 (liquorClassificationForTax)	半		4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST		酒類分類コード (liquorClassificationForTaxCode)		4		0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
GDSN - TEST	栄養成分表示単位	栄養成分表示単位 (displayUnitOfNutritiousSubstance)	全	40	max40	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%
GDSN - TEST	カロリー	カロリー (quantityOfCalorie)	半	15	max5	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	14%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	7%	0%

商品マスター項目充足性検証結果（日雑・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
serial GDSN - TEST	項目名	システム項目名 (英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム	日雑自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換	日雑自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

商品マスター項目充足性検証結果（食品・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名（英名） （一部Schemaと別英語表記あり）	半or全	桁数	項目桁数	食品実験使用項目 （回答数）				食品実験使用項目 （％）				食品実験使用項目 （回答数）				食品実験使用項目 （％）				食品実験使用項目 （回答数）				食品実験使用項目 （％）				食品実験使用項目 （回答数）				食品実験使用項目 （％）			
						PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA	PL	CA	PK	EA
GDSN-TEST001	情報提供者コード	データ提供者コード (informationProvider)	半	13	13	0	13	6	14	0%	81%	38%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	18	7	20	0%	78%	30%	87%
GDSN-TEST002		データ提供者名称 (nameOfInformationProvider)		80		0	7	4	8	0%	44%	25%	50%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	8	4	9	0%	35%	17%	39%
GDSN-TEST003	POS用コード	POS用コード (tradeItemIdentificationForP	半	13	max13	0	10	3	14	0%	63%	19%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	15	4	20	0%	65%	17%	87%
GDSN-TEST004	ソースマーキング種類コード	ソースマーキング種類 (barCodeType)	半	70	1	0	12	4	15	0%	75%	25%	94%	0	2	1	2	0%	33%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	14	5	18	0%	61%	22%	78%
GDSN-TEST006	以前のGTIN	以前GTIN (replacedGTIN)	半	14	14	0	2	1	3	0%	13%	6%	19%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	3	0%	9%	4%	13%
GDSN-TEST007	GPC（グローバル商品分類）コード	GPC分類カテゴリコード (classification_CategoryCode)	半	10	10	0	8	4	9	0%	50%	25%	56%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	10	4	12	0%	43%	17%	52%
GDSN-TEST008		商品分類名称 (classification_CategoryName)		10570		0	3	2	3	0%	19%	13%	19%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	4	2	4	0%	17%	9%	17%
GDSN-TEST009	JICFSコード（標準分類）	JICFS分類カテゴリコード (additionalClassificationCategoryCode)	半	6	6	0	13	6	13	0%	81%	38%	81%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	17	7	18	0%	74%	30%	78%
GDSN-TEST010		分類名称（JICFS分類名称） (additionalClassificationCategoryDescription)		70		0	6	3	6	0%	38%	19%	38%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	3	6	0%	26%	13%	26%
GDSN-TEST020	GTIN	GTIN (gtin)	半	14	14	0	11	4	13	0%	69%	25%	81%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	16	5	18	0%	70%	22%	78%
GDSN-TEST021	次下位層GTIN	次下位層GTIN (NextLowerLevelgtin)	半	14	14	0	13	6	5	0%	81%	38%	31%	0	3	0	2	0%	50%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	16	6	7	0%	70%	26%	30%
GDSN-TEST022	次下位層アイテム数	子階層トレードアイテム (quantityofNextLowerLevelTradeItem)	半	6	max6	0	11	5	4	0%	69%	31%	25%	0	3	1	2	0%	50%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	14	6	6	0%	61%	26%	26%
GDSN-TEST023	PTIH（商品階層）	PTIH（商品階層） (tradeItemUnitDescriptor)	半	70	max35	0	12	6	14	0%	75%	38%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	17	7	19	0%	74%	30%	83%
GDSN-TEST024	店頭販売単位フラグ	店頭販売単位フラグ (isTradeItemAConsumerUnit)	半		1	0	12	6	14	0%	75%	38%	88%	0	3	0	3	0%	50%	0%	50%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	15	6	17	0%	65%	26%	74%
GDSN-TEST025	発注可能フラグ	発注可能フラグ (isTradeItemAnOrderableUnit)	半		1	0	12	6	14	0%	75%	38%	88%	0	4	0	4	0%	67%	0%	67%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	16	6	18	0%	70%	26%	78%
GDSN-TEST026	物流単位フラグ	物流単位フラグ (isTradeItemADespatchUnit)	半		1	0	12	5	14	0%	75%	31%	88%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	14	5	16	0%	61%	22%	70%
GDSN-TEST027	決済単位フラグ	決済単位フラグ (isTradeItemAnInvoiceUnit)	半		1	0	13	6	14	0%	81%	38%	88%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	15	6	16	0%	65%	26%	70%
GDSN-TEST028	定貫／不定貫フラグ	不定貫フラグ（定貫／不定貫フラグ） (isTradeItemAVariableUnit)	半		1	0	9	4	11	0%	56%	25%	69%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	14	5	16	0%	61%	22%	70%
GDSN-TEST029	販売対象国コード	ターゲットマーケットコード (targetMarketCountrycode)	半	3	3	0	11	5	13	0%	69%	31%	81%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	16	6	18	0%	70%	26%	78%
GDSN-TEST030		ターゲットマーケット名称 (targetMarketDescription)		35		0	2	2	5	0%	13%	13%	31%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	2	6	0%	13%	9%	26%
GDSN-TEST031	販売対象地域コード	TMサブコード (targetMarketSubdivisionCode)	半	max7+max357+35（繰返し）	7	0	4	2	4	0%	25%	13%	25%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	5	2	5	0%	22%	9%	22%
GDSN-TEST032	情報受領者コード	公開先GLN (pub_to_gln) (partyReceivingGLN)	半	13+80*GLN+企業名	13	0	3	1	4	0%	19%	6%	25%	0	3	0	3	0%	50%	0%	50%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	1	7	0%	26%	4%	30%
GDSN-TEST033		パブリケーション日 (publicationDate)		10		0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	1	3	0%	13%	4%	13%
GDSN-TEST034	メーカーコード（代表メーカーコード）	メーカーコード (brandOwnerGLN)	半	13	13	0	11	6	13	0%	69%	38%	81%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	15	7	18	0%	65%	30%	78%
GDSN-TEST035	メーカー名（正式メーカー名）	GLN名称表示 メーカー名（GLNより設定） (nameOfBrandOwner)	全	35	max20	0	11	6	13	0%	69%	38%	81%	0	3	1	3	0%	50%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	14	7	17	0%	61%	30%	74%
GDSN-TEST036	商品名－短縮メーカー名	商品名－短縮メーカー名 (manufacturerShortName)	全	5	max5	0	11	5	14	0%	69%	31%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	16	6	20	0%	70%	26%	87%
GDSN-TEST037	商品カナ名－短縮メーカー名	商品カナ名－短縮メーカー名 (manufacturerShortKanaName)	半	5	max5	0	9	5	12	0%	56%	31%	75%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	13	6	17	0%	57%	26%	74%
GDSN-TEST038	ブランド名（漢字）	ブランド名（漢字） (brandName)	全	20	max20	0	8	4	11	0%	50%	25%	69%	0	3	1	3	0%	50%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	11	5	15	0%	48%	22%	65%
GDSN-TEST039	サブブランド名（漢字）	サブブランド名（漢字） (subBrandName)	全	20	max20	0	4	2	6	0%	25%	13%	38%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	2	8	0%	26%	9%	35%

商品マスター項目充足性検証結果（食品・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST041	贈答区分	贈答区分 (isGiftTradeItemByManufactur	半		1	0	8	4	11	0%	50%	25%	69%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	10	4	13	0%	43%	17%	57%
GDSN-TEST042	商品名（漢字）	商品名（漢字） (tradeItemDescription)	全	50	max50	0	11	6	13	0%	69%	38%	81%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	16	7	19	0%	70%	30%	83%
GDSN-TEST043	メーカー正式商品名	メーカー正式 (tradeItemRegularDescription	全	50	max60	0	11	6	14	0%	69%	38%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	16	7	20	0%	70%	30%	87%
GDSN-TEST044	商品名・長	商品名・長 (tradeItemLongDescription)	全	25	max25	0	11	6	13	0%	69%	38%	81%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	16	7	19	0%	70%	30%	83%
GDSN-TEST045	商品名・短	商品名・短 (tradeItemShortDescription)	全	14	max14	0	10	5	14	0%	63%	31%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	15	6	20	0%	65%	26%	87%
GDSN-TEST046	レシート名	レシート名（receiptName）	半+全	14	max14	0	9	5	13	0%	56%	31%	81%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	13	6	18	0%	57%	26%	78%
GDSN-TEST047	商品名一内容量名	商品名一内容量名 (tradeItemContentDescription	全	4	max4	0	8	5	11	0%	50%	31%	69%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	5	12	0%	35%	22%	52%
GDSN-TEST048	商品名一規格単位名	商品名一規格単位名 (tradeItemContentMeasurement Description)	全	2	max2	0	8	5	10	0%	50%	31%	63%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	5	11	0%	35%	22%	48%
GDSN-TEST049	商品カナ名・長	商品カナ名・長 (tradeItemLongKanaName)	半	25	max25	0	12	6	14	0%	75%	38%	88%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	16	7	19	0%	70%	30%	83%
GDSN-TEST050	商品カナ名・短	商品カナ名・短 (tradeItemShortKanaName)	半	14	max14	0	11	5	14	0%	69%	31%	88%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	15	6	19	0%	65%	26%	83%
GDSN-TEST051	商品カナ名一内容量名	商品カナ名一内容量名 (tradeItemContentKanaDescrip tion)	半	4	max4	0	9	5	12	0%	56%	31%	75%	0	2	1	2	0%	33%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	11	6	15	0%	48%	26%	65%
GDSN-TEST052	商品カナ名一規格単位名	商品カナ名一規格単位名 (tradeItemContentMeasurement KanaDescription)	半	2	max2	0	9	5	11	0%	56%	31%	69%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	10	5	13	0%	43%	22%	57%
GDSN-TEST053	C F 投入量	C F 投入量 (commercialFilmAmountDescrip tion)	全	500	max500	0	1	1	2	0%	6%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	2	0%	4%	4%	9%
GDSN-TEST054	商品特徴（フル）	商品特徴（フル） (longText)	全	1000	max500	0	10	5	11	0%	63%	31%	69%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	11	5	13	0%	48%	22%	57%
GDSN-TEST055	商品特徴（概要）	商品特徴（概要） (tradeItemDescription)	全		max50	0	10	5	13	0%	63%	31%	81%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	14	6	18	0%	61%	26%	78%
GDSN-TEST056	商品特徴（短）	商品特徴（短） (tradeItemFeatureBenefit)	全		max25	0	10	5	13	0%	63%	31%	81%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	12	5	16	0%	52%	22%	70%
GDSN-TEST057	希望小売価格区分	希望小売価格区分 (suggestedRetailPriceType)	半	20	2	0	9	4	13	0%	56%	25%	81%	0	4	1	4	0%	67%	17%	67%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	13	5	17	0%	57%	22%	74%
GDSN-TEST058		希望小売価格区分コード		2		0	4	3	6	0%	25%	19%	38%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	5	3	7	0%	22%	13%	30%
GDSN-TEST059	希望小売価格（総額）	希望小売価格（総額） (suggestedRetailPriceTaxIncl uded)	半	21	max9	0	7	3	12	0%	44%	19%	75%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	12	4	17	0%	52%	17%	74%
GDSN-TEST060		通貨コード（currencyISOCode）		3		0	3	2	5	0%	19%	13%	31%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	5	2	7	0%	22%	9%	30%
GDSN-TEST061	希望小売価格（本体）	希望小売価格（本体） (suggestedRetailPriceTaxExcl uded)	半	21	max9	0	9	5	13	0%	56%	31%	81%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	11	5	15	0%	48%	22%	65%
GDSN-TEST062		通貨コード（currencyISOCode）		3		0	4	4	5	0%	25%	25%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	4	4	5	0%	17%	17%	22%
GDSN-TEST063	税エージェンシーコード	税エージェンシーコード名称 (taxAgencyCode)	半		3	0	4	3	7	0%	25%	19%	44%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	3	9	0%	22%	13%	39%
GDSN-TEST064		税エージェンシーコード (taxAgencyCode)		3		0	2	2	3	0%	13%	13%	19%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	2	3	0%	9%	9%	13%
GDSN-TEST065	消費税区分	消費税区分名称 (consumptionTaxType)	半		1	0	10	5	13	0%	63%	31%	81%	0	3	0	3	0%	50%	0%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	13	5	17	0%	57%	22%	74%
GDSN-TEST066		消費税区分コード (consumptionTaxTypeCode)		1		0	5	4	6	0%	31%	25%	38%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	4	7	0%	26%	17%	30%
GDSN-TEST067	消費税税率	消費税税率（taxRate）	半	3.2	max3.2	0	9	4	12	0%	56%	25%	75%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	11	4	15	0%	48%	17%	65%
GDSN-TEST068	見積価格	見積価格（quotedPrice）	半	21	max9.2	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	2	1	3	0%	9%	4%	13%
GDSN-TEST069		通貨単位コード (currencyISOCode)		3		0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	2	1	3	0%	9%	4%	13%
GDSN-TEST070	商品画像取り込みURL	商品画像取り込みURL (fileTransmitterSystemDescr iption)	半	70	max256	0	4	3	7	0%	25%	19%	44%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	3	9	0%	22%	13%	39%
GDSN-TEST071	商品サイズ＜幅＞	幅（width）	半	15	max15	0	12	6	14	0%	75%	38%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	17	7	20	0%	74%	30%	87%

商品マスター項目充足性検証結果（食品・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST072	商品サイズ<高さ>	寸法単位コード (unitOfMeasure)		3		0	7	4	8	0%	44%	25%	50%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	9	4	10	0%	39%	17%	43%
GDSN-TEST073		高さ (height)	半	15	max15	0	12	6	14	0%	75%	38%	88%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	17	7	20	0%	74%	30%	87%
GDSN-TEST074	商品サイズ<奥行>	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	7	4	8	0%	44%	25%	50%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	9	4	10	0%	39%	17%	43%
GDSN-TEST075		奥行 (depth)	半	15	max15	0	12	6	13	0%	75%	38%	81%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	17	7	19	0%	74%	30%	83%
GDSN-TEST076	商品サイズ<直径>	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3	3	0	7	4	7	0%	44%	25%	44%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	9	4	9	0%	39%	17%	39%
GDSN-TEST077		直径 (diameter)	半	15	max15	0	3	2	8	0%	19%	13%	50%	0	1	1	2	0%	17%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	4	3	10	0%	17%	13%	43%
GDSN-TEST078	フック穴位置X	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	2	2	5	0%	13%	13%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	2	5	0%	9%	9%	22%
GDSN-TEST079		フック穴位置 (x) (pegHorizontal)	半	15	max15	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST080	フック穴位置Y	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST081		フック穴位置 (y) (pegVertical)	半	15	max15	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST082	フック穴サイズ	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	2	1	1	0%	13%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	1	0%	9%	4%	4%
GDSN-TEST083		フック穴サイズ (pegHoleSize)	半	15	max15	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST084	圧縮率<幅>	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST085		圧縮率<幅> (percentageOfWidthCompression)	半	3.2	max2	0	1	1	2	0%	6%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	2	0%	4%	4%	9%
GDSN-TEST086	圧縮率<高さ>	圧縮率<高さ> (percentageOfHeightCompression)	半	3.2	max2	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST087	圧縮率<奥行>	圧縮率<奥行> (percentageOfDepthCompression)	半	3.2	max2	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST088	重なり形式	重なり形式 名称 (pileUpForm)	半		1	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST089	重なり<幅>	重なり形式コード (pileUpFormCode)		1		0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST090		重なり<幅> (pileUpWidth)	半	15	max8	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST091	重なり<高さ>	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST092		重なり<高さ> (pileUpHeight)	半	15	max8	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST093	重なり<奥行き>	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST094		重なり<奥行き> (pileUpDepth)	半	15	max8	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST095	標準サイズコード団体名	寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	1	1	2	0%	6%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	2	0%	4%	4%	9%
GDSN-TEST096		標準サイズコード団体名 名称 (sizeCodeListAgency)	全	3	max20	0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST097	標準サイズコード	サイズコード管理団体コード (sizeCodeListAgency)				0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST098		標準サイズコード (sizeCodeValue)	半	20	max5	0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	1	1	1	0%	17%	17%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	2	3	0%	13%	9%	13%
GDSN-TEST099	サイズ名	サイズ名 名称 (descriptive size)	全		max20	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST100	標準カラーコード団体名	標準カラーコード団体名 名称 (colorCodeListAgency)	全	3	max20	0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST101	標準カラーコード	色コード管理団体コード (colorCodeListAgency)				0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	1	1	0%	4%	4%	4%
GDSN-TEST102		標準カラーコード (colorCodeValue)	半	20	max5	0	1	1	1	0%	6%	6%	6%	0	1	1	1	0%	17%	17%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	2	2	0%	9%	9%	9%
GDSN-TEST103	カラー名	カラー名称 (colorDescription)	全	70	max20	0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST104	総重量	総重量 (grossWeight)	半	15	max15	0	12	6	12	0%	75%	38%	75%	0	4	0	4	0%	67%	0%	67%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	16	6	17	0%	70%	26%	74%
GDSN-TEST105	総重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	10	5	10	0%	63%	31%	63%	0	3	0	3	0%	50%	0%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	13	5	14	0%	57%	22%	61%

商品マスター項目充足性検証結果（食品・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST106	内容量	内容量 (netContent)	半	15	max12.2	0	11	5	12	0%	69%	31%	75%	0	5	1	5	0%	83%	17%	83%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	16	6	18	0%	70%	26%	78%
GDSN-TEST107	内容量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	10	5	11	0%	63%	31%	69%	0	3	0	3	0%	50%	0%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	13	5	15	0%	57%	22%	65%
GDSN-TEST108	ユニット容量	ユニット容量 (measurementValue)	半	15	max15	0	2	1	3	0%	13%	6%	19%	0	3	1	3	0%	50%	17%	50%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	2	7	0%	22%	9%	30%
GDSN-TEST109	ユニット単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	2	1	3	0%	13%	6%	19%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	4	1	6	0%	17%	4%	26%
GDSN-TEST110	容器形態コード (外装容器形態)	外装容器形態 名称 (packagingType)	半	35	3	0	10	3	11	0%	63%	19%	69%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	12	3	13	0%	52%	13%	57%
GDSN-TEST111		外装形態コード (packagingTypeCode)		35		0	2	0	4	0%	13%	0%	25%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	0	5	0%	13%	0%	22%
GDSN-TEST112	容器素材の区分	容器素材の区分 名称 (packagingMaterial)	半	35	3	0	1	0	2	0%	6%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	0%	4%	0%	9%
GDSN-TEST113		容器素材コード (packagingMaterialCode)		3		0	1	0	2	0%	6%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	0%	4%	0%	9%
GDSN-TEST114	容器素材重量	容器素材重量 (packagingMaterialCompositionQuantity)	半	15	max5.2	0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0%	4%	0%	4%
GDSN-TEST115	容器素材重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0%	4%	0%	4%
GDSN-TEST116	品質保証期間値	品質保証期間値 (minimumTradeItemLifeSpanfromTimeOfProduction)	半	15	max5	0	7	3	7	0%	44%	19%	44%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	9	3	10	0%	39%	13%	43%
GDSN-TEST117		時間単位コード		3		0	4	1	5	0%	25%	6%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	4	1	6	0%	17%	4%	26%
GDSN-TEST126	メーカー発売日	メーカー発売日 (consumerAvailabilityDateTim	半	15	8	0	10	4	12	0%	63%	25%	75%	0	2	1	2	0%	33%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	12	5	15	0%	52%	22%	65%
GDSN-TEST127	メーカー終売日	メーカー終売日 (endAvailabilityDateTime)	半	15	8	0	3	1	2	0%	19%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	1	2	0%	13%	4%	9%
GDSN-TEST141	原単価(総額)	原単価 (総額) (costPriceTaxIncluded.)	半	21	max9.2	0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	6	1	6	0%	100%	17%	100%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	7	1	8	0%	30%	4%	35%
GDSN-TEST142		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	0	3	0%	13%	0%	13%
GDSN-TEST143	原単価(本体)	原単価 (本体) (costPriceTaxExcluded)	半	21	max9.2	0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	6	1	6	0%	100%	17%	100%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	7	1	8	0%	30%	4%	35%
GDSN-TEST144		通貨コード (currencyISOCode)		3		0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	3	0	4	0%	13%	0%	17%
GDSN-TEST196	パレット段数	パレット段数 (quantityOfLayersPerPallet)	半	6	max15	0	5	1	3	0%	31%	6%	19%	0	2	1	1	0%	33%	17%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	7	2	5	0%	30%	9%	22%
GDSN-TEST197	ハイ組 (パレット面ケース数)	ハイ組 (パレット面ケース数) (quantityOfTradeItemPerPalletLayer)	半	15	max15	0	5	1	3	0%	31%	6%	19%	0	1	0	0	0%	17%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	6	1	4	0%	26%	4%	17%
GDSN-TEST198	使用パレット種類	使用パレット種類 名称 (palletType)	半		max3	0	4	0	2	0%	25%	0%	13%	0	1	0	0	0%	17%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	5	0	2	0%	22%	0%	9%
GDSN-TEST199		パレットタイプコード (palletTypeCode)		3		0	2	0	1	0%	13%	0%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	0	1	0%	9%	0%	4%
GDSN-TEST200	メーカーパレット才数	メーカーパレット才数 (manufacturerPalletSaisu)	半	15	max15	0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST201	取扱最高温度 (℃) (メーカー)	取扱最高温度 (℃) (メーカー) (handlingTemperatureMaximumByManufacturer)	半	15	+/-4	0	4	1	4	0%	25%	6%	25%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	4	1	4	0%	17%	4%	17%
GDSN-TEST202		温度単位コード (unitOfMeasure)		3		0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST203	取扱最低温度 (℃) (メーカー)	取扱最低温度 (℃) (メーカー) (handlingTemperatureMinimumByManufacturer)	半	15	+/-4	0	3	1	3	0%	19%	6%	19%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	3	1	3	0%	13%	4%	13%
GDSN-TEST204		温度単位コード (unitOfMeasure)		3		0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST205	取扱最高温度 (℃) (卸)	取扱最高温度 (℃) (卸) (handlingTemperatureMaximumByWholesaler)	半	15	+/-4	0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST206		取扱最高温度 (℃) (卸)_単位 (unitOfMeasure)		3		0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST207	取扱最低温度 (℃) (卸)	取扱最低温度 (℃) (卸) (handlingTemperatureMinimumByWholesaler)	半	15	+/-4	0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST208		取扱最低温度 (℃) (卸)_単位 (unitOfMeasure)		3		0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%

商品マスター項目充足性検証結果（食品・実験使用項目）

						集計結果																															
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計							
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)				食品実験使用項目 (回答数)				食品実験使用項目 (%)			
GDSN-TEST213	温度帯区分	温度帯区分名称	半	20	1	0	5	3	6	0%	31%	19%	38%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	6	3	8	0%	26%	13%	35%
GDSN-TEST214		温度帯区分コード (temperateZone)		1		0	2	1	3	0%	13%	6%	19%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	3	0%	9%	4%	13%
GDSN-TEST215	原産国コード	原産国コード (CountryOfOrigincode)	半	3+35 繰返し	3	0	4	1	5	0%	25%	6%	31%	0	2	1	2	0%	33%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	2	7	0%	26%	9%	30%
GDSN-TEST216		原産国 名称 (nameofCountryofOrigin)		3+35 繰返し		0	2	1	2	0%	13%	6%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	0%	9%	4%	9%
GDSN-TEST217	アルコール度数	アルコール度数 (percentageOfAlcoholByVolume)	半	3.2	2.1	0	4	1	4	0%	25%	6%	25%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	1	6	0%	26%	4%	26%
GDSN-TEST218	酒類分類	酒類分類 (LiquorClassificationForTax)	半		4	0	4	1	4	0%	25%	6%	25%	0	2	1	2	0%	33%	17%	33%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	2	6	0%	26%	9%	26%
GDSN-TEST219		酒類分類コード (LiquorClassificationForTaxCode)		4		0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0%	4%	0%	4%
GDSN-TEST220	栄養成分表示単位	栄養成分表示単位 (displayUnitOfNutritiousSubstance)	全	40	max40	0	6	4	9	0%	38%	25%	56%	0	2	1	2	0%	33%	17%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	5	12	0%	35%	22%	52%
GDSN-TEST221	カロリー	カロリー (quantityOfCalorie)	半	15	max5	0	7	4	10	0%	44%	25%	63%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	4	12	0%	35%	17%	52%
GDSN-TEST222		エネルギー単位コード		3		0	5	3	5	0%	31%	19%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	3	6	0%	22%	13%	26%
GDSN-TEST223	タンパク質	タンパク質 (quantityOfProtein)	半	15	max5.3	0	7	4	10	0%	44%	25%	63%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	4	12	0%	35%	17%	52%
GDSN-TEST224		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	5	3	5	0%	31%	19%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	3	6	0%	22%	13%	26%
GDSN-TEST225	脂質	脂質 (quantityOfLipid)	半	15	max5.3	0	7	4	10	0%	44%	25%	63%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	4	12	0%	35%	17%	52%
GDSN-TEST226		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	5	3	5	0%	31%	19%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	3	6	0%	22%	13%	26%
GDSN-TEST227	炭水化物	炭水化物 (quantityOfCarbohydrate)	半	15	max5.3	0	7	4	10	0%	44%	25%	63%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	4	12	0%	35%	17%	52%
GDSN-TEST228		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	5	3	5	0%	31%	19%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	3	6	0%	22%	13%	26%
GDSN-TEST229	ナトリウム	ナトリウム (quantityOfSodium)	半	15	max5.3	0	7	4	10	0%	44%	25%	63%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	8	4	12	0%	35%	17%	52%
GDSN-TEST230		重量単位コード (unitOfMeasure)		3		0	5	3	5	0%	31%	19%	31%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	5	3	6	0%	22%	13%	26%
GDSN-TEST231	栄養成分強調表示	栄養成分強調表示 (nutrientInformation)	全	400	max400	0	3	3	4	0%	19%	19%	25%	0	1	1	1	0%	17%	17%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	4	4	6	0%	17%	17%	26%
GDSN-TEST232	原材料表示	原材料表示 (rawMaterialInformation)	全	1200	max1200	0	6	3	9	0%	38%	19%	56%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	7	3	11	0%	30%	13%	48%
GDSN-TEST233	主たる原材料の原産国	主たる原材料の原産国 (mainCountryOfRawMaterial)	全	200	200	0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0%	4%	0%	4%
GDSN-TEST234	遺伝子組換え区分	遺伝子組換え区分 (isTradeItemGeneticallyModified)	半		1	0	5	1	6	0%	31%	6%	38%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	1	7	0%	26%	4%	30%
GDSN-TEST235	取り扱い注意（危険物等）区分	取り扱い注意（危険物等）区分 (isTradeItemDangerousGoods)	半		1	0	5	1	6	0%	31%	6%	38%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	6	1	7	0%	26%	4%	30%
GDSN-TEST236	情報公開可能日（一斉公開日）	パブリケーション日 (publicationDate)	半	10	8	0	9	4	10	0%	56%	25%	63%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	11	4	13	0%	48%	17%	57%
GDSN-TEST237	マスタ有効日	マスタ有効日 (effectiveDate)	半	10	8	0	8	2	10	0%	50%	13%	63%	0	2	0	2	0%	33%	0%	33%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	10	2	13	0%	43%	9%	57%
GDSN-TEST238	最終更新日（システム日付）	最終更新日 (lastChangeDateTime)		15		0	2	0	2	0%	13%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	2	0	2	0%	9%	0%	9%
GDSN-TEST239		商品停止日付 (discontinuedDate)		8		0	1	0	1	0%	6%	0%	6%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	0%	4%	0%	4%
GDSN-TEST240		変更理由内容 (modifiedDescription)		1000		0	1	0	2	0%	6%	0%	13%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	0%	4%	0%	9%
GDSN-TEST241	ITFコード	ITFコード (itfCode)	半	16	max16	0	11	4	8	0%	69%	25%	50%	0	1	0	1	0%	17%	0%	17%	0	0	0	1	0%	0%	0%	100%	0	12	4	10	0%	52%	17%	43%
GDSN-TEST242	最下層GTIN	最下層GTIN (isTradeItemABaseUnit)	半		1	0	7	2	6	0%	44%	13%	38%	0	3	1	3	0%	50%	17%	50%	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0	10	3	9	0%	43%	13%	39%

商品マスター項目充足性検証結果（食品・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計									卸小計									小売小計									合計												
serial No.	項目名	システム項目名（英名） （一部Schemaと別英語表記あり）	半or全	桁数	項目桁数	食品自社マスタ保有項目 （回答数）				社内システム変換 （回数）	食品自社マスタ保有項目 （％）				社内システム変換 （％）	食品自社マスタ保有項目 （回答数）				社内システム変換 （回数）	食品自社マスタ保有項目 （％）				社内システム変換 （％）	食品自社マスタ保有項目 （回答数）				社内システム変換 （回数）	食品自社マスタ保有項目 （％）				社内システム変換 （％）										
						PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA		PL	CA	PK	EA						
GDSN-TEST001	情報提供者コード	データ提供者コード （informationProvider）	半	13	13	0	3	1	2	2	0%	19%	6%	13%	13%	0	1	0	3	1	0%	17%	0%	50%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	4	1	5	3	0%	17%	4%	21%	13%
GDSN-TEST002		データ提供者名称 （nameOfInformationProvider）		80		0	3	1	3	1	0%	19%	6%	19%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	4	1	0%	13%	4%	17%	4%
GDSN-TEST003	POS用コード	POS用コード （tradeItemIdentificationForPO	半	13	max13	0	9	4	12	1	0%	56%	25%	75%	6%	0	2	1	5	1	0%	33%	17%	83%	17%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	11	5	19	2	0%	46%	21%	79%	8%
GDSN-TEST004	ソースマーキング種類コード	ソースマーキング種類 （barCodeType）	半	70	1	0	5	1	6	3	0%	31%	6%	38%	19%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	5	1	7	3	0%	21%	4%	29%	13%
GDSN-TEST006	以前のGTIN	以前GTIN （replacedGTIN）	半	14	14	0	2	1	2	1	0%	13%	6%	13%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	1	3	1	0%	8%	4%	13%	4%
GDSN-TEST007	GPC（グローバル商品分類）コード	GPC分類カテゴリコード （classificationCategoryCode）	半	10	10	0	3	1	3	1	0%	19%	6%	19%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	4	1	0%	13%	4%	17%	4%
GDSN-TEST008		商品分類名称 （classificationCategoryName）		105 70		0	2	1	1	1	0%	13%	6%	6%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	1	2	1	0%	8%	4%	8%	4%
GDSN-TEST009	JICFSコード （標準分類）	JICFS分類カテゴリコード （additionalClassificationCategoryCode）	半	6	6	0	7	4	8	3	0%	44%	25%	50%	19%	0	1	0	3	0	0%	17%	0%	50%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	8	4	11	3	0%	33%	17%	46%	13%
GDSN-TEST010		分類名称（JICFS分類名称） （additionalClassificationCategoryDescription）		70		0	3	1	3	1	0%	19%	6%	19%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	4	1	0%	13%	4%	17%	4%
GDSN-TEST020	GTIN	GTIN（gtin）	半	14	14	0	4	0	5	2	0%	25%	0%	31%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	1	0	1	0	0%	50%	0%	50%	0%	0	5	0	7	2	0%	21%	0%	29%	8%
GDSN-TEST021	次下位層GTIN	次下位層GTIN （NextLowerLevelgtin）	半	14	14	0	5	1	2	1	0%	31%	6%	13%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	5	1	3	1	0%	21%	4%	13%	4%
GDSN-TEST022	次下位層アイテム数	子階層トレードアイテム （quantityOfNextLowerLevelTradeItem）	半	6	max6	0	5	2	3	2	0%	31%	13%	19%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	1	1	0	0	0%	50%	50%	0%	0%	0	6	3	4	2	0%	25%	13%	17%	8%
GDSN-TEST023	PTIH（商品階層）	PTIH（商品階層） （tradeItemUnitDescriptor）	半	70	max35	0	5	2	4	2	0%	31%	13%	25%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	5	2	5	2	0%	21%	8%	21%	8%
GDSN-TEST024	店頭販売単位フラグ	店頭販売単位フラグ （isTradeItemAConsumerUnit）	半		1	0	3	1	2	1	0%	19%	6%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	2	1	0%	13%	4%	8%	4%
GDSN-TEST025	発注可能フラグ	発注可能フラグ （isTradeItemAnOrderableUnit）	半		1	0	4	2	4	2	0%	25%	13%	25%	13%	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	4	2	4	3	0%	17%	8%	17%	13%
GDSN-TEST026	物流単位フラグ	物流単位フラグ （isTradeItemADespatchUnit）	半		1	0	4	1	4	2	0%	25%	6%	25%	13%	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	4	1	4	3	0%	17%	4%	17%	13%
GDSN-TEST027	決済単位フラグ	決済単位フラグ （isTradeItemAnInvoiceUnit）	半		1	0	5	2	4	2	0%	31%	13%	25%	13%	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	5	2	4	3	0%	21%	8%	17%	13%
GDSN-TEST028	定貴／不定貴フラグ	不定貴フラグ（定貴／不定貴フラグ） （isTradeItemAVariableUnit）	半		1	0	3	1	3	2	0%	19%	6%	19%	13%	0	1	0	2	2	0%	17%	0%	33%	33%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	4	1	7	4	0%	17%	4%	29%	17%
GDSN-TEST029	販売対象国コード	ターゲットマーケットコード （targetMarketCountrycode）	半	3	3	0	4	1	5	2	0%	25%	6%	31%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	4	1	6	2	0%	17%	4%	25%	8%
GDSN-TEST030		ターゲットマーケット名称 （targetMarketDescription）		35		0	2	1	2	2	0%	13%	6%	13%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	1	3	2	0%	8%	4%	13%	8%
GDSN-TEST031	販売対象地域コード	TMサブコード （targetMarketSubdivisionCode）	半	max7＋ max35 7+35 （繰返し）	7	0	3	1	3	2	0%	19%	6%	19%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	4	2	0%	13%	4%	17%	8%
GDSN-TEST032	情報受領者コード	公開先GLN（pub_to_gln） （partyReceivingGLN）	半	13+80 *GLN+企業名	13	0	2	0	1	1	0%	13%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	1	1	0%	8%	0%	4%	4%
GDSN-TEST033		パブリケーション日 （publicationDate）		10		0	3	1	3	2	0%	19%	6%	19%	13%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	3	2	0%	13%	4%	13%	8%
GDSN-TEST034	メーカーコード （代表メーカーコード）	メーカーコード （brandOwnerGLN）	半	13	13	0	6	2	6	3	0%	38%	13%	38%	19%	0	1	0	3	1	0%	17%	0%	50%	17%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	7	2	9	4	0%	29%	8%	38%	17%
GDSN-TEST035	メーカー名 （正式メーカー名）	GLN名称表示 メーカー名（GLNより設定） （nameOfBrandOwner）	全																																										

商品マスター項目充足性検証結果（食品・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計															
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目桁数	食品自社マスタ保有項目 (回答数)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (%)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (回答数)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (%)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (回答数)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (%)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (回答数)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (%)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (回答数)		社内システム変換	食品自社マスタ保有項目 (%)		社内システム変換										
GDSN-TEST048	商品名ー規格単位名	商品名ー規格単位名 (tradeItemContentMeasurementDescription)	全	2	max2	0	4	0	5	2	0%	25%	0%	31%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	50%	50%	0	4	0	7	3	0%	17%	0%	29%	13%
GDSN-TEST049	商品カナ名・長	商品カナ名・長 (tradeItemLongKanaName)	半	25	max25	0	9	2	12	1	0%	56%	13%	75%	6%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	9	2	15	1	0%	38%	8%	63%	4%
GDSN-TEST050	商品カナ名・短	商品カナ名・短 (tradeItemShortKanaName)	半	14	max14	0	9	1	11	1	0%	56%	6%	69%	6%	0	0	0	3	1	0%	0%	0%	50%	17%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	9	1	16	2	0%	38%	4%	67%	8%
GDSN-TEST051	商品カナ名ー内容量名	商品カナ名ー内容量名 (tradeItemContentKanaDescription)	半	4	max4	0	5	0	8	3	0%	31%	0%	50%	19%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	33%	17%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	5	0	12	5	0%	21%	0%	50%	21%
GDSN-TEST052	商品カナ名ー規格単位名	商品カナ名ー規格単位名 (tradeItemContentMeasurementKanaDescription)	半	2	max2	0	5	0	7	3	0%	31%	0%	44%	19%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	33%	17%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	5	0	11	5	0%	21%	0%	46%	21%
GDSN-TEST053	C F 投入量	C F 投入量 (commercialFilmAmountDescription)	全	500	max500	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	2	0	5	1	0%	8%	0%	21%	4%
GDSN-TEST054	商品特徴（フル）	商品特徴（フル） (longText)	全	1000	max500	0	7	1	5	1	0%	44%	6%	31%	6%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	33%	17%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	7	1	8	2	0%	29%	4%	33%	8%
GDSN-TEST055	商品特徴（概要）	商品特徴（概要） (tradeItemDescription)	全		max50	0	4	0	7	1	0%	25%	0%	44%	6%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	0	11	1	0%	17%	0%	46%	4%
GDSN-TEST056	商品特徴（短）	商品特徴（短） (tradeItemFeatureBenefit)	全		max25	0	4	1	6	1	0%	25%	6%	38%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	1	7	1	0%	17%	4%	29%	4%
GDSN-TEST057	希望小売価格区分	希望小売価格区分 (suggestedRetailPriceType)	半	20	2	0	3	1	4	2	0%	19%	6%	25%	13%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	5	2	0%	13%	4%	21%	8%
GDSN-TEST058	希望小売価格区分コード	希望小売価格区分コード		2		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	1	0%	4%	0%	8%	4%
GDSN-TEST059	希望小売価格（総額）	希望小売価格（総額） (suggestedRetailPriceTaxIncluded)	半	21	max9	0	2	0	2	2	0%	13%	0%	13%	13%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	5	2	0%	8%	0%	21%	8%
GDSN-TEST060	通貨コード（currencyISOCode）	通貨コード（currencyISOCode）		3		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	1	0%	4%	0%	8%	4%
GDSN-TEST061	希望小売価格（本体）	希望小売価格（本体） (suggestedRetailPriceTaxExcluded)	半	21	max9	0	5	2	11	1	0%	31%	13%	69%	6%	0	1	0	4	0	0%	17%	0%	67%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	6	2	15	1	0%	25%	8%	63%	4%
GDSN-TEST062	通貨コード（currencyISOCode）	通貨コード（currencyISOCode）		3		0	1	0	2	1	0%	6%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	1	0%	4%	0%	8%	4%
GDSN-TEST063	税エージェンシーコード	税エージェンシーコード名称 (taxAgencyCode)	半		3	0	1	0	1	2	0%	6%	0%	6%	13%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	2	0%	4%	0%	4%	8%
GDSN-TEST064	税エージェンシーコード	税エージェンシーコード (taxAgencyCode)		3		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST065	消費税区分	消費税区分名称 (consumptionTaxType)	半		1	0	3	1	5	2	0%	19%	6%	31%	13%	0	1	0	5	2	0%	17%	0%	83%	33%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	1	11	4	0%	17%	4%	46%	17%
GDSN-TEST066	消費税区分コード	消費税区分コード (consumptionTaxTypeCode)		1		0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	3	1	0%	8%	0%	13%	4%
GDSN-TEST067	消費税税率	消費税税率（taxRate）	半	3.2	max3.2	0	3	0	4	2	0%	19%	0%	25%	13%	0	1	0	3	0	0%	17%	0%	50%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	4	0	7	2	0%	17%	0%	29%	8%
GDSN-TEST068	見積価格	見積価格（quotedPrice）	半	21	max9.2	0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	1	0%	4%	0%	8%	4%
GDSN-TEST069	通貨単位（currencyCode）	通貨単位（currencyCode）		3		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	1	0%	4%	0%	8%	4%
GDSN-TEST070	商品画像取り込みURL	商品画像取り込みURL (fileTransmitterSystemDescription)	半	70	max256	0	3	2	4	2	0%	19%	13%	25%	13%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	50%	50%	0	3	2	7	3	0%	13%	8%	29%	13%
GDSN-TEST071	商品サイズ<幅>	幅（width） (sizeOfWidth)	半	15	max15	0	11	3	12	2	0%	69%	19%	75%	13%	0	4	2	6	1	0%	67%	33%	100%	17%	0	1	0	2	1	0%	50%	0%	100%	50%	0	16	5	20	4	0%	67%	21%	83%	17%
GDSN-TEST072	商品サイズ<高さ>	高さ（height） (sizeOfHeight)		3																																									

商品マスター項目充足性検証結果（食品・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																							
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計															
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)	社内システム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)	社内システム								
GDSN-TEST092	重なりく高さ>	重なりく高さ> (pileUpHeight)	半	15	max8	0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST093		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST094	重なりく奥行き>	重なりく奥行き> (pileUpDepth)	半	15	max8	0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST095		寸法単位単位コード (unitOfMeasure)		3		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST096	標準サイズコード団体名	標準サイズコード団体名 名称 (sizeCodeListAgency)	全	3	max20	0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST097		サイズコード管理団体コード (sizeCodeListAgency)				0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST098	標準サイズコード	標準サイズコード (sizeCodeValue)	半	20	max5	0	1	0	2	2	0%	6%	0%	13%	13%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	2	0%	4%	0%	8%	8%
GDSN-TEST099	サイズ名	サイズ名 名称(descriptive size)	全		max20	0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST100	標準カラーコード団体名	標準カラーコード団体名 名称 (colorCodeListAgency)	全	3	max20	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	2	1	0%	8%	0%	8%	4%
GDSN-TEST101		色コード管理団体コード (colorCodeListAgency)				0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST102	標準カラーコード	標準カラーコード (colorCodeValue)	半	20	max5	0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	1	1	0%	4%	0%	4%	4%
GDSN-TEST103	カラー名	カラー名称 (colorDescription)	全	70	max20	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	2	1	0%	8%	0%	8%	4%
GDSN-TEST104	総重量	総重量 (grossWeight)	半	15	max15	0	11	3	10	1	0%	69%	19%	63%	6%	0	2	1	4	1	0%	33%	17%	67%	17%	0	1	0	0	0	0%	50%	0%	0%	0%	0	14	4	14	2	0%	58%	17%	58%	8%
GDSN-TEST105	総重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	6	1	5	1	0%	38%	6%	31%	6%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	6	1	8	1	0%	25%	4%	33%	4%
GDSN-TEST106	内容量	内容量 (netContent)	半	15	max12.2	0	6	1	13	3	0%	38%	6%	81%	19%	0	2	1	5	0	0%	33%	17%	83%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	8	2	20	3	0%	33%	8%	83%	13%
GDSN-TEST107	内容量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	4	0	9	2	0%	25%	0%	56%	13%	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	4	0	14	2	0%	17%	0%	58%	8%
GDSN-TEST108	ユニット容量	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	15	max15	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	2	0	4	2	0%	8%	0%	17%	8%
GDSN-TEST109	ユニット単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	2	1	0%	0%	0%	100%	50%	0	2	0	4	2	0%	8%	0%	17%	8%
GDSN-TEST110	容器形態コード (外装容器形態)	外装容器形態 名称 (packagingType)	半	35	3	0	6	2	8	2	0%	38%	13%	50%	13%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	1	0	1	0	0%	50%	0%	50%	0%	0	7	2	11	2	0%	29%	8%	46%	8%
GDSN-TEST111		外装形態コード (packagingTypeCode)		35		0	2	0	4	1	0%	13%	0%	25%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	5	1	0%	8%	0%	21%	4%
GDSN-TEST112	容器素材の区分	容器素材の区分 名称 (packagingMaterial)	半	35	3	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	1	0	1	0	0%	50%	0%	50%	0%	0	3	0	4	1	0%	13%	0%	17%	4%
GDSN-TEST113		容器素材コード (packagingMaterialCode)		3		0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	3	1	0%	8%	0%	13%	4%
GDSN-TEST114	容器素材重量	容器素材重量 (packagingMaterialComposition Quantity)	半	15	max5.2	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	2	1	0%	8%	0%	8%	4%
GDSN-TEST115	容器素材重量単位コード	重量単位コード (unitOfMeasure)	半	3	3	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2								

商品マスター項目充足性検証結果（食品・自社マスタ保有項目）

						集計結果																																								
						メーカー小計								卸小計								小売小計								合計																
serial No.	項目名	システム項目名(英名) (一部Schemaと別英語表記あり)	半or全	桁数	項目 桁数	食品自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム	食品自社マスタ保有項目 (回答数)				社内 シス テム 変換	食品自社マスタ保有項目 (%)				社内 シス テム	
GDSN-TEST208		取扱最低温度(°C)(卸)_単位 (unitOfMeasure)		3		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	3	1	0%	4%	0%	13%	4%	
GDSN-TEST213	温度帯区分	温度帯区分名称 (temperatureZoneName)	半	20	1	0	4	1	4	1	0%	25%	6%	25%	6%	0	0	0	4	1	0%	0%	0%	67%	17%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	1	9	2	0%	17%	4%	38%	8%	
GDSN-TEST214		温度帯区分コード (temperatureZoneCode)		1		0	1	0	1	1	0%	6%	0%	6%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	1	0	2	1	0%	4%	0%	8%	4%	
GDSN-TEST215	原産国コード	原産国コード (countryOfOriginCode)	半	3+35 繰返し	3	0	4	0	6	2	0%	25%	0%	38%	13%	0	2	1	4	0	0%	33%	17%	67%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	6	1	11	2	0%	25%	4%	46%	8%	
GDSN-TEST216		原産国 名称 (nameofCountryvofOrigin)		3+35 繰返し		0	3	0	3	1	0%	19%	0%	19%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	0	4	1	0%	13%	0%	17%	4%	
GDSN-TEST217	アルコール度数	アルコール度数 (percentageOfAlcoholByVolume)	半	3.2	2.1	0	4	1	7	1	0%	25%	6%	44%	6%	0	1	0	2	0	0%	17%	0%	33%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	5	1	10	1	0%	21%	4%	42%	4%	
GDSN-TEST218	酒類分類	酒類分類 (liquorClassificationForTax)	半		4	0	4	0	5	1	0%	25%	0%	31%	6%	0	2	1	3	0	0%	33%	17%	50%	0%	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	50%	50%	0	6	1	9	2	0%	25%	4%	38%	8%	
GDSN-TEST219		酒類分類コード (liquorClassificationForTaxCode)		4		0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	3	1	0%	8%	0%	13%	4%	
GDSN-TEST220	栄養成分表示単位	栄養成分表示単位 (displayUnitOfNutritiousSubstance)	全	40	max40	0	3	2	6	1	0%	19%	13%	38%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	3	2	8	1	0%	13%	8%	33%	4%	
GDSN-TEST221	カロリー	カロリー (quantityOfCalorie)	半	15	max5	0	4	2	8	1	0%	25%	13%	50%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	2	10	1	0%	17%	8%	42%	4%	
GDSN-TEST222		エネルギー 単位コード		3		0	3	1	4	1	0%	19%	6%	25%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	5	1	0%	13%	4%	21%	4%	
GDSN-TEST223	タンパク質	タンパク質 (quantityOfProtein)	半	15	max5.3	0	4	2	7	1	0%	25%	13%	44%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	2	9	1	0%	17%	8%	38%	4%	
GDSN-TEST224		重量単位コード		3		0	3	1	3	1	0%	19%	6%	19%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	4	1	0%	13%	4%	17%	4%	
GDSN-TEST225	脂質	脂質 (quantityOfLipid)	半	15	max5.3	0	4	2	7	1	0%	25%	13%	44%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	2	9	1	0%	17%	8%	38%	4%	
GDSN-TEST226		重量単位コード		3		0	3	1	3	1	0%	19%	6%	19%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	4	1	0%	13%	4%	17%	4%	
GDSN-TEST227	炭水化物	炭水化物 (quantityOfCarbohydrate)	半	15	max5.3	0	4	2	7	1	0%	25%	13%	44%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	2	9	1	0%	17%	8%	38%	4%	
GDSN-TEST228		重量単位コード		3		0	3	1	3	1	0%	19%	6%	19%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	4	1	0%	13%	4%	17%	4%	
GDSN-TEST229	ナトリウム	ナトリウム (quantityOfSodium)	半	15	max5.3	0	4	2	7	1	0%	25%	13%	44%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	2	9	1	0%	17%	8%	38%	4%	
GDSN-TEST230		重量単位コード		3		0	3	1	4	1	0%	19%	6%	25%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	5	1	0%	13%	4%	21%	4%	
GDSN-TEST231	栄養成分強調表示	栄養成分強調表示 (nutrientInformation)	全	400	max400	0	1	1	1	1	0%	6%	6%	6%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	1	1	3	1	0%	4%	4%	13%	4%	
GDSN-TEST232	原材料表示	原材料表示 (rawMaterialInformation)	全	1200	max1200	0	4	2	7	1	0%	25%	13%	44%	6%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	2	10	1	0%	17%	8%	42%	4%	
GDSN-TEST233	主たる原材料の原産国	主たる原材料の原産国 (mainCountryOfRawMaterial)	全	200	200	0	1	0	2	1	0%	6%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	1	0	3	1	0%	4%	0%	13%	4%	
GDSN-TEST234	遺伝子組換え区分	遺伝子組換え区分 (isTradeItemGeneticallyModified)	半		1	0	2	1	4	1	0%	13%	6%	25%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	2	1	6	1	0%	8%	4%	25%	4%	
GDSN-TEST235	取り扱い注意（危険物等）区分	取り扱い注意（危険物等）区分 (isTradeItemDangerousGoods)	半		1	0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	2	0	3	1	0%	8%	0%	13%	4%	
GDSN-TEST236	情報公開可能日（一斉公開日）	パブリケーション日 (publicationDate)	半	10	8	0	7	3	9	1	0%	44%	19%	56%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	7	3	9	1	0%	29%	13%	38%	4%	
GDSN-TEST237	マスタ有効日	マスタ有効日 (effectiveDate)	半	10	8	0	4	1	5	1	0%	25%	6%	31%	6%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	50%	0%	0	4	1	8	1	0%	17%	4%	33%	4%	
GDSN-TEST238	取替更新日（システムロット）	取替更新日 (lastChangeDateTime)		15		0	2	0	2	2	0%	13%	0%	13%	13%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	33%	0%	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	100%	0%	0	2	0	6	2	0%	8%	0%	25%	8%	
GDSN-TEST239		商品停止日付 (discontinuedDate)		8		0	3	0	3	1	0%	19%	0%	19%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	0	3	1	0%	13%	0%	13%	4%	
GDSN-TEST240		変更理由内容 (modifiedDescription)		1000		0	2	0	2	1	0%	13%	0%	13%	6%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	2	0	2	1	0%	8%	0%	8%	4%	
GDSN-TEST241	ITFコード	ITFコード (itfCode)	半	16	max16	0	10	1	6	1	0%	63%	6%	38%	6%	0	1	0	4	1	0%	17%	0%	67%	17%	0	1	0	0	0	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0	12	1	10	2	0%	50%	4%	42%	8%
GDSN-TEST242	最下層GTIN	最下層GTIN (isTradeItemABaseUnit)	半		1	0	3	1	2	1	0%	19%	6%	13%	6%	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	17%	0%	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0	3	1	3	1	0%	13%	4%	13%	4%	